LP-M5500F/LP-M5500

ソフトウェア機能ガイド for Windows

Windows 環境のコンピュータから印刷またはスキャンする方法やソフトウェアの機能の詳細を説明しています。

LP-M5500

LP-M5500F

NPD1501-00

マーク

本書中では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。マークが付いている記述は必ずお読みください。それぞれのマークには次のような意味があります。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
!注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品本体が損傷したり、製品本体やソフトウェアが正常に動作しなくなる場合があります。必ず守ってお使いください。
参考	補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。
☞	関連した内容の参照ページを示しています。

Windows の表記

本書では、Windows オペレーティングシステムの各バージョンを「Windows 98」、「Windows Me」、「Windows 2000」、「Windows XP」、「Windows Server 2003」と表記しています。またこれらを総称する場合は「Windows」、複数の Windows を併記する場合は「Windows 98/Me」のように Windows の表記を省略することがあります。

マニュアル構成

本製品には、次の説明書が添付されています。

開梱作業を行われる方へ		本機を開梱する際に必ずお読みください。
セットアップガイド		本機を使用可能な状態にするまでの手順を説明しています。 必ずお読みいただき、本機を正しくセットアップしてください。
活用ガイド		コピー、ファックス、スキャンの方法とメンテナンスおよび困ったときの対処方法を説明しています。 必ずお読みいただき、本機を正しくご使用ください。
CD-ROM	ソフトウェア機能ガイド for Windows (PDF) - 本書 -	Windows から印刷、スキャンする方法を説明しています。
	ソフトウェア機能ガイド for Mac OS (PDF)	Mac OS から印刷、スキャンする方法を説明しています。
	ネットワーク設定ガイド (PDF)	ネットワーク印刷時の詳細情報とネットワークユーティリティの情報を説明しています。

説明で使用しているイラスト

本書では、LP-M5500F のイラストを使用して各種手順説明をしています。

もくじ（印刷編）

使用可能な印刷用紙とセット方法 86

困ったときは......................117

付録 160

もくじ（スキャン編）

EPSON Scan 情報 265

困ったときは....................... 282

付録 297

1 印刷の基本操作

コンピュータから本機に印刷するための基本的な操作を説明しています。

印刷を始める前に

『セットアップガイド』（紙マニュアル）の説明に従って、『EPSON ソフトウェア CD-ROM』からソフトウェアのインストールは終了していますか。また、接続先の設定は正しいですか。ご利用の接続方法によって設定が異なります。
次の説明をお読みください。

■ USB ケーブルで接続している場合

本機とコンピュータを USB インターフェイスケーブルで接続している場合は、『セットアップガイド』（紙マニュアル）の説明に従ってください。『EPSON ソフトウェア CD-ROM』からソフトウェアを正しくインストールしていれば問題なく印刷を始めていただけます。
本書 9 ページ「印刷の手順」

万一印刷できない場合は、以下のページを参照してください。
本書 152 ページ「USB 接続時のトラブル」

■ ネットワークケーブルで接続している場合

本機のネットワークインターフェイスを介して、TCP/IP を使用してネットワークに接続している場合は、『セットアップガイド』（紙マニュアル）の説明に従ってください。『EPSON ソフトウェア CD-ROM』からソフトウェアを正しくインストールしていれば問題なく印刷を始めていただけます。
本書 9 ページ「印刷の手順」

印刷できない場合は、以下のページを参照してください。
本書 190 ページ「接続先の変更方法」

- TCP/IP 以外のプロトコルを使用する場合は、『ネットワーク設定ガイド』（PDF）をご覧ください。
- ネットワーク上のコンピュータに USB 接続したプリンタを共有する場合は、以下のページを参照してください。
  本書 177 ページ「印刷機能の共有方法」

印刷の手順

ここでは、Windows XP に添付の「ワードパッド」を例に、基本的な印刷手順を説明します。印刷手順はお使いのアプリケーションソフトによって異なりますので、詳細は各アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

1 ［ワードパッド］を起動します。

- ［スタート］-［すべてのプログラム］（または［プログラム］）-［アクセサリ］-［ワードパッド］をクリックするとワードパッドが起動します。
- すでに存在するファイルを印刷する場合は、そのファイルをダブルクリックして 5 に進みます。

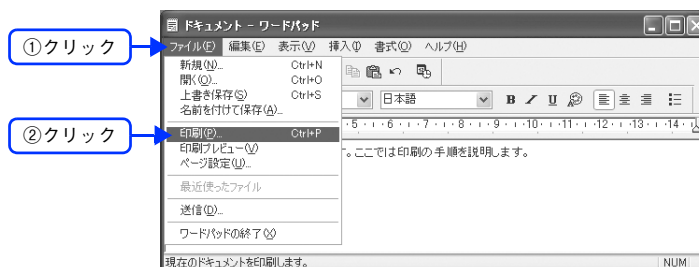
2 ［ファイル］メニューから［ページ設定］を選択します。

このダイアログで印刷する用紙のサイズや余白などを設定します。

3 印刷する用紙サイズや余白、印刷の向きなどを設定して、［OK］をクリックします。

余白の最小値は、本機の印刷可能領域である上下左右 5mm まで設定することができます。

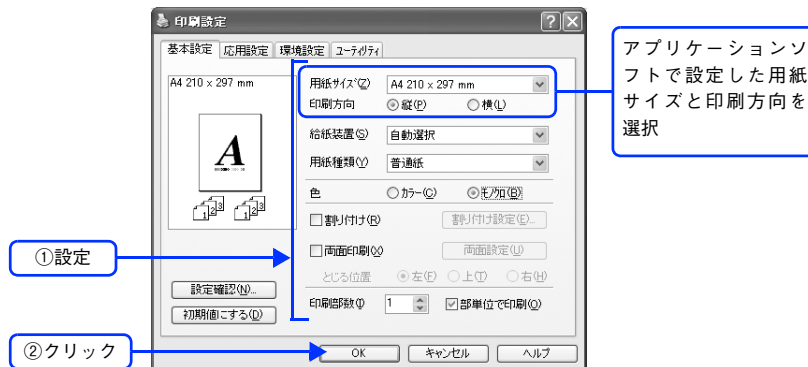
4 印刷するファイルを作成します。

5 ［ファイル］メニューから［印刷］をクリックします。

6 LP-M5500 が選択されていることを確認します。プリンタドライバの設定を確認または変更する場合は、［詳細設定］（Windows XP/Server 2003 以外の場合は［プロパティ］）をクリックし、7 に進みます。プリンタドライバの設定を確認しない場合は、8 に進みます。

Windows 2000 の「ワードパッド」のように、［印刷］ダイアログ内で直接プリンタのプロパティを操作できる場合があります。

7 各項目を設定して［OK］をクリックします。

通常は、［基本設定］ダイアログの各項目を設定するだけで正常に印刷できます。

☞ 本書 37 ページ「［基本設定］ダイアログ」

8 ［印刷］をクリックします。

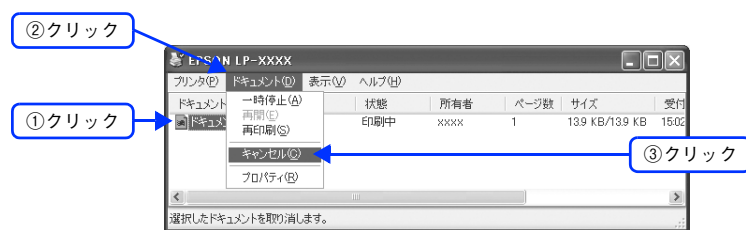
印刷データが本機に送られて印刷が始まります。

印刷の中止方法

印刷処理を中止するときは、次のいずれかの方法でコンピュータ上の印刷データ、または本機上の印刷データを削除します。

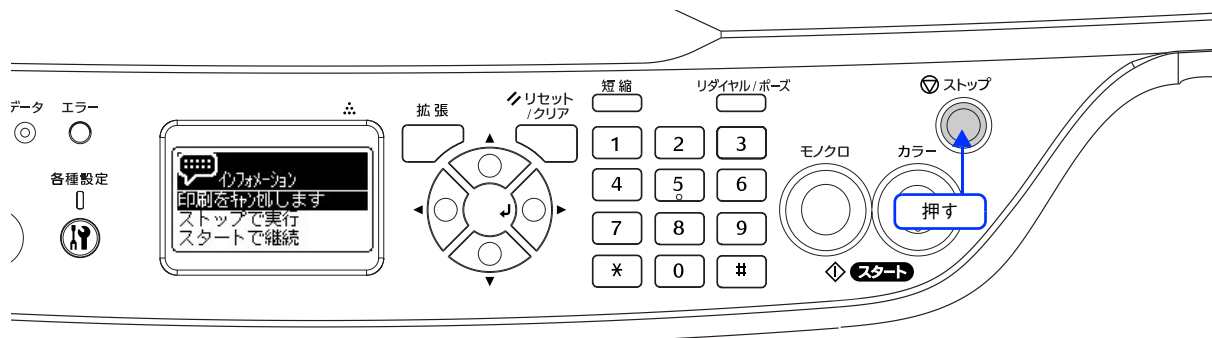
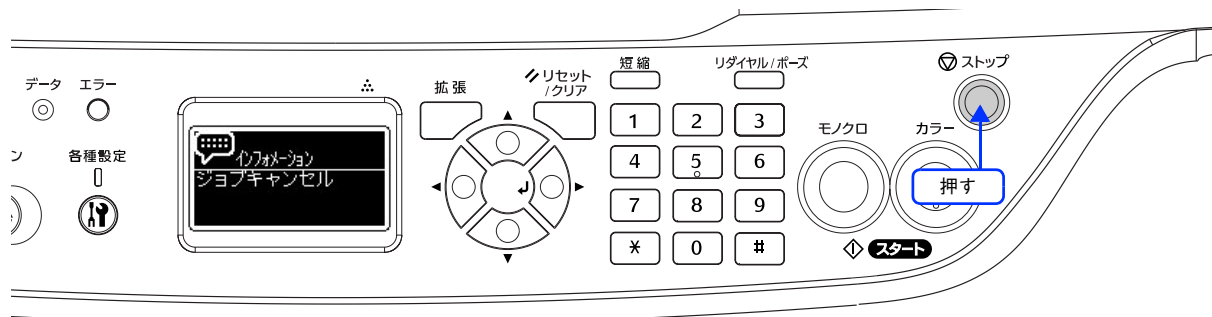
コンピュータから中止する

1 **画面右下のタスクバー上のプリンタアイコンをダブルクリックします。**

2 **中止したい印刷データをクリックして選択し、［ドキュメント］メニューの［印刷中止］または［キャンセル］をクリックします。**

処理済みのデータが印刷されてから表示が消え、印刷が中止されます。
本機側でまだ印刷が続いているときは、次項へ進んでください。

操作パネルから中止する

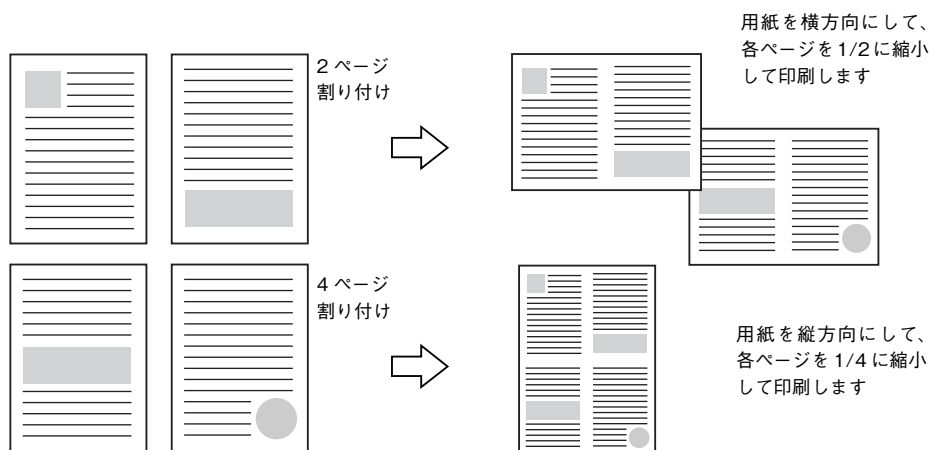
1 **印刷中のデータを削除するには［ストップ］ボタンを押します。**

本機が受信したすべての印刷データを削除するには［ストップ］ボタンを約 2 秒間押し続けます。

2 **［ストップ］ボタンをもう一度押します。**

印刷中のデータ（ジョブ単位または受信したすべてのデータ）が削除されます。

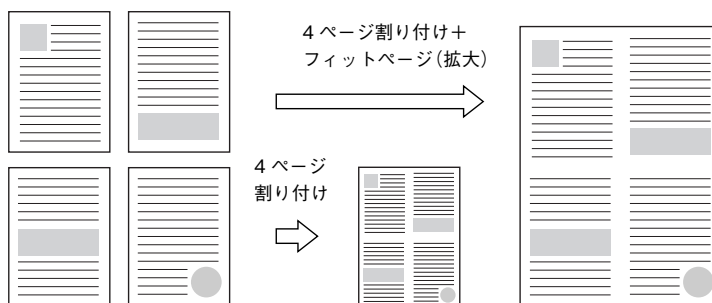
2 便利な機能

プリンタドライバを使用してできる便利な機能とその手順を説明しています。

用紙を節約（割り付け印刷）

大量の文書を印刷するときに「紙がもったいない」と感じることはありませんか。1 枚ずつ印刷するよりは、2 ページまたは 4 ページごとにまとめて 1 枚の用紙に割り付ければ、総枚数を 1/2 または 1/4 に減らすことができます。

例えば、会議の書類が 100 ページあれば、50 枚または 25 枚の用紙に印刷するだけで済み、ページ数が多ければ多いほど節約効果はぐっと上がります。

参考

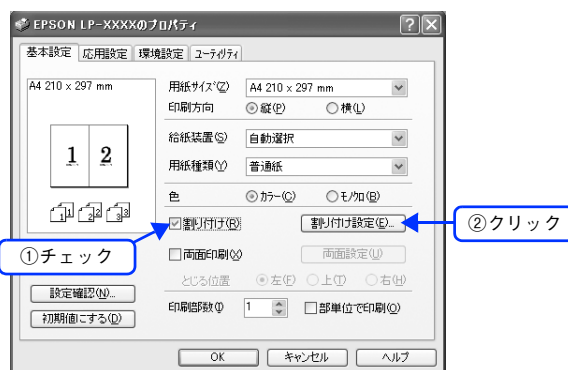
ハガキサイズのページの場合、通常であればそのままハガキサイズの用紙に割り付け印刷しますが、文字が小さくて読みづらく実用的とは言えません。こんなときは、拡大 / 縮小機能（フィットページ機能）を同時に使用して、大きな A4 サイズの用紙に拡大して割り付けると読みやすくなります。

☞ 本書 20 ページ「印刷サイズを拡大 / 縮小」
☞ 本書 16 ページ「用紙を節約（両面印刷）」

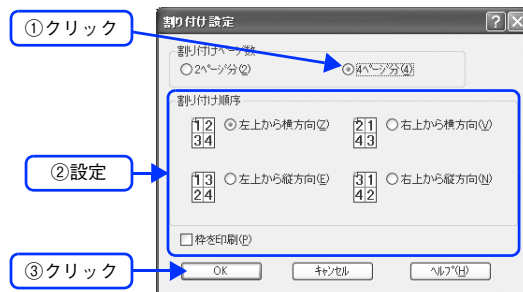
割り付け印刷する

4 ページ分の連続したデータを 1 枚の用紙に印刷する手順は次の通りです。

1 **プリンタドライバの設定画面を表示します。**

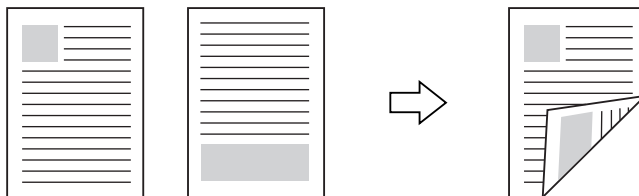
本書 34 ページ「画面の表示方法」

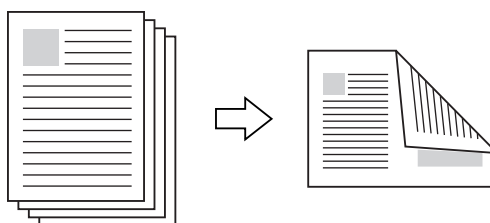
2 **［基本設定］ダイアログで［割り付け］にチェックを付けて、［割り付け設定］をクリックします。**

3 **［4 ページ分］を選択して、［割り付け設定］ダイアログの各項目を設定し、［OK］をクリックします。**

割り付けたページの周りに枠線を入れたいときは［枠を印刷］のチェックボックスをチェックします。

4 **［OK］をクリックして［基本設定］ダイアログを閉じ、アプリケーションソフトから印刷を実行します。**

以上で割り付け印刷は終了です。

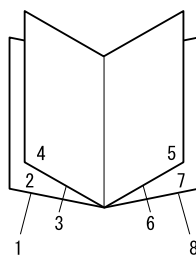
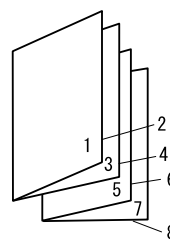
用紙を節約（両面印刷）

用紙の片面に印刷するだけでは「紙がもったいない」と思うことはありませんか。本機には用紙の表と裏に自動両面印刷するユニットが標準で装着されていますので、プリンタドライバで設定すれば用紙の両面に簡単に印刷でき、総枚数を 1/2 に減らすことができます。

さらに、用紙の両面に2ページまたは4ページ割り付け印刷を行えば、総枚数を1/4または1/8まで減らすことができます。

＜例＞両面それぞれに2ページ分の割り付け印刷した場合、
4 ページの文書なら用紙 1 枚で済みます

☞ 本書 14 ページ「用紙を節約（割り付け印刷）」

両面に印刷するなら「本のようにページを順番にめくりたい」と思いませんか。読む順番にページを自動的に並べ替えてから両面に 2 ページ分ずつ印刷することができますので、用紙を 1 枚ずつ半分に折り畳んで揃えてとじれば、そのまま製本することができます。2 通りのとじ方に合わせて、ページの印刷順序を選択できます。

☞ 本書 18 ページ「製本印刷する」

内側に重ねてとじる場合

外側へ並べてとじる場合

両面印刷する

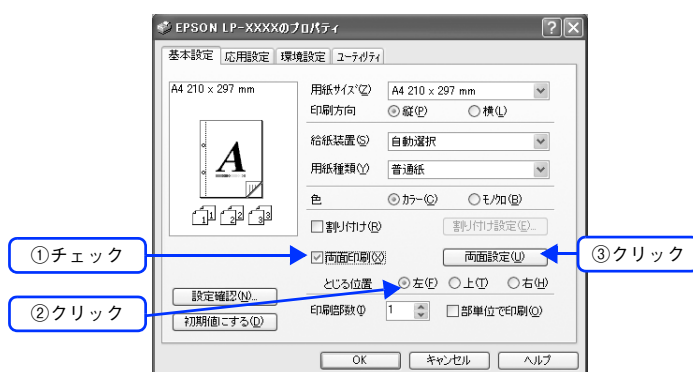
A4 サイズ（縦長）の印刷データを用紙の左側をとじられるように両面印刷する手順は次の通りです。

1 **本機に両面印刷が可能なサイズの用紙（ここでは A4）がセットされていることを確認します。**

☞ 本書 115 ページ「両面印刷について」

2 **プリンタドライバの設定画面を表示します。**

☞ 本書 34 ページ「画面の表示方法」

3 **［基本設定］ダイアログで、［両面印刷をチェックし、［とじる位置］の［左］をクリックして、［両面設定］をクリックします。**

4 **［両面印刷設定］ダイアログの各項目を設定します。**

各項目を設定してから、［OK］をクリックします。

5 **［OK］をクリックして［基本設定］ダイアログを閉じ、アプリケーションソフトから印刷を実行します。**

以上で両面印刷は終了です。

製本印刷する

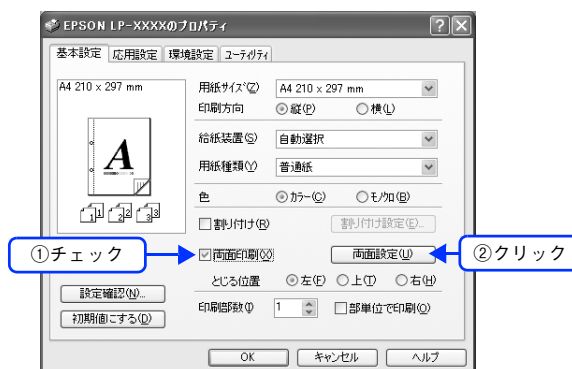
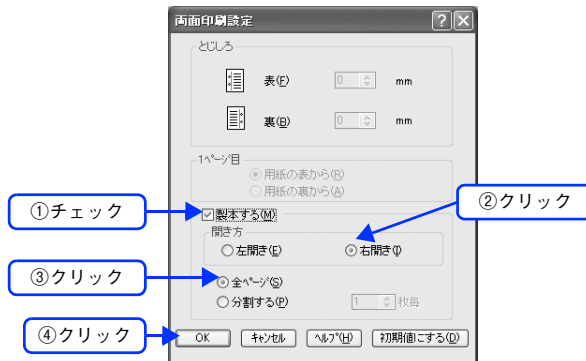
8 ページの印刷データ（縦長）を右開きになるように製本印刷する手順は次の通りです。

1 **本機に両面印刷が可能なサイズの用紙がセットされていることを確認します。**

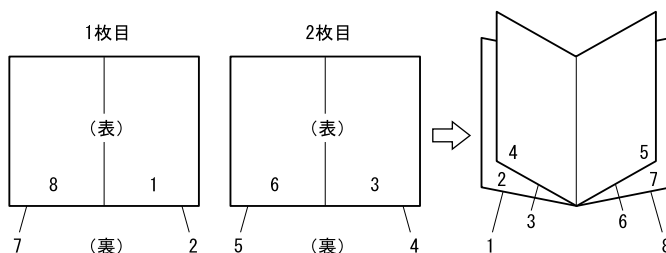
☞ 本書 115 ページ「両面印刷について」

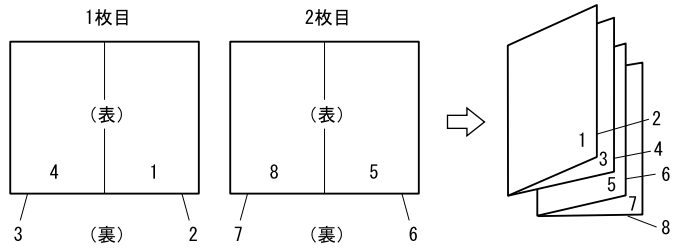
2 **プリンタドライバの設定画面を表示します。**

☞ 本書 34 ページ「画面の表示方法」

3 **［基本設定］ダイアログで、［両面印刷］をチェックして、［両面設定］をクリックします。**

4 **［製本する］と［開き方］の［右開き］、［全ページ］をチェックして、［OK］をクリックします。**

- ［製本する］をチェックすると、両面印刷の［とじる位置］と［とじしろ］の設定は無効になります。
- 部単位で印刷されます。

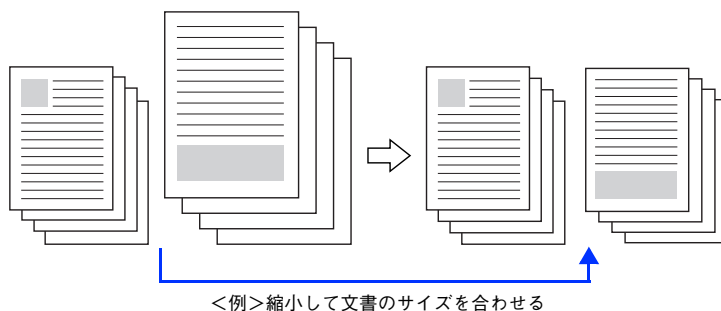
5 **［OK］をクリックして［基本設定］ダイアログを閉じ、アプリケーションソフトから印刷を実行します。**

次のように印刷されますので、2 枚の用紙をまとめて 2 つ折りにしてとじてください。

参考

［製本する］の［分割する］を選択する（例：分割数 =1 枚ごと）と、次のように印刷されます。この場合は、1 枚ずつ 2 つ折りにしてからまとめてとじます。

以上で製本印刷は終了です。

印刷サイズを拡大 / 縮小

文書を印刷してからコピー機で拡大 / 縮小していませんか。プリンタドライバの拡大 / 縮小機能を使えば、文書をそのまま拡大 / 縮小して印刷できますので手間が省けます。「会議には A4 サイズで統一」との急な依頼にも迅速に対応できます。

<例>縮小して文書のサイズを合わせる

本機の拡大 / 縮小印刷には 2 つの方法があります。

サイズを選択（フィットページ印刷）

元のページサイズと拡大 / 縮小したい用紙サイズをメニューから選択するだけで、自動的にページサイズを用紙サイズに合わせて（フィットさせて）印刷できます。例えば、A4 サイズで作った原稿をハガキに印刷したい場合は、元のページサイズを［A4］に設定して、出力（印刷）に使用する用紙サイズを［ハガキ］に設定するだけで、あとはプリンタドライバが自動的に縮小率を計算して縮小印刷を行います。

☞ 本書 21 ページ「拡大 / 縮小率を自動的に設定して印刷する（フィットページ印刷）」

拡大 / 縮小率を設定（任意倍率印刷）

拡大 / 縮小率を任意に設定して印刷することもできます。まず拡大 / 縮小したい用紙サイズに合わせて拡大 / 縮小率を計算し、その値を入力して印刷します。

☞ 本書 22 ページ「拡大 / 縮小率を自由に設定して印刷する（任意倍率印刷）」

拡大 / 縮小率を自動的に設定して印刷する（フィットページ印刷）

本機にセットした用紙サイズを選択するだけで、拡大 / 縮小率を自動的に設定して印刷することができます。ここではフィットページ機能を使って用紙サイズ A4 の印刷データをハガキサイズに縮小印刷する手順を説明します。

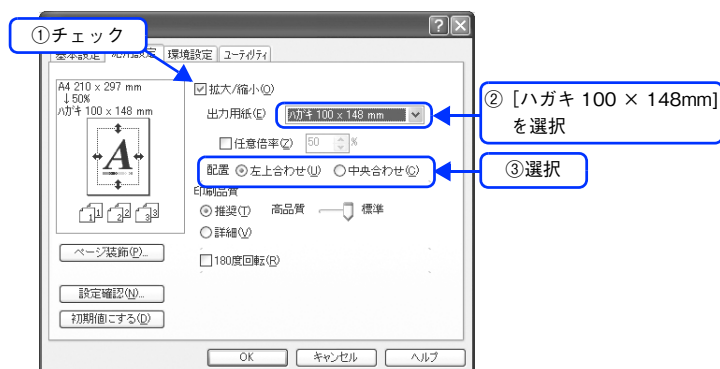
1 **本機にハガキサイズの用紙がセットされていることを確認します。**

本書 93 ページ「MP トレイに用紙をセットする」

2 **プリンタドライバの設定画面を表示します。**

本書 34 ページ「画面の表示方法」

3 **［基本設定］ダイアログを開いて、［用紙サイズ］が［A4］になっていることを確認します。**

4 **［応用設定］ダイアログを開いて［拡大 / 縮小］にチェックを付け、［出力用紙］から［ハガキ 100 × 148mm］を選択して、［配置］を任意に選択します。**

5 **［OK］をクリックして［応用設定］ダイアログを閉じ、アプリケーションソフトから印刷を実行します。**

以上で自動的に拡大 / 縮小して印刷する手順は終了です。

拡大 / 縮小率を自由に設定して印刷する（任意倍率印刷）

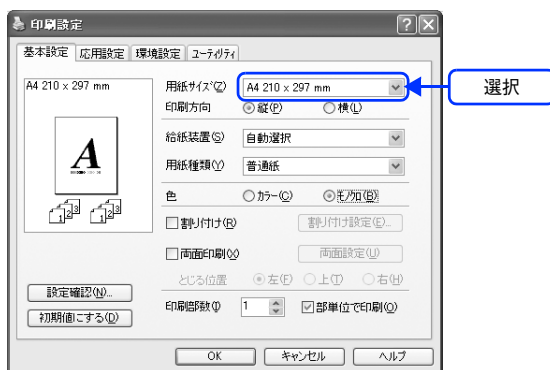
拡大 / 縮小率を自由に設定して印刷することができます。

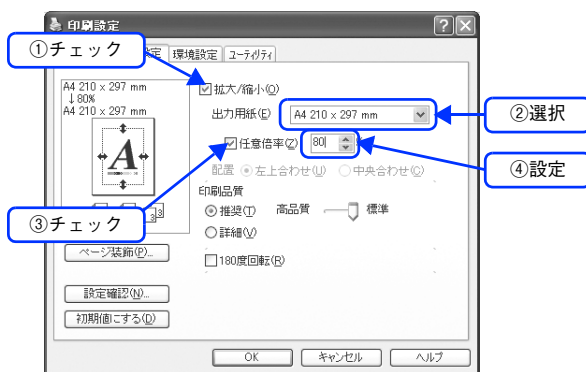
1 拡大 / 縮小率を計算します。

- 元の用紙サイズの一辺の長さと拡大 / 縮小印刷に使用する用紙サイズの一辺の長さを比較して計算します。
- 拡大 / 縮小率は計算に使用する辺によって異なりますので、縦または横どちらか同等の辺を基に概数（小数点以下切り捨て）を計算します。

2 プリンタドライバの設定画面を表示します。

☞ 本書 34 ページ「画面の表示方法」

3 ［基本設定］ダイアログを開いて、アプリケーションソフトで設定した用紙サイズを［用紙サイズ］から選択します。

4 ［応用設定］ダイアログを開いて［拡大 / 縮小］をチェックし、拡大 / 縮小印刷に使用する用紙サイズを［出力用紙］から選択して、さらに［任意倍率］をチェックして［倍率］を設定します。

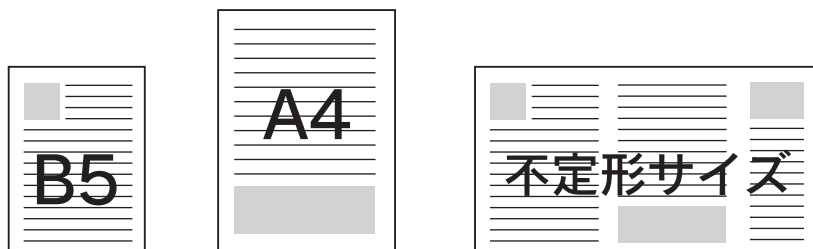
倍率は、数値を直接入力するか、入力ボックス右側の三角マーク（ / ）をクリックして設定してください。50 ～ 200% の間で倍率を指定できます。

［任意倍率］で設定した拡大 / 縮小率に合った［出力用紙］を選択してください。次のような場合は、［出力用紙］が［任意倍率］に合っていません。

- 縮小印刷時に用紙にバランスよくページが配置されない
- 拡大印刷時に用紙からはみ出て印刷されない部分がある

5 ［OK］をクリックして［応用設定］ダイアログを閉じ、アプリケーションソフトから印刷を実行します。

以上で任意サイズに拡大 / 縮小して印刷する手順は終了です。

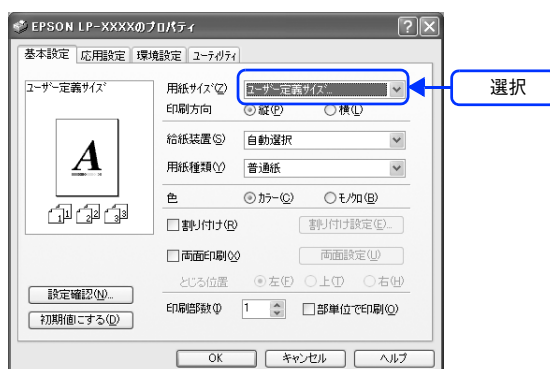
定形サイズ以外の用紙に印刷

B5、A4 などの定形サイズ以外の用紙に印刷したい場合も心配ありません。任意の用紙サイズを不定形紙（ユーザー定義サイズ）として登録しておくことができます。

任意の用紙サイズを登録する

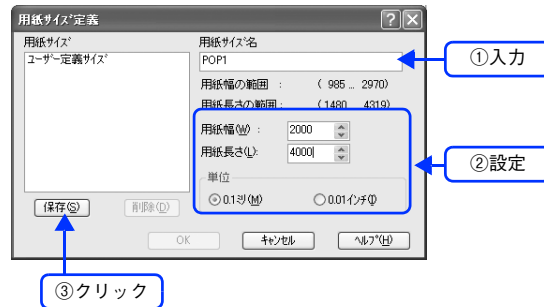
［用紙サイズ］リストにあらかじめ用意されていない用紙サイズを［ユーザー定義サイズ］として設定して登録することができます。

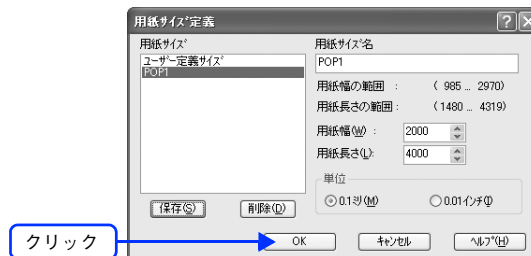
不定形紙への印刷は、いくつかご注意いただく点があります。以下のページを参照してから印刷を実行してください。
本書 114 ページ「不定形紙への印刷」

1 **プリンタドライバの設定画面を表示します。**
本書 34 ページ「画面の表示方法」

2 **プリンタドライバの［基本設定］ダイアログの［用紙サイズ］リストから［ユーザー定義サイズ］を選択します。**

3 ［用紙サイズ名］に登録名を入力し、登録したい［用紙幅］と［用紙長さ］を入力してから、［保存］をクリックします。

数値の単位は、［0.1 ミリ］または［0.01 インチ］のどちらかを選択できます。設定できるサイズの範囲は次の通りです。

- 用紙幅：98.5 ～ 297.0mm（3.88 ～ 11.69 インチ）
- 用紙長さ：148.0 ～ 431.9mm（5.83 ～ 17.00 インチ）

- 登録できる用紙サイズの数は 20 件までです。
- すでに登録されている用紙サイズを変更する場合は、［用紙サイズ］リストから変更したい用紙サイズをクリックして選択し、保存し直します。
- すでに登録されている用紙サイズを削除する場合は、［用紙サイズ］リストから削除したい用紙サイズをクリックして選択し、［削除］をクリックします。
- プリンタドライバを再インストールした場合でも、登録された用紙サイズは保持されます。

4 ［OK］をクリックします。

以上で定義した用紙サイズが［用紙サイズ］リストから選択できるようになります。
この後は、通常印刷する手順と同様に印刷してください。

任意の用紙サイズに印刷する

不定形紙への印刷は、いくつかご注意いただく点があります。以下のページを参照してから印刷を実行してください。
☞ 本書 114 ページ「不定形紙への印刷」

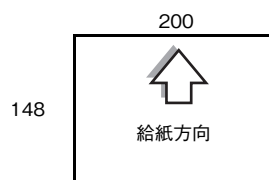
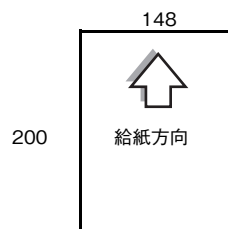
不定形紙への印刷は次の手順で行ってください。

1 印刷する不定形紙の用紙サイズをユーザー定義サイズ / カスタム用紙サイズとしてあらかじめプリンタドライバの［用紙サイズ］に登録します。

☞ 本書 23 ページ「任意の用紙サイズを登録する」

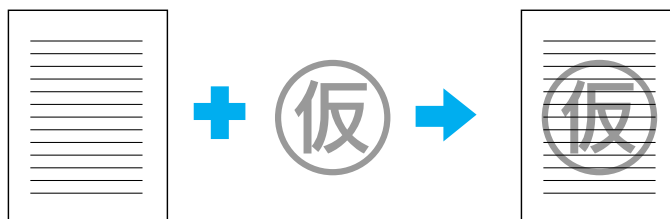
2 ［ユーザー定義サイズ］/［カスタム用紙（サイズ）］で設定した用紙方向に合わせて、MP トレイに用紙をセットします。

< 例 >ユーザー定義サイズを「用紙幅 148mm × 用紙長 200mm」に設定した場合

< 例 >ユーザー定義サイズを「用紙幅 200mm × 用紙長 148mm」に設定した場合

3 印刷データで設定している用紙サイズと同じ用紙サイズを、1 で登録した［用紙サイズ］リストの中から選択して、印刷を実行します。

以上で任意の用紙サイズへの印刷は終了です。

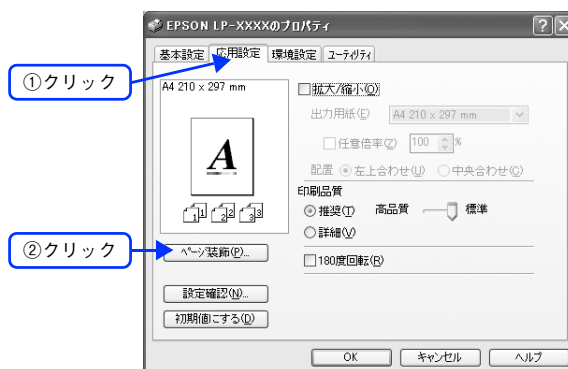
「仮」などのスタンプマークを重ねて印刷

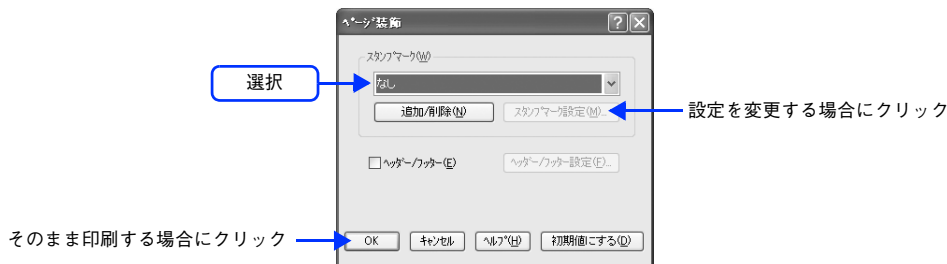
印刷した文書を管理するときに、「㊙」、「重要」、「(仮)」などのスタンプを押していませんか。プリンタドライバのスタンプマーク機能を使えば、文書自体にこうしたスタンプマークを重ねて印刷できますので手間が省けます。大量の文書にスタンプを押す必要がある場合でも、一度設定すれば手作業で何度もスタンプを押す必要がなく、しかも押し間違いもありません。

スタンプマークを重ねて印刷する

スタンプマークを印刷する手順は次の通りです。

1 プリンタドライバの設定画面を表示します。

☞ 本書 34 ページ「画面の表示方法」

2 ［応用設定］タブをクリックして、［ページ装飾］をクリックします。

3 ［ページ装飾］ダイアログの［スタンプマーク］リストボックスから印刷するスタンプを選択します。

- そのまま印刷する場合は、［OK］をクリックして 6 へ進みます。
- スタンプマークの設定を変更する場合は、［スタンプマーク設定］をクリックして 4 へ進みます。

4 スタンプマークの設定を変更してから、［OK］をクリックします。

5 ［OK］をクリックして［ページ装飾］ダイアログを閉じます。

6 ［OK］をクリックして［応用設定］ダイアログを閉じ、アプリケーションソフトから印刷を実行します。

選択したマークが重ね合わされて印刷されます。

オリジナルスタンプマークを登録する

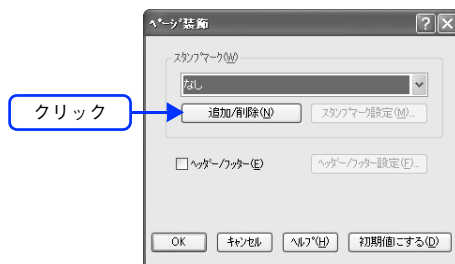
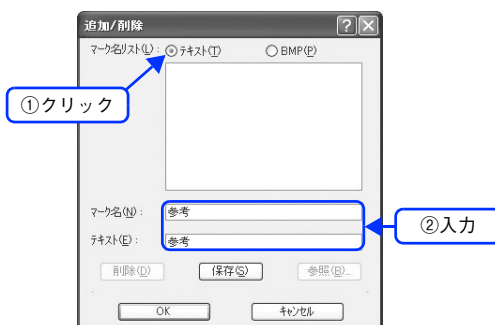
すでに登録されているスタンプマークのほかに、任意のテキスト（文字）やお好みの画像（BMP* 画像）を登録して印刷することができます。

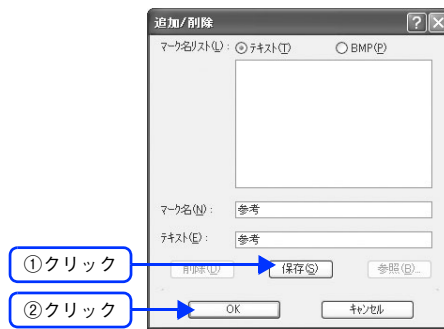
*BMP：画像ファイルを保存する際のファイル形式の 1 つ。

- 画像を登録したい場合は、次の操作を始める前に、画像を準備しておいてください。なお、登録できる画像のファイル形式は BMP だけです。
- 画像と単語を合計 10 個まで登録できます。

テキストマークの登録

1 ［応用設定］ダイアログを開いて、［ページ装飾］をクリックします。

2 ［ページ装飾］ダイアログの［追加 / 削除］をクリックします。

3 ［テキスト］をクリックし、［マーク名］に任意の登録名を、［テキスト］に登録したい文字を入力します。

先に［テキスト］に文字を直接入力すると、同じ文字が自動的に［マーク名］に入力されます。入力した文字と同じマーク名を付けたい場合に便利です。なお、［マーク名］に直接入力すれば、［テキスト］内容とは別の名称で登録できます。

4 ［保存］をクリックして、［OK］をクリックします。

これで［スタンプマーク設定］ダイアログの［マーク名］リストにオリジナルのテキストマークが登録されました。

登録したスタンプマークを削除するには、削除したいマーク名を［マーク名リスト］から選択して［削除］をクリックします。［削除］をクリックした後、［ページ装飾］ダイアログとプリンタプロパティのダイアログの［OK］をクリックして必ず一旦閉じてください。

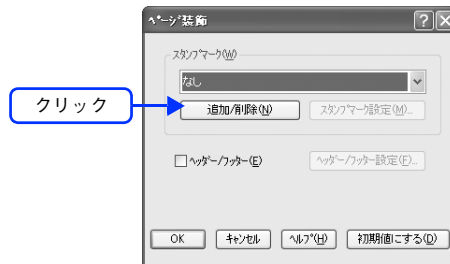
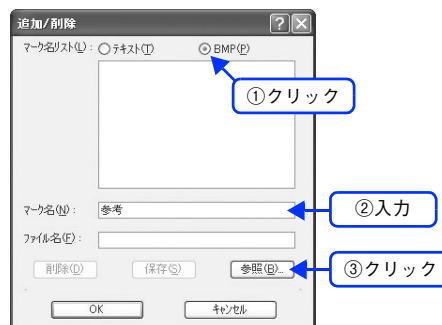
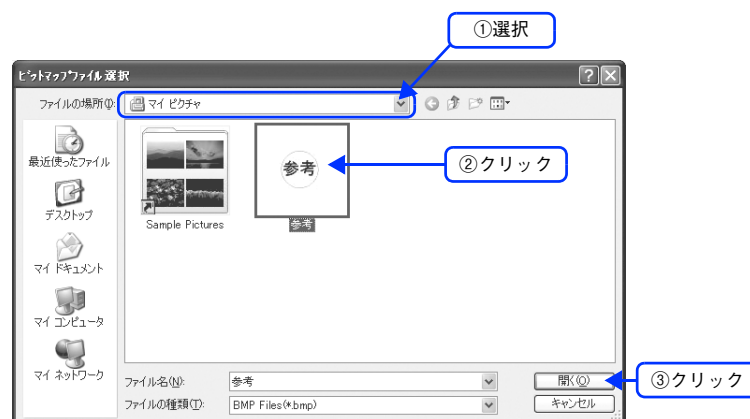
5 ［ページ装飾］ダイアログで［OK］をクリックします。

スタンプマークが登録されました。
登録したスタンプマークは、［スタンプマーク設定］ダイアログ左側のプレビュー部で確認できます。

■ ビットマップ(BMP 画像)マークの登録

1 アプリケーションソフトでスタンプマークを作成し、BMP 形式で保存します。

2 ［応用設定］ダイアログを開いて、［ページ装飾］をクリックします。

3 ［ページ装飾］ダイアログの［追加 / 削除］をクリックします。

4 ［BMP］をクリックし、［マーク名］に任意の登録名を入力してから、［参照］をクリックします。

5 1 でスタンプマークを保存したフォルダを選択し、登録するスタンプマークのファイル名をクリックしてから、［開く］をクリックします。

6 ［保存］をクリックして、［OK］をクリックします。

登録したスタンプマークを削除するには、［マーク名リスト］から削除したいマーク名を選択して［削除］をクリックします。［削除］をクリックした後、［ページ装飾］ダイアログとプリンタプロパティのダイアログの［OK］をクリックして必ず一旦閉じてください。

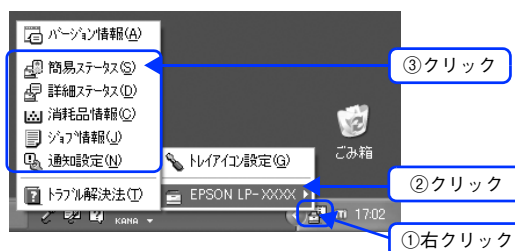
7 ［ページ装飾］ダイアログで［OK］をクリックします。

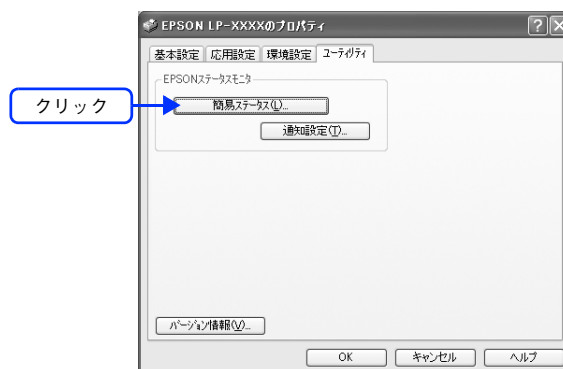
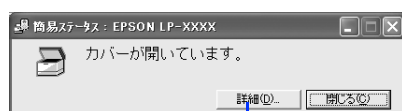
以上で［スタンプマーク設定］ダイアログの［マーク名］リストにオリジナルのビットマップマークが登録されました。登録したスタンプマークは、［スタンプマーク設定］ダイアログ左側のプレビュー部で確認できます。

本機の状態をコンピュータ上で確認

EPSON ステータスモニタでプリンタの状態を確かめるために、次の 2 通りの方法で［簡易ステータス］や［詳細ステータス］ダイアログなどの各項目を開くことができます。

［方法 1］
タスクトレイ上にある EPSON ステータスモニタのアイコンを右クリックし、［EPSON LP-M5500］－［簡易ステータス］や［詳細ステータス］など表示させたい画面の名前をクリックします。

☞ 本書 60 ページ「［簡易ステータス］ダイアログ」
☞ 本書 61 ページ「［詳細ステータス］ダイアログ」
☞ 本書 62 ページ「［消耗品情報］ダイアログ」
☞ 本書 63 ページ「［ジョブ情報］ダイアログ」
☞ 本書 66 ページ「［通知設定］ダイアログ」

- ［バージョン情報］をクリックすると、EPSON ステータスモニタのバージョン情報を表示します。
- ［トラブル解決法］をクリックすると、解決法を説明するファイルの先頭ページを開きます。

［方法 2］
プリンタドライバの［ユーティリティ］ダイアログを開き、［簡易ステータス］をクリックします。

開いた［簡易ステータス］ダイアログで［詳細］をクリックすると［詳細ステータス］ダイアログに切り替わります。
☞ 本書 61 ページ「［詳細ステータス］ダイアログ」

3 プリンタドライバ情報

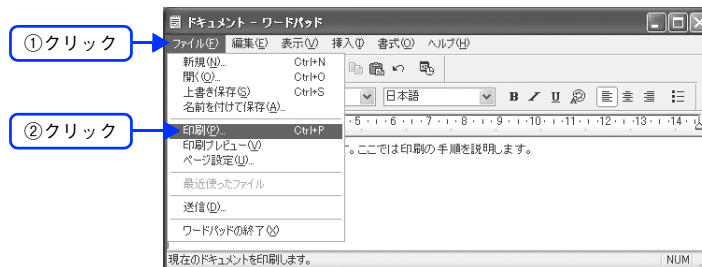
プリンタドライバの機能を説明しています。

画面の表示方法

印刷に関する各種の設定は、プリンタドライバのプロパティを開いて変更します。プロパティの開き方は、大きく分けて2通りあります。この開き方によって、設定できる項目が異なります。異なる点は、各設定項目の説明を参照してください。

アプリケーションソフトから開く

通常の印刷時は、アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開いて設定します。アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開く方法は、ソフトウェアによって異なります。各ソフトウェアの取扱説明書を参照してください。ここでは、Windows XP に添付の「ワードパッド」の場合を説明します。

1 **アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］をクリックして［印刷］ダイアログを表示させます。**

2 **［プリンタの選択］でプリンタ名に EPSON LP-M5500 が選択されていることを確認して［詳細設定］（Windows XP/Server 2003 以外の場合は［プロパティ］）をクリックします。**

Windows 2000 の「ワードパッド」のように、［印刷］ダイアログ内で直接プリンタのプロパティを操作できる場合があります。

プリンタドライバの設定画面が表示されます。

[スタート]メニューから開く

［スタート］メニューから開くことができる［プリンタと FAX］（Windows XP/Server 2003 以外の場合は［プリンタ］）フォルダでは、コンピュータにインストールされているプリンタの設定・管理と、新しいプリンタの追加が実行できます。

［プリンタと FAX］/［プリンタ］フォルダからプリンタドライバのプロパティを開いた場合の設定値は、アプリケーションソフトから開いた際の初期値になります。日常的に使う設定値は本手順であらかじめ設定しておいてください。

［プリンタと FAX］/［プリンタ］フォルダからプリンタドライバのプロパティを開いて、プリンタドライバを設定する方法はいくつもあります。ここでは代表的な手順を説明します。

1 ［スタート］メニューから［プリンタと FAX］/［プリンタ］を開きます。

Windows XP

① ［スタート］-［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。

② ［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］をクリックします。

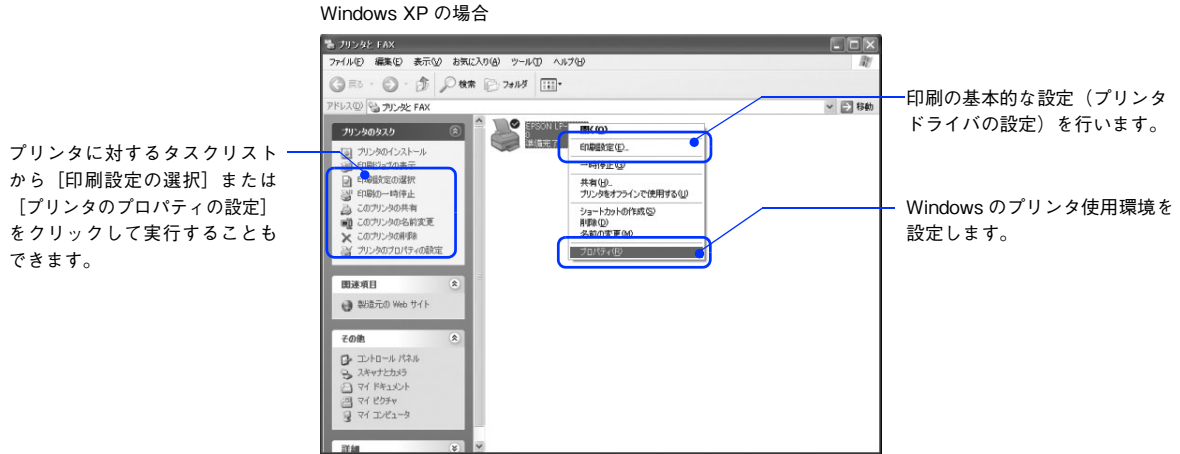
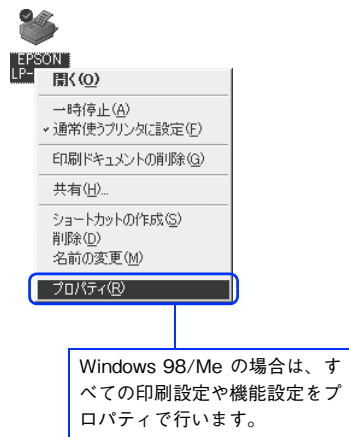
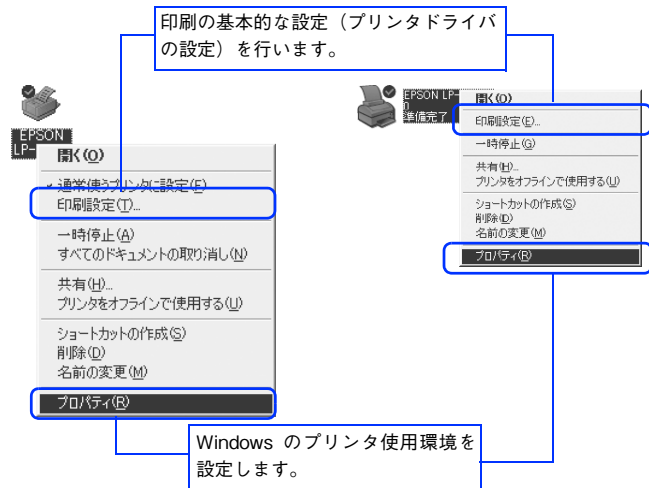
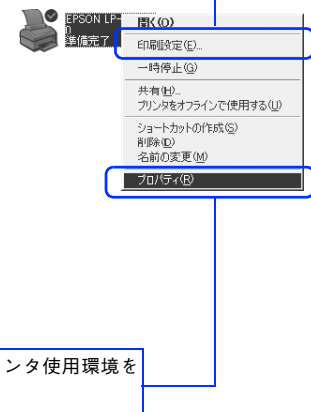
Windows Server 2003

［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタと FAX］にカーソルを合わせ、2 へ進みます。［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。

Windows 98/Me/2000

［スタート］-［設定］-［プリンタ］をクリックします。

2 LP-M5500 のプリンタアイコンを右クリックして、表示されたメニューで［プロパティ］をクリックします。

Windows 2000/XP/Server 2003 の場合は［印刷設定］または［プロパティ］で設定できる機能が異なります。異なる点は、各設定項目の説明を参照してください。

- プリンタを選択して、［ファイル］メニューから操作することもできます。
- Windows 2000/XP/Server 2003 で［プロパティ］の設定を行うには、標準ユーザー（Power Users）以上の権限が必要です。
- Windows 2000/XP/Server 2003 で［印刷設定］を設定するには制限ユーザー（Users）以上の権限が必要です。

プリンタドライバの設定画面が表示されます。

［基本設定］ダイアログ

プリンタドライバの［基本設定］ダイアログでは、印刷に関わる基本的な設定を行います。

<例> Windows XPでアプリケーションソフトから開いた場合

①用紙サイズ

アプリケーションソフトで設定した印刷データの用紙サイズを選択します。目的の用紙サイズが表示されていない場合は、スクロールバーの矢印（▲/▼）をクリックして表示させてください。

！注意

- アプリケーションソフトで設定した用紙サイズとプリンタドライバの［用紙サイズ］は必ず一致させてください。サイズが異なる場合、アプリケーションソフトによっては、間違ったサイズで印刷したり、印刷できない場合があります。
- Windows 2000/XP/Server 2003 で［動作環境設定］ダイアログの［プリントサーバー用紙サイズを使用する］をチェックしている場合は、本機がサポートしないサイズが表示されます。本機がサポートしないサイズを選択すると、思い通りの印刷結果が得られない場合があります。
  ☞ 本書 56 ページ「［動作環境設定］ダイアログ」
  ☞ 本書 91 ページ「各給紙装置にセットできる用紙サイズと容量」

自動縮小印刷：

本機がサポートするサイズより大きい A2 などを選択した場合、次の画面が表示されます。［出力用紙］のリストボックスで選択した用紙サイズに合わせて、自動縮小して印刷します。

ユーザー定義サイズ：

任意の用紙サイズを設定するには、リスト内の［ユーザー定義サイズ］を選択します。

設定できるサイズは次の通りです。

- 用紙幅：98.5 ～ 297.0mm（3.88 ～ 11.69 インチ）
- 用紙長さ：148.0 ～ 431.9mm（5.83 ～ 17.00 インチ）

☞ 本書 23 ページ「定形サイズ以外の用紙に印刷」

②印刷方向

印刷する用紙の方向を、[縦]・[横]のいずれかクリックして選択します。アプリケーションソフトで設定した印刷の向きに合わせます。

③給紙装置

給紙装置を選択します。

項目	説明
自動選択	印刷実行時に、[用紙サイズ]で選択したサイズの用紙がセットされている給紙装置を探して給紙します。
MP トレイ	MP トレイから給紙します。
用紙カセット 1	標準の用紙カセットから給紙します。
用紙カセット 2 ～ 4	オプションの増設カセットユニット装着時のみ表示されます。オプションのカセットユニットの各用紙カセットから給紙します。

- MP トレイにセットした用紙のサイズは、操作パネルから[各種設定]-[プリンタ設定]-[給紙装置設定]を開いて[MP トレイサイズ]で設定します。
  本書 103 ページ「操作パネルで用紙サイズを設定する(MP トレイのみ)」
- 選択した給紙装置から指定されたサイズの用紙が給紙されない場合は、エラーが発生します([用紙サイズのチェックをしない]をオフに設定している場合)。
  本書 54 ページ「[拡張設定]ダイアログ」
- [自動選択]を選択して拡大 / 縮小印刷を行うと、[応用設定]ダイアログの[出力用紙]で設定したサイズの用紙がセットされている給紙装置を自動的に選択して給紙します。
  本書 40 ページ「[応用設定]ダイアログ」

④用紙種類

印刷に使用する用紙種類を選択します。

項目	説明
指定しない	• 普通紙タイプの用紙に印刷する場合で「用紙タイプ選択機能」を使用しないときに選択します。 • [給紙装置]は手動で選択する必要があります。
普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき	• 紙厚が64～90g/m^{2}の左記普通紙タイプの用紙に印刷する場合で「用紙タイプ選択機能」を使用するときに選択します。 • [給紙装置]には[自動選択]が自動選択されます。
OHP シート	• EPSON カラーレーザープリンタ用 OHP シート(型番:LPCOHPS1)に印刷する場合に選択します。 • [給紙装置]には[MP トレイ]が自動選択されます。
ラベル	• ラベル紙に印刷する場合に選択します。 • [給紙装置]には[MP トレイ]が自動選択されます。
厚紙	• 紙厚が 91 ～ 163g/ ㎡の厚紙に印刷する場合に選択します。 • [給紙装置]には[MP トレイ]が自動選択されます。
厚紙(裏面)	• 厚紙の片面印刷後にさらにもう一方の面に印刷する場合に選択します。 • [給紙装置]には[MP トレイ]が自動選択されます。

項目	説明
ハガキ（裏面）	• 郵便ハガキ、往復郵便ハガキの裏面に印刷する場合に選択します。 • ［給紙装置］には［MP トレイ］が自動選択されます。

- 用紙サイズを郵便ハガキ、往復郵便ハガキ、または封筒サイズにした場合、プリンタドライバの［用紙種類］の設定に関係なく、本機内部では厚紙として印刷を行います。
- 郵便ハガキ、往復郵便ハガキの片面だけに印刷する場合は特に［用紙種類］を設定する必要はありませんが、両面に印刷する場合で片面の印刷後もう一方の面を印刷するときは［用紙種類］を［ハガキ（裏面）］に設定してください。
- 操作パネルで用紙タイプを設定している場合に、「用紙タイプ選択機能」が使用できます。
  ☞ 活用ガイド「付録」-「操作パネルによる設定 / 確認」-「プリンタ設定の項目一覧」
  ☞ 本書 116 ページ「用紙タイプ選択機能」

⑤色

カラー印刷を行うときは、［カラー］を、モノクロ印刷を行うときは［モノクロ］を選択します。

⑥割り付け

2 ページまたは 4 ページ分の連続したデータを 1 枚の用紙に自動的に縮小割り付けして印刷します。割り付けるページ数と順序を設定するには、［割り付け］をチェックして［割り付け設定］をクリックします。

☞ 本書 14 ページ「用紙を節約（割り付け印刷）」

⑦両面印刷

両面印刷を行います。製本印刷の設定も行えます。

☞ 本書 16 ページ「用紙を節約（両面印刷）」

両面印刷できる用紙は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 115 ページ「両面印刷について」

両面印刷の製本機能と割り付け機能を同時に設定することはできません。

⑧印刷部数

印刷する部数（1 ～ 999）を指定します。

⑨部単位で印刷

2 部以上印刷する場合に 1 ページ目から最終ページまでを 1 部単位にまとめて印刷します。印刷する部数は、⑧の［印刷部数］で指定します。

！注意

アプリケーションソフトで部単位印刷を設定できる場合は、通常アプリケーション側で設定してください（アプリケーションソフトで設定できない場合は、プリンタドライバで［部単位で印刷］を設定します）。ただし、［拡張設定］ダイアログの［アプリケーションの部単位印刷を優先］を無効にした場合は、必ずプリンタドライバで［部単位で印刷］を設定してください。

☞ 本書 55 ページ「⑨ アプリケーションの部単位印刷を優先」

⑩［設定確認］

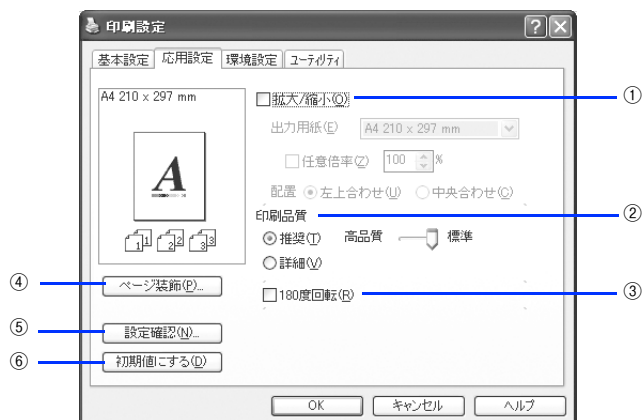
プリンタドライバの設定一覧を表示します。また、設定の一覧を印刷することができます。

⑪［初期値にする］

［基本設定］ダイアログの設定を初期状態に戻します。

［応用設定］ダイアログ

プリンタドライバの［応用設定］ダイアログでは、印刷品質などの設定を行います。

<例> Windows XPでアプリケーションソフトから開いた場合

①拡大 / 縮小

［応用設定］ダイアログの［拡大 / 縮小］をチェックすると、次の項目が設定できます。

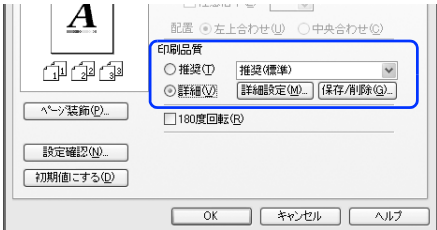
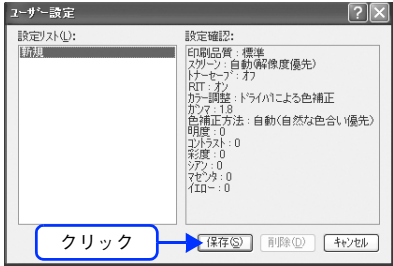
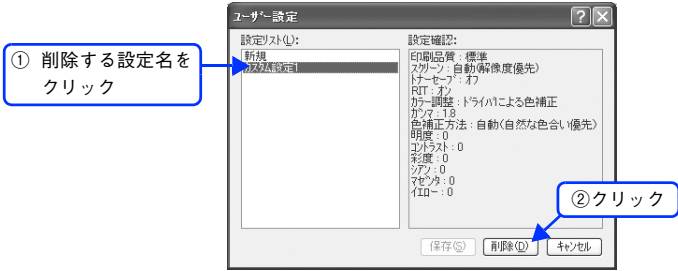
出力用紙

本機にセットした用紙サイズに合わせて自動的に拡大 / 縮小（フィットページ）印刷するには、用紙サイズをリストから選択します。設定した情報が画面左側に表示されます。

［出力用紙］は［基本設定］ダイアログで設定した［用紙サイズ］に対して設定されます。
本書 37 ページ「［基本設定］ダイアログ」

任意倍率

50 ～ 200% までの任意の倍率を 1% 単位で設定できます。この場合は、フィットページ印刷は行われません。

配置

フィットページ印刷する場合、ページのどこに印刷するかを選択します。

項目	説明
左上合わせ	用紙の左上を基準にしてフィットページ印刷を行います。
中央合わせ	用紙の中央を基準にしてフィットページ印刷を行います。

②印刷品質

印刷の品質を決定するさまざまな機能を設定します。

項目	説明
推奨	一般的に推奨できる条件で印刷します。ほとんどの場合、この［推奨］で良い印刷結果が得られます。印刷品質（解像度）を［標準］（300dpi）または［高品質］（600dpi）のどちらかに設定できます。通常は［標準］の設定で十分な印刷品質が得られます。［高品質］は、印刷品質を最優先にして印刷を行うときに選択してください。

項目	説明
詳細	［詳細］をクリックすると、プリセットメニューのリストボックス、［詳細設定］、［保存 / 削除］が有効になり、詳細な設定ができます。 ☞本書 43 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
［保存 / 削除］	**［詳細設定］ダイアログの変更内容を保存するには** ① あらかじめ［詳細設定］ダイアログで設定しておきます。 ☞本書 43 ページ「［詳細設定］ダイアログ」 ② ［応用設定］ダイアログの［保存 / 削除］をクリックします。 ③ ［保存］をクリックします。［カスタム設定1～10］として10組まで保存できます。 クリック **削除するには** ① ［応用設定］ダイアログの［詳細］－［保存 / 削除］を順番にクリックします。 ② 削除する設定名をクリックして、［削除］をクリックします。 ① 削除する設定名をクリック ②クリック ③ 確認ダイアログで［はい］をクリックします。

印刷できない場合や、メモリ関連のエラーメッセージが表示される場合は、次のいずれかの方法で対処してください。

- 印刷データの容量や色数を減らす。
- ［印刷品質］を［標準］に設定する。
- ［データ圧縮方法］を［データサイズ優先］に設定する。
  ☞ 本書 54 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
- ［ページエラー回避］を有効にする。
  ☞ 本書 54 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
- 使用していないインターフェイスを、操作パネルで使用しない状態に設定する。
  ☞ 活用ガイド「付録」-「操作パネルによる設定 / 確認」-「ホスト I/F 設定」

上記の方法でメモリ関連のエラーが解決できないときは、本機のメモリを増設すると解決できる場合があります。

カラー印刷時に［詳細］をクリックすると、次のプリセットメニューをご利用いただけます。

プリセットメニュー	用途
推奨（標準）	一般的なデータを印刷するのに適した設定です。印刷速度を重視した設定で印刷します。
ワープロ / グラフ	グラフや表を含むデータを印刷する場合に選択してください。この部分を鮮やかに印刷して読みやすくします。印刷速度を重視した設定で印刷します。
グラフィック /CAD	グラフィック画像や CAD による描画を印刷する場合に選択してください。細線までくっきりと鮮やかに印刷します。印刷速度を重視した設定で印刷します。
写真	写真を中心としたデータを印刷する場合に選択してください。印刷速度を重視した設定で印刷します。
オートフォトファイン！5	EPSON 独自の画像補正技術オートフォトファイン！5を使用し、印刷データ内の画像を高画質化して印刷します。
ICM	WindowsのICM(Image Color Matching)機能を使用してスキャナから取り込んだ画像と、プリンタの印刷結果の色合いを合わせて印刷します。
sRGB	スキャナやディスプレイなどの機器が sRGB に対応している場合、それぞれの機器とカラーマッチングを行って印刷します。お使いの機器が sRGB に対応しているかは、機器のメーカーにお問い合わせください。
推奨（高品質）	一般的なデータを印刷するのに適した設定です。印刷品質を重視した設定で印刷します。
高品質ワープロ / グラフ	グラフや表を含むデータを印刷する場合に選択してください。この部分を鮮やかに印刷して読みやすくします。印刷品質を重視した設定で印刷します。
高品質グラフィック /CAD	グラフィック画像や CAD による描画を印刷する場合に選択してください。細線までくっきりと鮮やかに印刷します。印刷品質を重視した設定で印刷します。
高品質写真	写真を中心としたデータを印刷する場合に選択してください。印刷品質を重視した設定で印刷します。

③180 度回転
印刷データを 180 度回転して印刷します。

④［ページ装飾］
「スタンプマーク」と「ヘッダー / フッター」の設定をするダイアログを表示します。
☞ 本書 47 ページ「［ページ装飾］ダイアログ」
☞ 本書 48 ページ「[スタンプマーク設定] ダイアログ」

⑤［設定確認］
プリンタドライバの設定一覧を表示します。また、設定の一覧を印刷することができます。

⑥［初期値にする］
［応用設定］ダイアログの設定を初期状態に戻します。

[詳細設定]ダイアログ

［応用設定］ダイアログで［印刷品質］の［詳細］をクリックして、さらに［詳細設定］をクリックすると、［詳細設定］ダイアログが開いて印刷条件の詳細な設定ができます。

①色

カラー印刷を行うときは、［カラー］を、モノクロ印刷を行うときは［モノクロ］を選択します。

②印刷品質

印刷の解像度を［標準］（300dpi）または［高品質］（600dpi）から選択できます。［高品質］を選択すると、きめ細かく印刷できますが印刷時間は長くなります。品質より印刷速度を優先する場合は、［標準］を選択してください。

項目	説明
標準	文字文書の高速印刷（品質より印刷速度を優先する場合）に適しています。
高品質	写真のようにグラデーションのある画像（無段階に色調が変化する画像）の印刷に適しています。

印刷できない場合や、メモリ関連のエラーメッセージが表示される場合は、次のいずれかの方法で対処してください。

- 印刷データの容量や色数を減らす。
- ［印刷品質］を［標準］に設定する。
- ［データ圧縮方法］を［データサイズ優先］に設定する。
  本書 54 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
- ［ページエラー回避］を有効にする。
  本書 54 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
- 使用していないインターフェイスを、操作パネルで使用しない状態に設定する。
  活用ガイド「付録」-「操作パネルによる設定 / 確認」-「プリンタ設定の項目一覧」

上記の方法でメモリ関連のエラーが解決できないときは、本機のメモリを増設すると解決できる場合があります。

③スクリーン（カラー印刷のみ）
スクリーン線数（lpi）を選択します。

項目	説明
自動（階調優先）	写真や図形を印刷する際に階調を優先してスクリーン線数を自動的に設定します（文字の印刷は解像度を優先します）。
自動（解像度優先）	図形や文字を印刷する際に解像度を優先してスクリーン線数を自動的に設定します（写真の印刷は階調を優先します）。
階調優先	階調を優先して印刷します。色調や色の濃淡が無段階に変化する連続階調、写真やグラデーションのあるデータの印刷時に選択してください。
解像度優先	解像度を優先して印刷します。文字や細い線や細かい模様のあるデータの印刷時に選択してください。

［基本設定］ダイアログの［用紙種類］で［OHP シート］を選択している場合は、OHP シート専用のスクリーンが用いられるので設定できません。

④トナーセーブ
［詳細設定］を選択すると、トナーセーブ機能を設定できます。カラー、モノクロ印刷とも印刷濃度を抑えることでトナーを節約します（カラー印刷時は色の表現力を低く抑えて印刷します）。試し印刷をするときなど、印刷品質にこだわらない場合にご利用ください。

トナーセーブ機能を有効にすると、色の濃度を低くして印刷するため、薄い色や細かい線などは印刷されない場合があります。

⑤RIT
RIT* （Resolution Improvement Technology）を有効にすると大きな文字がきれいに印刷できたり、写真画像の斜線補正や輪郭補正などに効果があります。

*RIT：斜線や曲線などのギザギザをなめらかに印刷する EPSON 独自の印刷機能。

- RIT 機能を有効にしてグラデーション（無段階に変化する階調）のある画像を印刷すると、意図した印刷結果が得られないことがあります。この場合は RIT 機能を使用しないでください。
- カラー印刷の場合、③の［スクリーン］の設定またはデータ上の色によって RIT 機能が有効にならないことがあります。

⑥ドライバによる色補正（カラー印刷のみ）
プリンタドライバによるカラー調整を行います。［ドライバによる色補正］を選択した場合は、次の設定でカラーを調整できます。

ガンマ（カラー印刷のみ）：
ガンマ値は、画像階調の入力値と出力値の関係を表すときに使用する単位で、この値を変更することで中間調の明るさの見え方が変わります。

項目	説明
1.5	ガンマ値 1.8 に比べて柔らかい感じの画像を印刷することができます。
1.8	通常はこの設定で印刷してください。ガンマ値 1.5 に比べて立体感があり、メリハリのある画像を印刷することができます。
2.2	sRGB 対応製品と色合わせして印刷する場合に選択してください。⑨の［sRGB］を選択しても同様の結果が得られます。

色補正方法(カラー印刷のみ):
色の補正方法を選択できます。

項目	説明
自動（自然な色合い優先）	文字を鮮やかな色合いに、グラフィックとイメージを自然な色合いになるようにカラー調整します。
自動（鮮やかさ優先）	文字とグラフィックを鮮やかな色合いに、イメージを自然な色合いになるようにカラー調整します。
自然な色合い	より自然な発色になるようにカラー調整します。
鮮やかな色合い	より鮮やかな発色になるようにカラー調整します。
色補正なし	カラー調整しません。ICM 用プロファイルを作成する際の基準色を印刷するときに選択します。通常は、選択しないでください。

明度:
画像全体の明るさを調整します。

コントラスト:
画像全体のコントラスト（明暗比）を調整します。コントラストを上げると、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。逆にコントラストを下げると、画像の明暗の差が少なくなります。

彩度(カラー印刷のみ):
画像全体の彩度（色の鮮やかさ）を調整します。彩度を上げると、色味が強くなります。彩度を落とすと、色味がなくなり、無彩色化されてグレーに近くなります。

シアン、マゼンタ、イエロー(カラー印刷のみ):
各色の強さを調整します。

	-25	←0→	+25
シアン	赤みが強くなります。	←0→	青緑（シアン）が強くなります。
マゼンタ	緑色が強くなります。	←0→	赤紫（マゼンタ）が強くなります。
イエロー	青色が強くなります。	←0→	黄色（イエロー）が強くなります。

⑦オートフォトファイン !5（カラー印刷のみ）

EPSON 独自のオートフォトファイン !5 機能を使って、画像を調整します。ビデオ、デジタルカメラ、フィルムスキャナ、スキャナなどから取り込んだ画像や Photo CD のデータなどを自動的に補正して印刷します。［オートフォトファイン !5］を選択した場合は、次の設定でカラーを調整します。

☞ 本書 196 ページ「印刷時のポイント（オートフォトファイン !5）」

項目	説明
色調	印刷する際の画像の色調の補正方法を、［標準］［硬調］［セピア］［鮮やか］［モノクロ］［色調補正なし］の項目から選択することができます。それぞれの効果は各項目を選択した際の右側の画像の変化で確認してください。
効果	印刷する際に画像に特殊効果を加えて印刷します。［なし］［シャープネス］［ソフトフォーカス］［キャンパス］［和紙］の中から選択することができます。リスト下のスライドバーは、加える効果の強弱（［ハード］、［ソフト］）を調整することができます。それぞれの効果は各項目を選択した際の右側の画像の変化で確認してください。
デジタルカメラ用補正	デジタルカメラで撮影した画像に対して、最適な補正をして印刷します。

- 画像のサイズやコンピュータの性能によっては印刷時間が多少長くなります。
- オートフォトファイン !5 は、1677 万色（24bit）の色情報を持った画像データに対して最も有効に機能します。256 色（8bit）などの少ない色情報の画像データには有効に機能しません。
- EPSON 製デジタルカメラの画像転送ソフトにおいてオートフォトファインを使用した画像データには、プリンタドライバのオートフォトファイン！5 は使用しないでください。

⑧ICM（カラー印刷のみ）

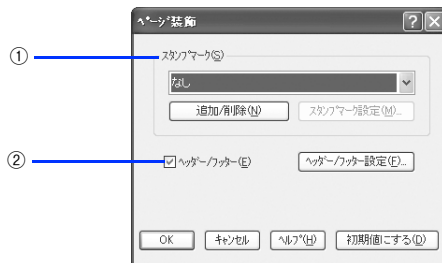
Windows の ICM（Image Color Matching）機能を使用して、スキャナから取り込んだ画像とプリンタの印刷結果の色合いを合わせるときに選択します。

⑨sRGB*（カラー印刷のみ）

スキャナやディスプレイなどが sRGB に対応している場合、それぞれの機器とカラーマッチング（色合わせ）を行って印刷します（プリンタドライバでの調整項目はありません）。ご利用の機器が sRGB に対応しているかは、機器のメーカーにお問い合わせください。

*sRGB：Microsoft 社とヒューレットパッカード社が共同で制定した RGB の色の規格。

[ページ装飾]ダイアログ

［応用設定］ダイアログで［ページ装飾］をクリックすると、［ページ装飾］ダイアログが開きます。［ページ装飾］ダイアログは、スタンプマーク印刷、ヘッダー / フッター印刷を行う場合に設定するダイアログです。

①スタンプマーク

印刷データに㊙などの画像や「重要」などのテキストを重ね合わせて印刷します。印刷するスタンプマークは、［スタンプマーク］リストから選択します。詳しくは、以下のページを参照してください。

☞ 本書 48 ページ「[スタンプマーク設定] ダイアログ」
☞ 本書 28 ページ「オリジナルスタンプマークを登録する」

②ヘッダー/ フッター

ユーザー名や印刷日時など、印刷に関する情報を用紙のヘッダー（上部）/ フッター（下部）に印刷します。印刷するヘッダー / フッターを設定するには、［ヘッダー / フッター］をチェックして［ヘッダー / フッター設定］をクリックします。

［ヘッダー / フッター設定］ダイアログでは、印刷位置に対応するリストから印刷したい項目（なし・ユーザー名・コンピュータ名・日付・日付 / 時刻・部番号*）を選択して、［OK］をクリックします。

＊部番号 :部単位で印刷する場合に何部目であるかを示す番号

Windows 2000/XP/Server 2003 の場合、［ヘッダー / フッター］の設定は［動作環境設定］ダイアログでの［ドキュメント設定］の影響を受けます。

☞ 本書 56 ページ「[動作環境設定］ダイアログ」

■ [スタンプマーク設定] ダイアログ

［応用設定］ダイアログから開いた［ページ装飾］ダイアログで任意のスタンプマークを選択して［スタンプマーク設定］をクリックすると、［スタンプマーク設定］ダイアログが表示され、次の項目が設定できます。

ビットマップマーク選択時

登録したビットマップマーク選択時

登録したテキストマーク選択時

① プレビュー部
選択しているスタンプマークが表示されます。

② マーク名
印刷するスタンプマークをリストボックスから選択します。

③ 1 ページ目のみ印刷
用紙の 1 ページ目のみにスタンプマークを印刷します。

④ カラー
スタンプマークの色を選択します。

⑤ 配置
スタンプマークを文書の［前面］または［背面］どちらに配置するかを選択します。［前面］に配置すると、印刷データの文字やグラフィックスがスタンプマークにかくれてしまう場合があります。

⑥ 濃度
スタンプマークの印刷濃度（薄い・濃い）を調整します。

⑦ 位置
スタンプマークの印刷位置をリストボックスから選択します。

⑧ オフセット
スタンプマークの印刷位置をスライドバーで調整できます。

⑨ サイズ

印刷するスタンプマークのサイズを調整します。スライドバーを［－］側に移動するとより小さく、［＋］側に移動するとより大きくスタンプマークが印刷されます。

［サイズ］、［位置］、［オフセット］を設定する場合、スタンプマークが印刷保証領域を超えないように注意してください。

⑩ ファイル名（登録したビットマップマーク選択時のみ）

登録したビットマップマークを［マーク名］で選択した場合は、登録したビットマップのファイル名が表示されます。登録したビットマップファイルを変更する場合は、［参照］をクリックしてファイルを選択し直してください。

⑪ テキスト（登録したテキストマーク選択時のみ）

登録したテキストマークを［マーク名］で選択した場合は、登録した文字列が表示されます。一時的に文字を追加して変更することもできます。登録した文字を変更する場合は、［追加/削除］をクリックして同一マーク名で上書きしてください。

⑫ フォント設定（登録したテキストマーク選択時のみ）

テキストマークを選択した場合は、登録したテキストのフォントおよびスタイル（形状）を、リストボックスの中から選択することができます。

⑬ 回転（登録したテキストマーク選択時のみ）

テキストマークを選択した場合は、テキストマークの角度を設定できます。入力欄に角度を直接入力するか、スライドバーで設定してください。

⑭［初期値にする］

［スタンプマーク］ダイアログの設定を初期状態に戻します。

[環境設定]ダイアログ

[環境設定]ダイアログは、お使いの OS や開き方によって画面のイメージや設定できる項目が異なります。

[プリンタ]フォルダから開いた場合

		Windows 98/Me	Windows 2000/XP/Server 2003			
			印刷設定		プロパティ	
			管理者	管理者以外	管理者	管理者以外
設定項目	プリンタ（オプション情報）	○	―	―	○	△
	ステータスシート印刷	○	○	○	○	○
	拡張設定	○	○	○	―	―
	動作環境設定	○	△	△	○	△

アプリケーションソフトから開いた場合

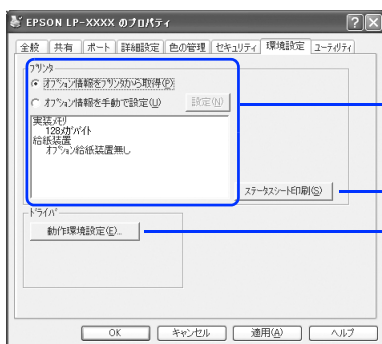
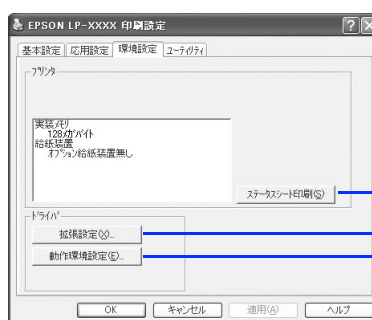
		Windows 98/Me	Windows 2000/XP/Server 2003	
			管理者	管理者以外
設定項目	プリンタ（オプション情報）	―	―	―
	ステータスシート印刷	○	○	○
	拡張設定	○	○	○
	動作環境設定	△	△	△

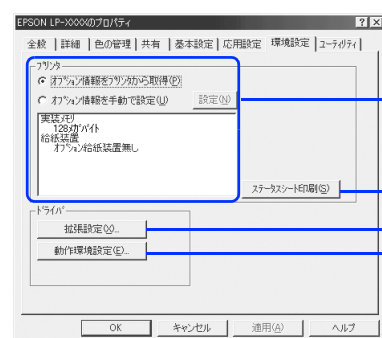
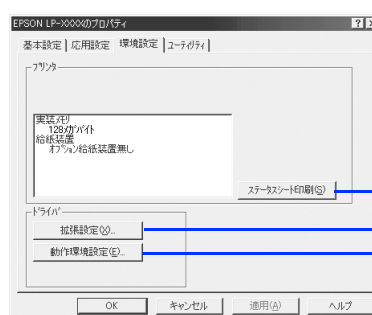
○:選択可（ダイアログを開いて設定できます）
△:確認のみ（選択できますが、設定できません）
ー:非表示（選択・設定できません）

Windows 2000/Server 2003 の場合は管理者権限（Power Users 以上の権限）のあるユーザーまたはアクセス許可を与えられた Users のみが、Windows XP の場合は「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーが設定を変更でき、[プロパティ]または[印刷設定]のどちらで[環境設定]ダイアログを開くかによって、設定できる項目（[拡張設定]または[動作環境設定]）が異なります。ダイアログの開き方は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 34 ページ「画面の表示方法」

代表的な画面を掲載して項目の説明をします。

<例> Windows 2000/XP/Server 2003

［プリンタ］フォルダから［プロパティ］を選択して開いた場合

［プリンタ］フォルダから［印刷設定］を選択して開いた場合
（アプリケーションソフトから開いた場合）

<例> Windows 98/Me

［プリンタ］フォルダから［プロパティ］を選択して開いた場合

アプリケーションソフトから開いた場合

①プリンタ（オプション情報）

［プリンタ］フォルダから［環境設定］ダイアログを開くと、プリンタに装着しているオプションの最新情報を表示します。本機では、実装しているメモリ容量とオプション（給紙装置など）の有無を表示します。オプション情報は、次のいずれかの方法で取得します。

項目	説明
オプション情報をプリンタから取得	［プリンタ］フォルダから［プロパティ］を選択してプリンタドライバを開いたときに、オプション情報を自動的に取得します。EPSON ステータスモニタがインストールされていて、かつ双方向通信が可能な場合のみ機能します。
オプション情報を手動で設定	［設定］をクリックして［実装オプション設定］ダイアログを開き、取り付けているメモリの容量やオプションを手動で設定します。 本書 24 ページ「［実装オプション設定］ダイアログ」

アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開いた場合（Windows 2000 /XP/ Server 2003 の場合は［印刷設定］を選択したとき）は、最新のオプション情報は表示されません。［設定］も表示されません。

②［ステータスシート印刷］

本機の状態や設定値を記載したステータスシートを印刷します。なお、コンピュータと本機の通信方向により、印刷されるステータスシートが次のように異なります。

- 双方向通信時：カラー印刷される日本語表記の標準ステータスシート（プリンタの設定情報が取得できる場合）
- 単方向通信時：モノクロ印刷されるカタカナ表記の簡易ステータスシート（プリンタの設定情報が取得できない場合）
  本書 158 ページ「ステータスシート（簡易版）を印刷する」

単方向通信時、操作パネルの［各種設定］ボタン -［プリンタ設定］-［デバイス設定］で［表示言語］が［English］の場合は、英語表記になります。

③［拡張設定］
印刷位置のオフセット値、白紙節約機能などの設定を行うときにクリックします。
本書 54 ページ「［拡張設定］ダイアログ」

④［動作環境設定］
印刷データを一時的に保存するためのフォルダを指定します。
本書 56 ページ「［動作環境設定］ダイアログ」

[実装オプション設定]ダイアログ

［プリンタ］フォルダから［プロパティ］を開き、［環境設定］ダイアログを開いて、［オプション情報を手動で設定］をクリックして［設定］をクリックすると、［実装オプション設定］ダイアログが表示され、次の項目が設定できます。

設定を変更した場合は［OK］をクリックすることで有効になります。

①実装メモリ

装着しているメモリの容量の合計を、リストから選択します。単位はメガバイト（MB）です。標準搭載のメモリの容量は 128MB です。

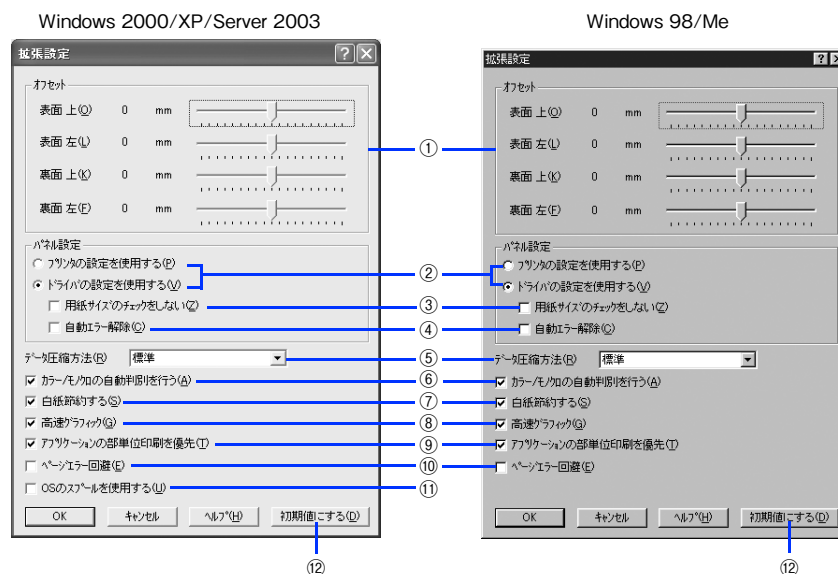
②オプション給紙装置

オプションの給紙装置を装着していない場合は、［オプション給紙装置無し］をクリックして選択します。オプション給紙装置を装着している場合は、装着した給紙装置名をクリックして選択します。選択を解除するには、再度クリックします。

[拡張設定]ダイアログ

［環境設定］ダイアログで［拡張設定］をクリックすると、［拡張設定］ダイアログが表示され、次の項目が設定できます。

Windows 2000/XP/Server 2003 で、［プリンタ］フォルダ（Windows XP/Server 2003 の場合は［プリンタと FAX］フォルダ）からプリンタドライバのプロパティを開いて、［環境設定］タブを選択した場合は表示されません。表示するためには、下記のいずれかの方法を選択してください。

- ［プリンタ］フォルダ（Windows XP/Server 2003 の場合は［プリンタと FAX］フォルダ）の［ファイル］メニューから［印刷設定］を選択する。
- アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開く。

①オフセット

印刷開始位置のオフセット値を表面 / 裏面それぞれに対して［上］（垂直位置）と［左］（水平位置）で設定します。1mm 単位で、次の範囲で設定できます。

上（垂直位置）：-9mm（上方向）～ 9mm（下方向）
左（水平位置）：-9mm（左方向）～ 9mm（右方向）

②プリンタの設定を使用する / ドライバの設定を使用する

次の③［用紙サイズのチェックをしない］、④［自動エラー解除］の項目について、操作パネルとプリンタドライバのどちらの設定を使用して印刷するかを選択できます。

項目	説明
プリンタの設定を使用する	操作パネルの設定を使用して印刷します（プリンタドライバでは設定できません）。 活用ガイド「付録」-「操作パネルによる設定 / 確認」-「プリンタ設定の項目一覧」
ドライバの設定を使用する	プリンタドライバでの設定を使用して印刷します。

③用紙サイズのチェックをしない

プリンタドライバで設定した用紙サイズと本機にセットした用紙サイズが合っているか確認しません。それぞれの用紙サイズが異なっていてもエラーを発生することなく印刷します。

④自動エラー解除

本機にエラーが発生したときに、一定時間（約 5 秒）経過後にエラー状態を自動的に解除する / しないを選択します。

⑤ データ圧縮方法
プリンタドライバからプリンタに送る印刷データの圧縮方法を指定します。印刷結果の画質を優先する場合や、本機に送付する印刷データの容量を小さくしたい場合に設定します。

項目	説明
標準	通常はこの設定でお使いください。
画質優先	印刷結果の画質を優先したい場合に選択してください。この場合、通常よりも印刷に時間がかかります。
データサイズ優先	プリンタに送るデータサイズを小さくしたい場合に選択してください。印刷時間は早くなりますが、思い通りの印刷結果が得られない場合があります。

⑥ カラー/ モノクロの自動判別を行う
印刷データがカラーデータであるかモノクロデータであるかを自動判別して、データに適した設定で印刷します。

⑦ 白紙節約する
白紙ページを印刷するかしないかを選択します。白紙ページを印刷しないので用紙を節約できます。

⑧ 高速グラフィック
グラフィック（円や矩形などを重ねて描いた図形）を高速に印刷します。グラフィックが正常に印刷できない場合は、チェックを外してください。

⑨ アプリケーションの部単位印刷を優先
アプリケーションで設定した部単位印刷の設定を優先します。

！注意　［アプリケーションの部単位印刷を優先］を無効にした（チェックを外す）場合は、アプリケーションソフトではなく、必ずプリンタドライバで［部単位で印刷］を設定してください。
本書 39 ページ「⑨ 部単位で印刷」

⑩ ページエラー回避
ページエラー オーバーランが発生する場合はチェックしてください。チェックすると 1 ページ分のデータを処理できる状態になってから印刷を開始して、ページエラーを回避することができます。

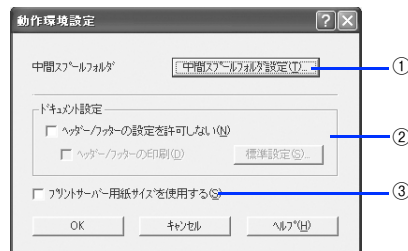
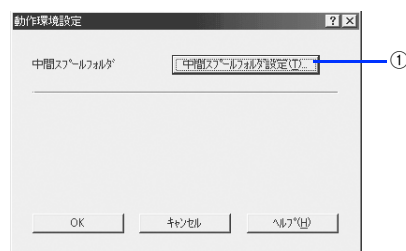
⑪ OS のスプールを使用する（Windows 2000/XP/Server 2003）
Windows のスプール機能を使用します。アプリケーションソフトによっては、画面と異なる印刷結果になる、印刷時間が長くなるなどの問題が発生することがあります。この場合は、チェックを外してください。

⑫［初期値にする］
［拡張設定］ダイアログの設定を初期状態に戻します。

[動作環境設定]ダイアログ

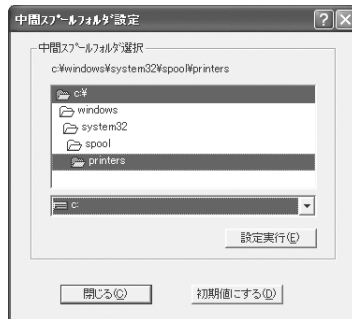
［環境設定］ダイアログで［動作環境設定］をクリックすると、［動作環境設定］ダイアログが表示され、次の項目が設定できます。

> **!注意**
> - Windows 2000/XP/Server 2003 の［印刷設定］から［動作環境設定］ダイアログを開いた場合は、現在の設定状態を表示するだけで設定はできません。設定を変更する場合は、［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダからプリンタのプロパティを開き、［動作環境設定］ダイアログを開いてください。
> - 管理者権限のあるユーザー（Windows 2000/Server 2003）または「コンピュータの管理者」アカウントのユーザー（Windows XP）のみ設定できます。

Windows 2000/XP/Server 2003

Windows 98/Me

①［中間スプールフォルダ設定］

スプールファイルや部数印刷する際の印刷データを一時的に保存するフォルダを指定する［中間スプールフォルダ選択］ダイアログを開きます。通常は、設定を変更する必要はありません（次の画面は例で、実際の中間スプールフォルダとは異なります）。

Windows 2000/XP/Server 2003

Windows 98/Me

項目	説明
中間スプールフォルダ選択	中間スプールフォルダを選択します。
［設定実行］	変更した中間スプールフォルダを有効にします。
［初期値にする］	中間スプールフォルダを初期設定フォルダに戻します。
［閉じる］	［中間スプールフォルダ設定］ダイアログを閉じます。

- Windows 2000/XP/Server 2003 で中間スプールフォルダを選択する場合は、選択するフォルダのアクセス権（またはアクセス許可）の設定がすべてのユーザーで「変更」または「フルコントロール」になっていることを確認してから選択してください。
- 印刷データを一時的に保存するフォルダの空き容量が少ないと、扱うデータによっては印刷できない場合があります。このようなときは、空き容量の大きなドライブにある任意のフォルダを選択すると印刷できるようになります。

② ドキュメント設定（Windows 2000/XP/Server 2003）

ヘッダー / フッターの印刷を設定できます。［ページ装飾］ダイアログのヘッダー / フッターの設定は、ここでの設定によって下表のように影響を受けます。

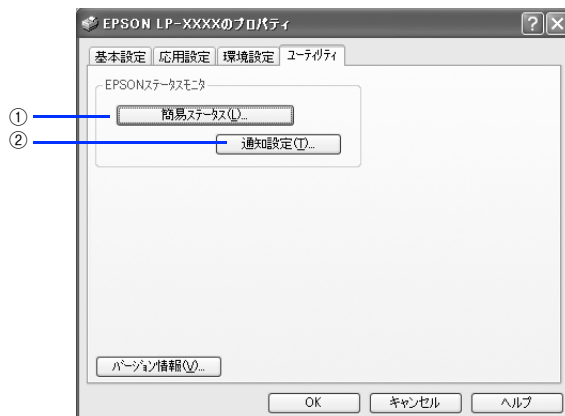
	［ヘッダー / フッターの設定を許可しない］		
	チェックなし	チェックあり	
	ー	［ヘッダー / フッターの印刷］	
		チェックなし	チェックあり
［ページ装飾］ダイアログの［ヘッダー / フッター］チェックボックス	設定を変更できます。	チェックなしのまま設定は変更できません。	チェックありのまま設定は変更できません。
［ページ装飾］ダイアログの［ヘッダー / フッター設定］	設定を変更できます。	ボタンはクリックできません（設定変更不可）。	ボタンをクリックしてヘッダー / フッターの印刷内容を確認できますが、設定は変更できません。
説明	ヘッダー / フッターの印刷は［ページ装飾］ダイアログで設定できます。管理者権限のないユーザー（Windows 2000/Server 2003）または「コンピュータの管理者」アカウントではないユーザー（Windows XP）でも自由にヘッダー / フッターの印刷を設定できます。	ヘッダー / フッターは印刷できません。	ヘッダー / フッターの印刷は［動作環境設定］ダイアログで設定します。［標準設定］をクリックして［ヘッダー / フッター設定］ダイアログを開き、印刷位置に対応するリストから印刷したい項目（なし・ユーザー名・日付・日付 / 時刻・部番号）を選択してください。

- Windows 2000/XP/Server 2003 の［印刷設定］から［動作環境設定］ダイアログを開いた場合は設定できません。設定を変更する場合は、［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダからプリンタのプロパティを開き、［動作環境設定］ダイアログを開いてください。
- ヘッダー/ フッター印刷を管理する必要がある場合は、管理者権限のあるユーザー（Windows 2000/ Server 2003）または「コンピュータの管理者」アカウントのユーザー（Windows XP）で設定してください。

③ プリントサーバー用紙サイズを使用する（Windows 2000/XP/Server 2003）

プリンタドライバにあらかじめ登録されている用紙サイズの他に、OS に登録されている独自の用紙サイズが［基本設定］ダイアログの［用紙サイズ］リストから選択可能になります。ただし、本機がサポートしない用紙サイズは使用しないでください。

［ユーティリティ］ダイアログ

［ユーティリティ］ダイアログでは、ユーティリティソフトの EPSON ステータスモニタに関わる設定を行います。

①［簡易ステータス］ボタン

クリックするとプリンタの状態を表示する［簡易ステータス］ダイアログを表示します。

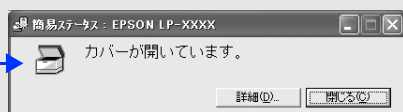
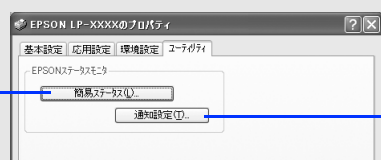
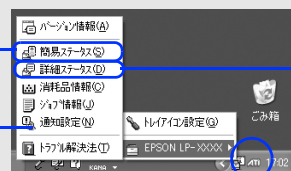
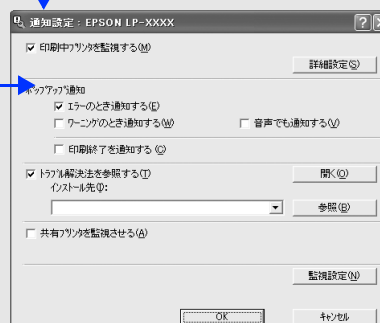
本書 60 ページ「［簡易ステータス］ダイアログ」

②［通知設定］ボタン

クリックすると、EPSON ステータスモニタの動作環境を設定する［通知設定］ダイアログが表示されます。

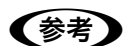
本書 66 ページ「［通知設定］ダイアログ」

EPSON ステータスモニタ

EPSON ステータスモニタは、プリンタの状態をコンピュータ上で監視できるユーティリティです。また、ネットワークプリンタを監視してプリントジョブ情報を表示したり印刷終了のメッセージを表示することもできます。

EPSON ステータスモニタをお使いいただく前に

EPSON ステータスモニタでプリンタを監視するための条件

EPSON ステータスモニタは、次の接続形態で使用できます。

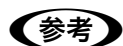
- ローカル接続
- TCP/IP 直接接続
- Windows 共有プリンタ

NetBEUI を使用した直接印刷と IPP 印刷の場合は、ネットワークプリンタの監視はできません。

Windows XP をご使用時の制限事項

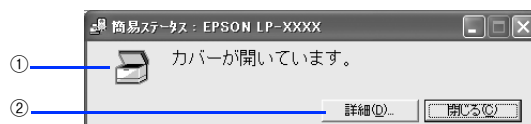
- Windows XP のリモートデスクトップ機能* を利用している状態で、移動先のコンピュータから、そのコンピュータに直接接続されたプリンタへ印刷する場合、EPSON ステータスモニタがインストールされていると通信エラーが発生します。ただし、印刷は正常に行われます。

* 移動先のモバイルコンピュータなどからオフィスネットワーク内のコンピュータ上にあるアプリケーションやファイルへアクセスし、操作することができる機能

- Standard TCP/IP または LPR 接続したプリンタを共有設定し、クライアントからその共有プリンタを使用する場合は、EPSON ステータスモニタのジョブ管理機能は使用できません。

EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、インターネットによる情報の提供を行っています。
アドレス：http://www.i-love-epson.co.jp

[簡易ステータス]ダイアログ

アプリケーションソフトから印刷を実行中にエラーが発生した場合は、[簡易ステータス] ダイアログがコンピュータの画面上に現れ、メッセージを表示します。エラーが解消されると自動的に閉じます。

[簡易ステータス] ダイアログでは、プリンタの状態をアイコンとメッセージで表示します。

① アイコン / メッセージ

プリンタの状態に合わせてアイコンが表示され、状況をお知らせします。

② [詳細]ボタン

[詳細ステータス] ダイアログが表示されます。消耗品などの詳細な情報を表示します。

- タスクトレイ上にある EPSON ステータスモニタのアイコンを右クリックし、[EPSON LP-M5500] ― [簡易ステータス] をクリックして [簡易ステータス] ダイアログを直接開くことができます。
- トラブルの対処方法は、タスクトレイ上にある EPSON ステータスモニタのアイコンを右クリックし、[EPSON LP-M5500] ― [トラブル解決法] をクリックしても確認することができます。

[詳細ステータス]ダイアログ

タスクトレイ上にある EPSON ステータスモニタのアイコンを右クリックし、［EPSON LP-M5500］－［詳細ステータス］をクリックすると［詳細ステータス］ダイアログが開きます。
［詳細ステータス］ダイアログでは、プリンタの詳細な情報を表示します。用紙詰まりなどの場合には、手順を説明する［トラブル解決法］を表示させることもできます。

① アイコン / メッセージ
プリンタの状態に合わせてアイコンが表示され、プリンタの状態を表示します。

② プリンタ / メッセージ
プリンタの状態を知らせたり、エラーが発生した場合にその状況や対処方法をメッセージでお知らせします。

③［トラブル解決法］ボタン
『ソフトウェア機能ガイド』（PDF）がインストールされている環境下で、用紙詰まりなどのエラーが発生したときに該当する解決法の説明がある場合は、［トラブル解決法］が表示されます。クリックすると、解決法が表示されます。［通知設定］ダイアログの［トラブル解決法を参照する］のチェックが外れているときは表示されません。
☞ 本書 66 ページ「［通知設定］ダイアログ」

『ソフトウェア機能ガイド』（PDF）は、通常プリンタドライバと一緒にインストールされます。インストールしなかった場合は、『EPSON ソフトウェア CD-ROM』からインストールしてください。

[消耗品情報]ダイアログ

タスクトレイ上にある EPSON ステータスモニタのアイコンを右クリックし、[EPSON LP-M5500] ー [消耗品情報] をクリックすると [消耗品情報] ダイアログが開きます。
[消耗品情報] ダイアログでは、消耗品の残量などを表示します。

①用紙

給紙装置にセットされている用紙サイズ、用紙の種類（タイプ）、用紙残量を表示します。

②トナー

セットされているトナーカートリッジがあとどれくらい使用できるか、寿命の目安を表示します。トナーに関するエラーやワーニング発生時に該当色のアイコンが点滅します。

トナーがなくなった場合、回収のお知らせダイアログを表示します。[はい] をクリックすると、ブラウザが起動して使用済みカートリッジ回収案内のホームページを表示します。

③感光体ユニット

セットされている感光体ユニットがあとどれくらい使用できるか、寿命の目安を表示します。感光体ユニットに関するエラーやワーニング発生時にアイコンが点滅します。

④廃トナーボックス

廃トナーボックスの空き容量が少なくなるとアイコンが点滅します。

[ジョブ情報]ダイアログ

タスクトレイ上にある EPSON ステータスモニタのアイコンを右クリックし、[EPSON LP-M5500] ─ [ジョブ情報] をクリックすると [ジョブ情報] ダイアログが開きます。
[ジョブ情報] ダイアログは、ジョブ管理機能を使用できる接続になっている場合に表示され、ネットワークプリンタに印刷した情報を見ることができます。

ジョブ管理機能を使用するための条件
ジョブ管理機能を使用するには、プリンタが次のネットワーク形態で接続されている必要があります。

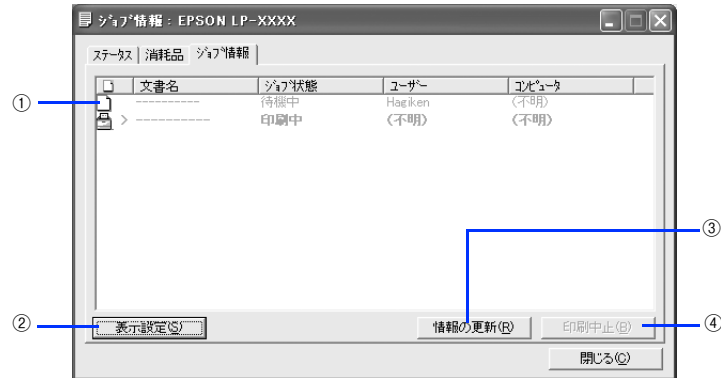
接続環境	必須条件
プリントサーバを設定していて、かつ共有プリンタ接続をしている環境	Windows 2000/Server 2003 での EpsonNet Print を使った TCP/IP 接続（ネットワークプリンタを Windows XP/2000/98/Me クライアントから利用する場合）
	Windows 2000/Server 2003 での Standard TCP/IP または LPR 接続（ネットワークプリンタを Windows XP/2000/98/Me クライアントから利用する場合）
プリンタサーバを介さないネットワーク接続環境	Windows XP/2000 での LPR 接続
	Windows XP/2000 での Standard TCP/IP 接続
	Windows XP/2000/98/Me での EpsonNet Print を使った TCP/IP 接続

以下の環境下ではジョブ管理機能は使用できません。

- NetBEUI、EpsonNet Internet Print を利用してネットワーク印刷を行う場合
- Windows 2000/Server 2003 での Standard TCP/IP、LPR 接続、あるいは EpsonNet Print 接続の共有プリンタを、Windows 2000/XP クライアントから利用する際に、クライアントへのログオンユーザーとサーバへの接続ユーザーが異なる場合
- プリンタとプリントサーバがローカル接続された共有プリンタを利用してネットワーク印刷を行う場合
- プリンタサーバの OS が Windows XP の場合

NetWare 接続環境下では、ジョブ管理機能が有効であるかのように表示されてしまいますが、使用することはできません。

Windows 98/Me クライアントから下記の接続で共有プリンタを利用している場合、印刷したスプール中のジョブは削除できません。

- Windows 2000/Server 2003 での LPR 接続
- Windows 2000/Serrver 2003 での Standard TCP/IP 接続
- Windows 2000/Server 2003 での EpsonNet Print を使った TCP/IP 接続

①ジョブリスト

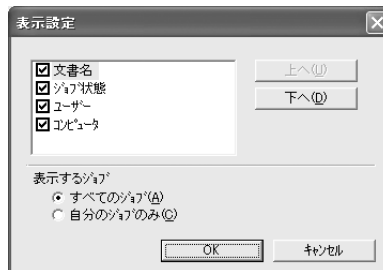
コンピュータにスプール中またはプリンタで処理中のジョブの文書名、状態（送信中、待機中、印刷中、印刷済、削除中、削除済）、ユーザー名、コンピュータ名を、ジョブごとに表示します。リスト一番左のアイコンは、印刷の状態に応じて変化します。なお、ネットワーク上のほかのユーザーが実行したジョブに関しては、以下の情報は表示しません。

- 印刷済みジョブと削除済みジョブ
- 待機中または印刷中の文書名

列のタイトルをクリックすると、ジョブの表示順を切り替えます。

- 最初の状態では、古いジョブほど上に表示され、新しいジョブほど下に追加されます。
- 最初の状態から列のタイトルを１度クリックすると、新しいジョブほど上に追加され、古いジョブほど下に表示されます。クリックするたびにジョブの表示順を切り替えます。

②［表示設定］

クリックすると［表示設定］ダイアログが表示されます。ジョブリストに表示する情報の種類と順番を設定できます。

③［情報の更新］

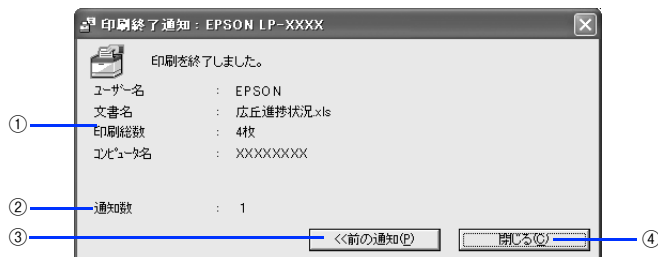
最新のジョブ情報をプリンタから取得して、リストの表示を更新します。

④［印刷中止］

ジョブリストに表示されている印刷中、送信中、待機中のジョブをクリックして選択し、［印刷中止］をクリックすると、そのジョブの印刷を中止することができます。なお、ネットワーク上のほかのユーザーが実行したジョブの印刷を中止することはできません。

[印刷終了通知]ダイアログ

印刷の終了が通知できるように設定されている場合は、ジョブの印刷終了時にメッセージを表示します。設定方法は、以下のページを参照してください。

本書 66 ページ「[通知設定] ダイアログ」

① 印刷終了通知

印刷が終了したジョブのユーザー名、文書名、印刷総数、コンピュータ名を表示します。

② 通知数

印刷終了通知の通知数を表示します。

③ [前の通知]

クリックすると、1 つ前の終了通知を表示します。通知数が 0 になった場合（終了通知がすべてなくなった場合）はグレーアウトされます。

④ [閉じる]

ダイアログを閉じます。

[通知設定] ダイアログの [印刷中プリンタを監視する] がチェックされていない場合は、印刷終了通知は行われません。

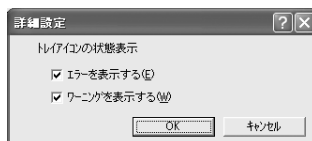
本書 66 ページ「[通知設定] ダイアログ」

[通知設定]ダイアログ

タスクトレイ上にある EPSON ステータスモニタのアイコンを右クリックし、[EPSON LP-M5500] ー [通知設定] をクリックするか [ユーティリティ] ダイアログの [通知設定] をクリックします。
[通知設定]ダイアログでは、画面上で通知する内容などEPSON ステータスモニタの動作環境を設定することができます。

①印刷中プリンタを監視する

チェックを付けると印刷時にプリンタの監視を行います。

[詳細設定] をクリックすると、[詳細設定] ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで選択したプリンタの状態によって、タスクトレイアイコンの表示を切り替えることができます。

②ポップアップ通知

エラーやワーニング発生時に [簡易ステータス] で知らせるかどうかを設定します。

項目	説明
エラーのとき通知する	エラー発生時に通知します。
ワーニングのとき通知する	ワーニング発生時に通知します。
音声でも通知する	お使いのコンピュータのサウンド機能が有効な（消音でない）場合にエラーやワーニングを音声 でも通知します。
印刷終了を通知する	印刷が終了すると通知します（ジョブ管理機能でサポートしていない環境ではグレーアウトして設定できません)。 NetWare 接続環境下では、ジョブ管理機能が有効であるかのように表示されてしまいますが、使用することはできません。 ☞本書 65 ページ「[印刷終了通知] ダイアログ」

③トラブル解決法を参照する

トラブル発生時に解決法を説明するファイルを設定します。［トラブル解決法を参照する］がチェックされ、かつ、トラブル解決法のインストール先が正しく設定されていると、紙詰まりなどのエラーが発生した場合に該当する解決法の説明がある場合は、［詳細ステータス］ダイアログに［トラブル解決法］が表示されます。クリックすると、解決法が表示されます。［トラブル解決法を参照する］がチェックされていないと、［トラブル解決法］は表示されません。

項目	説明
［開く］	クリックすると、トラブル解決法の先頭ページを表示します。
［インストール先：］	［参照］をクリックしてトラブル解決法のインストール先を変更した場合に、前回設定したインストール先と初期設定のインストール先が表示されます。インストール先を初期設定から変更していない場合は、何も表示されません。
［参照］	クリックするとトラブル解決法のインストール先を変更することができます。ネットワーク環境でトラブル解決法のファイルをサーバだけに置く場合など、トラブル解決法のインストール先を変更したいときに選択します。

④共有プリンタを監視させる

チェックを付けると、サーバに直接接続された共有プリンタの状態をクライアントに監視させます。

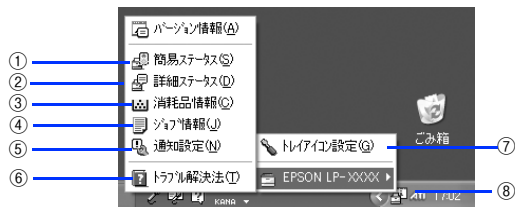
本書 177 ページ「印刷機能の共有方法」

⑤［監視設定］ボタン

クリックすると、監視する間隔（ローカル接続時 6 ～ 60 秒 / ネットワーク接続時 15 ～ 60 秒）を設定できます。

項目	説明
ローカル設定	コンピュータと直接接続している場合の監視間隔を設定します（ネットワーク接続時はグレーアウトして設定できません）。
ネットワーク設定	ネットワークに接続している場合の監視間隔を設定します（ローカル接続時はグレーアウトして設定できません）。
初期値に戻す	監視間隔を初期値に戻します。

トレイアイコン

タスクトレイ上のアイコンを右クリックすると以下の項目が表示されます。クリックすると各ダイアログを簡単に表示させることができます。

①［簡易ステータス］

クリックすると［簡易ステータス］ダイアログが表示されます。

☞ 本書 60 ページ「［簡易ステータス］ダイアログ」

②［詳細ステータス］

クリックすると［詳細ステータス］ダイアログが表示されます。

☞ 本書 61 ページ「［詳細ステータス］ダイアログ」

③［消耗品情報］

クリックすると［消耗品情報］ダイアログが表示されます。

④［ジョブ情報］

クリックすると［ジョブ情報］ダイアログが表示されます。ジョブ管理機能が使用可能な接続状態（TCP/IP 直接接続など）でない場合は選択できません。

☞ 本書 63 ページ「ジョブ管理機能を使用するための条件」

⑤［通知設定］

クリックすると［通知設定］ダイアログが表示されます。

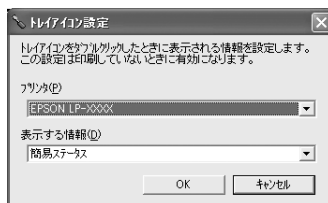
☞ 本書 66 ページ「［通知設定］ダイアログ」

⑥［トラブル解決法］

クリックすると詰まった用紙の除去方法などの手順を表示します。トラブル解決法のインストール先が正しく設定されていない場合や［通知設定］ダイアログで［トラブル解決法を参照する］がチェックされていないと選択できません。

☞ 本書 66 ページ「［通知設定］ダイアログ」

⑦［トレイアイコン設定］

⑧のトレイアイコンをダブルクリックしたときの動作を設定できます。

項目	説明
プリンタ	複数のプリンタドライバをインストールしている場合に、どのプリンタの情報を表示するかを選択します。
表示する情報	［簡易ステータス］や［詳細ステータス］など、どのダイアログを開くかを選択します。

⑧［トレイアイコン］

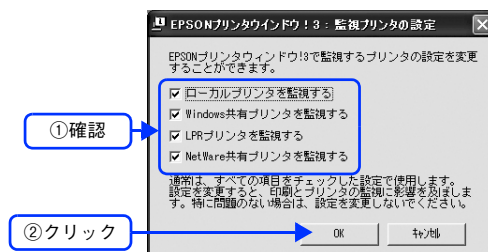
ダブルクリックすると⑦の［トレイアイコン設定］ダイアログで設定したダイアログが表示されます。

監視プリンタの設定

［監視プリンタの設定］ユーティリティは、EPSON ステータスモニタで監視するプリンタ（接続方法別）の設定を変更するためのユーティリティで、EPSON ステータスモニタとともにインストールされます。通常は設定を変更する必要はありません。何らかの理由で監視するプリンタの設定を変更したい場合のみご使用ください。

1 **監視プリンタの設定ユーティリティを起動します。**

［スタート］-［プログラム］（または［すべてのプログラム］）-［EPSON Printers］-［監視プリンタの設定］をクリックします。

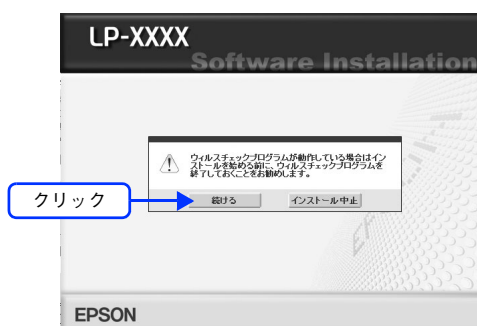
2 **監視しないプリンタのチェックを外し、［OK］をクリックして、ダイアログを閉じます。**

以上で設定は終了です。

EPSON ステータスモニタのみをインストールする

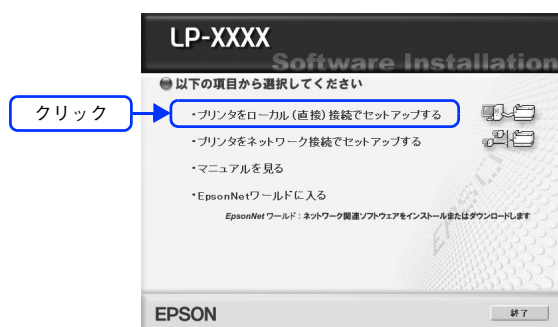
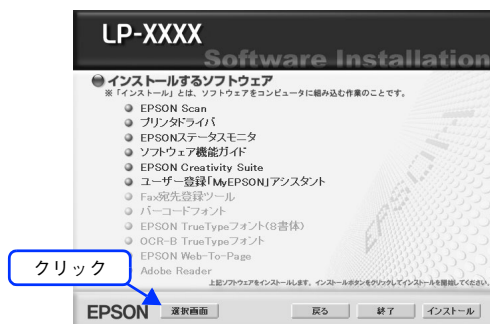
EPSON ステータスモニタは、通常プリンタドライバに引き続いてインストールします。EPSON ステータスモニタのみを単独でインストールする手順は次の通りです。

1 **ウィルスチェックプログラムが起動している場合は停止させます。**

2 **コンピュータに『EPSON ソフトウェア CD-ROM』をセットします。**

3 **画面の内容を確認して、[続ける] をクリックします。**
ウィルスチェックプログラムの実行中は、[インストール中止] をクリックして、手順 1 からやり直します。

上の画面が自動的に表示されないときは
［マイコンピュータ］内の CD-ROM のアイコンをダブルクリックします。

4 **使用許諾契約書の画面が表示された場合は、内容を確認し、［同意する］をクリックします。**

5 **［プリンタをローカル（直接）接続でセットアップする］をクリックします。**

6 **［選択画面］をクリックします。**

7 ［EPSON ステータスモニタ］のみをチェックして、［インストール］をクリックします。

その他の項目（プリンタドライバなど）がインストール済みの場合は、それぞれのチェックを外してください。各項目をクリックすることで、チェックする / しないが切り替わります。

8 機種選択の画面が表示されたら、お使いのプリンタの機種名をクリックして、［OK］をクリックします。

この後は画面の指示に従ってください。以上でインストールは終了です。

共有プリンタを監視できない場合の確認事項

ネットワーク上のコンピュータに USB 接続して共有した共有プリンタを監視できない場合は、次の設定がされているかを確認してください。

- 共有プリンタを提供しているコンピュータ（プリントサーバ）上のネットワークコンピュータのプロパティを開き、ネットワークコンポーネントに Microsoft ネットワーク共有サービスが設定されていること。
- 共有プリンタを提供しているコンピュータ（プリントサーバ）上に、対応するプリンタのドライバがインストールされ、かつ、そのプリンタの共有設定がされていて、プリンタドライバの［通知設定］ダイアログで［共有プリンタを監視させる］にチェックマークが付いていること。
- サーバ側とクライアント側で、Printer Interface モジュールの Ver.4.xxx 以上が導入されていること。
  Printer Interface モジュールのバージョンを確認する方法は、プリンタドライバの［ユーティリティ］ダイアログの［バージョン情報］をクリックし、［EPSON ステータスモニタ］をクリックします。
- Windows 98/Me で共有プリンタを監視する場合の注意事項
  サーバ側とクライアント側において、コントロールパネルのネットワークおよび現在のネットワーク構成に、TCP/IP プロトコルが設定されていること。

ソフトウェアのバージョンアップ

添付のソフトウェアをバージョンアップすることによって、今まで起こっていた現象が解消されることがあります。できるだけ最新のソフトウェアをお使いいただくことをお勧めします。

最新のソフトウェアは、エプソンのホームページからダウンロードしてください。
☞ http://www.i-love-epson.co.jp/

CD-ROM での郵送をご希望の場合は
「エプソンディスクサービス」で実費にて承っております。詳しくは FAX インフォメーションでご確認ください。
☞『セットアップガイド』『活用ガイド』（紙マニュアル）巻末

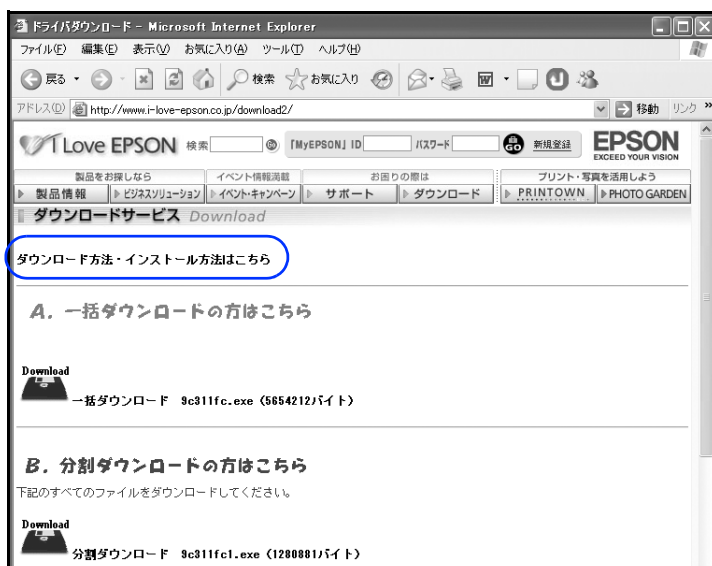
ダウンロードする

ホームページに掲載されているソフトウェアは圧縮※1 ファイルになっていますので、次の手順でファイルをダウンロードし、解凍※2 してからインストールしてください。

*1 圧縮：1 つ、または複数のデータをまとめて、データ容量を小さくすること。
*2 解凍：圧縮されたデータを展開して、元のファイルに復元すること。

1 ホームページのダウンロードサービスから本製品名を選択します。

2 ソフトウェアをハードディスク内の任意のディレクトリへダウンロードします。

3 解凍して、インストールを実行します。
詳しくは、ホームページ上の［ダウンロード方法・インストール方法はこちら］をクリックしてください。

最新バージョンのソフトをインストールする前に、必ず旧バージョンを削除してください。
☞ 本書 73 ページ「プリンタソフトウェアの削除方法」

プリンタソフトウェアの削除方法

プリンタドライバを再インストールする場合やバージョンアップする場合は、すでにインストールされているプリンタソフトウェアを削除（アンインストール）する必要があります。

プリンタソフトウェアを削除する

Windows の標準的な方法でプリンタソフトウェア（プリンタドライバ /EPSON ステータスモニタ /USB プリンタデバイスドライバ）を削除する手順を説明します。

USB プリンタデバイスドライバは、Windows 98/Me で本機を USB 接続している場合にインストールされるデバイスドライバです。

1 起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。

2 ［スタート］メニューから［コントロールパネル］を開きます。

Windows XP

［スタート］-［コントロールパネル］をクリックします。

Windows Server 2003

［スタート］-［コントロールパネル］にカーソルを合わせます。

Windows 98/Me/2000

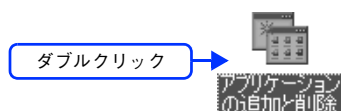
［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］をクリックします。

3 ［アプリケーションの追加と削除］/［プログラムの追加と削除］を開きます。

Windows XP/Server 2003

［プログラムの追加と削除］をクリックします。

Windows 98/Me/2000

［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。

4 削除するソフトウェアを選択して［変更と削除］（または［追加と削除］）をクリックします。

プリンタドライバと EPSON ステータスモニタを削除する場合：

Windows 2000/XP/Server 2003

［プログラムの変更と削除］-［EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ］-［変更 / 削除］をクリックして以下のページへ進みます。

☞ 本書 77 ページ「プリンタドライバと EPSON ステータスモニタの削除」

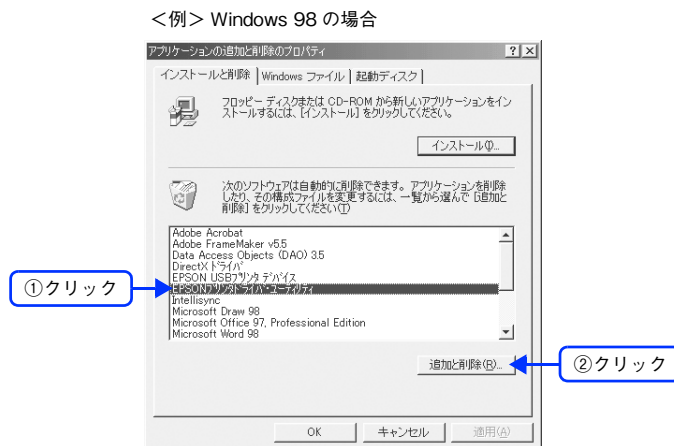
＜例＞ Windows XP の場合

Windows 98/Me

［EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ］-［追加と削除］をクリックして以下のページへ進みます。

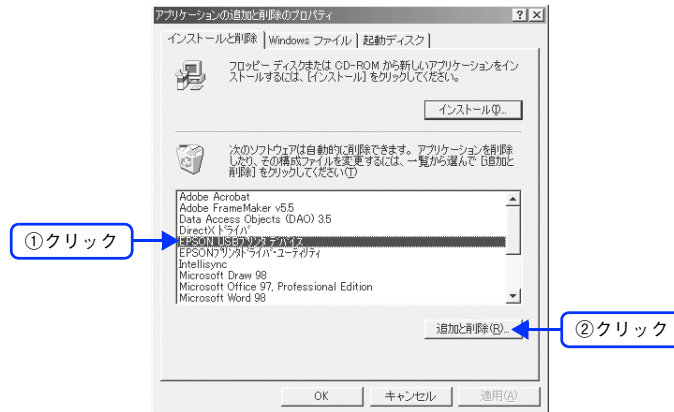
☞ 本書 77 ページ「プリンタドライバと EPSON ステータスモニタの削除」

＜例＞ Windows 98 の場合

①クリック
②クリック

USB プリンタデバイスドライバを削除する場合：

［EPSON USB プリンタデバイス］は、Windows98/Me で USB 接続をご利用の場合にのみ表示されます。
［EPSON USB プリンタデバイス］-［追加と削除］をクリックして以下のページへ進みます。

☞ 本書 79 ページ「USB プリンタデバイスドライバの削除」

<例> Windows 98 の場合

インストールが不完全なまま終了していると［USB プリンタデバイス］の項目が表示されないことがあります。その場合は、『EPSON ソフトウェア CD-ROM』内の［Epusbun.exe］ファイルを実行してください。

① コンピュータに「EPSON ソフトウェア CD-ROM」をセットします。
② ［エクスプローラ］などで CD-ROM に収録されたファイルを表示させます。
③ ［Win9x］フォルダをダブルクリックして開きます。
④ ［Epusbun.exe］アイコンをダブルクリックします。

EPSON ステータスモニタのみを削除する場合：

Windows 2000/XP/Server 2003

［プログラムの変更と削除］-［EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ］-［変更 / 削除］をクリックして以下のページへ進みます。

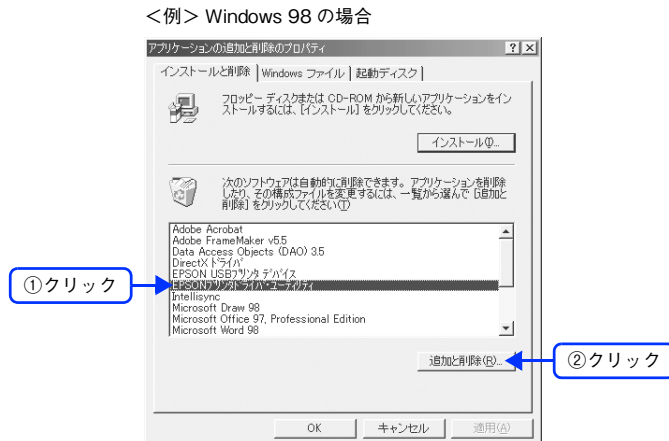
☞ 本書 80 ページ「EPSON ステータスモニタのみの削除」

<例> Windows XP の場合

Windows 98/Me

［EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ］-［追加と削除］をクリックして以下のページへ進みます。

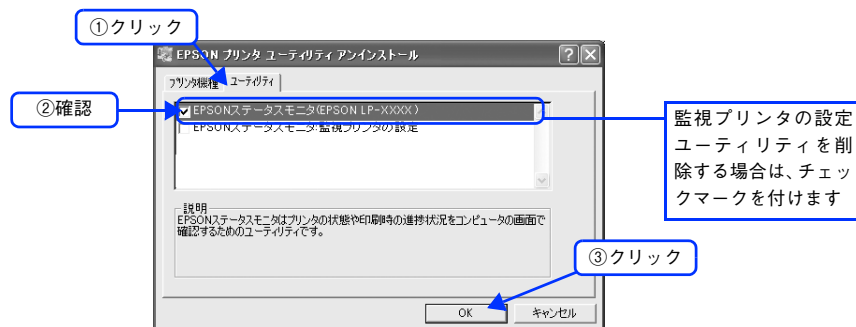
☞ 本書 80 ページ「EPSON ステータスモニタのみの削除」

<例> Windows 98 の場合

プリンタドライバと EPSON ステータスモニタの削除

次の手順から続けて、下記の作業を行ってください。

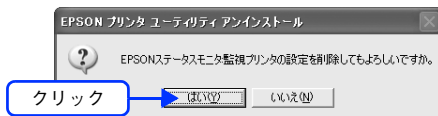
☞ 本書 74 ページ「プリンタドライバと EPSON ステータスモニタを削除する場合：」から続けてください。

5 ［プリンタ機種］タブをクリックし、LP-M5500 のアイコンを選択します。

6 ［ユーティリティ］タブをクリックし、EPSON ステータスモニタ（LP-M5500）にチェックマークが付いていることを確認して［OK］をクリックします。

監視プリンタの設定ユーティリティを削除すると、本機以外の EPSON ステータスモニタに対しても監視プリンタの設定が変更できなくなります。

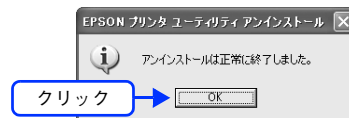
7 EPSON ステータスモニタの削除確認のメッセージが表示されたら、［はい］をクリックします。

EPSON ステータスモニタ（LP-M5500）の削除が始まります。

監視プリンタの設定ユーティリティを削除する場合は、次のメッセージが表示されます。［はい］をクリックすると、監視プリンタの設定ユーティリティの削除が始まります。

8 プリンタドライバの削除を確認するメッセージが表示されたら、［はい］をクリックします。

プリンタドライバの削除が始まります。

- 関連ファイル削除のメッセージが表示されたら［はい］をクリックします。プリンタドライバに関連するファイルが削除されます。
- 削除したプリンタを［通常使うプリンタ］として設定していた場合は、ほかのプリンタドライバを［通常使うプリンタ］に設定します。メッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

9 終了のメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

プリンタドライバを再インストールする場合は、コンピュータを再起動させてください。

以上でプリンタドライバとEPSON ステータスモニタが削除されました。

USB プリンタデバイスドライバの削除

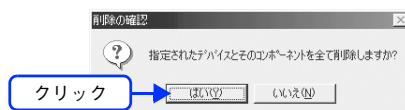
Windows98/Me で USB 接続をご利用の場合のみ必要なデバイスドライバです。

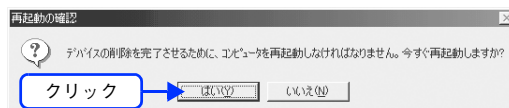
- USB プリンタデバイスドライバを削除する前に、プリンタドライバを削除してください。
- USB プリンタデバイスドライバを削除すると、USB 接続しているほかのエプソン製プリンタも利用できなくなります。

次の手順から続けて、下記の作業を行ってください。

本書 75 ページ「USB プリンタデバイスドライバを削除する場合：」から続けてください。

5 ［はい］をクリックします。

USB プリンタデバイスドライバの削除が始まります。

6 ［はい］をクリックします。

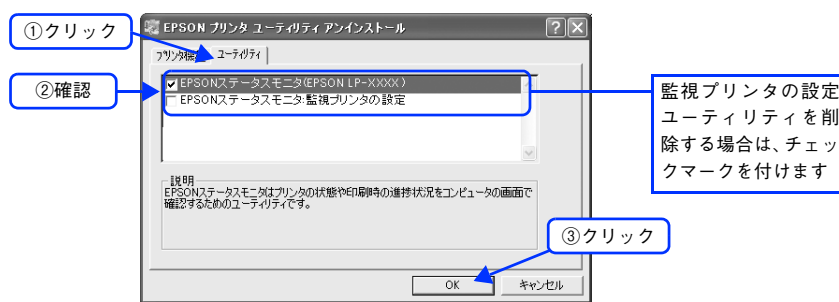
コンピュータが再起動します。

以上で USB プリンタデバイスドライバが削除されました。

EPSON ステータスモニタのみの削除

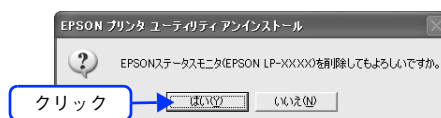
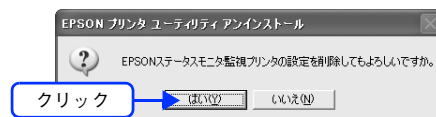
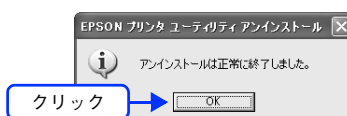
次の手順から続けて、下記の作業を行ってください。

☞ 76 ページ「EPSON ステータスモニタのみを削除する場合：」から続けてください。

5 ［プリンタ機種］タブをクリックし、余白部分をクリックして何も選択されていない状態にします。

6 ［ユーティリティ］タブをクリックし、［EPSON ステータスモニタ（LP-M5500）］を選択して、［OK］をクリックします。

監視プリンタの設定ユーティリティを削除すると、本機以外の EPSON ステータスモニタに対しても監視プリンタの設定が変更できなくなります。

7 削除を確認するメッセージが表示されたら、［はい］をクリックします。

EPSON ステータスモニタ（LP-M5500）の削除が始まります。

監視プリンタの設定ユーティリティを削除する場合は、次の確認メッセージが表示されます。［はい］をクリックすると、監視プリンタの設定ユーティリティの削除が始まります。

8 終了のメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

以上で EPSON ステータスモニタ（LP-M5500）が削除されました。

プリンタドライバや EPSON ステータスモニタを再インストールする場合は、コンピュータを再起動させてください。

追加ドライバを削除する

Windows 2000/XP/Server 2003 プリントサーバにクライアント用の追加ドライバをインストールしている場合は、次の手順で追加ドライバを削除（アンインストール）できます。

1 起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。

2 ［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］を開きます。

Windows XP

① ［スタート］-［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、3 へ進みます。

② ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

③ ［プリンタと FAX］をクリックします。

Windows Server 2003

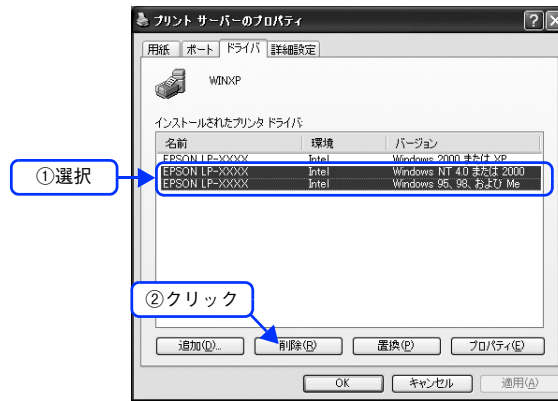
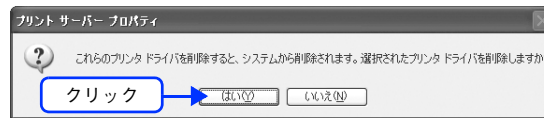
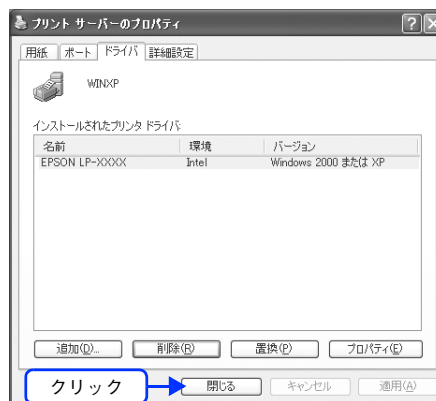
［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタと FAX］にカーソルを合わせてマウスを右クリックし、［開く］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして 3 へ進みます。

Windows 2000

［スタート］-［設定］-［プリンタ］をクリックします。

3 ［ファイル］メニューから［サーバーのプロパティ］をクリックします。

4 ［ドライバ］タブをクリックして、［インストールされたプリンタドライバ］リストを開きます。

5 削除したい追加ドライバをクリックして選択し、［削除］をクリックします。

6 削除を確認するメッセージが表示されたら、［はい］をクリックします。

7 ［閉じる］をクリックしてプロパティを閉じます。

以上で追加ドライバが削除されました。

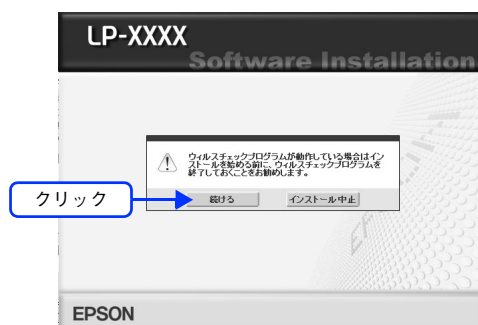
ソフトウェアの再インストール方法

1 本機の電源をオフにします。

2 ウィルスチェックプログラムが起動している場合は停止させます。

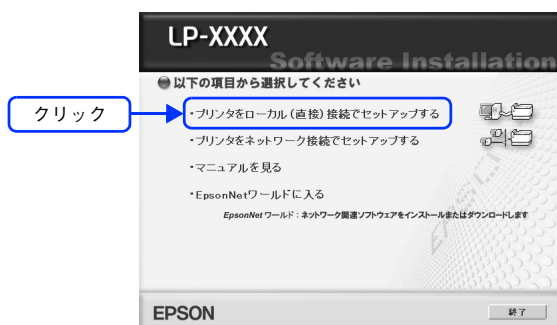
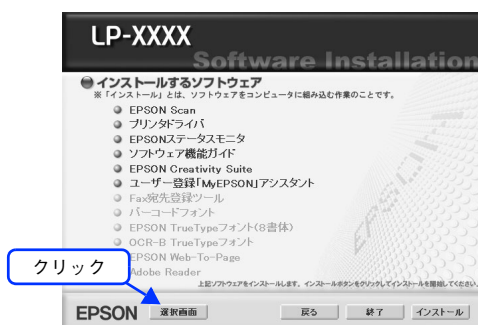
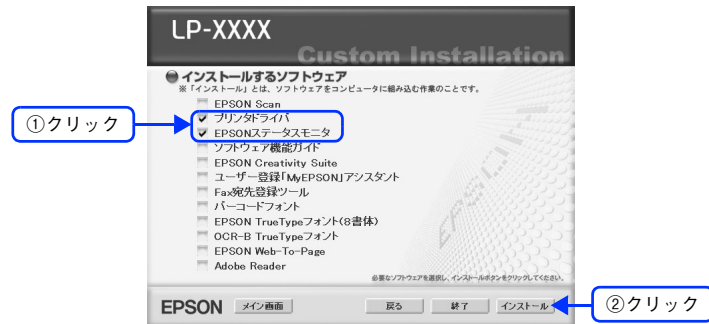
3 コンピュータに『EPSON ソフトウェア CD-ROM』をセットします。

4 画面の内容を確認して、[続ける] をクリックします。

ウィルスチェックプログラムの実行中は、[インストール中止] をクリックして、手順 2 からやり直します。

参考 上の画面が自動的に表示されないときは

［マイコンピュータ］内の CD-ROM のアイコンをダブルクリックします。

5 使用許諾契約書の画面が表示された場合は、内容を確認し、［同意する］をクリックします。

6 ［プリンタをローカル（直接）接続でセットアップする］をクリックします。

7 [選択画面] をクリックします。

8 ［プリンタドライバ］と［EPSON ステータスモニタ］を選択して、［インストール］をクリックします。

9 **この後は、画面の指示に従ってインストール作業を進めます。**

以上でプリンタドライバと EPSON ステータスモニタがインストールされます。

システム条件

プリンタドライバ

プリンタドライバをインストールし、使用するためのシステム条件は下記の通りです（2005 年 6 月現在）。

対象 OS	Windows 98/Me/2000/XP/Server 2003
CPU	Pentium® 233MHz 以上（Celeron® 633MHz 以上を推奨）
RAM	64MB（128MB 以上を推奨）
空きハードディスク	500MB 以上

- CPU、RAM の仕様は、各 OS の「必要システム」条件を満たしていること（OS の推奨動作環境以上での使用を推奨）。
- 本機を USB 接続で使用する場合は、次の条件をすべて満たしている必要があります。
  - USB に対応していて、コンピュータメーカーにより USB ポートの動作が保証されているコンピュータ
  - Windows 98/Me/2000/XP がプレインストールされているコンピュータ（購入時、すでに Windows 98/Me/2000/XP がインストールされているコンピュータ）または Windows 98 がプレインストールされていて Windows Me/2000/XP にアップグレードしたコンピュータ
- Windows XP のリモートデスクトップ機能* を利用している状態で、移動先のコンピュータに直接接続されたプリンタへ印刷する場合、EPSON ステータスモニタがインストールされていると通信エラーが発生します。ただし、印刷は正常に行われます。
- EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、インターネットによる情報の提供を行っています（アドレス：http://www.i-love-epson.co.jp）。

* 移動先のモバイルコンピュータなどからオフィスネットワーク内のコンピュータ上にあるアプリケーションやファイルへアクセスし、操作することができる。

USB2.0 対応について

- USB2.0 としてご使用いただくためには、USB2.0 に対応したケーブルをお使いください。また、コンピュータ側も USB2.0 に対応している必要があります。USB2.0 非対応のコンピュータをお使いの場合は、USB1.1 として動作します（USB2.0 と比較してデータ転送速度が遅くなります）。
- 動作確認済みの USB2.0 用インターフェイスボードまたは PC カードについては、エプソンのホームページでご確認いただくか、インフォメーションセンターまでお問い合わせください。また、USB2.0 用インターフェイスボードまたは PC カードによって増設した場合には、マイクロソフト社製 USB2.0 ドライバが必要になります。マイクロソフト社製 USB2.0 ドライバの入手方法は、マイクロソフト株式会社のホームページでご確認ください。
- USB2.0 対応 OS は、Windows 2000/XP です。Windows 98/Me では、USB1.1 として動作します。

EPSON ステータスモニタの動作環境（対象機種）

- DOS/V 仕様機（双方向通信機能のある機種）

- NetBEUI を使用した直接印刷、IPP 印刷、Novell NDPS 印刷の場合は、ネットワークプリンタの監視はできません。
- 推奨ケーブル以外のケーブル、プリンタ切替機、ソフトウェアのコピー防止のためのプロテクタ（ハードウェアキー）などを、コンピュータと本機の間に装着すると、双方向通信やデータ転送が正常にできない場合があります。

4 使用可能な印刷用紙とセット方法

印刷できる用紙とできない用紙、用紙のセット方法や特殊紙へ印刷する際の諸注意などを説明しています。

印刷用紙

印刷できる用紙の種類

EPSON 製の用紙

次の EPSON 製用紙が使用できます。

使用可能な用紙		型番（サイズ）	説明
普通紙	EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙	LPCPPA4（A4） LPCPPB4（B4） LPCPPA3（A3）	普通紙への印刷において、最良の印刷品質を得ることできる上質普通紙です。MP トレイまたは用紙カセット（標準 / オプション）のどちらからでも給紙できます。
特殊紙	EPSON カラーレーザープリンタ用 OHP シート	LPCOHPS1（A4）	EPSON カラーレーザープリンタ専用の OHP シートです。MP トレイからのみ給紙できます。 本書 113 ページ「OHP シートへの印刷」

上記以外の EPSON 製専用紙は、本機で使用しないでください。プリンタ内部での紙詰まりや故障の原因となります。

参考 EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙の両面に印刷する場合は、用紙の梱包紙の開封面側（包装紙の合わせ目のある側）を先に印刷面として印刷してください。

一般の用紙

EPSON 製の専用紙以外では、ここで紹介する用紙に印刷することができます。これ以外の用紙は使用しないでください。特殊紙への印刷の際は、用紙別にご注意いただく事項が異なりますので以下のページを参照ください。

本書 106 ページ「特殊紙への印刷」

使用可能な一般の用紙		説明
普通紙	コピー用紙	一般の複写機などで使用する用紙です。
	上質紙	紙厚は 64 ～ 90g/m^2 の範囲内のものが使用可能です。
	再生紙 *[1]	紙厚は 64 ～ 90g/m^2 の範囲内のものが使用可能です。
特殊紙	郵政公社製の郵便ハガキ *[2]	郵政公社製の郵便ハガキが使用可能です。往復郵便ハガキの場合は、折り跡のないものをお使いください。 本書 106 ページ「ハガキへの印刷」
	封筒 *[3]	使用できる定形サイズの封筒は洋形 0 号、長形 3 号です。紙厚が 75 ～ 90g/m^2 の範囲内のものをお使いください。 本書 108 ページ「封筒への印刷」
	厚紙 *[4]	次の範囲内の用紙（ケント紙を含む）をお使いください。 厚紙：紙厚が 91 ～ 163g/m^2 の範囲内の用紙 本書 111 ページ「厚紙への印刷」
	ラベル紙	レーザープリンタ用またはコピー機用のラベル紙で、台紙全体がラベルで覆われているものをお使いください。 本書 112 ページ「ラベル紙への印刷」
	不定形紙	用紙幅が 98.5 ～ 297.0mm、用紙長が 148.0 ～ 431.9mm、紙厚が 64 ～ 163g/m^2 の範囲内のものをお使いください。 本書 114 ページ「不定形紙への印刷」

*[1] 再生紙は、一般の室温環境下（温度 15 ～ 25 度、湿度 40 ～ 60% の環境）以外でご使用になると、印刷品質が低下したり、紙詰まりなどの不具合が発生することがありますのでご注意ください。また、再生紙の使用において給紙不良や紙詰まりが発生しやすい場合は、用紙を裏返して使用することにより症状が改善されることがあります。

*[2] 絵入りのハガキなどを給紙すると、絵柄裏移り防止用の粉が給紙ローラに付着して給紙できなくなる場合がありますので、ご注意ください。
活用ガイド「メンテナンス」-「本機の清掃」-「給紙ローラを清掃する」

*[3] ハート社製レーザープリンタ専用封筒を推奨します。それ以外の封筒では、しわが目立つ場合があります。

*[4] 厚紙の紙厚は 90g/ ㎡を超えて 163g/ ㎡以下のものを指しますが、本書では「91 ～ 163g/ ㎡」という記載をしています。画質維持のため 91g/ ㎡以上の用紙は、気温 15 ℃以上の環境下で印刷することをお勧めします。

- 用紙の種類によっては特に印刷面の指定がない場合でも、印刷する面によって排紙後の用紙の状態に差が出ることがあります。
- 用紙がカールなどしてきれいに排紙されない場合は印刷面を替えて用紙をセットしてください。
- 用紙を大量に購入する場合は、必ず事前に試し印刷をして印刷の状態をご確認ください。また、大量に印刷する場合も、試し印刷をして思い通りの印刷結果になることを確認してください。
- ハガキや封筒などの特殊紙に連続印刷する場合で、思い通りの位置に印刷されなかったり、用紙が二重送りされてしまうようなときは、用紙を 1 枚ずつセットして印刷してください。

印刷できない用紙

給紙ローラ、感光体、定着器の故障の原因となる用紙

- インクジェットプリンタ用特殊紙：スーパーファイン紙、光沢紙、光沢フィルム、郵便ハガキ（インクジェット紙）など
- アイロンプリント紙
- 他のモノクロレーザープリンタ、カラーレーザープリンタ、熱転写プリンタ、インクジェットプリンタなどのプリンタや、複写機で印刷したプレプリント紙
- 他のプリンタで一度印刷した後の裏紙
- 他のカラーレーザープリンタやカラー複写機専用 OHP シート
- モノクロレーザープリンタ用またはモノクロコピー機用以外のラベル紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙、酸性紙、和紙
- 糊、ホチキス、クリップなどが付いた用紙
- 表面に特殊コートが施された用紙、表面加工されたカラー用紙
- バインダ用の穴が開いている用紙
- 貼り合わせた用紙

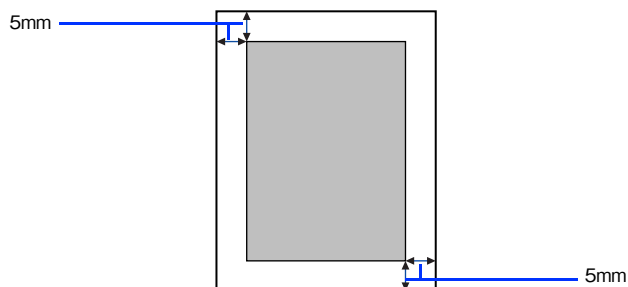
給紙不良、紙詰まりを起こしやすい用紙

- 薄すぎる用紙（63g/m^2 以下）、厚すぎる用紙（164g/m^2 を超える）
- 濡れている（湿っている）用紙
- 表面が平滑すぎる（ツルツル、スベスベしすぎる）用紙、粗すぎる用紙
- 表と裏で粗さが大きく異なる用紙
- 折り跡、カール、破れのある用紙
- 形状が不規則な用紙、裁断角度が直角でない用紙
- ミシン目のある用紙
- 簡単にはがれてしまうラベル紙
- 吸湿して波打ちしている用紙を使用している

耐熱温度約 200 度以下で変質、変色する用紙

- 表面に特殊コート（またはプレプリント）が施された用紙

印刷できる領域

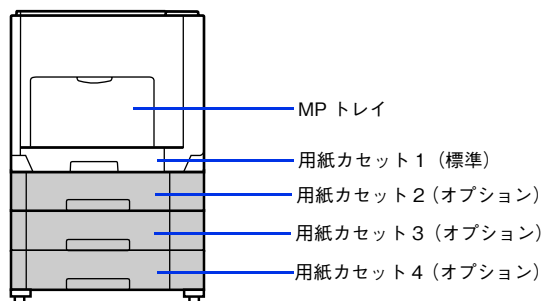
印刷保証領域は、印刷の実行と印刷結果の画質を保証する領域です。用紙の各端面から 5mm を除く領域の印刷を保証します。

アプリケーションソフトによっては印刷可能領域が上記より小さくなる場合があります。

用紙の保管

用紙は次の点に注意して保管してください。

- 直射日光を避けて保管してください。
- 湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙を濡らさないでください。
- 用紙を立てたり、斜めにしないで、水平な状態で保管してください。
- ほこりがつかないよう、包装紙などに包んで保管してください。

給紙装置と用紙のセット方法

本機には、標準装備されている MP トレイと用紙カセットのほかにオプションの増設カセットユニットを 3 段まで装着することができます。

各給紙装置にセットできる用紙サイズと容量

本機の給紙装置で使用できる用紙の種類は次の通りです。特殊紙を使用する場合は、必ず MP トレイにセットしてください。また、特殊紙は用紙別にセット方法や注意事項が異なりますので以下のページを参照してください。

☞ 本書 106 ページ「特殊紙への印刷」

給紙方法		用紙種類		用紙サイズ （ ）内は操作パネルの操作パネルでの表記	紙厚	容量 *1
標準装備の給紙装置	MP トレイ	普通紙、EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙		A3、A4、A5、B4、B5、Letter（LT）、Half-Letter（HLT）、Legal（LGL）、Government Letter（GLT）、Government Legal（GLG）、Ledger（B）、Executive（EXE）、F4	64 ～ 90g/m2	150 枚 *2
		特殊紙	郵便ハガキ	100 × 148mm（はがき）	190g/m2	50 枚 *2
			往復郵便ハガキ	148 × 200mm（往復はがき）		
			封筒 *3	洋形 0 号、長形 3 号	75 ～ 90g/m2	15 枚 *2
			ラベル紙	A4	91～163g/m2	50 枚 *2
			厚紙	A3、A4、A5、B4、B5、Letter（LT）、Half-Letter（HLT）、Legal（LGL）、Government Letter（GLT）、Government Legal（GLG）、Ledger（B）、Executive（EXE）、F4	91～163g/m2	75 枚 *2
			不定形紙	幅：98.5 ～ 297.0mm 長さ：148.0 ～ 431.9mm	64 ～ 90 g/m2	150 枚 *2
					91～163g/m2	75 枚 *2
			EPSON カラーレーザープリンタ用 OHP シート	A4	100g/m2	60 枚 *2
	用紙カセット	普通紙、EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙		A3、A4、B4、B5、Letter（LT）、Legal（LGL）、Ledger（B）	64 ～ 90g/m2	250 枚 *4

オプション	増設カセットユニット（LPA3CZ1CU2/LPA3CZ1CT2/LPA3CZ1CC2）	普通紙、EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙	A3、A4、B4、B5、Letter（LT）、Legal（LGL）、Ledger（B）	64 ～ 90g/m²	500 枚 *5

*1 セットできる用紙の高さは用紙ガイド内側の最大枚数表示までです。最大枚数表示を超えてセットした場合は、給紙不良などの原因となります。

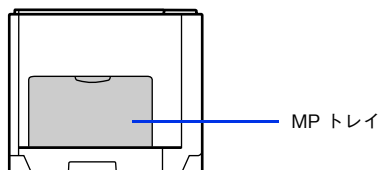
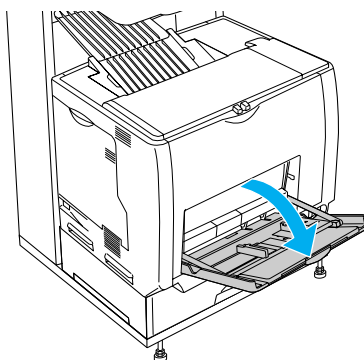
*2 セットできる枚数は使用環境によって異なります。総厚 17mm までセット可能です。

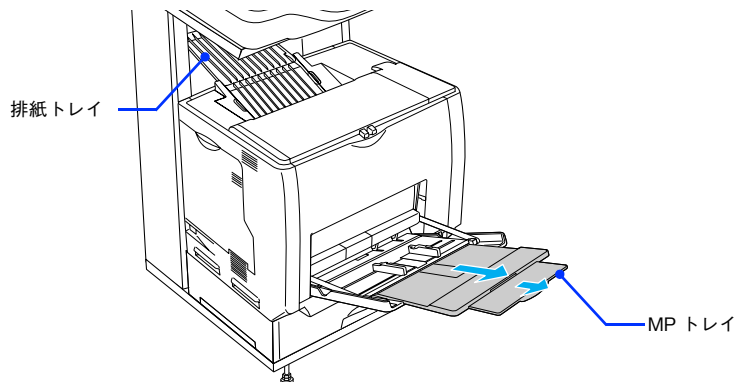
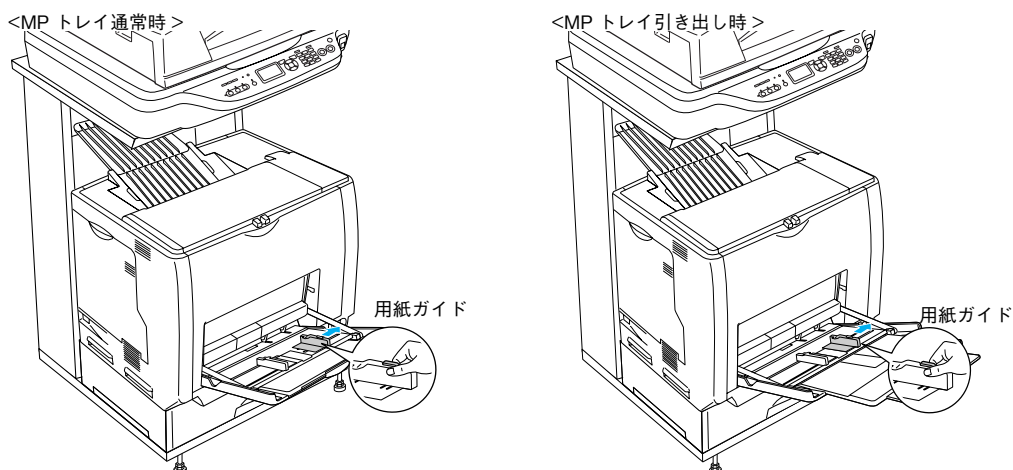
*3 ハート社製レーザープリンタ専用の封筒への印刷をお勧めします。それ以外の封筒では、しわが目立つ場合があります。

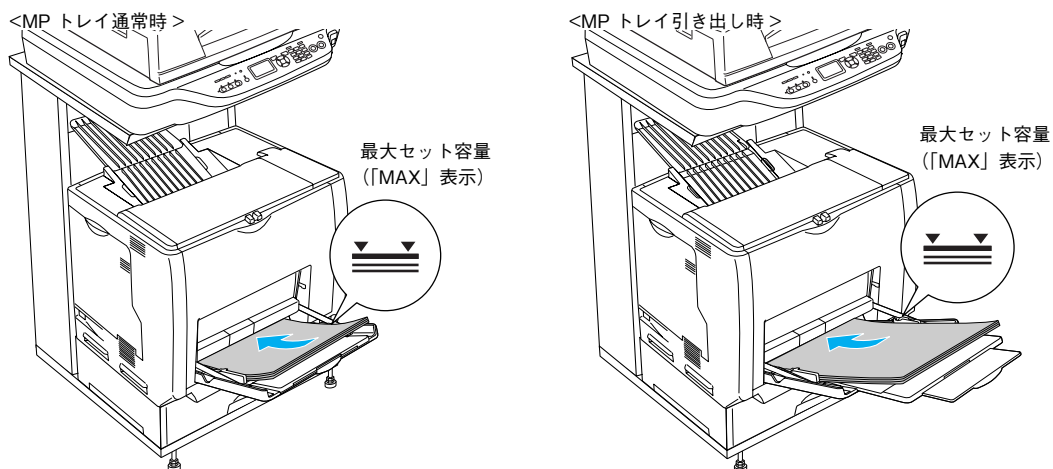
*4 セットできる枚数は使用環境によって異なります。総厚 27mm までセット可能です。

*5 セットできる枚数は使用環境によって異なります。総厚 53mm までセット可能です。

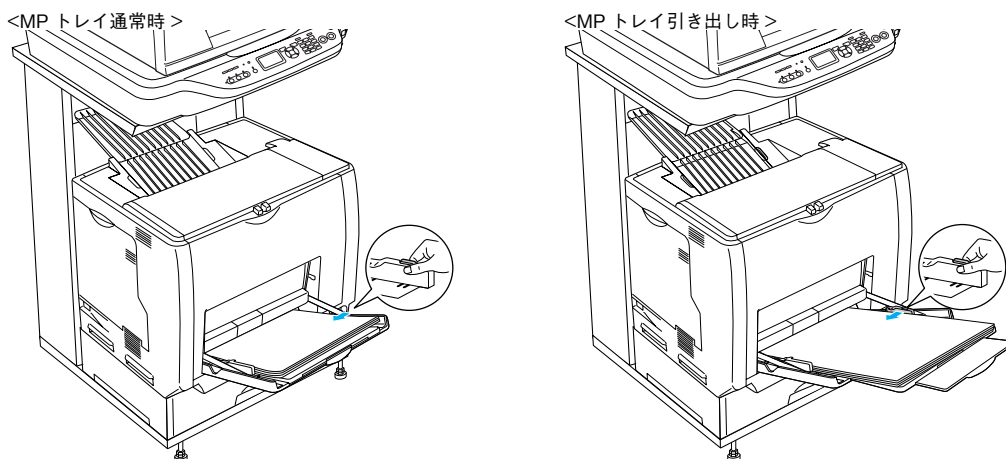
MP トレイに用紙をセットする

MP トレイは、本機で印刷可能なすべての用紙をセットできる MP トレイ（マルチパーパストレイ）です。

1 **MP トレイを開きます。**

2 **A3、B4、Ledger（B）、Legal（LGL）サイズの用紙をセットする場合は、MP トレイの先端を引き延ばします。**

排紙トレイを起こしていない場合は、起こしてください。

3 **用紙ガイドのツマミをつまんで広げます。**

4 用紙の四隅をそろえ、印刷する面を下にして用紙をセットします。

用紙は最大 150 枚（普通紙 64g/m^2）までセットできます。用紙ガイド内側の最大枚数表示を超えて用紙をセットすると、正常に給紙できない場合があります。

	MP トレイ通常時	MP トレイ引き出し時
用紙を横長にセット	A4、B5、Letter、Executive、Goverment Letter、封筒（洋形 0 号）	ー（この組み合わせはありません）
用紙を縦長にセット	A5、Half-Letter、Government Legal、F4、郵便ハガキ、往復郵便ハガキ、封筒（長形 3 号）	A3、B4、Legal、Ledger

⚠注意　用紙をセットするときは用紙の側面で手をこすってけがをしないように注意してください。薄い用紙の側面は鋭利な状態になっていて危険です。

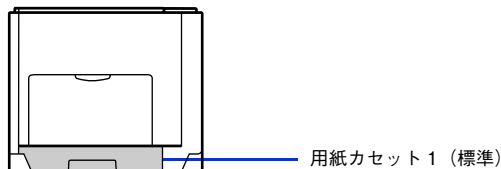
5 用紙ガイドのツマミをつまんで用紙の端に合わせます。

！注意　用紙ガイドは、セットする用紙サイズに必ず合わせてください。用紙サイズに合っていないと、紙詰まりや用紙サイズ関連のエラーが発生する可能性があります。

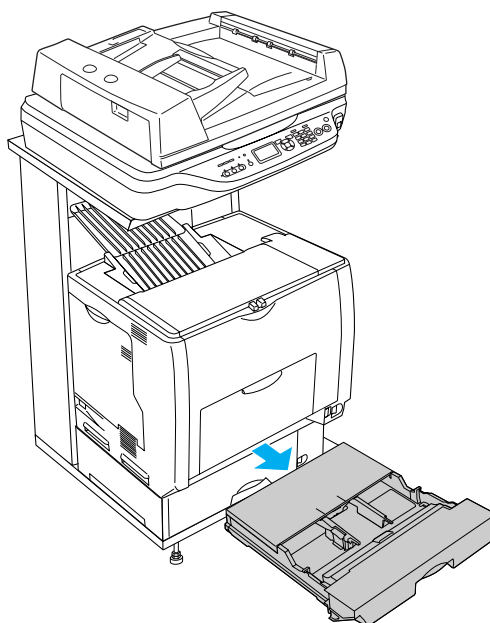
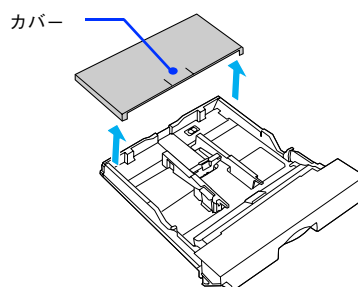
以上で MP トレイへの用紙のセットは終了です。

セットする用紙のサイズを変更した（初期設定は A4）場合は、次の手順に従って用紙サイズを設定してください。用紙サイズを正しく設定しないと思うようにコピーや印刷ができなかったり、エラーが発生します。

☞ 本書 103 ページ「操作パネルで用紙サイズを設定する（MP トレイのみ）」

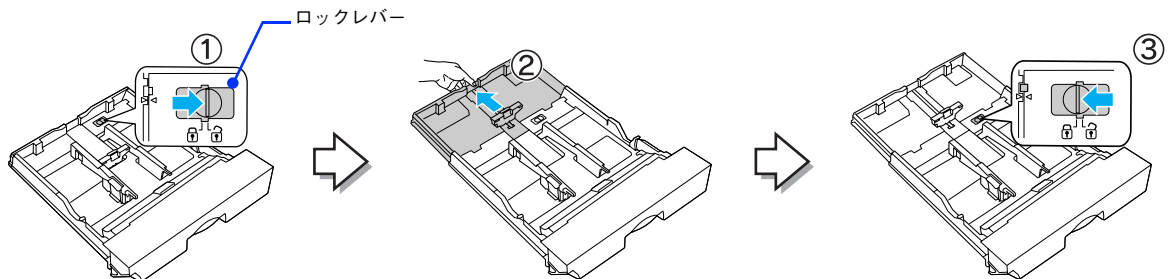
用紙カセット（標準カセット 1）に用紙をセットする

本機に標準装備されている用紙カセットにセットできる用紙の種類や容量については、以下のページを参照してください。
本書 91 ページ「各給紙装置にセットできる用紙サイズと容量」

用紙カセットの代わりにオプションの用紙カセット（LPA3CYC3）をセットすることができます（LPA3CYC2 はセットできません）。

1 用紙カセットをプリンタ部から引き出します。

2 用紙カセットのカバー両端を持ち、取り外します。

3 A3、B4、Ledger（B）、Legal（LGL）サイズの用紙をセットする場合は、用紙カセットの後部を引き出します。

① 用紙カセットのロックレバーを図の位置まで移動し、ロックを解除します。

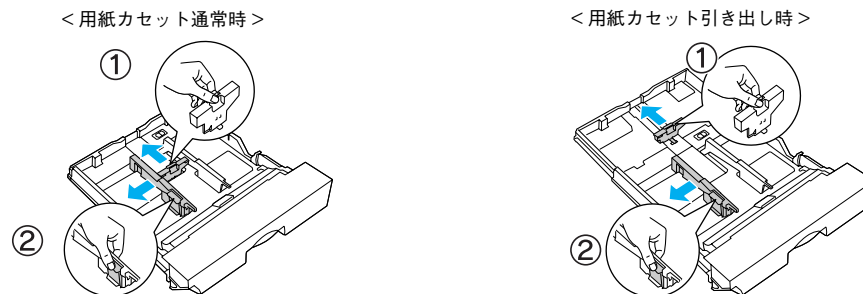
② 用紙カセットの後部を止まるところまで引き出してます。

③ ロックレバーを図の位置まで移動してロックします。用紙をセットする前に、ロックレバーが正しい位置にロックされていることを確認してください。

ロックレバーをロックしないと、正常に印刷できません。

4 用紙ガイド（縦）/（横）をセットする用紙のサイズに合わせ移動します。

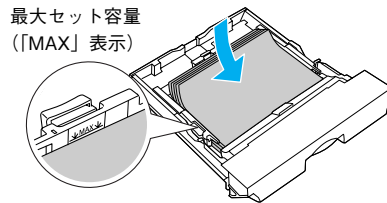
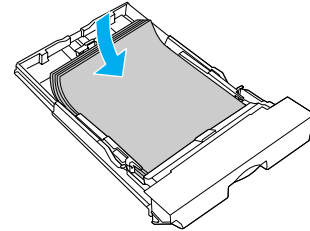
① 用紙ガイド（縦）のツマミをつまんで、セットする用紙サイズに合わせます。

② 用紙ガイド（横）のツマミをつまんで、用紙がセットできるように広げます。

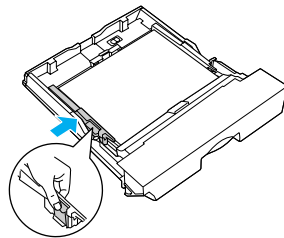
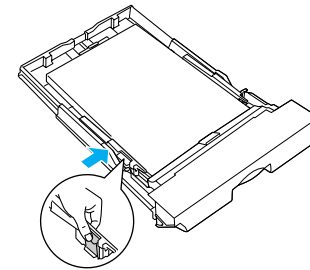
用紙のセット方向は、用紙サイズによって異なります。下表を参照して、用紙ガイド（縦）/（横）を、用紙がセットできるように移動します。

	用紙カセット通常時	用紙カセット引き出し時
用紙を横長にセット	A4、B5、Letter	−（この組み合わせはありません）
用紙を縦長にセット	−（この組み合わせはありません）	A3、B4、Legal、Ledger

⚠注意 用紙をセットするときは用紙の側面で手をこすってけがをしないように注意してください。薄い用紙の側面は鋭利な状態になっていて危険です。

5 用紙の四隅をそろえ、印刷する面を上にして用紙をセットします。

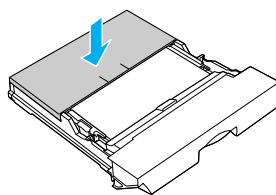
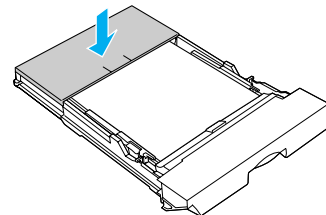
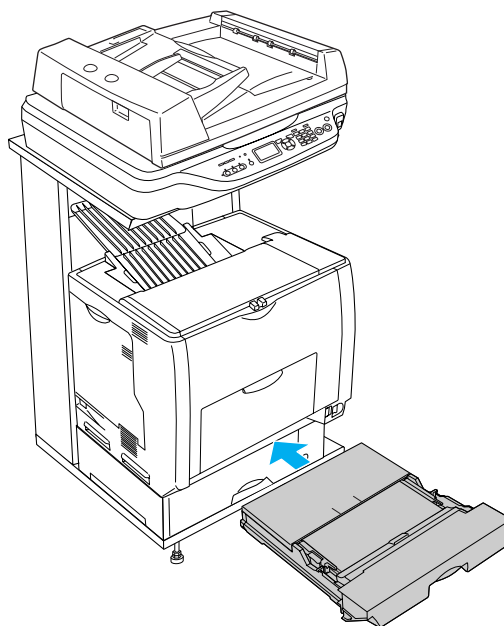
- セットする方向は 4 の表を参照してください。
- 用紙は最大 250 枚（普通紙 64g/m2）までセットできます。用紙ガイド（横）内側の最大枚数表示を超えて用紙をセットすると、正常に給紙できない場合があります。

<用紙カセット通常時>

<用紙カセット引き出し時>

6 用紙ガイド（横）を用紙の端に合わせます。

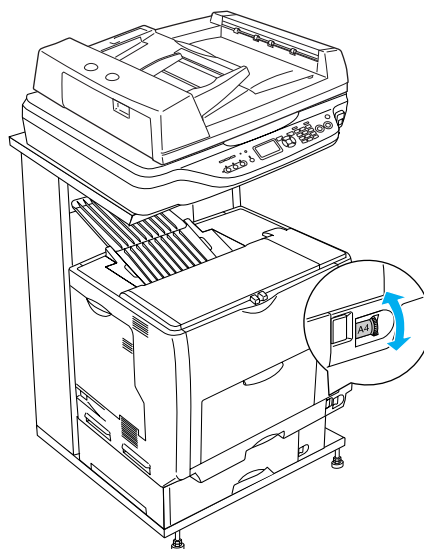
用紙ガイド（横）のツマミをつまんで、用紙サイズに合わせます。

<用紙カセット通常時>

<用紙カセット引き出し時>

用紙ガイドは、セットする用紙サイズに必ず合わせてください。用紙サイズに合っていないと、紙詰まりや用紙関連のエラーが発生する場合があります。

7 用紙カセットのカバーを取り付けます。

<用紙カセット通常時>

<用紙カセット引き出し時>

8 用紙カセットをプリンタ部にセットします。

9 ［用紙サイズ設定］ダイヤルを、セットした用紙サイズに設定します。

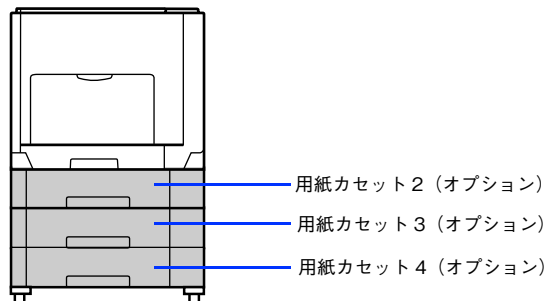
設定できる用紙サイズは、A3、A4、B4、B5、Legal（LG 14"）、Letter（LT）、Ledger（LD17"）です。

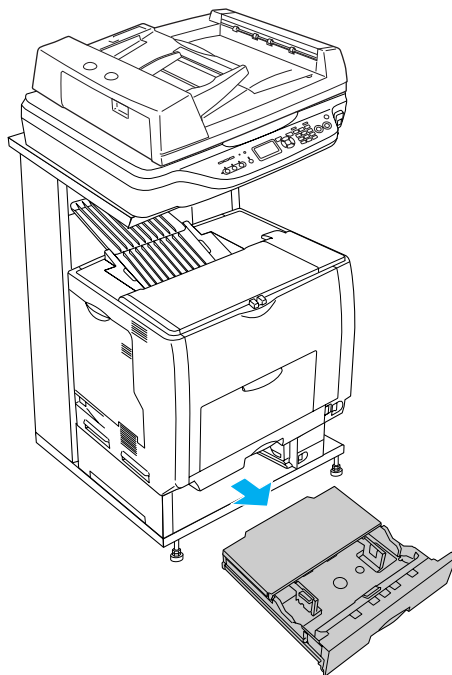
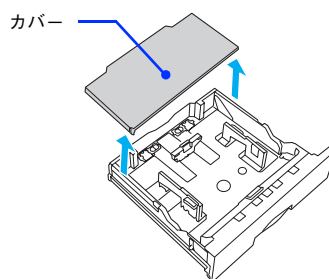
！注意

- 印刷中は［用紙サイズ設定］ダイヤルを操作しないでください。
- ［用紙サイズ設定］ダイヤルは、セットした用紙サイズに合わせて正しく設定してください。正しく設定されていないと用紙関連のエラーが発生したり、意図した印刷結果が得られない場合があります。

以上で標準用紙カセット 1 への用紙のセットは終了です。

用紙カセット（オプションカセット 2 ～ 4）に用紙をセットする

本機には標準装備されている用紙カセット 1 のほかに用紙カセットを 3 段まで増設できます。

ここでは、プリンタのすぐ下に装着した増設カセットユニット（用紙カセット 2）を図示して説明します。用紙カセット 3 ～ 4 の場合も、同様の手順で用紙をセットしてください。

オプションの増設カセットユニットには、オプションの用紙カセット（LPA3CYC2）をセットすることができます（LPA3CYC1 はセットできません）。

1 用紙カセットを増設カセットユニットから引き出します。

2 用紙カセットのカバー両端を持ち、取り外します。

3 A3、B4、Ledger（B）、Legal（LGL）サイズの用紙をセットする場合は、用紙カセットの後部を引き出します。

①用紙カセットのロックレバー（2 箇所）を図の位置まで移動し、ロックを解除します。

② 用紙カセットの後部を止まるところまで引き出します。

③ ロックレバー（2 箇所）を図の位置まで移動してロックします。用紙をセットする前に、ロックレバーが正しい位置にロックされていることを確認してください。

ロックレバーをロックしないと、正常に印刷できません。

4 用紙ガイド（縦）/（横）をセットする用紙のサイズに合わせ移動します。

① 用紙ガイド（縦）のツマミをつまんで、セットする用紙サイズに合わせます。

② 用紙ガイド（横）のツマミをつまんで、用紙がセットできるように広げます。

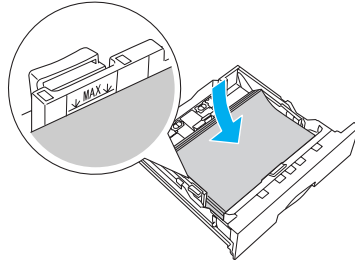
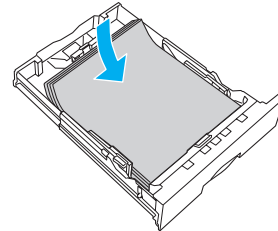
< 用紙カセット通常時 >　　< 用紙カセット引き出し時 >

用紙のセット方向は、用紙サイズによって異なります。下表を参照して、用紙ガイド（縦）/（横）を、用紙がセットできるように移動します。

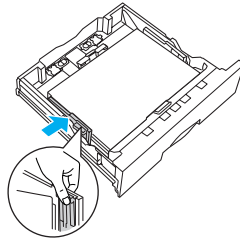
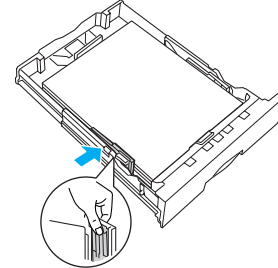
	用紙カセット通常時	用紙カセット引き出し時
用紙を横長にセット	A4、B5、Letter	ー（この組み合わせはありません）
用紙を縦長にセット	ー（この組み合わせはありません）	A3、B4、Legal、Ledger

⚠注意　用紙をセットするときは用紙の側面で手をこすってけがをしないように注意してください。薄い用紙の側面は鋭利な状態になっていて危険です。

5 用紙の四隅をそろえ、印刷する面を上にして用紙をセットします。

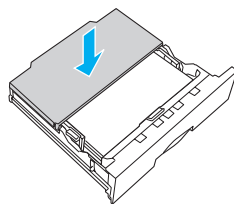
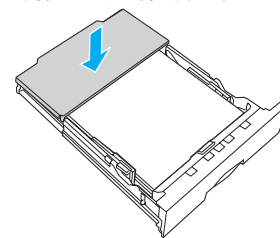
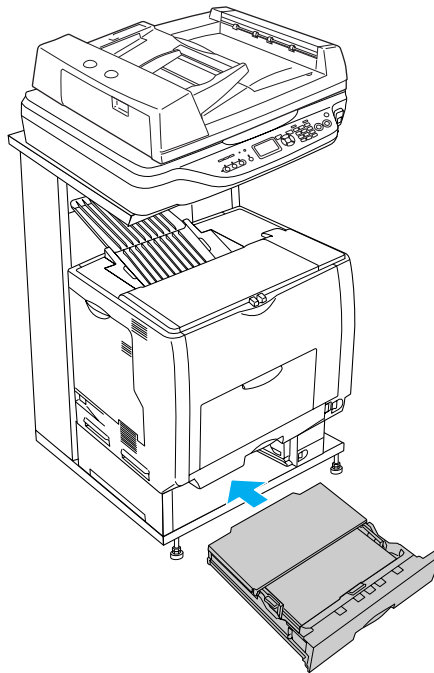
- セットする方向は 4 の表を参照してください。
- 用紙は最大 500 枚（普通紙 64g/m^2）までセットできます。用紙ガイド（横）内側の最大枚数表示を超えて用紙をセットすると、正常に給紙できない場合があります。

< 用紙カセット通常時 >

< 用紙カセット引き出し時 >

6 用紙ガイド（横）を用紙の端に合わせます。

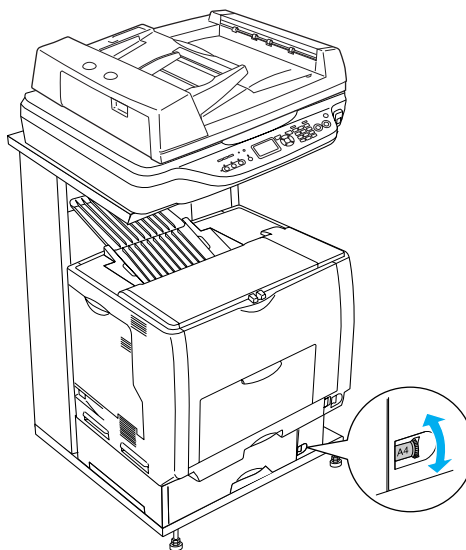
用紙ガイド（横）のツマミをつまんで、用紙サイズに合わせます。

< 用紙カセット通常時 >

< 用紙カセット引き出し時 >

! 注意 用紙ガイドは、セットする用紙サイズに必ず合わせてください。用紙サイズに合っていないと、紙詰まりや用紙関連のエラーが発生する場合があります。

7 用紙カセットのカバーを取り付けます。

< 用紙カセット通常時 >

< 用紙カセット引き出し時 >

8 **用紙カセットを増設カセットユニットにセットします。**

9 **［用紙サイズ設定］ダイヤルを、セットした用紙サイズに設定します。**

設定できる用紙サイズは、A3、A4、B4、B5、Legal（LG 14"）、Letter（LT）、Ledger（LD17"）です。

！注意

- 印刷中は［用紙サイズ設定］ダイヤルを操作しないでください。
- ［用紙サイズ設定］ダイヤルは、セットした用紙サイズに合わせて正しく設定してください。正しく設定されていないと用紙関連のエラーが発生したり、意図した印刷結果が得られない場合があります。

以上でオプション用紙カセット（2 ～ 4）への用紙のセットは終了です。

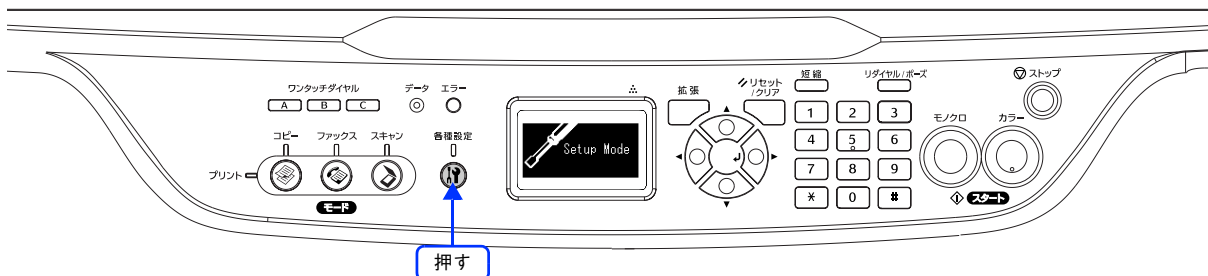
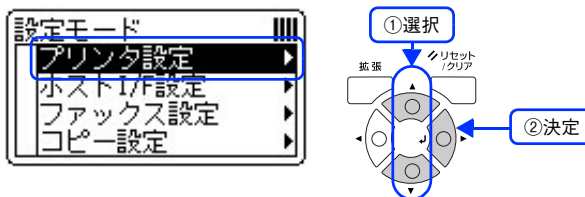
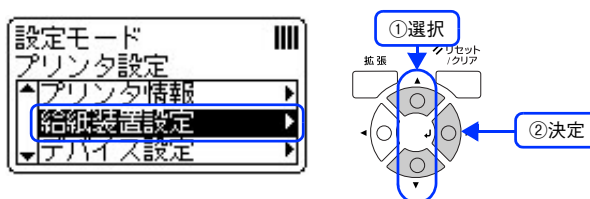
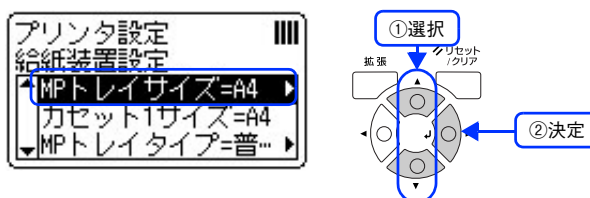
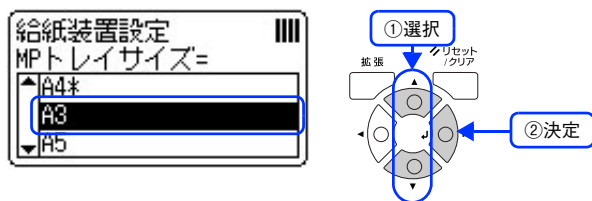
操作パネルで用紙サイズを設定する（MP トレイのみ）

セットする用紙のサイズを変更した（初期設定は A4）場合は、次の手順に従って用紙サイズを設定してください。用紙サイズを正しく設定しないと思うようにコピーや印刷ができなかったり、エラーが発生します。

プリンタドライバの［拡張設定］ダイアログで［用紙サイズのチェックをしない］をチェックするとエラーが発生しなくなります。

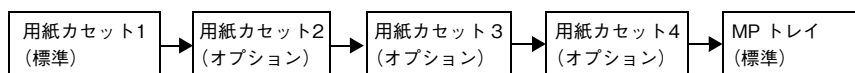
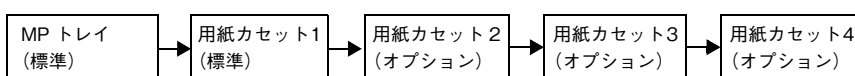
本書 54 ページ「［拡張設定］ダイアログ」

1 本機の電源がオン（ | ）になっていることを確認します。

2 操作パネルの [各種設定] ボタンを押します。

3 ［ ▼ ］［ ▲ ］ ボタンを押して [プリンタ設定] を選択し、［ ► ］ ボタンを押します。

4 ［ ▼ ］［ ▲ ］ ボタンを押して [給紙装置設定] を選択し、［ ► ］ ボタンを押します。

5 ［ ▼ ］［ ▲ ］ ボタンを押して [MP トレイサイズ] を選択し、［ ► ］ ボタンを押します。

6 ［▼］［▲］ボタンを押して MP トレイにセットしてある用紙のサイズを選択し、［►］ボタンを押します。

以上で操作パネルに用紙サイズが登録されました。

給紙装置の優先順位

プリンタドライバで［給紙装置］を［自動選択］に設定すると、印刷実行時に本機の各給紙装置の用紙サイズ設定を次の順番で調べ、プリンタドライバで設定した用紙サイズと一致するサイズの用紙が設定されている給紙装置から給紙します。初めに見つけた給紙装置の用紙がなくなった場合、同じサイズの用紙が設定されている、次の給紙装置に自動的に切り替えて給紙します。

- 操作パネルの［プリンタ設定］-［デバイス設定］で［MP トレイ優先］を［しない］（初期設定）に設定した場合の優先順位は以下の通りです。

- 操作パネルの［各種設定］-［プリンタ設定］-［デバイス設定］で［MP トレイ優先］を［する］に変更した場合の優先順位は次の通りです。

普通紙の場合、給紙装置を組み合わせることで以下の枚数を連続して給紙できます。

給紙装置の組み合わせ	セット枚数	合計セット枚数
標準 MP トレイ	150 枚	150 枚
標準用紙カセットユニット 1（1 段）	250 枚	400 枚
オプションの増設カセットユニット 2（2 段）装着時	500 枚	900 枚
オプションの増設カセットユニット 3（3 段）装着時	500 枚	1,400 枚
オプションの増設カセットユニット 4（4 段）装着時	500 枚	1,900 枚

特殊紙への印刷

ここでは、ハガキなど特殊紙への印刷方法を説明します。

！注意	特殊紙に印刷する場合は、次の設定、操作、説明を必ずお守りください。印刷不良の原因となります。

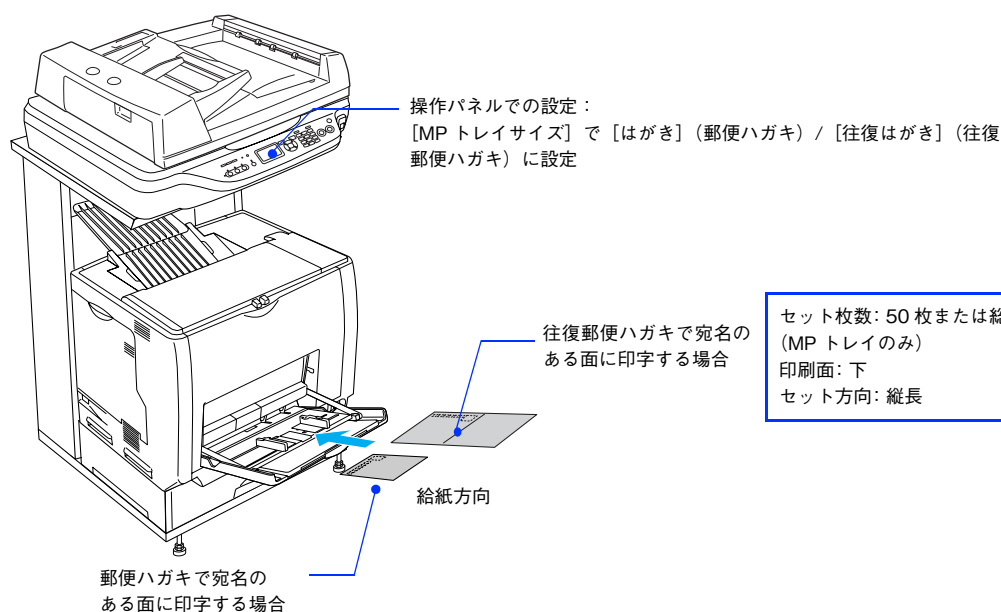
- 特殊紙は、MP トレイにセットしてください。標準用紙カセット 1 や増設用紙カセットユニット（オプション）からの特殊紙の印刷はできません。
- 特殊紙に印刷すると、通常の印刷に比べて印刷速度が遅くなります。これは、特殊紙への良好な印刷を行うために、プリンタ内部で印刷速度の調整を行っているためです。
- ハガキや封筒などの特殊紙に連続印刷する場合で、思い通りの位置に印刷されなかったり、用紙が二重送りされてしまうようなときは、用紙を 1 枚ずつセットして印刷してください。

ハガキへの印刷

郵便ハガキ、往復郵便ハガキが使用できます。

！注意

往復郵便ハガキは、折り跡のないものを使用してください。
次のハガキは使用しないでください。故障や印刷不良などの原因になります。

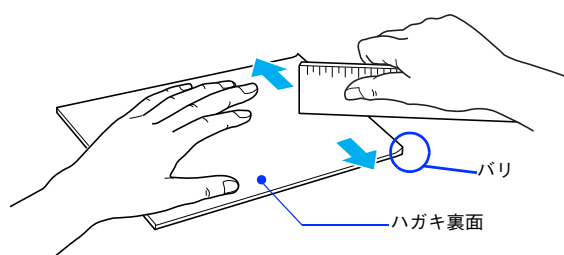
- インクジェットプリンタ用の専用ハガキ
- 表面に特殊コート、糊付けが施されたハガキ、圧着ハガキ
- 熱転写プリンタ、インクジェットプリンタで印刷した後のハガキ
- 中央に折り跡のあるハガキ
- 四面連刷ハガキ、私製ハガキ、絵ハガキなどの厚い（164g/m^2 を超える）ハガキ
- 箔押し、エンボス加工など表面に凹凸のあるハガキ
- 他のプリンタや複写機で一度印刷したハガキ
- 大きく反っているハガキ（反りを修正してご使用ください。）
- 絵入りハガキを給紙すると、絵柄裏移り防止用の粉が給紙ローラに付着して給紙できなくなる場合があります。

- 両面印刷する場合は、良好な印刷結果を得るために、宛名面を印刷してから、通信面を印刷してください。印刷する前に、同サイズの用紙で試し印刷をして印刷位置や印刷方向などの確認をしてください。
- 奥までしっかりセットしても給紙されなかった場合は、先端を数ミリ上に反らせてセットしてください。
- 裏面（または表面）に印刷したハガキの反対面に印刷する場合は、ハガキの反りを直してからプリンタ部にセットしてください。
- 印刷する面を下に向けてセットしてください。宛名印字をする場合は、宛名面を下にしてセットします。

用紙種類	プリンタドライバの設定値		
	ダイアログ	項目	設定値
郵便ハガキ	基本設定	用紙サイズ	［ハガキ 100 × 148mm］
		給紙装置	［MP トレイ］
		用紙種類	［指定しない］、［ハガキ（裏面）］＊
往復郵便ハガキ	基本設定	用紙サイズ	［往復ハガキ 148 × 200mm］
		給紙装置	［MP トレイ］
		用紙種類	［指定しない］、［ハガキ（裏面）］＊

＊片面印刷後さらにもう一方の面に印刷する場合は、［用紙種類］を［ハガキ（裏面）］に設定してください。

ハガキの「バリ」除去

ハガキによっては、裏面に「バリ」(裁断時のかえり) が大きいために、給紙できない場合があります。印刷する前にハガキ裏面を確認し「バリ」がある場合には次の方法に従って除去してください。

ハガキを水平な所に置いて、定規などを「バリ」がある部分に垂直にあてて矢印方向に1～2回こすり、「バリ」を除去します。

！注意 「バリ」除去の際に発生した紙粉をよく払ってから給紙してください。ハガキに紙粉が付着したまま給紙すると、給紙できなくなるおそれがあります。

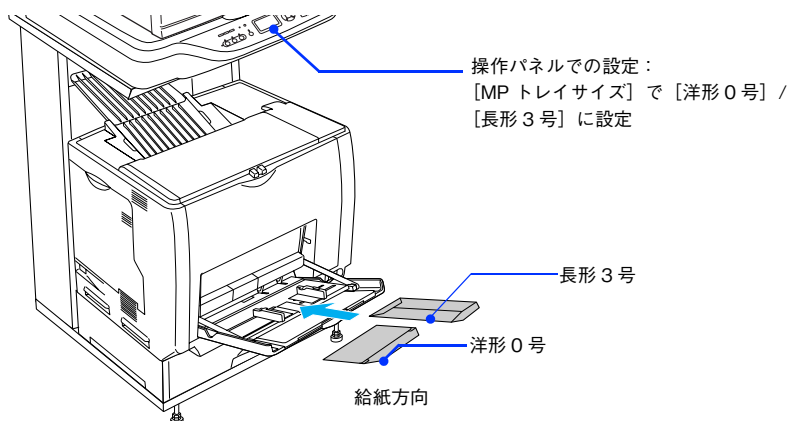
封筒への印刷

本機で使用可能な封筒のサイズは、洋形 0 号、長形 3 号のみです。紙厚は 75g/m^2 ～ 90g/m^2 のものをお勧めします。封筒の品質は、製造メーカー * によって異なります。また、封筒の紙種、保管および印刷環境、印刷方法によっては、しわが目立つ場合がありますので、事前に試し印刷することをお勧めします。また、大量の封筒を購入する前にも、必ず試し印刷をして、印刷の状態を確認してください。

* ハート社製レーザープリンタ専用封筒を推奨します。それ以外の封筒では、しわが目立つ場合があります。

！注意 次の封筒は使用しないでください。故障や印刷不良などの原因になります。特に糊付け加工が施されている封筒は、致命的な故障の原因になる場合がありますので絶対に使用しないでください。

* 封の部分に糊付け加工が施されている封筒
* 箔押し、エンボス加工など表面に凹凸のある封筒
* リボン、フックなどが付いている封筒
* 他のプリンタや複写機で一度印刷した封筒
* 二重封筒
* 窓付きの封筒
* フラップが開いた状態で 148mm 以下の封筒
* フラップの形状が三角の封筒
* 耐熱温度約 200 度以下で変質する可能性のあるインクで印刷がされた封筒

封筒の裏面（フラップ側）へは印刷できません。

セット枚数：15 枚または総厚 17mm 以下（MP トレイのみ）
印刷面：下（封筒裏面を上）
セット方向：長形 3 号：フラップ部を開いたまま、フラップ部が給紙方向に対して後方になるように縦長にセット
洋形 0 号：フラップ部を開いたまま、フラップ部が給紙方向に対して後方になるように横長にセット

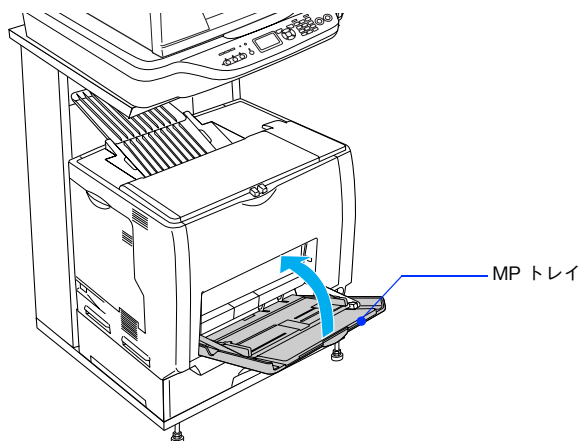
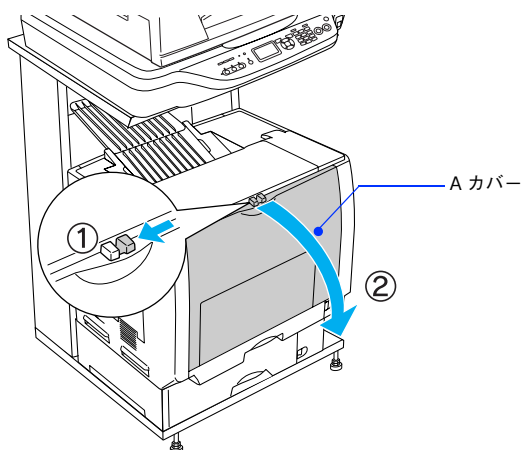
- 奥までしっかりセットしても給紙されなかった場合は、先端を数ミリ上に反らせてセットしてください。
- フラップの形状が三角の封筒は、正常な給紙や排紙ができません。フラップの形状が台形の封筒をお使いください。また、フラップを折り曲げない状態で用紙長が 148mm より長い封筒 * を使用してください（例：洋形 0 号の封筒の場合、用紙長は 120mm ありますので、28mm より長いフラップが必要です）。ただし、フラップ長が 45mm 以下の封筒を使用してください。
  * ハート社製レーザープリンタ専用の封筒への印刷をお勧めします。

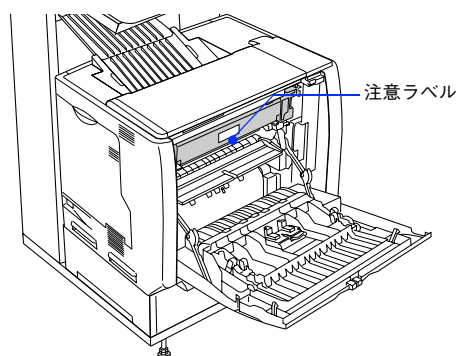
- 印刷結果が思う向きにならない場合は、［180 度回転］をご利用ください。
  本書 40 ページ「［応用設定］ダイアログ」

プリンタドライバで設定するダイアログ	項目	設定値
基本設定	用紙サイズ	［洋形 0 号 120 × 235mm］、［長形 3 号 120 × 235mm］
	給紙装置	［MP トレイ］

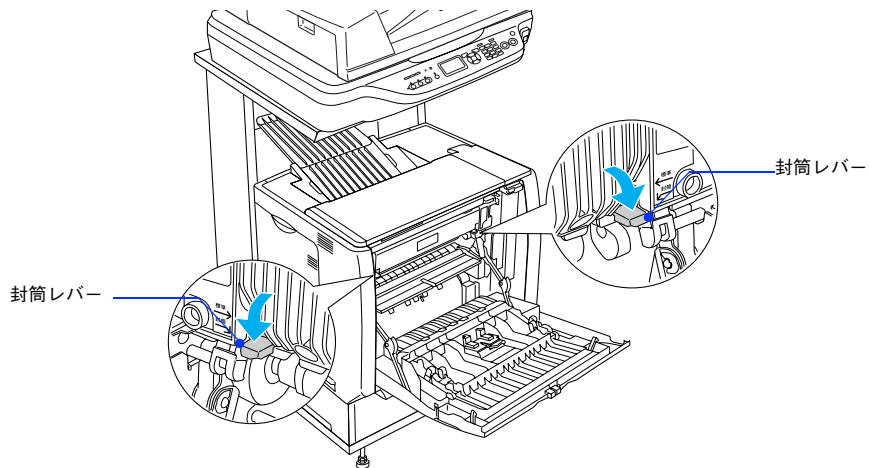
封筒レバーの設定

封筒に印刷する場合は、以下の手順で封筒レバーを設定してください。

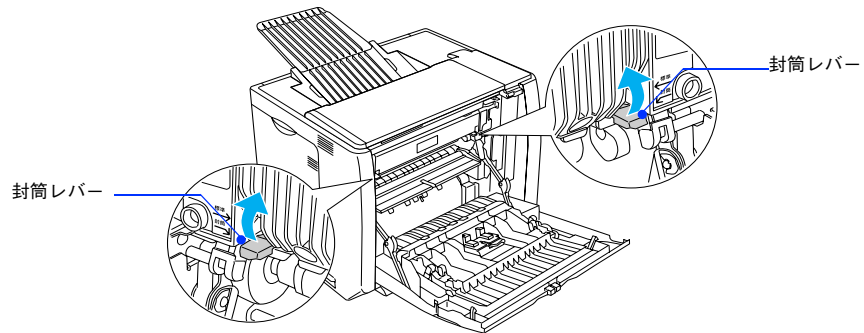
1 **MP トレイに用紙をセットしてある場合は、用紙を取り除き MP トレイを閉じます。**

2 **①ロックを解除して、② A カバーを開けます。**

⚠注意

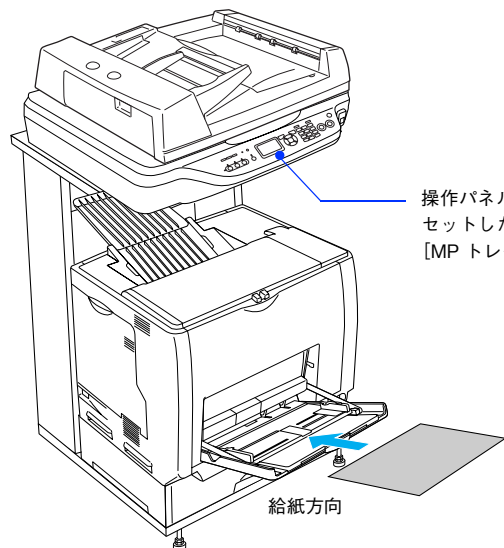
- A カバーを開けたとき、定着器部分に手を触れないようご注意ください。内部は高温（約 200 度以下）になっているため、火傷のおそれがあります。

- プリンタ内部に手を入れるときは十分に注意してください。けがをするおそれがあります。

！注意 プリンタ内部のローラやギアには手を触れないでください。故障の原因になります。

3 封筒レバー（左右）を［封筒］に合わせます。

4 A カバーを閉じます。

以上で封筒レバーの設定は終了です。

！注意 封筒以外の用紙に印刷する場合は、封筒レバーを必ず元の位置（［標準］）に戻してください。封筒レバーが正しく設定されていないと、正しく給紙できない場合や、印刷品質が低下する場合があります。

厚紙への印刷

本機では、紙厚 91 ～ 163g/m^2 の厚紙を使用できます。厚紙の品質は、製造メーカーによって異なります。大量の厚紙を購入する前や大量の印刷を行う前には、必ず試し印刷をして、印刷の状態を確認してください。

セット枚数：
　厚紙：総厚 17mm 以下（MP トレイのみ）
印刷面：下
セット方向：横長または縦長
（用紙サイズにより異なる）

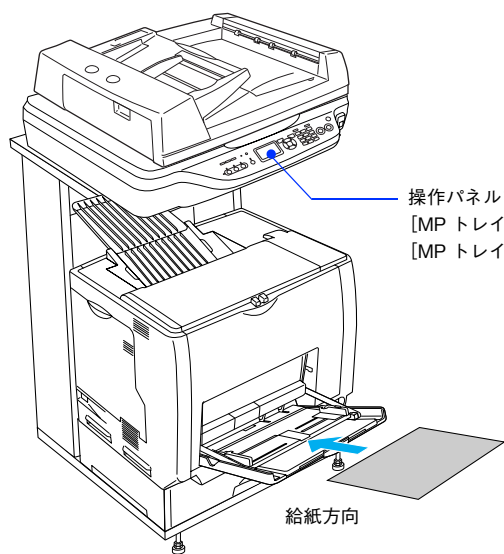
参考　厚紙の裏面へ印刷する場合は、反りを十分直してからセットしてください。

プリンタドライバで設定するダイアログ	項目	設定値
基本設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
	給紙装置	［MP トレイ］
	用紙種類	［厚紙］、［厚紙（裏面）］

ラベル紙への印刷

本機では、A4 サイズのラベル紙（レーザープリンタ用またはコピー機用のラベル紙）のみを印刷することができます。ラベル紙の品質は、製造メーカーによって異なります。大量のラベル紙を購入する前や大量の印刷を行う前には、必ず試し印刷をして、印刷の状態を確認してください。

！注意

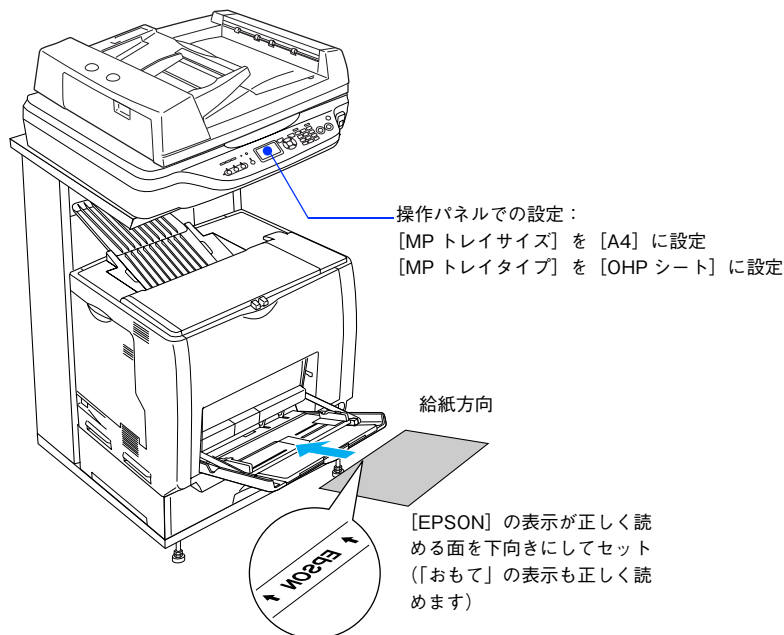
次のラベル紙は使用しないでください。故障の原因になります。
- 簡単にはがれてしまうラベル紙
- 一部がはがれているラベル紙
- 糊がはみ出しているラベル紙
- 台紙全体がラベルで覆われていない（台紙がむき出しになっている）ラベル紙
- インクジェットプリンタ用のラベル紙

セット枚数：50 枚または総厚 17mm 以下
（MP トレイのみ）
印刷面：ラベルが貼ってある面を下
セット方向：縦長

プリンタドライバで設定するダイアログ	項目	設定値
基本設定	用紙サイズ	［A4 210 × 297mm］
	給紙装置	［MP トレイ］
	用紙種類	［ラベル］

OHP シートへの印刷

本機では、EPSON カラーレーザープリンタ専用 OHP シート（型番：LPCOHPS1/ サイズ：A4）を使用してください（以降「専用 OHP シート」と記載）。

! 注意

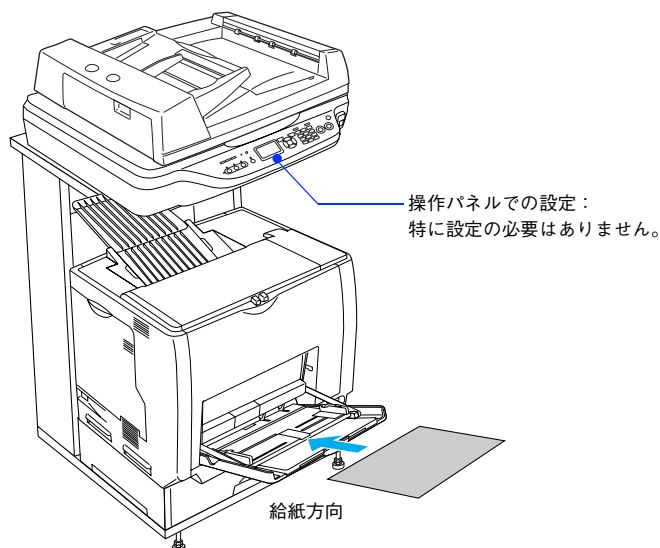
- 専用 OHP シートは、手の脂が付かないように、手袋をはめるなどして取り扱ってください。OHP シートに手の脂が付着すると、印刷不良の原因になる場合があります。
- 印刷直後の専用 OHP シートは熱くなっていますので注意してください。
- 専用 OHP シートには裏表がありますので、下図を参考に表面を上に向けてセットしてください。

セット枚数: 60 枚または総厚 17mm 以下（MP トレイのみ）
印刷面: 下（左図参照）
セット方向: 縦長

ヒサゴ社製「インクジェット用保護フィルム」を使用すると、専用 OHP シートの光の透過性が向上し、よりきれいに投影することができます。

プリンタドライバで設定するダイアログ	項目	設定値
基本設定	用紙サイズ	［A4 210 × 297mm］
	給紙装置	［MP トレイ］
	用紙種類	［OHP シート］

不定形紙への印刷

本機で使用できる不定形紙のサイズは、用紙幅 98.5 ～ 297.0mm、用紙長 148.0 ～ 431.9mm です。大量の不定形紙を購入する前には、必ず試し印刷をして、印刷の状態をご確認ください。

> **!注意** 不定形紙に印刷する場合は、必ずプリンタドライバの［ユーザー定義サイズ］で用紙サイズを指定してください。用紙サイズの異なる定形紙などを選択して印刷し続けた場合、プリンタ内部の定着器が破損する場合があります。

セット枚数（紙厚によって異なる）
紙厚 64 ～ 90g/m^2：150 枚または総厚 17mm 以下（MP トレイのみ）
紙厚 91 ～ 163g/m^2：75 枚または総厚 17mm 以下（MP トレイのみ）
印刷面：下
セット方向：横長または縦長（用紙サイズにより異なる）

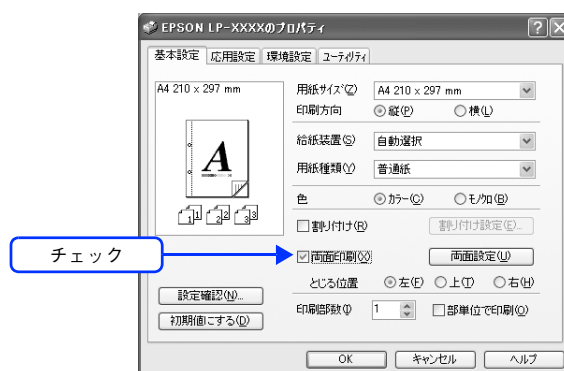
プリンタドライバで設定するダイアログ	項目	設定値
基本設定	用紙サイズ	［ユーザー定義サイズ］で設定
	給紙装置	［MP トレイ］
	用紙種類	セットした用紙の種類に合わせて設定

両面印刷について

本機は自動で用紙の両面に印刷できる機能を標準搭載しているため、次の用紙に自動両面印刷することができます。

用紙種類	用紙サイズ
普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき	A3、A4、B4、B5、Letter（LT）、Legal（LGL）、Executive（EXE）、Government Legal（GLG）、Government Letter（GLT）、Ledger（B）、F4

両面印刷を行う場合は、プリンタドライバで次の設定を行います。

- ［基本設定］ダイアログを開いて、［両面印刷］をチェックします。
  ☞ 本書 37 ページ「［基本設定］ダイアログ」

両面印刷時の注意事項

- 用紙の表側に印刷するデータと用紙の裏側に印刷するデータで用紙サイズの設定が異なる場合は、両面印刷できません。この場合、両方とも用紙の表側に印刷して出力します。
- A5、Half Letter（HLT）、不定形サイズの用紙および特殊紙には両面印刷できません。

自動両面印刷時に用紙詰まりが発生する場合は、給紙方向の用紙の余白を 10mm 以上に設定してください。

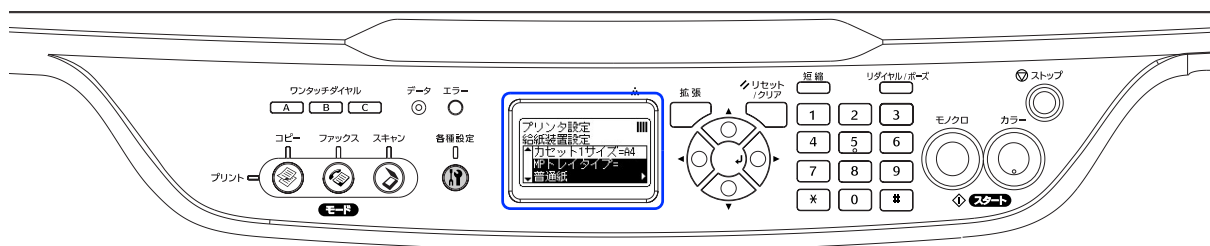
用紙タイプ選択機能

用紙タイプ選択機能を用いると、印刷実行時に各給紙装置の用紙サイズとタイプを調べ、目的の用紙がセットされている給紙装置から自動的に給紙できるようになります。これにより同サイズの異なるタイプ（種類）の用紙をセットしている場合などの誤給紙を防ぐことができます。用紙タイプ選択機能を使用するには、次の手順に従ってください。

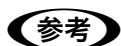
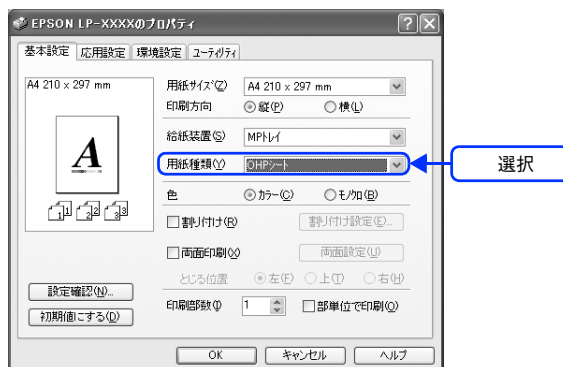
1 各給紙装置にセットした用紙のタイプを設定します。

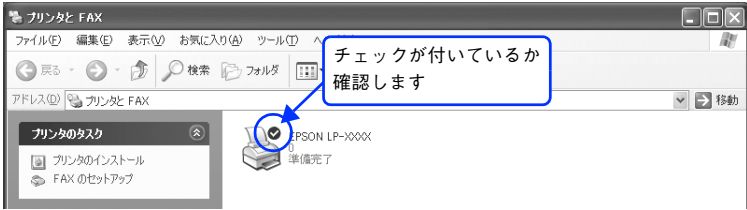
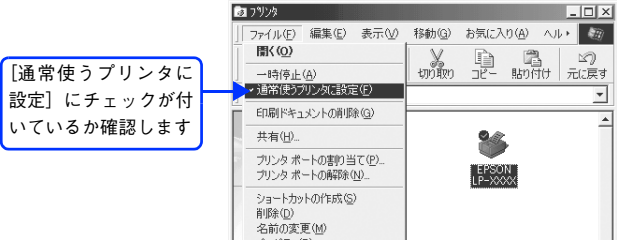
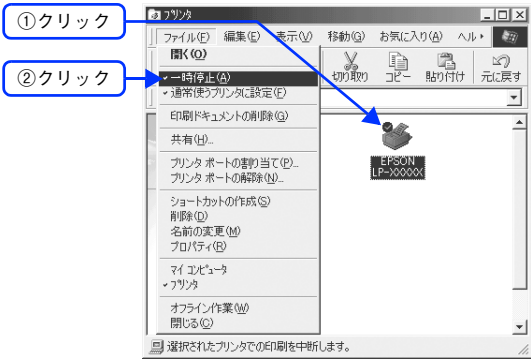
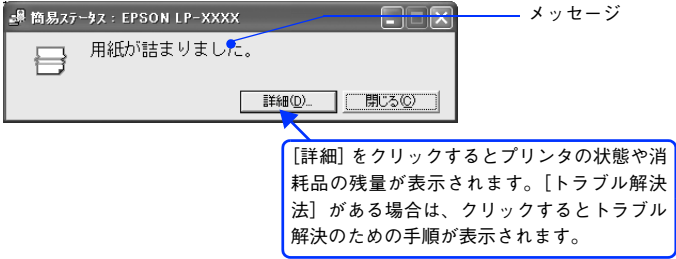
操作パネルで［各種設定］ボタンを押して設定モードに入り、［プリンタ設定］－［給紙装置設定］－［MP トレイタイプ］と［カセット 1 ～ 4 タイプ］から使用する給紙装置の用紙タイプを設定します。
設定値：普通紙、レターヘッド、再生紙、色付き、OHP シート*、ラベル*

＊［給紙装置設定］で［カセット 1 ～ 4 タイプ］を選択した場合は、設定できません。

活用ガイド「付録」-「操作パネルによる設定 / 確認」-「プリンタ設定の項目一覧」

2 印刷実行時に、使用する用紙のタイプをプリンタドライバの［用紙種類］から選択します。

印刷を実行すると、指定した用紙がセットされている給紙装置から自動的に給紙します。

本書 37 ページ「［基本設定］ダイアログ」

［用紙種類］を選択すると［給紙装置］が自動的に選択されますので、［給紙装置］を選択する必要はありません。

5 困ったときは

プリンタとして使用する場合の、困ったときの対処方法を説明しています。

印刷実行時のトラブル

トラブル状態	対処方法
本機の電源が入らない	**電源コードが抜けていたり、ゆるんでいませんか？** 電源コードをプリンタとコンセントに、確実に差し込んでください。 **コンセントに電源は来ていますか？** コンセントがスイッチ付きの場合はスイッチをオンにします。ほかの電化製品をそのコンセントに差し込んで、動作するかどうか確かめてください。 **正しい電圧（AC100V、15A）のコンセントに接続していますか？** コンセントの電圧を確かめて、正しい電圧で使用してください。 コンピュータの背面などに設けられているコンセントには接続しないでください。
ブレーカが動作してしまう	**ブレーカの定格は十分ですか？** ブレーカの定格が十分であるにもかかわらずブレーカが動作してしまう場合は、他の機器を別の配線に接続してみてください。または本機用に専用配線を用意してください

トラブル状態	対処方法
印刷できない	**インターフェイスケーブルが外れていませんか？** 本機側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。また、ケーブルが断線していないか、変に曲がっていないかを確認してください。予備のケーブルをお持ちの方は、差し替えてご確認ください。 **インターフェイスケーブルがコンピュータや本機の仕様に合っていますか？** インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類や本機の仕様に合ったケーブルか確認します。 ☞活用ガイド「オプションと消耗品の紹介」 **本機がデータを処理できません。** 扱うデータ容量が大きすぎるなどの原因のため、本機側でデータの処理ができません。本機にメモリを増設するか、印刷品質（解像度）を下げて印刷してください。 **本機が印刷できない状態です。** 本機の操作パネルの表示、またはランプの状態を確認します。以下のページを参照して、エラーを解除してください。 ☞活用ガイド「困ったときは」-「操作パネルにメッセージが出る」 **コンピュータが画像を処理できません。** コンピュータの CPU やメモリによっては画像データを処理できない場合があります。印刷品質（解像度）を下げて印刷するか、メモリを増設してください。 **ネットワーク上の設定は正しいですか？** • ネットワーク上のほかのコンピュータから印刷できるか確認してください。ほかのコンピュータから印刷できる場合は、プリンタまたはコンピュータ本体に問題があると考えられます。接続状態やプリンタドライバの設定、コンピュータの設定などを確認してください。印刷できない場合は、ネットワークの設定に問題があると考えられます。ネットワーク管理者にご相談ください。 • 同梱の『ネットワーク設定ガイド』（PDF）を参照して、ネットワークの設定を確認してください。 **プリンタドライバの［印刷品質］の設定が［高品質］になっていませんか？** ［高品質］に設定されている場合は、解像度 600dpi で印刷します。この設定で印刷すると本機のメモリが足りなくなり、メモリ関連のエラーが発生する場合があります。［印刷品質］を［標準］（300dpi）にすると印刷できる場合があります。 ☞本書 40 ページ「［応用設定］ダイアログ」 ☞本書 43 ページ「［詳細設定］ダイアログ」

トラブル状態	対処方法
印刷できない（続き）	**本機のプリンタドライバが正しくインストールされていますか？** 本機のプリンタドライバが、[コントロールパネル] の [プリンタと FAX] / [プリンタ] フォルダにアイコンとして登録されていますか？また、アプリケーションソフトによっては、印刷時に印刷するプリンタを選択できない場合もありますので、次の手順に従って通常使うプリンタとして選択されているか確認してください。 1 [スタート] メニューから [プリンタと FAX] / [プリンタ] を開きます。 **Windows XP** ① [スタート] - [コントロールパネル] をクリックします。 [スタート] メニューに [プリンタと FAX] が表示されている場合は、[プリンタと FAX] をクリックして、2 へ進みます。 ② [プリンタとその他のハードウェア] をクリックします。 ③ [プリンタと FAX] をクリックします。 **Windows Server 2003** [スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタと FAX] にカーソルを合わせ、2 へ進みます。[スタート] メニューに [プリンタと FAX] が表示されている場合は、[プリンタと FAX] をクリックして、2 へ進みます。 **Windows 98/Me/2000** [スタート] - [設定] - [プリンタ] をクリックします。 2 [通常使うプリンタに設定] になっているか確認します。 **Windows XP/Server 2003** [プリンタと FAX] 内のプリンタアイコンにチェックが付いていれば、[通常使うプリンタに設定] の状態になっています。プリンタアイコンにチェックが付いていない場合は、使用するプリンタ名を右クリックし、表示されたメニューで [通常使うプリンタに設定] を選択します。 **Windows 98/Me/2000** お使いのプリンタ名（LP-M5500）を選択し、[ファイル] メニューの [通常使うプリンタに設定] が選択されているか確認します。

トラブル状態	対処方法
印刷できない（続き）	**プリンタまたはプリントマネージャのステータスが「一時停止」になっていませんか？** 印刷途中で印刷を中断したり、何らかのトラブルで印刷停止した場合、プリンタまたはプリントマネージャのステータスが「一時停止」になります。このままの状態で印刷を実行しても印刷されません。 **プリンタフォルダから確認する場合** 1 ［スタート］メニューから［プリンタと FAX］/［プリンタ］を開きます。 Windows XP ① ［スタート］-［コントロールパネル］をクリックします。 ［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。 ② ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。 ③ ［プリンタと FAX］をクリックします。 Windows Server 2003 ［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタと FAX］にカーソルを合わせ、2 へ進みます。［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。 Windows 98/Me/2000 ［スタート］-［設定］-［プリンタ］をクリックします。 2 使用するプリンタ名をクリックして［ファイル］メニュー内の［一時停止］または［プリンタをオフラインにする］にチェックが付いている場合はクリックして外します。

トラブル状態	対処方法
印刷できない（続き）	**プリントマネージャから確認する場合** 1 [スタート] メニューから [プリンタと FAX] / [プリンタ] を開きます。 **Windows XP** ① [スタート] - [コントロールパネル] をクリックします。 [スタート] メニューに [プリンタと FAX] が表示されている場合は、[プリンタと FAX] をクリックして、2 へ進みます。 ② [プリンタとその他のハードウェア] をクリックします。 ③ [プリンタと FAX] をクリックします。 **Windows Server 2003** [スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタと FAX] にカーソルを合わせ、2 へ進みます。[スタート] メニューに [プリンタと FAX] が表示されている場合は、[プリンタと FAX] をクリックして、2 へ進みます。 **Windows 98/Me/2000** [スタート] - [設定] - [プリンタ] をクリックします。 2 お使いのプリンタのアイコンをダブルクリックし、プリンタが一時停止状態の場合は [プリンタ] メニューの [一時停止] をクリックしてチェックを外します。 **プリンタドライバの [接続ポート] の設定が合っていません。** プリンタドライバの [接続ポート] の設定を実際に接続しているポートに合わせてください。 ☞本書 190 ページ「接続先の変更方法」 **中間スプールフォルダの設定を変更してみてください。** プリントサーバに Windows を使ってプリンタを共有する場合は、プリンタの中間スプールフォルダを次のように設定してください。 ①ハードディスクに十分な空き容量を確保して、任意のフォルダを作成します。 ②Windows 2000/XP/Server 2003 の場合は、そのフォルダをどのユーザーの印刷データでも処理できるようにします。 ③そのフォルダを、中間スプールフォルダとして設定します。 ☞本書 56 ページ「[動作環境設定] ダイアログ」 これにより、クライアントから送られた印刷データをプリントサーバでスプール（一時的に保存）して共有プリンタで印刷できるようになります。

トラブル状態	対処方法
本機がエラー状態になっている	**コンピュータ画面上にワーニングメッセージやエラーメッセージが表示されていませんか？** 問題が発生すると、コンピュータの画面上に［簡易ステータス］ダイアログが開き、ワーニングメッセージやエラーメッセージが表示されます。メッセージが表示されている場合は、その内容に従って必要な処理を行ってください。 簡易ステータス：EPSON LP-XXXX 用紙が詰まりました。 詳細(D)... 閉じる(C) メッセージ ［詳細］をクリックするとプリンタの状態や消耗品の残量が表示されます。［トラブル解決法］がある場合は、クリックするとトラブル解決のための手順が表示されます。 **操作パネルにワーニングメッセージやエラーメッセージが表示されていませんか？** ワーニングメッセージやエラーメッセージが表示されていたら、以下のページを参照して適切な処置をしてください。 ☞活用ガイド「困ったときは」-「操作パネルにメッセージが出る」
エラーが発生する	**本機のメモリ容量は十分ですか？** メモリが足りないとメモリ関連のエラーが発生します。次のいずれかの方法でエラーを回避して印刷できる場合があります。 • カラー印刷では、データの保存（圧縮）形式を変える（例：JPEG 形式のような非可逆圧縮を使用し、データ容量を減らす）。 • プリンタドライバの［印刷品質］を［標準］に設定する。 ☞本書 40 ページ「［応用設定］ダイアログ」 ☞本書 43 ページ「［詳細設定］ダイアログ」 • 使用していないインターフェイスを［使わない］に設定する。 ☞活用ガイド「付録」-「操作パネルによる設定 / 確認」-「ホスト I/F 設定」 上記の方法でメモリエラーを回避できない場合は、本機へのメモリの増設をお勧めします。メモリエラーを回避できる場合があります。
オプションの増設カセットユニットが認識されない	**増設カセットユニット背面のコネクタがプリンタ部に接続されていますか？** コネクタが接続されていないと増設カセットユニットが認識されず、増設カセットユニットからの給紙ができません。コネクタが確実に接続されていることを確認してください。 ☞活用ガイド「オプションと消耗品」-「オプションの装着方法」

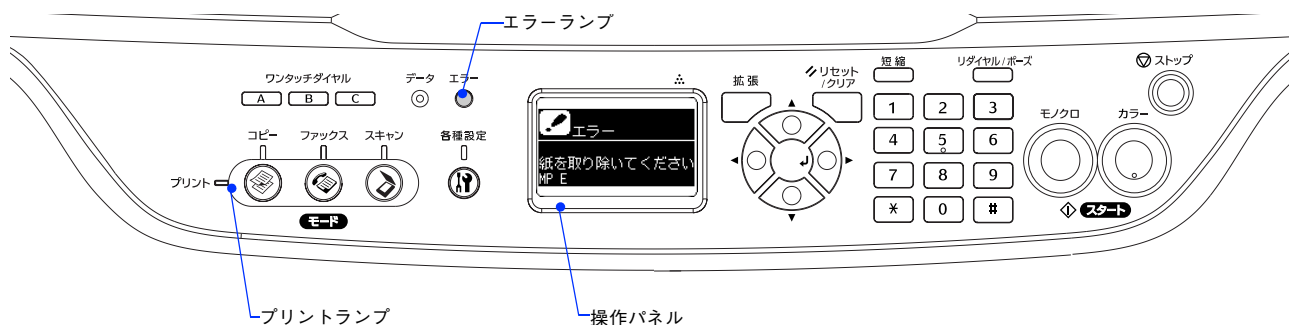
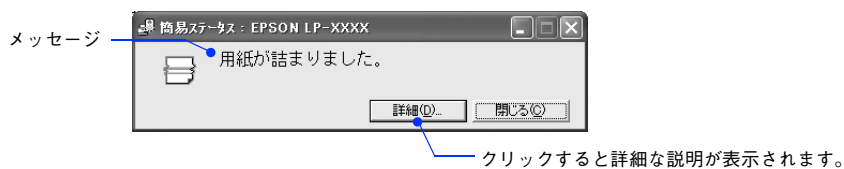
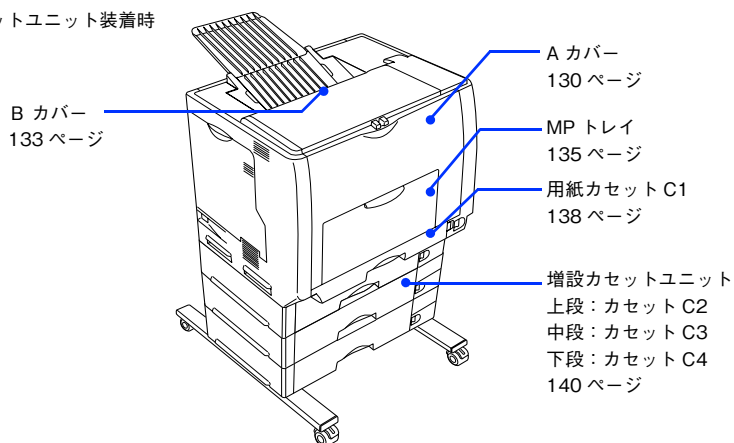
トラブル状態	対処方法
給排紙されない	**本機の底面より小さな台の上に設置していませんか？** 本機の底面より小さな台の上に設置すると正常な給排紙ができません。本機の設置場所を確認してください。 **本機は水平な場所に設置されていますか？** **本機の下にはさまれている物はありませんか？** 設置場所が水平でなかったり、本機の下に異物がはさまれていると正常に排紙されない場合があります。設置場所の環境を再確認してください。 **本機で印刷可能な用紙を使用していますか？** 印刷可能な用紙を使用してください。 本書 87 ページ「印刷できる用紙の種類」 **両面印刷時に、両面印刷可能な用紙を使用していますか？** 両面印刷で使用できる用紙は、以下のページを参照してください。 本書 115 ページ「両面印刷について」 **セットする前に用紙をさばきましたか？** 複数枚セットする際に、用紙をさばいてからセットすると給紙時の問題が発生しなくなる場合があります。 **用紙カセットが正しくセットされていますか？** 用紙カセットを正しくセットしてください。 本書 99 ページ「用紙カセット（オプションカセット 2 ～ 4）に用紙をセットする」 **セットしている用紙とプリンタドライバの設定は一致していますか？** ステータスシートまたは操作パネルで、MP トレイ / 用紙カセットの用紙サイズを確認してください。 本書 37 ページ「［基本設定］ダイアログ」 操作パネル ：本書 103 ページ「操作パネルで用紙サイズを設定する（MP トレイのみ）」 操作パネル：本書 158 ページ「ステータスシート（簡易版）を印刷する」 **プリンタドライバで使用したい給紙装置を選択していますか？** プリンタドライバで使用する給紙装置を選択してください。 本書 37 ページ「［基本設定］ダイアログ」 **アプリケーションソフトの給紙装置の設定は合っていますか？** 給紙装置の設定は、アプリケーションソフトの設定が優先する場合があります。アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して給紙装置の設定を確認してください。

トラブル状態	対処方法
給排紙されない（続き）	**給紙ローラが汚れていませんか？** 給紙ローラを拭いてください。 ☞活用ガイド「メンテナンス」-「本機の清掃」-「給紙ローラを清掃する」 **ハガキ、封筒、厚紙の先端が下向きに反っていませんか？** 先端を数ミリ上に反らしてからセットしてください。
紙詰まりエラーが解除されない	**詰まった用紙をすべて取り除きましたか？** カバー付近を確認してください。それでもエラーが解除されない場合は用紙を取り除く際に用紙が破れてプリンタ内部に残っているかもしれません。このような場合には無理に取り除こうとせずに、保守契約店（保守契約されている場合）または販売店にご連絡ください。
用紙を二重送りしてしまう	**用紙どうしがくっついていませんか？** 用紙がくっついて給紙される場合は、用紙をよくさばいてください。ラベル紙の場合は、1 枚ずつセットしてください。 **ハガキや封筒の先端が下向きに反っていませんか？** 先端を数ミリ上に反らしてからセットしてください。 **本機に合った用紙を使用していますか？** 用紙の仕様を確認し、印刷可能な用紙をお使いください。 ☞本書 87 ページ「印刷できる用紙の種類」
用紙がカールする	**正しい印刷面へ印刷していますか？** 特に印刷面の指定がない場合でも、逆の面へ印刷することによって用紙がカールしなくなることがあります。印刷面を変えて印刷してみてください。
定着部での紙詰まりが連続して発生する	**定着ローラが汚れている可能性があります。** 次の手順で定着ローラを清掃します。 ①詰まった用紙があれば取り除きます。 ②［ストップ］ボタンを押して、印刷データをキャンセルします。 ③A4 サイズ 1 ページ分のデータを作成します。 用紙の下半分に数文字程度のテキストが入っているモノクロのデータを作成してください。 ④本機に A4 サイズの用紙を 5 枚以上セットします。 ⑤プリンタドライバの設定を次のようにします。 用紙種類：［厚紙］を選択 用紙サイズ：セットした用紙サイズを選択 部単位印刷：［5］を指定 ⑥③で作成したデータを印刷します。 上記の作業を行ってもまだ汚れが残る場合は、同じ作業を繰り返し行ってください。

トラブル状態	対処方法
「通信エラーが発生しました」と表示される	**本機の電源が入っていますか？** コンセントにプラグが差し込まれているのを確認し、本機の電源をオン（ ｜ ）にします。 **インターフェイスケーブルが外れていませんか？** 本機側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。またケーブルが断線していないか、変に曲っていないかを確認してください（予備のケーブルをお持ちの場合は、差し換えてご確認ください）。 **インターフェイスケーブルがコンピュータや本機の仕様に合っていますか？（ローカル接続時）** インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類やプリンタの仕様に合ったケーブルかどうかを確認します。 ☞活用ガイド「オプションと消耗品」-「オプションと消耗品の紹介」 **インターフェイスが使用できますか？** 操作パネルで特定のインターフェイスが使用できないように設定されていると、そのインターフェイスは使用できません。使用できるように設定してください。 ☞活用ガイド「付録」-「操作パネルによる設定 / 確認」-「ホスト I/F 設定」 **他のインターフェイスから印刷していませんか？** 印刷の終了後に再度印刷を実行してみてください。 **［監視プリンタの設定］ユーティリティで、プリンタを監視しない設定にしていませんか？** ［監視プリンタの設定］ユーティリティで、［ローカルプリンタを監視する］、［Windows 共有プリンタを監視する］、［LPR プリンタを監視する］をチェックしないと、本機を監視することができず、正常に印刷できません。必ずチェックしてください。 ☞本書 69 ページ「監視プリンタの設定」 **Windows XP のリモートデスクトップ機能で、リダイレクトプリントを実行していませんか？** Windows XP のリモートデスクトップ機能を利用している状態で、移動先のコンピュータからそのコンピュータに直接接続されたプリンタへ印刷する場合、EPSON ステータスモニタがインストールされていると通信エラーが発生します。ただし、印刷は正常に行われます。

トラブル状態	対処方法
「通信エラーが発生しました」と表示される （続き）	**ネットワークプリンタとして本機をお使いの場合に、印刷プロトコルとして Net BIOS、IPP を使用していませんか？** お使いのネットワーク環境（NetBIOS 接続時や EpsonNet Internet Print 使用時など）によっては、EPSON ステータスモニタがネットワークプリンタを監視できないために印刷を実行すると通信エラーとなる場合があります。エラーが表示されても印刷は正常に終了します。このような場合には、EPSON ステータスモニタの［通知設定］ダイアログ内の［印刷中プリンタを監視する］のチェックを外してお使いください。
ステータス（状態）が画面表示できない	**双方向通信機能の設定を解除しませんでしたか？** • WindowsにインストールされたEPSONステータスモニタは、双方向通信機能が有効になっていないとプリンタのステータス（状態）に関する情報を取得できません（印刷はできます）。 • Windows 98/Me の場合、プリンタドライバの［詳細］ダイアログで［スプールの設定］をクリックして［プリンタスプールの設定］ダイアログを開き、［このプリンタで双方向通信機能をサポートする］を選択してください。 • Windows 2000/XP/Server 2003 の場合、プリンタドライバの［ポート］ダイアログで［双方向サポートを有効にする］が選択されているか確認してください。

用紙が詰まったときは

紙詰まりが発生したときは、操作パネルエラーランプが点灯してお知らせします。操作パネルには、「紙を取り除いてください XXXX」のようなメッセージが表示されます。「XXXXX」には、紙詰まりが発生した箇所が表示されます。
本書の手順に従って用紙を取り除いてください。

また、EPSON ステータスモニタが紙詰まりをお知らせします。EPSON ステータスモニタでは、「用紙が詰まりました。」というメッセージが表示されます。
本書 59 ページ「EPSON ステータスモニタ」

次のいずれかの箇所から詰まった用紙を取り除きます。詰まった用紙を取り除く箇所は、操作パネルまたは EPSON ステータスモニタの表示で確認できます。

紙詰まりの原因

紙詰まりの主な原因は次のようなものです。紙詰まりが繰り返し発生するときは、次の点を確認してください。印刷できない用紙の詳細は、以下のページを参照してください。

本書 89 ページ「印刷できない用紙」

- 本機が水平に設置されていない
- 用紙ガイドが正しい位置にセットされていない
- MP トレイまたは用紙カセットが正しくセットされていない
- 本機で使用できない用紙を使用している
- 給紙ローラが汚れている
  活用ガイド「付録」-「本機の清掃」-「給紙ローラを清掃する」

! 注意

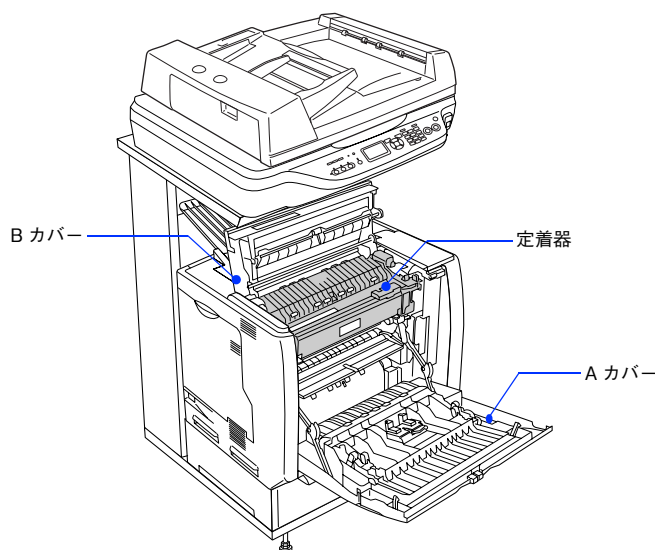
- 用紙を取り除く際に、用紙を破かないよう注意してください。用紙が破れた場合は、破れた用紙が残らないようすべて取り除いてください。
- 印刷中に用紙を継ぎ足さないでください。複数枚の紙を同時に給紙して紙詰まりの原因となる可能性があります。
- 紙詰まりが頻繁に発生する場合は、用紙を 1 枚ずつセットして印刷を行ってください。

用紙取り出し時の注意

詰まった用紙を取り出すときは、次の点に注意してください。

- 詰まった用紙は、破れないように両手でゆっくり取り除いてください。無理に取り除くと、用紙がやぶれて取り除くことが困難になり、さらに別の用紙詰まりを引き起こします。
- 用紙が破れた場合は、破れた用紙が残らないようすべて取り除いてください。

⚠注意

- プリンタ正面のAカバーやBカバーを開けたときは定着器部分に手を触れないようご注意ください。内部は高温（約 200 度以下）になっているため、火傷のおそれがあります。

- 本機内部に手を入れるときは十分に注意してください。けがをするおそれがあります。

! 注意

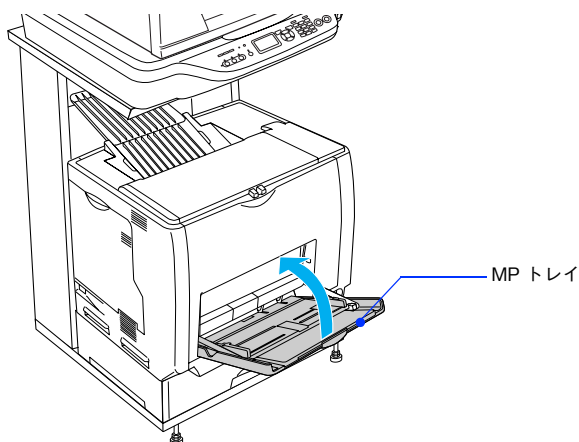
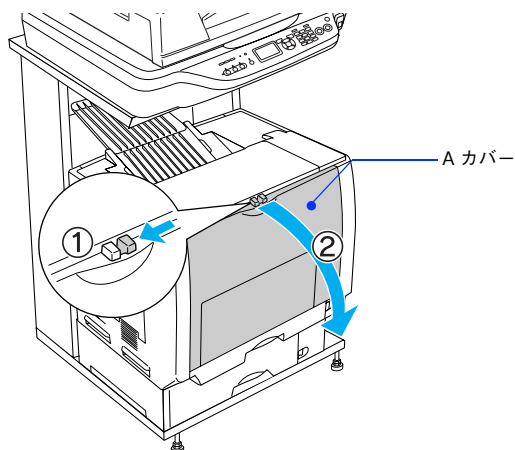
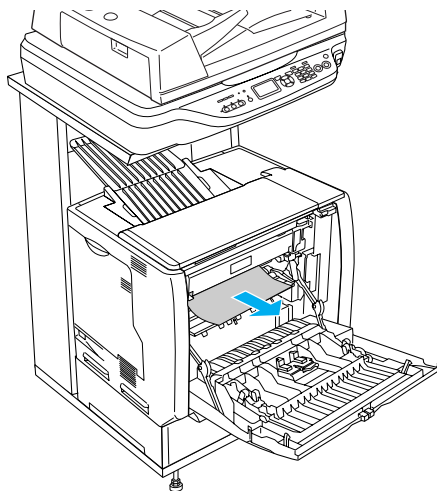
破れた用紙が取り除けない場合や、以降の説明箇所以外の場所に用紙が詰まって取り除けない場合は、保守契約店（保守契約されている場合）、販売店、またはエプソン修理窓口へご相談ください。

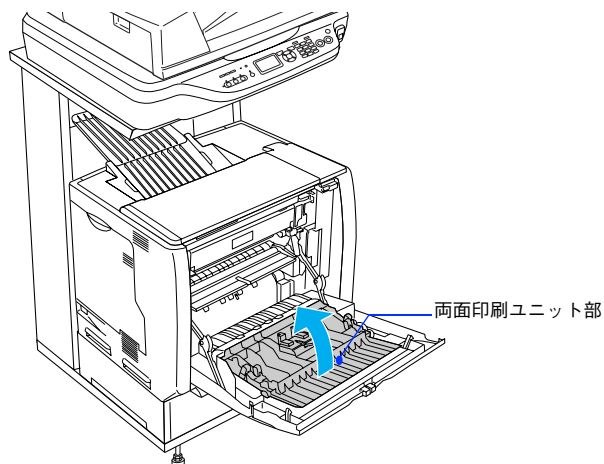
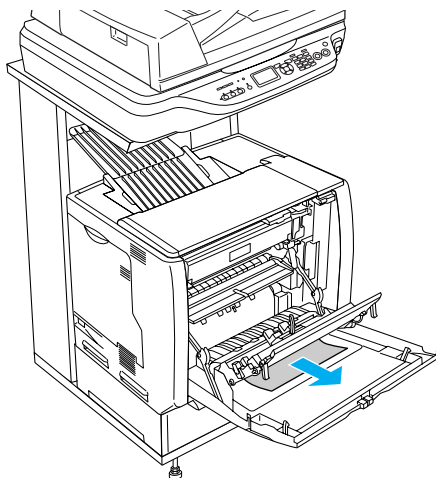
プリンタ内部（A カバー）で用紙が詰まった場合は

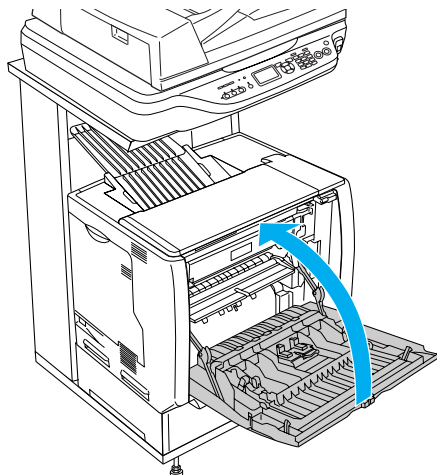
プリンタ内部で用紙が詰まった場合、以下のメッセージが表示されます。

表示部	メッセージ
操作パネル	紙を取り除いてください A
EPSON ステータスモニタ	用紙が詰まりました。 次の箇所付近に詰まった用紙を取り除いてください。 A カバー

以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

1 **MP トレイに用紙をセットしてある場合は、用紙を取り除き MP トレイを閉じます。**

2 **①ロックを解除して、② A カバーを開けます。**

3 **詰まった用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。**

この段階で用紙が取り除けたら、5 へ進みます。

4 **A カバーの両面印刷ユニット部を持ち上げます。**

5 **詰まった用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。**

6 A カバーを閉じます。

A カバーを閉じると両面印刷ユニット部も元の位置に戻ります。

用紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後、A カバーを閉じることで解除されます。詰まった用紙が完全に取り除かれていると、詰まったページから印刷を再開します。

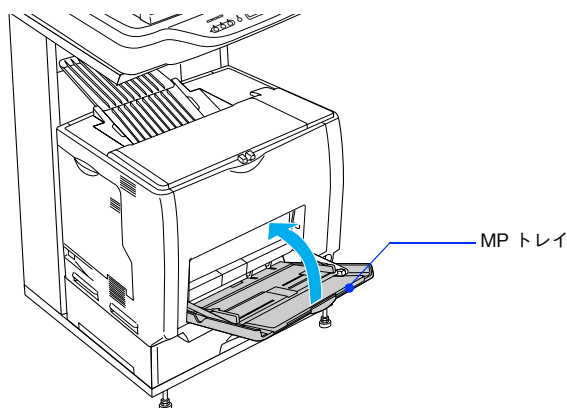
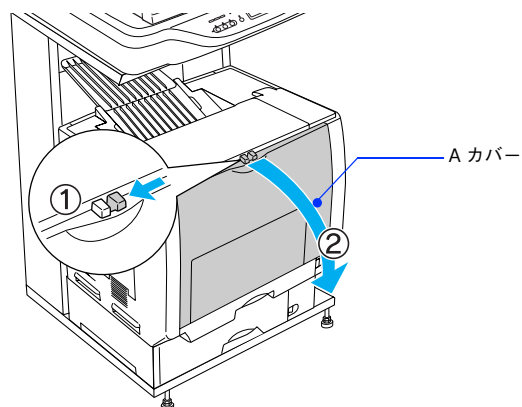
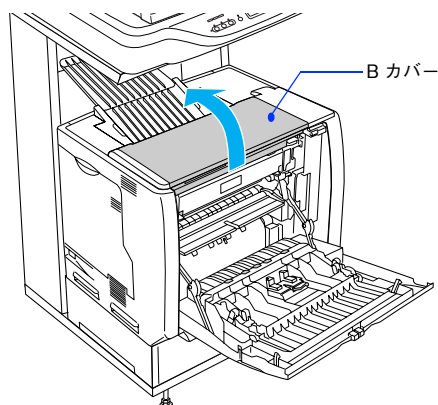
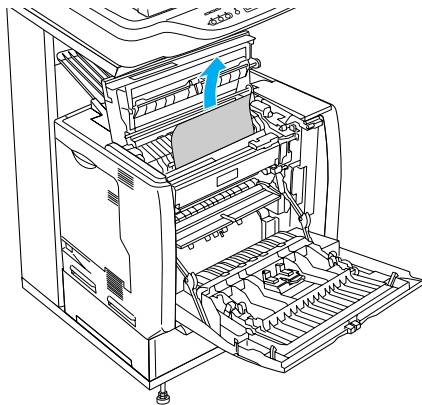
！注意　A カバーをしっかり閉じていないと、操作パネルに「A カバーを閉じてください」と表示されます。A カバーをしっかりと閉じてください。

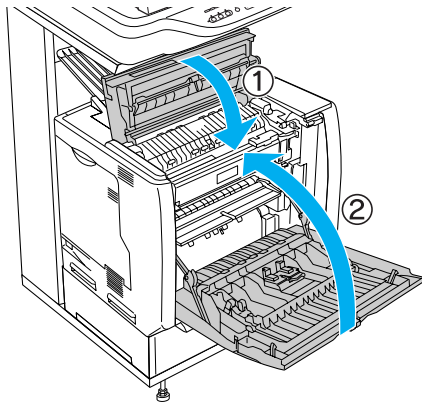
排紙口（B カバー）で用紙が詰まった場合は

本機の排紙口で用紙が詰まった場合、以下のメッセージが表示されます。

表示部	メッセージ
操作パネル	紙を取り除いてください B
EPSON ステータスモニタ	用紙が詰まりました。 次の箇所付近に詰まった用紙を取り除いてください。 B カバー

以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

1 **MP トレイに用紙をセットしてある場合は、用紙を取り除き MP トレイを閉じます。**

2 **①ロックを解除して、② A カバーを開けます。**

3 **B カバーを図のように開けます。**

4 詰まった用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。

5 ① B カバーを閉じてから、② A カバーを閉じます。

用紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後、A/B カバーを閉じることで解除されます。詰まった用紙が完全に取り除かれていると、詰まったページから印刷を再開します。

! 注意	A/B カバーをしっかり閉じていないと、操作パネルに「A カバーを閉じてください」と表示されます。A/B カバーをしっかりと閉じてください。

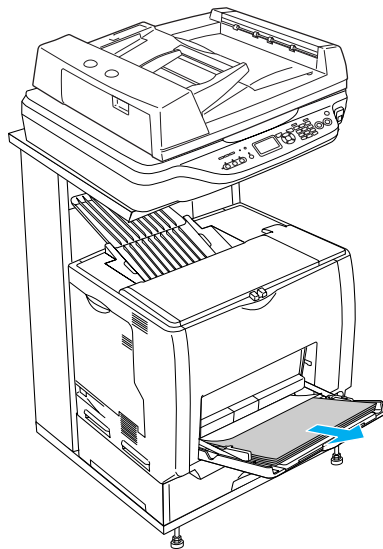
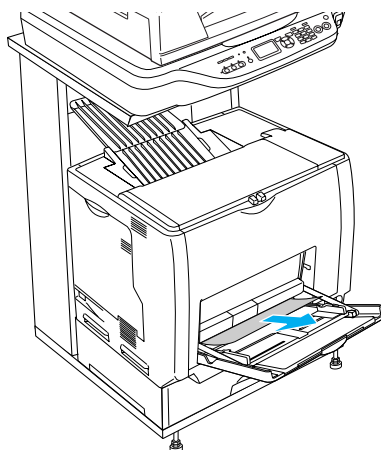
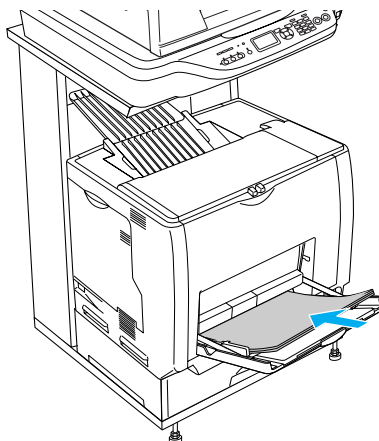
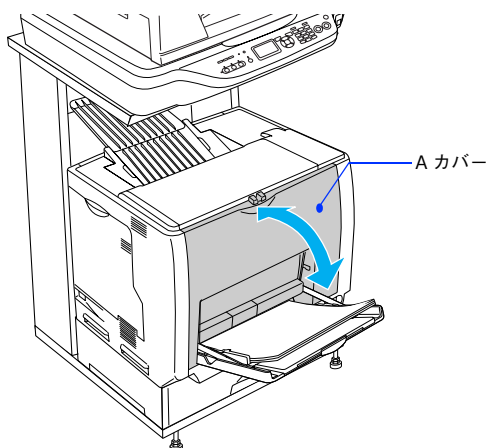
給紙口で用紙が詰まった場合は

本機の給紙口で用紙が詰まった場合、以下のメッセージが表示されます。

表示部	メッセージ
操作パネル	紙を取り除いてください C1 C2 C3 C4 紙を取り除いてください MP
EPSON ステータスモニタ	用紙が詰まりました。 次の箇所付近に詰まった用紙を取り除いてください。 用紙カセット＊（＊には 1 ～ 4 のカセット番号が表示されます） MP トレイ

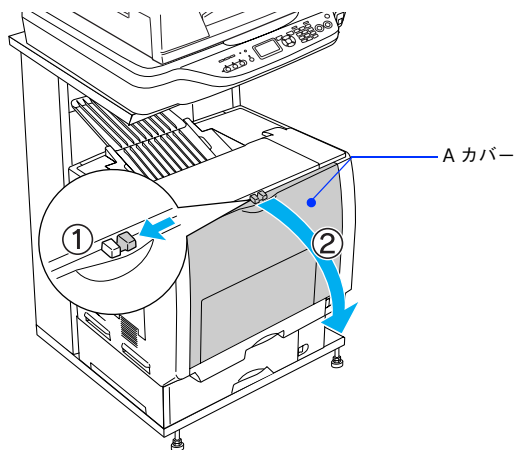
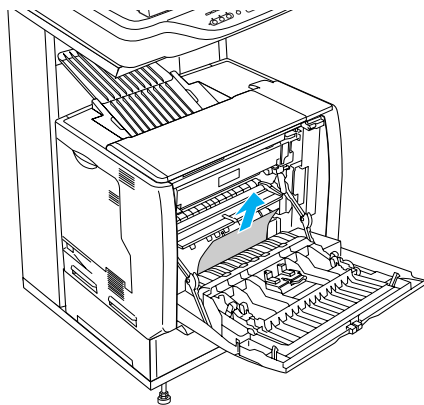
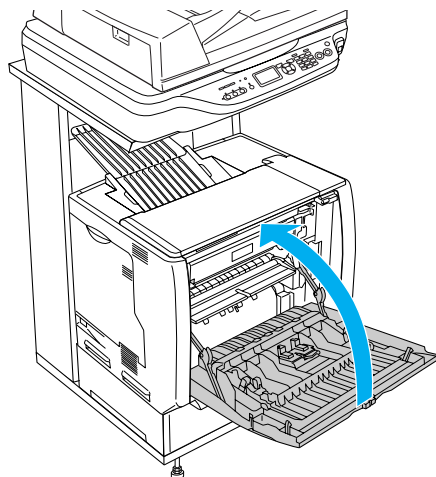
- 「紙を取り除いてください C1」の場合は、標準用紙カセット 1 から用紙を取り除いてください。
  ☞ 本書 138 ページ「用紙カセット（標準カセット C1）の確認」
- 増設カセットユニット（オプション）を装着して「カミヅマリ C2 ～ C4」の場合は、用紙カセットを確認します。
  ☞ 本書 140 ページ「用紙カセット（オプション C2 ～ C4）の確認」
- 「紙を取り除いてください MP」の場合は、以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

MP トレイの確認

1 MP トレイにセットしてある用紙を取り外します。

2 詰まった用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。

3 用紙を正しくセットし直します。

4 A カバーを開閉します。

詰まった用紙を完全に取り除き、A カバーを開閉すると詰まったページから印刷を再開します。

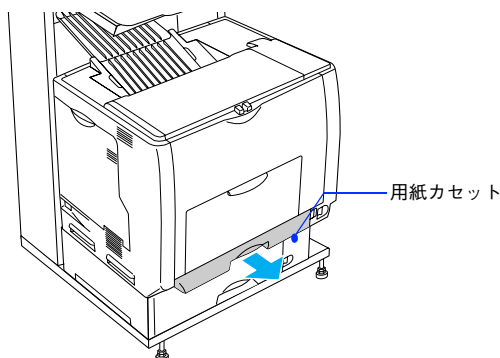
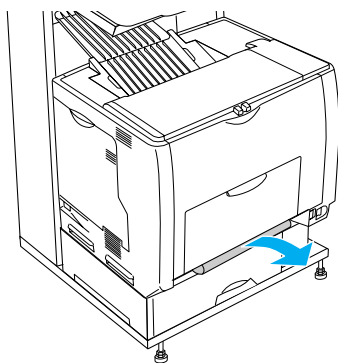
> **! 注意** A カバーを開閉する際、MP トレイから用紙が落ちないように、A カバーを少し開けて、すぐに閉じてください。

用紙詰まりのエラーが解除されない場合は、プリンタ内部で用紙が詰まっている可能性があります。以下の手順でプリンタ内部を確認してください。次のページへ進みます。

5 ①ロックを解除して、② A カバーを開けます。

6 プリンタの下部で詰まった用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。

7 A カバーを閉じます。

用紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後、A カバーを閉じることで解除されます。詰まった用紙が完全に取り除かれていると、詰まったページから印刷を再開します。

> **! 注意** A カバーをしっかり閉じていないと、操作パネルに「A カバーを閉じてください」と表示されます。A カバーをしっかりと閉じてください。

用紙カセット（標準カセット C1）の確認

1 プリンタから用紙カセットを引き抜きます。

2 詰まった用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。

! 注意 エラー状態が解除されない場合は、用紙カセットの奥側に詰まった用紙がないか確認してください。

3 ①用紙を正しくセットし直してから用紙カセットをプリンタ部にセットし、② A カバーを開閉します。

詰まった用紙を完全に取り除き、A カバーを開閉すると詰まったページから印刷を再開します。

! 注意 A カバーを開閉する際、MP トレイから用紙が落ちないように、A カバーを少し開けて、すぐに閉じてください。

用紙詰まりのエラーが解除されない場合は、プリンタ内部で用紙が詰まっている可能性があります。以下の手順でプリンタ内部を確認してください。次のページへ進みます。

4 ①ロックを解除して、② A カバーを開けます。

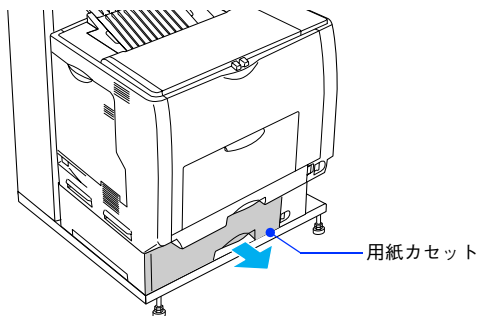
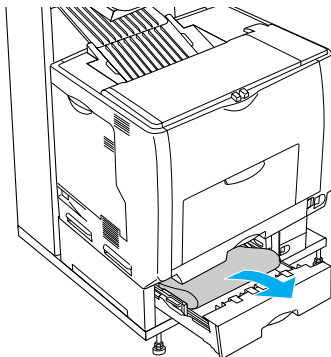
5 プリンタの下部で詰まった用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。

6 A カバーを閉じます。

用紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後、A カバーを閉じることで解除されます。詰まった用紙が完全に取り除かれていると、詰まったページから印刷を再開します。

!注意	A カバーをしっかり閉じていないと、操作パネルに「A カバーを閉じてください」と表示されます。A カバーをしっかりと閉じてください。

用紙カセット（オプション C2 ～ C4）の確認

1 **増設カセットユニットから用紙カセットを引き抜きます。**

2 **詰まった用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。**

! 注意	エラー状態が解除されない場合は、用紙カセットの奥側に詰まった用紙がないか確認してください。

3 **①用紙を正しくセットし直してから用紙カセットをプリンタ部にセットし、② A カバーを開閉します。**

詰まった用紙を完全に取り除き、A カバーを開閉すると詰まったページから印刷を再開します。

! 注意	A カバーを開閉する際、MP トレイから用紙が落ちないように、A カバーを少し開けて、すぐに閉じてください。

用紙詰まりのエラーが解除されない場合は、プリンタ内部で用紙が詰まっている可能性があります。以下の手順でプリンタ内部を確認してください。次のページへ進みます。

4 ①ロックを解除して、② A カバーを開けます。

5 プリンタの下部で詰まった用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。

6 A カバーを閉じます。

用紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後、A カバーを閉じることで解除されます。詰まった用紙が完全に取り除かれていると、詰まったページから印刷を再開します。

!注意

- 用紙カセットをプリンタ部にしっかりセットしていないと、操作パネルに「用紙カセット1〜4をセットしてください」と表示されます。
- A カバーをしっかり閉じていないと、操作パネルに「A カバーを閉じてください」と表示されます。A カバーをしっかりと閉じてください。

カラー印刷に関するトラブル

トラブル状態	対処方法
カラー印刷ができない	**プリンタドライバの設定が、カラー印刷になっていますか** プリンタドライバの［色］が［モノクロ］に設定されているとカラー印刷ができません。 ☞本書 37 ページ「［基本設定］ダイアログ」 ☞本書 43 ページ「［詳細設定］ダイアログ」 **アプリケーションソフトの設定がカラーデータになっていますか？** アプリケーションソフト上でカラーデータになっているか確認してください。
画面表示と色合いが異なる	**出力装置（ディスプレイとプリンタ）の違いによる差です。** ディスプレイ表示とプリンタで印刷した時の色とでは、発色方法が違うため、色合いに差異が生じます。 **ディスプレイで表示する場合** テレビやディスプレイなどでは、赤（R）・緑（G）・青（B）の“光の三原色”と呼ばれる 3 色の組み合わせでさまざまな色を表現します。どの色も光っていない状態が黒（BK）、3 色すべてが光っている状態が白（W）となります。 **プリンタで印刷する場合** カラーのグラビア印刷やカラープリンタの印刷は、シアン（C）・イエロー（Y）・マゼンタ（M）の“色の三原色”を組み合わせています。全く色を付けないのが白（W）で、3 色を均等に混ぜた状態が黒（BK）になります。 スキャナで読み込んだ画像を印刷するときは、原画（CMY）→ディスプレイ（RGB）→印刷（CMY）の変更が必要になり、完全に一致させることは難しくなります。このような場合の機器間のカラーマッチング（色の合わせ込み）を行うのが、ICM（Windows）や ColorSync（Mac OS）です。

トラブル状態	対処方法
画面表示と色合いが異なる（続き）	**プリンタドライバのオートフォトファイン！5を有効にしていませんか？** オートフォトファイン !5 は、コントラストや彩度が適切でないデータに対して最適な補正を加えて鮮明に印刷できるようにする機能です。そのためオートフォトファイン !5 を有効にしてあると、表示画面と色合いが異なる場合があります。 本書 43 ページ「［詳細設定］ダイアログ」 **普通紙を使用していませんか？** カラー印刷の場合は、使用する用紙によって仕上がりイメージがかなり異なります。最良の印刷結果を得るには、「EPSON 製カラーレーザープリンタ用上質普通紙」の使用をお勧めします。
中間調の文字や、細い線がかすれる	**［階調優先］/［自動（階調優先）］に設定していませんか？** カラー印刷時に細い線や細かい模様などを再現する場合には、［スクリーン］を［自動（解像度優先）］または［解像度優先］に設定してください。 本書 43 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
色むらが生じる	**［解像度優先］/［自動（解像度優先）］に設定していませんか？** カラー印刷時に微妙な色合いを再現する場合には、［スクリーン］を［自動（階調優先）］または［階調優先］に設定してください。 本書 43 ページ「［詳細設定］ダイアログ」

印刷品質に関するトラブル

<table>
<tr><th>トラブル状態</th><th>対処方法</th></tr>
<tr><td>きれいに印刷できない</td><td>

トナーカートリッジおよび感光体ユニットは推奨品（当社純正品）をお使いですか？

本製品は純正トナーカートリッジおよび感光体ユニット使用時に最高の印刷品質が得られるように設計されております。純正品以外のものをご使用になると、本体の故障の原因となったり、印刷品質が低下するなど本機の性能が発揮できない場合があります。トナーカートリッジおよび感光体ユニットは純正品のご使用をお勧めします。また、必ず本機に合った型番のものをお使いください。本製品で使用できるトナーカートリッジおよび感光体ユニットの当社純正品は、以下のページを参照してください。

☞活用ガイド「メンテナンス」-「トナーカートリッジの交換」
☞活用ガイド「メンテナンス」-「感光体ユニットの交換」

トナーセーブ機能を使用していませんか？

トナーセーブ機能は、内容確認など印刷品質を問わない印刷時にご使用ください。

☞本書 43 ページ「[詳細設定] ダイアログ」

[RIT] 機能を使用して印刷していますか？

文字をきれいに印刷したい場合は [RIT] 機能を使用して印刷してください。ただし、写真など複雑なトーンがあるデータの場合は、[RIT] 機能を使用しないほうがきれいに印刷できる場合があります。

☞本書 43 ページ「[詳細設定] ダイアログ」

印刷品質（解像度）が [高品質]（600dpi）に設定されていますか？

印刷品質（解像度）を [標準]（300dpi）ではなく [高品質]（600dpi）に設定して印刷してください。ただし、複雑な印刷データの場合、メモリ不足で印刷できない場合があります。その場合は、印刷品質（解像度）を [標準]（300dpi）に戻してください。どうしても印刷できない場合は、メモリを増設すると印刷できる場合があります。

☞本書 40 ページ「[応用設定] ダイアログ」
☞本書 43 ページ「[詳細設定] ダイアログ」

エコ印刷モードになっていませんか？

エコ印刷モードで印刷をすると、印刷が薄い、かすれる、不鮮明、色が違う、白点がでるなど印刷品質が悪化する場合があります。画質を確認いただきながら、適切と思われる時期に消耗品を交換してください。

☞活用ガイド「エコ印刷モードのご紹介」

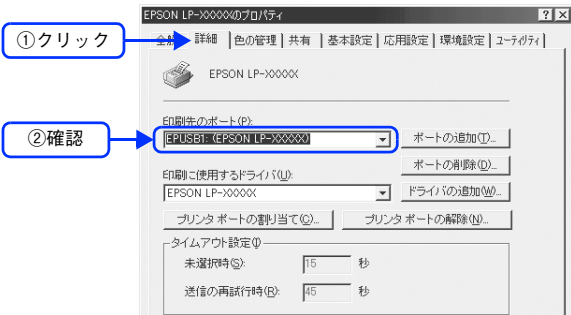
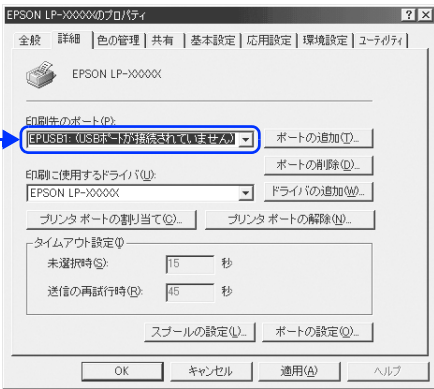
</td></tr>
</table>

トラブル状態	対処方法
きれいに印刷できない（続き）	**操作パネルに「解像度を落としました」というメッセージが表示されましたか？** 印刷するのに十分なメモリを本機に増設してください。 **トナーカートリッジまたは感光体ユニットが劣化または損傷している可能性があります。** 新しいトナーカートリッジまたは感光体ユニットに交換してください。 ☞活用ガイド「メンテナンス」-「トナーカートリッジの交換」 ☞活用ガイド「メンテナンス」-「感光体ユニットの交換」 **センサが汚れている可能性があります。** センサの清掃を行ってください。 ☞活用ガイド「メンテナンス」-「本機の清掃」-「センサと露光窓を清掃する」
印刷の濃淡が思うように印刷できない	**トナーセーブ機能を使用していませんか？** トナーセーブ機能は、内容確認など印刷品質を問わない印刷時にご使用ください。 ☞本書 43 ページ「［詳細設定］ダイアログ」 **プリンタドライバの［明度］の設定を確認してください。** ［詳細設定］ダイアログで［明度］を調整してください。 ☞本書 43 ページ「［詳細設定］ダイアログ」

トラブル状態	対処方法
印刷が薄いまたはかすれる	**用紙が湿気を含んでいる可能性があります。** 新しい用紙と交換してください。 **トナーカートリッジにトナーが残っていますか？** トナー残量を確認して、新しいトナーカートリッジに交換してください。 本書 32 ページ「本機の状態をコンピュータ上で確認」 活用ガイド「メンテナンス」-「トナーカートリッジの交換」 **感光体ユニットは使用できますか？** 感光体ユニットのライフ（寿命）を確認して、新しい感光体ユニットに交換してください。 本書 32 ページ「本機の状態をコンピュータ上で確認」 活用ガイド「メンテナンス」-「感光体ユニットの交換」 **感光体ユニットが劣化または損傷している可能性があります。** 新しい感光体ユニットに交換してください。 本書 32 ページ「本機の状態をコンピュータ上で確認」 活用ガイド「メンテナンス」-「感光体ユニットの交換」 **トナーセーブ機能を使用していませんか？** トナーセーブ機能を解除してください。 本書 43 ページ「［詳細設定］ダイアログ」 **エコ印刷モードになっていませんか？** エコ印刷モードで印刷をすると、印刷が薄い、かすれる、不鮮明、色が違う、白点がでるなど印刷品質が悪化する場合があります。画質を確認いただきながら、適切と思われる時期に消耗品を交換してください。 活用ガイド「エコ印刷モードのご紹介」 **プリンタドライバの［用紙種類］が正しく設定されていますか？** セットした用紙とプリンタドライバの［用紙種類］の設定が合っていないと（［普通紙］の設定で厚紙に印刷する場合など）、最適な印刷結果が得られません。使用する用紙の種類に合わせて、［用紙種類］を設定してください。 本書 37 ページ「［基本設定］ダイアログ」 **センサが汚れている可能性があります。** センサの清掃を行ってください。 活用ガイド「メンテナンス」-「本機の清掃」-「センサと露光窓を清掃する」

トラブル状態	対処方法
汚れ（点）が印刷される	**使用中の用紙は適切ですか？** 以下のページを参照し印刷できる用紙を使用してください。 ☞本書 87 ページ「印刷できる用紙の種類」 **感光体ユニットが劣化または損傷している可能性があります。** 何回か用紙を排紙しても改善されない場合は新しい感光体ユニットに交換してください。 ☞活用ガイド「メンテナンス」-「感光体ユニットの交換」 **帯電ワイヤ、またはセンサと露光窓を清掃しましたか？** 感光体ユニットの帯電ワイヤ、またはセンサと露光窓の清掃をしてください。 ☞活用ガイド「メンテナンス」-「本機の清掃」-「帯電ワイヤを清掃する」 ☞活用ガイド「メンテナンス」-「本機の清掃」-「センサと露光窓を清掃する」 **紙センサを清掃しましたか？** 紙センサを清掃してください。 ☞活用ガイド「メンテナンス」-「本機の清掃」-「紙センサを清掃する」
周期的に汚れがある	**本機内部の定着器、または用紙経路が汚れていませんか？** 用紙を数枚印刷してください。用紙に用紙経路の汚れを付着させます。印刷データは、画面占有率の少ない（白紙に近い）データを使用してください。 **感光体ユニットまたはトナーカートリッジが劣化または損傷している可能性があります。** 何回か通紙しても改善されない場合は新しい感光体ユニットまたはトナーカートリッジに交換してください。 ☞活用ガイド「メンテナンス」-「トナーカートリッジの交換」 ☞活用ガイド「メンテナンス」-「感光体ユニットの交換」
指でこするとにじむ	**用紙が湿気を含んでいる可能性があります。** 新しい用紙と交換してください。 **使用中の用紙は適切ですか？** 以下のページを参照して印刷できる用紙を使用してください。 ☞本書 87 ページ「印刷できる用紙の種類」 **プリンタドライバの［用紙種類］が正しく設定されていますか？** セットした用紙とプリンタドライバ［用紙種類］の設定が合っていないと（［普通紙］の設定で厚紙に印刷する場合など）、最適な印刷結果が得られません。使用する用紙の種類に合わせて、［用紙種類］を設定してください。 ☞本書 37 ページ「［基本設定］ダイアログ」

トラブル状態	対処方法
塗りつぶし部分に白点がある	**使用中の用紙は適切ですか？** 「印刷できる用紙の種類」を参照して、印刷できる用紙を使用してください。 ☞本書 87 ページ「印刷できる用紙の種類」 **用紙の表裏が逆にセットされている場合があります。** 表と裏がある用紙の場合は、表（印刷）面を上に向けてセットしてください。 **トナーカートリッジが劣化または損傷している可能性があります。** 新しいトナーカートリッジに交換してください。 ☞活用ガイド「メンテナンス」-「トナーカートリッジの交換」 **エコ印刷モードになっていませんか？** エコ印刷モードで印刷をすると、印刷が薄い、かすれる、不鮮明、色が違う、白点がでるなど印刷品質が悪化する場合があります。画質を確認いただきながら、適切と思われる時期に消耗品を交換してください。 ☞活用ガイド「エコ印刷モードのご紹介」 **感光体ユニットが損傷している可能性があります。** 新しい感光体ユニットに交換してください。 ☞活用ガイド「メンテナンス」-「感光体ユニットの交換」 新しい感光体ユニットに交換してもまだ白点が印刷される場合は、保守契約店（保守契約されている場合）または販売店へご連絡ください。 **用紙が湿気を含んでいるかまたは乾燥しすぎている可能性があります。** 新しい用紙と交換してください。用紙は、密閉可能な容器に入れ湿気を避けて保管してください。
用紙全体が塗りつぶされてしまう	**感光体ユニットが損傷または劣化している可能性があります。** 新しい感光体ユニットに交換してください。 ☞活用ガイド「メンテナンス」-「感光体ユニットの交換」
裏面が汚れる	**用紙経路が汚れていませんか？** 数ページ印刷してください。用紙に用紙経路の汚れを付着させます。印刷データは、画面占有率の少ない（白紙に近い）データを使用してください。

トラブル状態	対処方法
縦線が印刷される	**感光体ユニットが損傷または劣化している可能性があります。** 新しい感光体ユニットに交換してください。 ☞活用ガイド「メンテナンス」-「感光体ユニットの交換」 新しい感光体ユニットに交換してもまだ縦線が印刷される場合は、保守契約店（保守契約されている場合）または販売店へご連絡ください。 **帯電ワイヤ、またはセンサと露光窓を清掃しましたか？** 感光体ユニットの帯電ワイヤ、またはセンサと露光窓の清掃をしてください。 ☞活用ガイド「メンテナンス」-「本機の清掃」-「帯電ワイヤを清掃する」 ☞活用ガイド「メンテナンス」-「本機の清掃」-「センサと露光窓を清掃する」
何も印刷されない	**一度に複数枚の用紙が搬送されていませんか？** 用紙をよくさばいて、セットし直してください。 **トナーカートリッジにトナーが残っていますか？** トナーカートリッジのトナー残量を確認して、新しいトナーカートリッジに交換してください。 ☞本書 32 ページ「本機の状態をコンピュータ上で確認」 ☞活用ガイド「メンテナンス」-「トナーカートリッジの交換」 **感光体ユニットが劣化または損傷している可能性があります。** 新しい感光体ユニットに交換してください。 ☞活用ガイド「メンテナンス」-「感光体ユニットの交換」
白抜けがおこる	**用紙が湿気を含んでいる可能性があります。** 新しい用紙と交換してください。 **使用中の用紙は適切ですか？** 適切な用紙を使用してください。 ☞本書 87 ページ「印刷できる用紙の種類」 **トナーセーブ機能を使用していませんか？** トナーセーブ機能を解除してください。 ☞本書 43 ページ「［詳細設定］ダイアログ」 **プリンタドライバの［用紙種類］が正しく設定されていますか？** セットした用紙とプリンタドライバの［用紙種類］の設定が合っていないと（［普通紙］の設定で厚紙に印刷する場合など）、最適な印刷結果が得られません。使用する用紙の種類に合わせて、［用紙種類］を設定してください。 ☞本書 37 ページ「［基本設定］ダイアログ」

画面表示と印刷結果が異なる

<table>
<tr><th>トラブル状態</th><th>対処方法</th></tr>
<tr><td>画面と異なるフォント / 文字 / グラフィックスで印刷される</td><td>本機の使用環境に問題はありませんか？
画面と異なるフォントや文字、グラフィックスで印刷される場合は、まず印刷を中止してください。
本書 11 ページ「印刷の中止方法」
再度印刷を実行してみてください。再度同様の現象が発生する場合は、次の点を確認してください。
• 使用環境の仕様に合った推奨ケーブルが正しく接続されていますか。
• お使いのコンピュータは本機の仕様に適合していますか。
• プリンタドライバのテスト印刷やステータス印刷が正常にできますか。</td></tr>
<tr><td>ページの左右で切れて印刷される</td><td>印刷データの横幅サイズは、プリンタドライバで設定した用紙サイズに収まりますか？
WEB ブラウザでインターネットの WEB サイトを印刷すると、ページの左右で印刷が切れてしまうことがあります。原因は、プリンタドライバの［用紙サイズ］設定が WEB サイトの横幅サイズと合っていないからです。この場合は、より大きなサイズの用紙をプリンタ部にセットして、それに合った［用紙サイズ］を選択して印刷してください。
本書 37 ページ「［基本設定］ダイアログ」

アプリケーションソフトによっては、用紙の余白を設定できる場合があります。余白が広く設定されていることが原因で、ページの左右で印刷が切れることが考えられます。例えば、Microsoft Internet Explorer（WEB ブラウザ）の場合は、［ファイル］メニューから［ページ設定］を選択して、［余白］の値を小さく設定して印刷してみてください。なお、本機では用紙の左右上下とも最低 5mm の余白が必要です。

より大きなサイズの用紙が利用できない場合は、プリンタドライバの［フィットページ］印刷機能を使用すると、使用する用紙サイズに合わせて自動的に拡大 / 縮小して印刷できます。
本書 20 ページ「印刷サイズを拡大 / 縮小」</td></tr>
<tr><td>画面と異なる位置に印刷される</td><td>アプリケーションソフトで設定した用紙サイズとプリンタドライバで設定した用紙サイズが異なっていませんか？
アプリケーションとプリンタドライバの設定を合わせてください。
本書 37 ページ「［基本設定］ダイアログ」

アプリケーションソフトによっては、印刷開始位置の設定が必要になる場合があります。
プリンタドライバで［オフセット］の調整をしてください。
本書 54 ページ「［拡張設定］ダイアログ」</td></tr>
</table>

トラブル状態	対処方法
罫線が切れたり文字の位置がずれる	**アプリケーションソフトでお使いのプリンタの機種名を使用する製品に設定していますか？** 各アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して、使用するプリンタをお使いのプリンタの機種名に設定してください。
画像が用紙端で切れる	**オフセット値を変更しましたか？** 印刷保証領域外への印刷はできません。印刷保証領域いっぱいに描かれた画像に対してオフセットの値を変更すると、用紙端の画像は印刷されません。 本書 90 ページ「印刷できる領域」
設定と異なる印刷をする	**アプリケーションソフトとプリンタドライバの設定が一致していますか？** 印刷条件の設定は、アプリケーションソフト、プリンタドライバそれぞれで設定できます。各設定の優先順位は、お使いの状況により異なりますので、設定と違う印刷がされた場合は、各設定を確認してください。

USB接続時のトラブル

<table>
<tr><th>トラブル状態</th><th>対処方法</th></tr>
<tr><td>インストールできない</td><td>お使いのコンピュータはWindows 98/Me/2000/XP/Server 2003プレインストールマシンまたはWindows 98がプレインストールされていてWindows Me/2000/XPにアップグレードしたマシンですか？
Windows 95からWindows 98/Me/2000へアップグレードしたコンピュータやUSBポートの動作が保証されていないコンピュータは正常に印刷できません。お使いのコンピュータについては、コンピュータメーカーへご確認ください。
☞本書85ページ「システム条件」</td></tr>
<tr><td>印刷できない</td><td>プリンタドライバの接続先は正しいですか？
新たにUSB対応プリンタを接続し、ドライバをインストールすると、印刷先のポートの設定が変わることがあります。印刷先のポートの設定を確認してください。
1 [スタート]メニューから[プリンタとFAX]/[プリンタ]を開きます。
Windows XP
① [スタート]－[コントロールパネル]をクリックします。
[スタート]メニューに[プリンタとFAX]が表示されている場合は、[プリンタとFAX]をクリックして、2 へ進みます。
② [プリンタとその他のハードウェア]をクリックします。
③ [プリンタとFAX]をクリックします。
Windows Server 2003
[スタート]－[コントロールパネル]－[プリンタとFAX]にカーソルを合わせ、2 へ進みます。[スタート]メニューに[プリンタとFAX]が表示されている場合は、[プリンタとFAX]をクリックして、2 へ進みます。
Windows 98/Me/2000
[スタート]－[設定]－[プリンタ]をクリックします。
2 LP-M5500のアイコンを右クリックして、[プロパティ]をクリックします。
<例> Windows 98の場合
</td></tr>
</table>

トラブル状態	対処方法
印刷できない（続き）	**3**［詳細］/［ポート］タブをクリックして［印刷するポート］/［印刷先のポート］を確認します。 **Windows 2000/XP/Server 2003** ①［ポート］タブをクリックします。 ②［印刷するポート］で［USBx］が選択されていることを確認します（x はポート番号を表す数字です）。 **Windows 98/Me** ①［詳細］タブをクリックします。 ②［印刷先のポート］で［EPUSBx: (EPSON LP-M5500)］が選択されていることを確認します（x はポート番号を表す数字です）。 ＜例＞ Windows 98 の場合 ①クリック ②確認 EPSON LP-XXXXXのプロパティ 全般 / 詳細 / 色の管理 / 共有 / 基本設定 / 応用設定 / 環境設定 / ユーティリティ EPSON LP-XXXXX 印刷先のポート(P): EPUSB1: (EPSON LP-XXXXX) ポートの追加(T)... ポートの削除(D)... 印刷に使用するドライバ(U): EPSON LP-XXXXX ドライバの追加(W)... プリンタ ポートの割り当て(C)... プリンタ ポートの解除(N)... タイムアウト設定(I) 未選択時(S): 15 秒 送信の再試行時(R): 45 秒 Windows 98/Me をお使いの場合で上記の表示がないときは、USB デバイスドライバがインストールされていないか、正常にインストールされていない可能性があります。プリンタソフトウェアを一旦削除してから再インストールしてください。 ☞本書 83 ページ「ソフトウェアの再インストール方法」
印刷先のポートに、使用するプリンタ名が表示されない	**本機の電源がオンになっていますか？** 本機の電源がオフの状態では、コンピュータが本機を認識できないため、ポートが正しく表示されません。本機の電源をオンにして、USB ケーブルを一度抜き差ししてください。 ＜例＞ Windows 98 の場合 正しく表示されていない EPSON LP-XXXXXのプロパティ 全般 / 詳細 / 色の管理 / 共有 / 基本設定 / 応用設定 / 環境設定 / ユーティリティ EPSON LP-XXXXX 印刷先のポート(P): EPUSB1: (USBポートが接続されていません) ポートの追加(T)... ポートの削除(D)... 印刷に使用するドライバ(U): EPSON LP-XXXXX ドライバの追加(W)... プリンタ ポートの割り当て(C)... プリンタ ポートの解除(N)... タイムアウト設定(I) 未選択時(S): 15 秒 送信の再試行時(R): 45 秒 スプールの設定(L)... ポートの設定(O)... OK / キャンセル / 適用(A) / ヘルプ

トラブル状態	対処方法
USB ハブに接続すると正常に動作しない	**本機を USB ハブの 1 段目以外に接続していますか？** USB は仕様上、USB ハブを 5 段まで縦列接続できますが、1 段目の接続を推奨します。コンピュータに直接接続された 1 段目以外の USB ハブに本機を接続していて正常に動作しない場合は、USB ハブの 1 段目に接続してお使いください。また、別のハブをお持ちの場合は、ハブを替えて接続してみてください。 **Windows が USB ハブを正しく認識していますか？** Windows の［デバイスマネージャ］の<ユニバーサルシリアルバス>の下に、USB ハブが正しく認識されているか確認してください。 • 正しく認識されている場合は、コンピュータの USB ポートから、USB ハブをすべて外してから、本機の USB コネクタをコンピュータの USB ポートに直接接続してみてください。 • USB ハブの動作に関しては、ハブのメーカーにお問い合せください。

その他のトラブル

トラブル状態	対処方法
印刷に時間がかかる	**節電モードになっていませんか？** 節電状態から印刷を実行すると、印刷開始の前にウォームアップを行いますので、排紙されるまでに時間がかかる場合があります。 **操作パネル上に「プリンタ調整中」と表示されていませんか？** 良好な印刷品質を保つために、印刷の途中でプリンタが動作を一時的に停止して内部機能の自動調整を行うことがあります。自動調整が完了すると印刷を自動的に再開しますので、そのままお待ちください。 **ファイルサイズの大きな画像データを印刷していませんか？** 処理時間のかかる大きなサイズの画像データを印刷する場合は、プリンタのメモリの増設をお勧めします。プリンタのメモリサイズが大きい方が、より効率よく印刷できる場合があります。
割り付け / 部単位印刷を同時に行うと、部単位で用紙を分けられない	**アプリケーションソフトとプリンタドライバの両方で部単位印刷を設定していませんか？** アプリケーションソフトとプリンタドライバの両方で部単位印刷を設定すると、一部のアプリケーションソフトは正しく部単位印刷ができない場合があります。プリンタドライバの［拡張設定］ダイアログで［アプリケーションの部単位印刷を優先］を無効（チェックマークなし）にして、アプリケーションソフトではなくプリンタドライバで部単位印刷を設定してください。 ［アプリケーションの部単位印刷を優先］の設定を切り替える場合は、［プリンタ］フォルダ（WindowsXP/Server 2003 の場合は［プリンタとFAX］フォルダ）のプリンタアイコンを右クリックして［印刷設定］－［拡張設定］ダイアログを開いてください。アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開いて［拡張設定］ダイアログを開いて［アプリケーションの部単位印刷を優先］を変更しても有効になりません。 本書 54 ページ「［拡張設定］ダイアログ」 本書 37 ページ「［基本設定］ダイアログ」
共有プリンタへ印刷すると通信エラーが発生する	**プリントサーバの EPSON ステータスモニタの［通知設定］ダイアログで［共有プリンタを監視させる］にチェックが付いていますか？** プリントサーバにインストールされている本機のEPSONステータスモニタの［通知設定］ダイアログで［共有プリンタを監視させる］にチェックが付いていないとクライアントからプリンタの状態を取得できないためエラーが発生します。 本書 66 ページ「［通知設定］ダイアログ」

トラブル状態	対処方法
周辺の電化製品やコンピュータ機器に異常が発生する	**電源容量は、十分に確保されていますか？** 電源容量が十分に確保されていない環境においては、本機と同一の電源ラインに接続されている蛍光灯にチラつきが発生したり、コンピュータがリセットするなどの現象が発生する可能性があります。蛍光灯、コンピュータなどが接続されている電源ラインと本機を分離してください（分電盤から独立して引かれた電源ラインへの接続をお勧めします）。

どうしても解決しないときは

本機の印刷機能の症状が改善されない場合は、まず本機の故障か、ソフトウェアのトラブルかを判断します。その上でそれぞれのお問い合わせ先へご連絡ください。

操作パネルからステータスシートが印刷できますか？

☞本書 158 ページ「ステータスシート（簡易版）を印刷する」

印刷できる

本体に問題はありません。

プリンタドライバからステータスシートが印刷できますか？

☞本書 50 ページ「［環境設定］ダイアログ」

できる

エプソンインフォメーションセンターにご相談ください。ご相談先は『セットアップガイド』『活用ガイド』（紙マニュアル）の巻末に記載されています。

できない

- ドライバの設定、接続ケーブルの仕様や状態を再確認してください。
- ネットワーク接続している場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。

印刷できない

本体のトラブルです。

保守契約をされていますか？

している

保守契約店にご相談ください。

していない

次ページをご覧ください。
活用ガイド
「保守サービスのご案内」
ご相談先は『セットアップガイド』『活用ガイド』の巻末に記載されています。

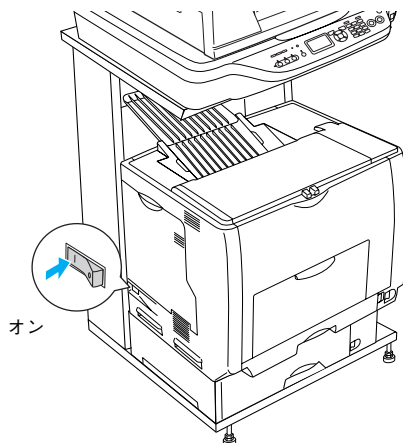
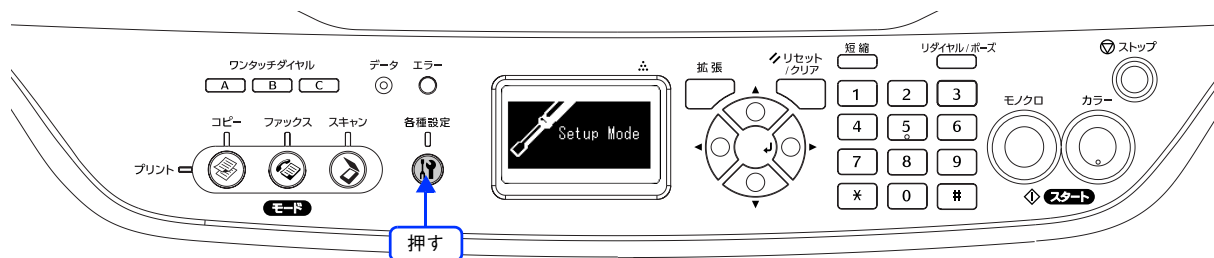
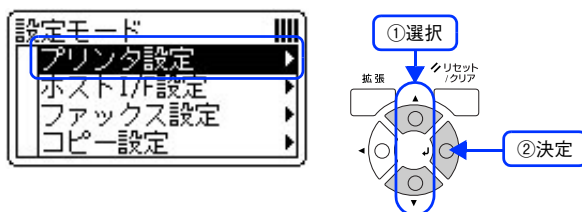
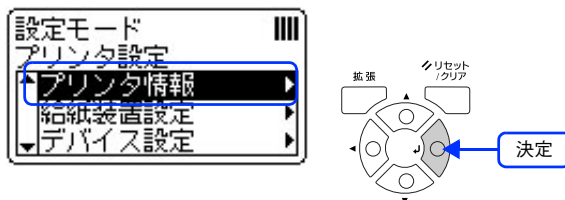
お問い合わせの際は、ご使用の環境（コンピュータの型番、使用アプリケーションとそのバージョン、その他の周辺機器の型番など）と、本機の名称や製造番号などをご確認のうえ、ご連絡ください。本機の製造番号は『活用ガイド』（紙マニュアル）「付録」-「仕様」-「総合仕様」の「製造番号の表示位置」を参照してご確認ください。

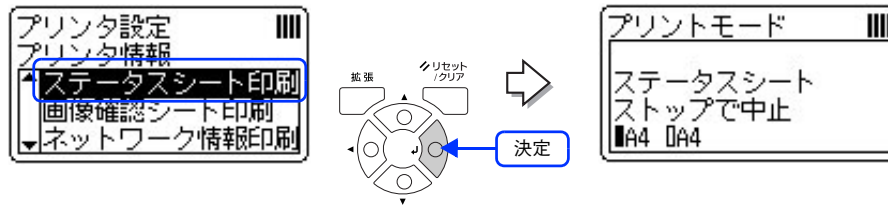
また、EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、次のアドレスにてインターネットによる情報の提供を行っています。

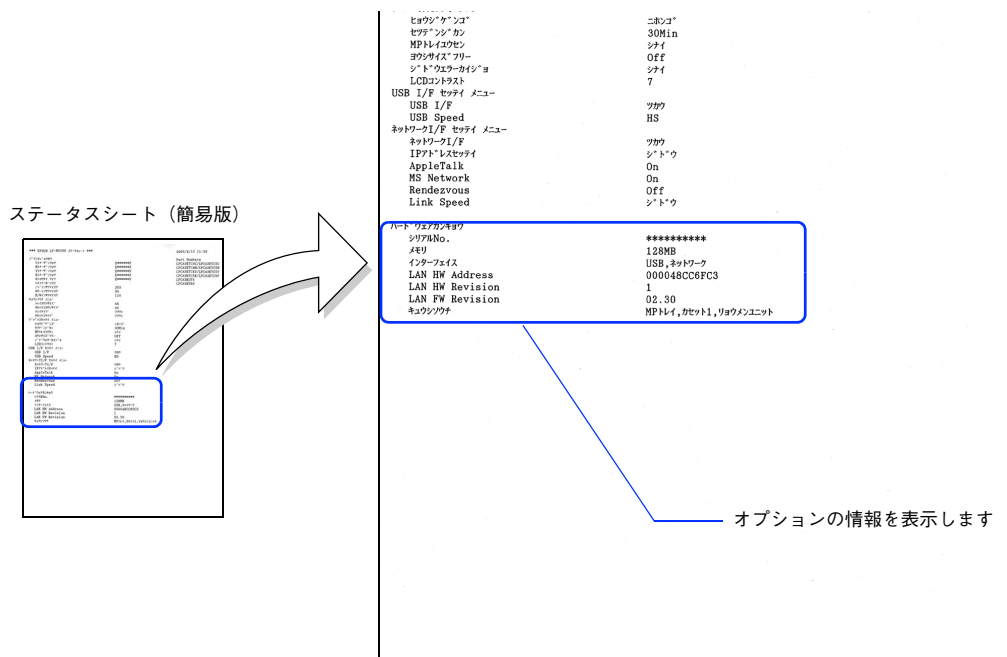
アドレス：http://www.i-love-epson.co.jp

ステータスシート（簡易版）を印刷する

ここでは、本機の印刷機能が正常に機能しているか、また取り付けたオプションが認識されているかどうかを確かめるための、ステータスシート（簡易版）の印刷と確認方法を説明します。

1 **本機の電源がオン（I）になっていることを確認します。**

2 **操作パネルの [各種設定] ボタンを押します。**

3 **[設定モード] で [プリンタ設定] が選択されていることを確認して、[▶] ボタンを押します。**

4 **[プリンタ情報] が選択されていることを確認して、[▶] ボタンを押します。**

5 [ステータスシート印刷] が選択されていることを確認して、[▶] ボタンを押します。

- データランプが点滅し、ステータスシートが印刷されます（印刷を開始するまで数秒かかります）。
- 印刷が終了すると、操作パネルの表示が [プリントモード] に戻り、[印刷できます] と表示されます。

6 ステータスシートが印刷されたか確認します。

次のようなステータスシートが印刷できれば、本機の印刷機能は正常に機能しています。

増設メモリを装着している場合

- ［ハードウェアカンキョウ］の［メモリ］の項目に、標準搭載メモリ128MBと増設したメモリ容量の合計値が表示されていれば、正しく認識されています。

増設カセットを装着している場合

- ［ハードウェアカンキョウ］の［キュウシソウチ］の項目に、［カセット］が表示されていれば、正しく認識されています。

6 付録

『EPSON ソフトウェア CD-ROM』に収録されているフォントの使い方やその他の情報を説明しています。

EPSON バーコードフォントの使い方

通常バーコードを作成するには、データキャラクタ（バーコードに登録する文字）のほかにさまざまなコードやキャラクタを指定したり、OCR-B* フォント（バーコード下部の文字）を指定する必要があります。EPSON バーコードフォントは、これらのバーコードやキャラクタを自動的に設定し、各バーコードの規格に従ってバーコードシンボルを簡単に作成、印刷することができるフォントです。

*OCR-B：光学的文字認識に用いる目的で開発され JISX9001 に規定された書体の名称。

EPSON バーコードフォントは、次の種類のバーコードをサポートしています。EPSON バーコードフォントは、本機に同梱のプリンタドライバ上でのみ使用可能です。

バーコードの規格	フォント名称	OCR-B	チェックデジット*	備考
JAN	EPSON JAN-8	あり	あり	JAN（短縮バージョン）のバーコードを作成します。
	EPSON JAN-8 Short	あり	あり	JAN（短縮バージョン）の、バーの高さを短くしたバーコードを作成します。日本国内でのみ使用可能です。
	EPSON JAN-13	あり	あり	JAN（標準バージョン）のバーコードを作成します。
	EPSON JAN-13 Short	あり	あり	JAN（標準バージョン）の、バーの高さを短くしたバーコードを作成します。日本国内でのみ使用可能です。
UPC-A	EPSON UPC-A	あり	あり	UPC-A のバーコードを作成します。
UPC-E	EPSON UPC-E	あり	あり	UPC-E のバーコードを作成します。
Code39	EPSON Code39	なし	なし	OCR-B、チェックデジットの有無をフォント名称で指定できます。
	EPSON Code39 CD	なし	あり	
	EPSON Code39 CD Num	あり	あり	
	EPSON Code39 Num	あり	なし	
Code128	EPSON CODE128	なし	あり	Code128 のバーコードを作成します。
Interleaved	EPSON ITF	なし	なし	OCR-B、チェックデジットの有無をフォント名称で指定できます。
2of5	EPSON ITF CD	なし	あり	
	EPSON ITF CD Num	あり	あり	
	EPSON ITF Num	あり	なし	
NW-7（CODABAR）	EPSON NW-7	なし	なし	OCR-B、チェックデジットの有無をフォント名称で指定できます。
	EPSON NW-7 CD	なし	あり	
	EPSON NW-7 CD Num	あり	あり	
	EPSON NW-7 Num	あり	なし	
新郵便番号	EPSON J-Postal Code	なし	あり	新郵便番号に対応したバーコードを作成します。

* チェックデジット：読み取りの正確性を保つために、所定の計算式に基づいて計算されたキャラクタ。

注意事項

トナーの濃度や紙質あるいは、お使いのアプリケーションソフトウェアによっては、印刷されたバーコードが読み取り機で読み取れない場合があります。お使いの読み取り機で認識テストしてからご利用いただくことをお勧めします。

プリンタドライバの設定

バーコードを印刷するには、プリンタドライバで次のように設定してください。

ダイアログ	項目	設定値
基本設定	割り付け	チェックマークなし（OFF）
応用設定	拡大 / 縮小	チェックマークなし（OFF）
応用設定 （応用設定－詳細設定）	印刷品質	高品質（600dpi）
応用設定－詳細設定	トナーセーブ	チェックマークなし（OFF）

文字の装飾 / 配置

- 文字の装飾（ボールド / イタリック / アンダーライン等）、網掛けは行わないでください。
- 背景色は、バーコード部分とのコントラストが低下する色を避けてください。
- 文字の回転を行う場合、回転角度は 90 度、180 度、270 度以外は指定しないでください。
- 文字間隔は変更しないでください。
- アプリケーションソフトが文字間隔の自動調整機能や、スペース（空白）部分で単語間隔の自動調整機能を持っている場合、その機能を使用しないように設定してください。
- 文字の縦あるいは横方向のみを拡大 / 縮小しないでください。
- アプリケーションソフトのオートコレクト機能は使用しないでください。
  （例＜＝＞ ⇒ ⇔ ）

入力時の注意

- バーコードフォントを選択したままスペースを入力すると、スペースがバーコードの一部となる場合があり、バーコードとして使用できません。
- アプリケーションソフトウェアで改行を示すマークの表示 / 非表示を選択できる場合、バーコードの部分とそうでない部分が区別しやすいよう、改行マークが表示される設定で使用することをお勧めします。
- 入力した文字をバーコードに変換する際に、バーコードとして必要なキャラクタを自動的に追加するため、バーコードの長さは文字入力時よりも長くなる場合があります。バーコードの周囲の文字列がバーコードと重複しないように注意してください。
- バーコードのフォントサイズは、本書「各バーコードの概要」の表中に記載されている保証サイズで作成することをお勧めします。保証サイズ以外のサイズで作成した場合、読み取り機で読み取れないことがあります。
  本書 167 ページ「各バーコードの概要」

システム条件

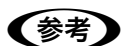
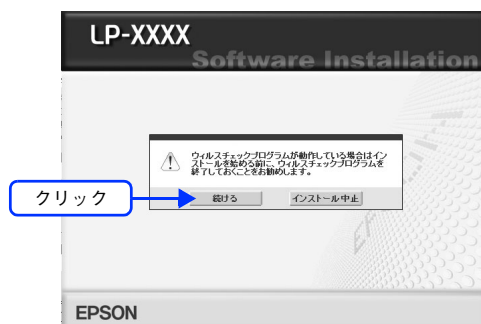
EPSON バーコードフォントをご利用いただくには、Windows でのシステム条件のほかに次の条件が必要です。
本書 85 ページ「システム条件」
ハードディスク：15 ～ 30KB の空き容量（書体ごとに異なります）

バーコードフォントをインストールする

1 **ウィルスチェックプログラムが起動している場合は停止させます。**

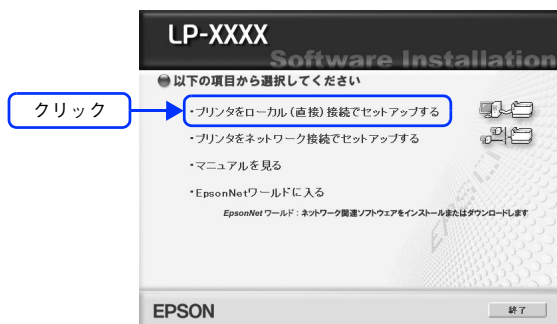
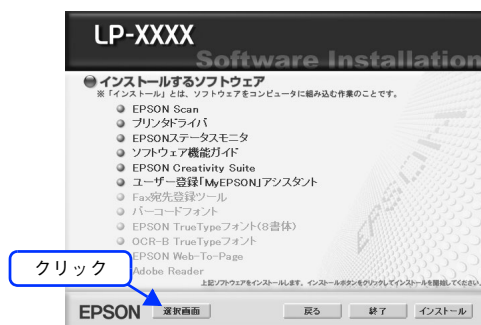
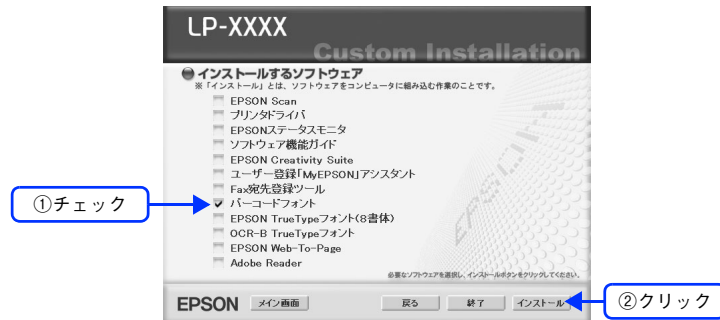
2 **コンピュータに『EPSON ソフトウェア CD-ROM』をセットします。**

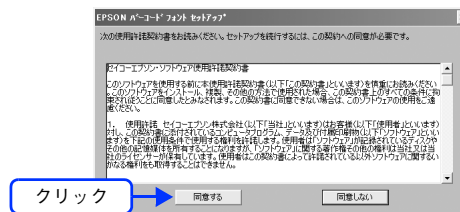
3 **画面の内容を確認して、[続ける] をクリックします。**

ウィルスチェックプログラムの実行中は、[インストール中止] をクリックして、手順 1 からやり直します。

上の画面が表示されないときは

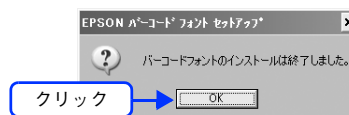
［マイコンピュータ］内の CD-ROM のアイコンをダブルクリックします。

4 **使用許諾契約書の画面が表示された場合は、内容を確認し、［同意する］をクリックします。**

5 **［プリンタをローカル（直接）接続でセットアップする］を選択して次に進みます。**

6 **［選択画面］をクリックします。**

7 次の画面が表示されたら、[バーコードフォント]にチェックを付けて[インストール]をクリックします。

その他の項目(プリンタドライバや EPSON ステータスモニタなど)がインストール済みの場合は、それぞれのチェックを外してください。各項目をクリックすることで、チェックする / しないが切り替わります。

8 EPSON バーコードフォントの使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、[同意する]をクリックします。

9 [セットアップ実行]をクリックします。

使用しないバーコードフォントは、クリックしてチェックマークを外してください。インストールされません。

10 インストール終了のダイアログが表示されたら、[OK]をクリックします。

11 インストーラの終了画面が表示されたら、[終了]をクリックします。

以上で EPSON バーコードフォントのインストールは終了です。

バーコードを作成する

ここでは Windows XP に添付のワードパッドを例に、EPSON バーコードフォントの印刷手順を説明します。

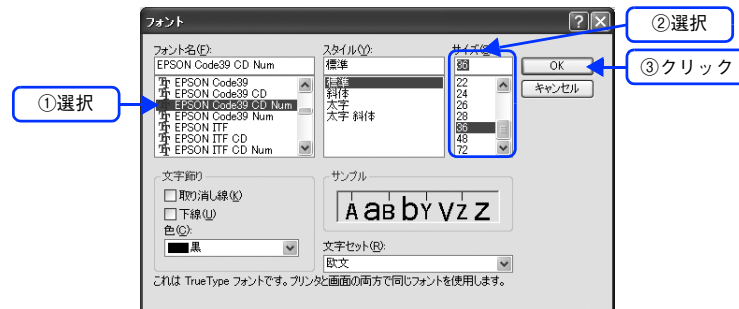
1 ワードパッドを起動し、バーコード変換する文字を入力します。

文字はすべて半角（1Byte）で入力してください。

2 入力した文字をマウスでドラッグして選択します。

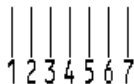
選択した範囲が反転表示になります。

3 ［書式］メニューをクリックし、［フォント］をクリックします。

4 ［フォント］の一覧から印刷したい EPSON バーコードフォントを選択し［サイズ］でフォントのサイズを設定し、［OK］をクリックします。

- 推奨または使用可能なフォント（キャラクタ）サイズは、バーコードフォントの種類と OS のバージョンによって異なります。
  本書 167 ページ「各バーコードの概要」
- アプリケーションソフトによっては、フォントの選択肢をそのフォント自身で表示する場合があり、バーコードフォントが正常に表示されないことがあります。

5 入力した文字が、モニタ上で次のようにバーコードフォント表示されていることを確認します。

6 印刷を実行します。

入力したデータがバーコードとして印刷されます。

入力したデータが不適当な場合などプリンタドライバがエラーと判断した場合は、画面表示と同様のフォントが出力されます。この場合バーコードとして読み取りはできません。

各バーコードの概要

各バーコードの仕様や、入力するデータキャラクタの詳細 / 構成などは、それぞれのバーコードの規格に関する文献を参照してください。

JAN-8（JAN 短縮バージョン）			
・JAN-8 は「JIS X 0501」として規格化された JAN の短縮バージョン（8 桁）です。 ・EPSON バーコードフォントは末尾のチェックキャラクタを自動的に挿入するため、入力するキャラクタは7桁です。			
入力可能なキャラクタ	数字（0 ～ 9）		
入力するキャラクタの桁数	7 桁		
キャラクタのサイズ	52 ～ 130pt（Windows 2000/XP/Server 2003 は 96pt まで） 保証サイズは 52pt、65pt（標準）、97.5pt、130pt		
次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。 ・レフト / ライトマージン　・レフト / ライトガードバー ・チェックキャラクタ　・OCR-B　・センターバー			
印刷例	入力時	EPSON JAN-8 に変換	印刷
	1234567	1234567	12345670

JAN-8 Short（JAN 短縮バージョン トランケーション）			
・JAN-8 ShortはJAN-8のバーコードの高さを標準ポイントで11mmにしたもので、それ以外はJAN-8と同じ仕様です。 ・バーコードを挿入するスペースがせまい場合などに使用します。 ・日本国内でのみ使用可能です。JISX0501 では定められていません。			
入力可能なキャラクタ	数字（0 ～ 9）		
入力するキャラクタの桁数	7 桁		
キャラクタのサイズ	36 ～ 90pt 保証サイズは 36pt、45pt（標準）、67.5pt、90pt		
次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。 ・レフト / ライトマージン　・レフト / ライトガードバー ・チェックキャラクタ　・OCR-B　・センターバー			
印刷例	入力時	EPSON JAN-8 Short に変換	印刷
	1234567	1234567	12345670

JAN-13（標準バージョン）

- JAN-13 は「JIS X 0501」として規格化された JAN の標準バージョン（13 桁）です。
- EPSONバーコードフォントでは末尾のチェックキャラクタを自動的に挿入するため、入力するキャラクタは12桁です。

項目	内容
入力可能なキャラクタ	数字（0 ～ 9）
入力するキャラクタの桁数	12 桁
キャラクタのサイズ	60 ～ 150pt（Windows 2000/XP/Server 2003 は 96pt まで） 保証サイズは 60pt、75pt（標準）、112.5pt、150pt

次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。

- レフト / ライトマージン
- レフト / ライトガードバー
- チェックキャラクタ
- OCR-B
- センターバー

印刷例	入力時	EPSON JAN-13 に変換	印刷
	123456789012	123456789012	1 234567 890128

JAN-13 Short（JAN 短縮バージョン トランケーション）

- JAN-13 ShortはJAN-13のバーコードの高さを標準ポイントで11mmにしたもので、それ以外はJAN-13と同じ仕様です。
- バーコードを挿入するスペースがせまい場合などに使用します。
- 日本国内でのみ使用可能です。JISX0501 では定められていません。

項目	内容
入力可能なキャラクタ	数字（0 ～ 9）
入力するキャラクタの桁数	12 桁
キャラクタのサイズ	36 ～ 90pt 保証サイズは 36pt、45pt（標準）、67.5pt、90pt

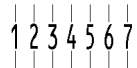
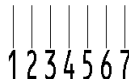
次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。

- レフト / ライトマージン
- レフト / ライトガードバー
- チェックキャラクタ
- OCR-B
- センターバー

印刷例	入力時	EPSON JAN-13 Short に変換	印刷
	123456789012	123456789012	1 234567 890128

<table>
<tr><th colspan="4">UPC-A</th></tr>
<tr><td colspan="4">• UPC-A は、アメリカの Universal Product Code で制定された UPC-A の Regular タイプです。（UPC Symbol Specification Manual）
• Regular UPC コードのみサポートし、補足コードはサポートしていません。</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 ～ 9）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">11 桁</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">60 ～ 150pt（Windows 2000/XP/Server 2003 は 96pt まで）
保証サイズは 60pt、75pt（標準）、112.5pt、150pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• レフト / ライトマージン　• レフト / ライトガードバー
• チェックデジット　• OCR-B　• センターバー</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON UPC-A に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>12345678901</td><td>12345678901</td><td>1 23456 78901 2</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">UPC-E</th></tr>
<tr><td colspan="4">• UPC-E は、アメリカの Universal Product Code で制定された UPC-A の Zero Suppression（余分な 0 を削除）タイプです。（UPC Symbol Specification Manual）</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 ～ 9）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">6 桁</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">60 ～ 150pt（Windows 2000/XP/Server 2003 は 96pt まで）
保証サイズは 60pt、75pt（標準）、112.5pt、150pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• レフト / ライトマージン　• レフト / ライトガードバー
• OCR-B　• チェックデジット　• ナンバーシステム「0」のみ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON UPC-E に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>123456</td><td>123456</td><td>0 123456 5</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="5">Code39</th></tr>
<tr><td colspan="5">• Code39 は「JIS X 0503」として規格化されたものです。
• EPSON バーコードフォントはチェックデジットの有無、OCR-B の有無で 4 種類のフォントを用意しています。
• 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON バーコードフォントは Code39 の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の 15% 以上になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
• スペースを“_”（アンダーライン）に割り当てています。スペースを表すバーコードを入力したい場合は、“_”（アンダーライン）を入力してください。
• 1 行に 2 つ以上のバーコードを入力する場合、バーコード間は TAB で区切ってください。スペースで区切る場合は、バーコードフォント以外のフォントを選択して入力してください。Code39 を選択したままスペースを入力するとスペースがバーコードの一部となりバーコードとして使用できません。</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="4">英数字（A ～ Z、0 ～ 9）
記号（－　．　スペース　＄　／　＋　％）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="4">制限なし</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="4">OCR-B なしの場合：26pt 以上
保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt
OCR-B ありの場合：36pt 以上
保証サイズは 36pt、72pt、108pt、144pt（Windows 2000/XP/Server 2003 は 96pt まで）</td></tr>
<tr><td colspan="5">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• 左 / 右クワイエットゾーン　• スタート / ストップキャラクタ　• チェックデジット</td></tr>
<tr><td rowspan="4">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON Code39 に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td rowspan="3">1234567</td><td>1 2 3 4 5 6 7</td><td></td></tr>
<tr><td>EPSON Code39 CDNum に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td>1 2 3 4 5 6 7 S</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">Code128</th></tr>
<tr><td colspan="4">

- Code128は「JIS X 0504」として規格化されたものです。
- EPSON バーコードフォントはコードセット A、B、C をサポートしています。入力するキャラクタのコードセットが途中で変わった場合、自動的にコードセットの変換コードを挿入します。
- 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSONバーコードフォントはCode128の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の 15% になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
- アプリケーションによっては行末に存在するスペースを削除したり、連続する複数個のスペースをタブなどに置き換えるなどの処理を自動的に行うものがあります。これらのアプリケーションでは、スペースを含むバーコードが正しく印刷されない場合があります。
- 1 行に 2 つ以上のバーコードを入力する場合、バーコード間は TAB で区切ってください。スペースで区切る場合は、バーコードフォント以外のフォントを選択して入力してください。Code128 を選択したままスペースを入力するとスペースがバーコードの一部となりバーコードとして使用できません。

</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">すべての ASCII 文字（95 文字）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">制限なし</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">26 ～ 104pt（Windows 2000/XP/Server 2003 は 96pt まで）
保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• 左 / 右クワイエットゾーン　• スタート / ストップキャラクタ
• コードセットの変更キャラクタ　• チェックデジット</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON Code128 に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td>1234567</td><td></td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">Interleaved 2of5</th></tr>
<tr><td colspan="4">• Interleaved 2of5 は、アメリカで規格化されたものです。（USS Interleaved 2-of-5）
• EPSON バーコードフォントはチェックデジットの有無、OCR-B の有無で 4 種類のフォントを用意しています。
• 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON バーコードフォントは Interleaved 2of5 の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の 15% 以上になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
• Interleaved 2of5 は、キャラクタを 2 個一組で扱います。キャラクタの合計数が奇数個の場合、EPSON バーコードフォントは自動的にキャラクタの先頭に 0 を追加して偶数個になるようにします。</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 ～ 9）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">制限なし</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">OCR-Bの有無により異なります。（Windows 2000/XP/Server 2003は96ptまで）
OCR-B なしの場合：26pt 以上
保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt
OCR-B ありの場合：36pt 以上
保証サイズは 36pt、72pt、108pt、144pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• 左 / 右クワイエットゾーン　• スタート / ストップキャラクタ　• チェックデジット
• 文字列先頭への 0 の挿入（合計文字数が偶数でない場合のみ）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON ITF に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td rowspan="3">1234567</td><td>1234567</td><td></td></tr>
<tr><td>EPSON ITF CD Num に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td>12345670</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">NW-7（CODABAR）</th></tr>
<tr><td colspan="4">• NW-7 は「JIS X 0503」として規格化されたものです。
• EPSON バーコードフォントはチェックデジットの有無、OCR-B の有無で 4 種類のフォントを用意しています。
• 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON バーコードフォントは NW-7 の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の 15% 以上になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
• スタート / ストップキャラクタのどちらかを入力すると、EPSON バーコードフォントは残りのスタート / ストップキャラクタが同じになるように自動的に挿入されます。
• スタート / ストップキャラクタを入力しない場合は、両方とも自動的に A を挿入します。</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 ～ 9）、記号（−　$　:　/　.　+）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">制限なし</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">OCR-Bの有無により異なります。（Windows 2000/XP/Server 2003は96ptまで）
OCR-B なしの場合：26pt 以上
保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt
OCR-B ありの場合：36pt 以上
保証サイズは 36pt、72pt、108pt、144pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• 左 / 右クワイエットゾーン　• スタート / ストップキャラクタ（入力しない場合）
• チェックデジット</td></tr>
<tr><td rowspan="4">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON NW-7 に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td rowspan="3">1234567</td><td>1234567</td><td></td></tr>
<tr><td>EPSON NW-7CDNum に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td>A12345674A</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">新郵便番号（カスタマ・バーコード）</th></tr>
<tr><td colspan="4">• バーコードの詳細は、郵政省より発行の資料を参照してください。
• EPSON バーコードフォントで入力する場合、次のように新郵便番号（3 桁）－新郵便番号（4 桁）－住所表示番号（バーコードに変換後 13 桁まで）入力します。
• 住所表示番号の入力時は桁数の制限はありませんが、バーコードに変換後 13 桁を超える部分は省略されます。また住所表示番号が 13 桁に満たない場合は、13 桁になるように末尾にコードを挿入します。
• アプリケーションソフトにおいて、印刷領域やレイアウト枠は余裕をもって設定してください。</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 ～ 9）、英文字（A ～ Z）、記号（－）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">制限なし。ただし住所表示番号については、バーコードに変換後
13 桁を超える桁数の文字は省略されます。</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">8 ～ 11.5pt
保証サイズは 8pt、9pt、10pt、11.5pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• バーコードの上下左右 2mm の空白
• 入力時の－（ハイフン）の削除
• スタート / ストップコード
• 住所表示番号の 13 桁調整
• チェックデジット</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON J-Postal Code に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>123-4567</td><td>1'2'3'-'4'5'6'7'</td><td></td></tr>
</table>

TrueType フォントの使い方

ここでは、添付の TrueType フォントのインストール方法を説明します。本機に添付の『EPSON ソフトウェア CD-ROM』には EPSON TrueType フォントが収録されています。TrueType フォントをインストールすることにより、アプリケーションソフトの書体に追加され、ポップやビジネス文書に表現力豊かな書類を作成することができます。

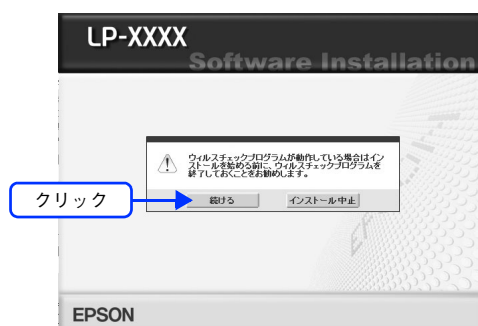
CD-ROM に収録されている OCR-B フォントセットには、OCR-B 規格で規定されている文字以外のものも含まれています。OCR-B フォントの保証サイズは 12 ポイントです。また、OCR-B フォントとして読み取り用に使用される際は、トナー状況や用紙の種類によって読み取れない場合がありますので、事前に読み取り機で読み取れることを確認してからお使いください。

インストールする

1 ウィルスチェックプログラムが起動している場合は停止させます。

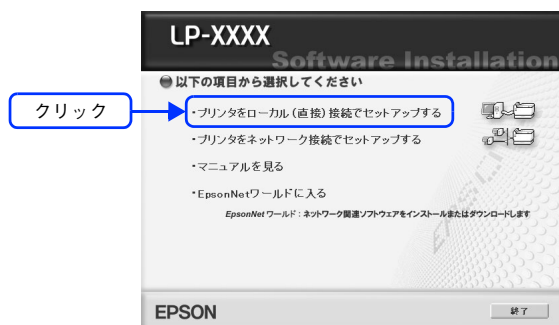
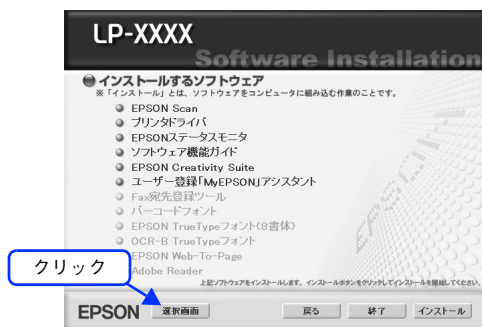
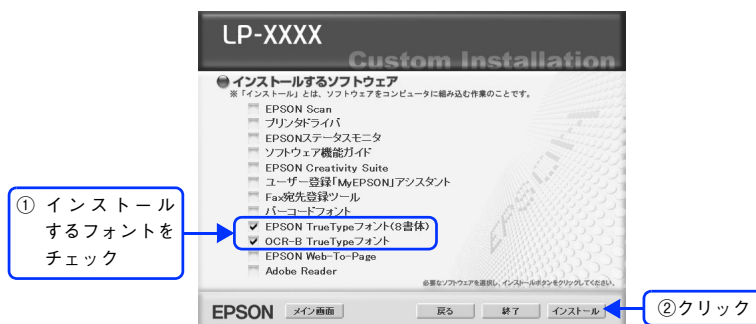
2 コンピュータに『EPSON ソフトウェア CD-ROM』をセットします。

3 画面の内容を確認して、[続ける] をクリックします。

ウィルスチェックプログラムの実行中は、[インストール中止] をクリックして、手順 1 からやり直します。

参考

上の画面が表示されないときは
［マイコンピュータ］内の CD-ROM のアイコンをダブルクリックします。

4 使用許諾契約書の画面が表示された場合は、内容を確認し、［同意する］をクリックします。

5 ［プリンタをローカル（直接）接続でセットアップする］を選択して次に進みます。

6 ［選択画面］をクリックします。

7 インストールするフォントにチェックを付けて［インストール］をクリックします。

その他の項目（プリンタドライバや EPSON ステータスモニタなど）がインストール済みの場合は、それぞれのチェックを外してください。各項目をクリックすることで、チェックする / しないが切り替わります。

8 フォントの使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、［同意する］をクリックします。

フォントのインストールが始まります。

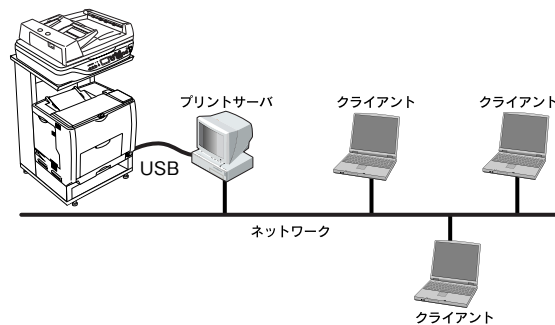
9 インストール終了のダイアログが表示されたら、［OK］をクリックします。

［EPSON TrueType フォント（8 書体）］と［OCR-B TrueType フォント］の両方を 7 で選択した場合は、続けて 8 と 9 を 2 度繰り返します。

10 インストーラの終了画面が表示されたら、［終了］をクリックします。

以上で TrueType フォントのインストールは終了です。

印刷機能の共有方法

Windows のネットワーク環境では、コンピュータに直接接続したプリンタをほかのコンピュータから共有することができます。ネットワークで共有するプリンタをネットワークプリンタと呼びます。プリンタを直接接続するコンピュータは、プリンタの共有を許可するプリントサーバの役割をはたします。ほかのコンピュータはプリントサーバに印刷許可を受けるクライアントになります。クライアントは、プリントサーバを経由してプリンタを共有することになります。

ここでは、プリントサーバとクライアントそれぞれの設定方法を説明します。お使いの Windows のバージョンに応じた設定手順に従ってください。なお、Windows の追加ドライバ機能* を使って本機を共有できるプリントサーバとクライアントの組み合わせは次の通りです。

＊ 追加ドライバ機能：プリントサーバにクライアント用のプリンタドライバをあらかじめインストールしておき、クライアントがネットワークプリンタに接続したときにプリントサーバからプリンタドライバをコピー（インストール）する機能。

プリントサーバ OS	クライアント OS
Windows 2000/XP/Server 2003	Windows 98/Me/2000*/XP*

＊ クライアント OS が Windows 2000 Professional、Windows XP Professional/Home Edition の場合のみ、追加ドライバ機能が使用可能。

- 本章の説明は、プリントサーバにすでに本機のプリンタドライバがインストールされていることが前提となります。
- 本章の設定方法は、ネットワーク環境が構築されていること、プリントサーバとクライアントが同一ネットワーク管理下にあることが前提となります。
- 画面は Microsoft ネットワークの場合です。

- プリントサーバ側の設定
  本書 178 ページ「Windows 2000/XP/Server 2003 プリントサーバの設定と 追加ドライバのインストール」
  本書 182 ページ「Windows 98/Me プリントサーバの設定」
- クライアント側の設定
  本書 185 ページ「Windows 2000/XP クライアントでの設定」
  本書 188 ページ「Windows 98/Me クライアントでの設定」

プリントサーバ用のコンピュータを設定する

最初にプリントサーバにプリンタドライバがインストールされていることを確認してから、次の設定を行ってください。プリンタドライバがインストールされていない場合は、『セットアップガイド』(紙マニュアル)を参照して添付の『EPSON ソフトウェア CD-ROM』からインストーラを起動してインストールしてください。

EPSON ステータスモニタを使用する場合は、共有プリンタのプリントサーバ側で必ず共有プリンタをモニタできるように EPSON ステータスモニタを設定してください。
☞ 本書 66 ページ「[通知設定] ダイアログ」

Windows 2000/XP/Server 2003 プリントサーバの設定と追加ドライバのインストール

Windows 2000/XP/Server 2003 が稼働するコンピュータをプリントサーバとして設定する場合は、次の手順に従ってください。また、追加ドライバをプリントサーバにインストールする手順も同時に説明します。

- 追加ドライバ機能は、プリントサーバ(Windows 2000/XP/Server 2003)にクライアント用のプリンタドライバをあらかじめインストールしておくことができる機能です。これにより、クライアントがネットワークプリンタに接続したときに、プリントサーバからプリンタドライバをコピー(インストール)することができ、クライアントのインストール手順を簡略化することができます。
- Windows 2000/Server 2003 の場合は管理者権限(Administrators)のあるユーザーとして、Windows XP の場合は「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーとしてログオンする必要があります。
- サーバとクライアントが同じ OS の場合は、追加ドライバをサーバにインストールする必要はありません。
- 追加ドライバ機能は、Windows 2000/XP/Server 2003 では「追加ドライバ」と表示されます。
- 追加ドライバ機能を利用してプリンタドライバをクライアントにインストールする場合は、EPSON ステータスモニタはクライアントにインストールされません。印刷に問題はありませんので、そのままお使いいただけます。ただし、共有しているプリンタの状態をクライアント側から確認するには、EPSON ステータスモニタをクライアントにインストールしてください。
  ☞ 本書 70 ページ「EPSON ステータスモニタのみをインストールする」
- EPSON ステータスモニタをクライアントにインストールする場合や、追加ドライバ機能を使用できない場合は、本機に添付の『EPSON ソフトウェア CD-ROM』を使ってプリンタソフトウェアをローカルプリンタとしてクライアントにインストールし、プリンタの接続先をネットワークプリンタに変更します。
  ☞ 本書 190 ページ「接続先の変更方法」

1 Windows の［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］を開きます。

Windows XP

① ［スタート］-［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。

② ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

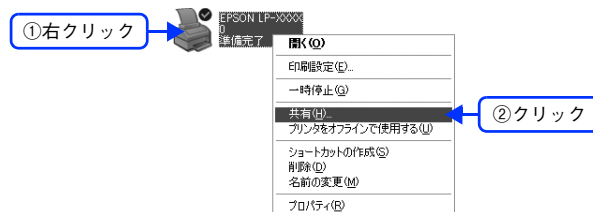
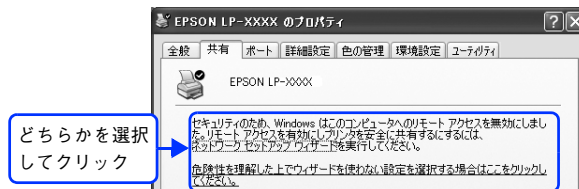
③ ［プリンタと FAX］をクリックします。

Windows Server 2003

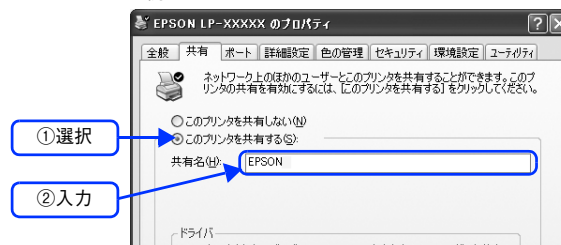
［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタと FAX］にカーソルを合わせ、2 へ進みます。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。

Windows 2000

［スタート］-［設定］-［プリンタ］をクリックします。

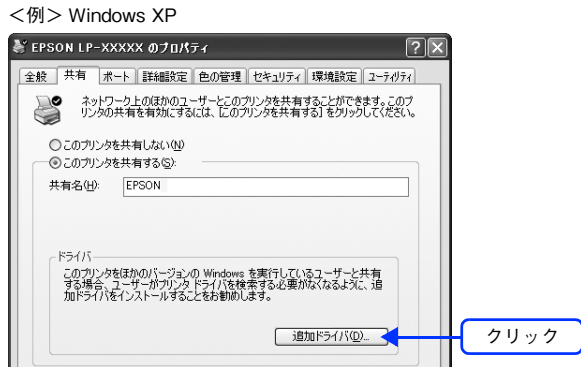
2 LP-M5500 のアイコンを右クリックして、［共有］をクリックします。

Windows XP で次のダイアログが表示された場合は、どちらかを選択し、画面の指示に従ってプリンタ共有の準備をします。

3 ［共有する］/［このプリンタを共有する］を選択して、［共有名］を入力します。

Windows XP/Server 2003 の場合は、［このプリンタを共有する］を選択して［共有名］を入力します。

<例> Windows XP

エラーが発生する場合がありますので共有名には□（スペース）や－（ハイフン）を使用しないでください。

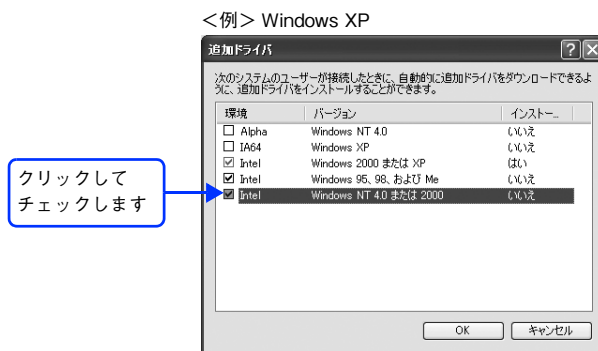
- 追加ドライバをインストールする場合は、次の 4 へ進んでください。
- 追加ドライバをインストールしない場合は、［OK］をクリックして、以下のページへ進んで各クライアント側の設定を行ってください。
☞ 本書 188 ページ「Windows 98/Me クライアントでの設定」
☞ 本書 185 ページ「Windows 2000/XP クライアントでの設定」

4 クライアント用にインストールする追加ドライバを選択します。

① ［追加ドライバ］をクリックします。

＜例＞ Windows XP

② クライアントの Windows バージョンを選択（チェック）します。

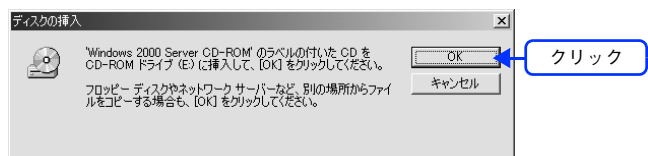
サーバ OS	クライアント OS	選択項目
Windows 2000	Windows 98/Me	Intel Windows 95 または 98
Windows XP	Windows 98/Me	Intel Windows 95、98、および Me
Windows Server 2003	Windows 98/Me	X86 Windows 95、Windows 98、または Windows Me

＜例＞ Windows XP

- Windows 2000/XP/Server 2003 専用のプリンタドライバ［Intel Windows 2000］/［Intel Windows 2000 または XP］はインストール済みのため、選択する必要はありません。
- 指定以外の追加ドライバは選択しないでください。本機のプリンタドライバが対応していない OS の追加ドライバはインストールできません。

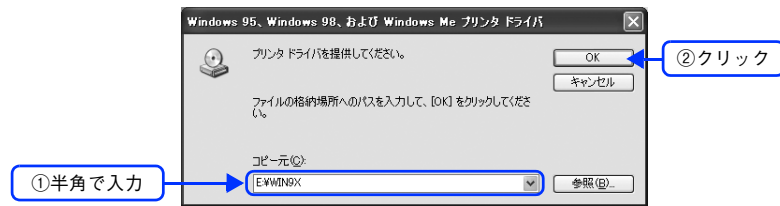
③ ［OK］をクリックします。

5 次のメッセージが表示されたら、『EPSON ソフトウェア CD-ROM』をコンピュータにセットして［OK］をクリックします。

メッセージが表示されない場合は、そのまま 6 へ進みます。

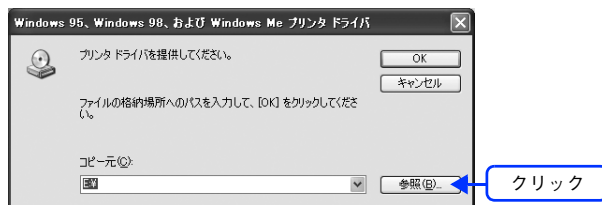
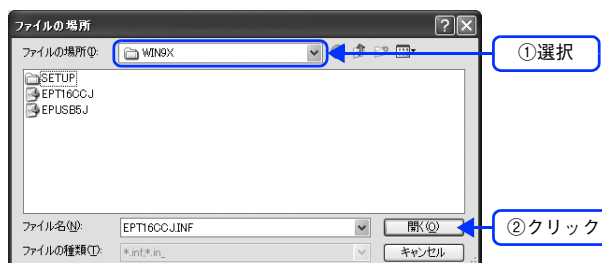
＜例＞ Windows 2000 の場合

*CD-ROM ドライブの記号は環境によって異なります。

6 メッセージに表示されたクライアント用のプリンタドライバが収録されているドライブ名とディレクトリ名を半角文字で入力し、[OK] をクリックします。

4 で複数のクライアントを選択した場合は、5 へ戻ります。

クライアント OS によってメッセージは多少異なります。

クライアントの OS	Windows 98/Me	
セット先ドライブ例	D ドライブ	E ドライブ
入力例	D:¥WIN9X	E:¥WIN9X

- 入力方法がわからない場合は、次の手順で指定することができます。

① [参照] をクリックします。

② 入力例に記載されているご利用の OS フォルダを [ファイルの場所] から選択します。

- Windows 2000/XP/Server 2003 をご使用の場合は [デジタル署名が見つかりませんでした] といったメッセージを表示するダイアログが表示されることがあります。この場合は [はい] または [続行] をクリックして、そのままインストール作業を進めてください。本機に添付のプリンタドライバであれば問題なくお使いいただけます。

7 Windows 2000/XP/Server 2003 の場合は、[閉じる] をクリックしてプロパティを閉じます。

ネットワークプリンタに対するセキュリティ (クライアントのアクセス許可) を設定してください。印刷が許可されないクライアントは、プリンタを共有できません。詳しくは Windows のヘルプを参照してください。

8 EPSON ステータスモニタを使用している場合は、EPSON ステータスモニタの [通信設定] ダイアログで [共有プリンタをモニタさせる] をチェックします。

☞ 本書 66 ページ「[通知設定] ダイアログ」

以上でプリンタを共有させるためのプリントサーバの設定が完了しました。続いて各クライアント側の設定を行ってください。

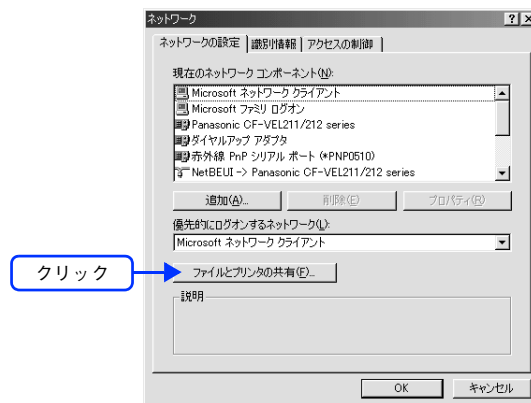
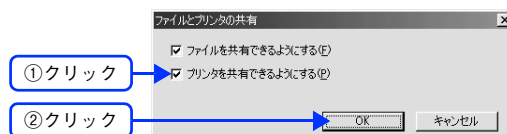
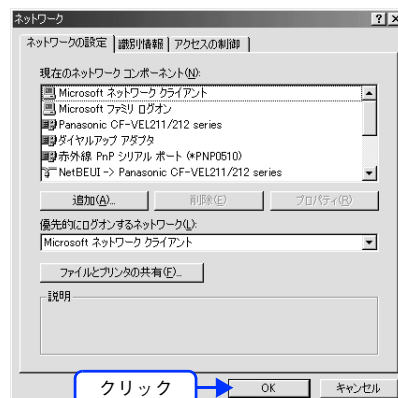
☞ 本書 184 ページ「クライアントコンピュータを設定する」

Windows 98/Me プリントサーバの設定

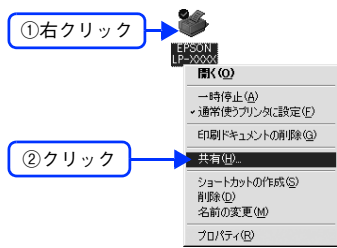
Windows 98/Me が稼働するプリントサーバを設定する場合は、次の手順に従ってください。

1 ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］をクリックします。

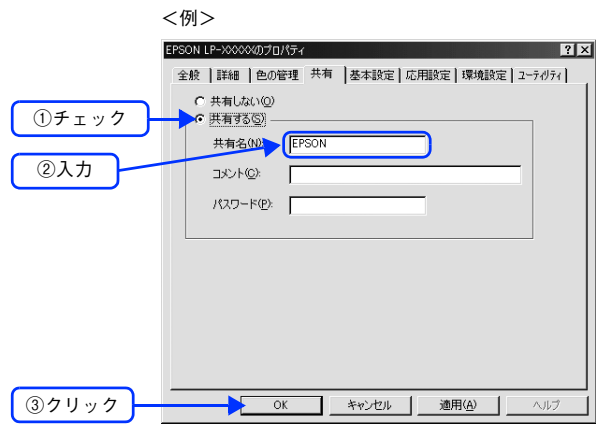
2 ［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。

3 ［ファイルとプリンタの共有］をクリックします。

4 ［プリンタを共有できるようにする］をチェックして、［OK］をクリックします。

5 ［OK］をクリックします。

- ［ディスクの挿入］メッセージが表示された場合は、Windows 98/Me の CD-ROM をコンピュータにセットし、［OK］をクリックして画面の指示に従ってください。
- 再起動を促すメッセージが表示された場合は、再起動してください。その後、1 の手順でコントロールパネルを開いて 6 から設定してください。

6 コントロールパネル内の［プリンタ］アイコンをダブルクリックします。

7 LP-M5500 のアイコンを右クリックして、［共有］をクリックします。

8 ［共有する］を選択して、［共有名］を入力し、［OK］をクリックします。

必要に応じて、［コメント］と［パスワード］を入力します。

<例>

エラーが発生する場合がありますので共有名には□（スペース）や－（ハイフン）を使用しないでください。

9 EPSON ステータスモニタを使用している場合は、EPSON ステータスモニタの［通知設定］ダイアログで［共有プリンタをモニタさせる］をチェックします。

☞ 本書 66 ページ「［通知設定］ダイアログ」

以上でプリンタを共有させるためのプリントサーバの設定が完了しました。続いて各クライアント側の設定を行ってください。

☞ 本書 184 ページ「クライアントコンピュータを設定する」

クライアントコンピュータを設定する

ここでは、ネットワーク環境が構築されている状態で、プリントサーバからプリンタドライバをクライアントにコピーしてインストールする方法を説明します。

プリントサーバ OS が Windows 2000 の一般的なネットワーク環境では、この追加ドライバ機能でクライアントにプリンタドライバをインストールできます。以下のページを参照してください。

☞ 本書 185 ページ「Windows 2000/XP クライアントでの設定」
☞ 本書 188 ページ「Windows 98/Me クライアントでの設定」

- 追加ドライバ機能は、プリントサーバ（Windows 2000/XP/Server 2003）にクライアント用のプリンタドライバをあらかじめインストールしておくことができる機能です。これにより、クライアントがネットワークプリンタに接続したときに、プリントサーバからプリンタドライバをコピー（インストール）することができ、クライアントのインストール手順を簡略化することができます。
- Windows Server 2003 はサーバ OS のため、クライアントとしての設定は行わないでください。

追加ドライバ機能を利用してプリンタドライバをクライアントにインストールすると、EPSON ステータスモニタはクライアントにインストールされません。印刷に問題はありませんので、そのままお使いいただけます。ただし、共有しているプリンタの状態をクライアント側から確認するには、EPSON ステータスモニタをクライアントにインストールしてください。

☞ 本書 70 ページ「EPSON ステータスモニタのみをインストールする」

EPSON ステータスモニタをインストールする場合や、追加ドライバ機能を使用できない場合は、本機に添付の『EPSON ソフトウェア CD-ROM』を使ってローカルプリンタとしてインストールし、プリンタの接続先をネットワークプリンタに変更してください。

☞ 本書 190 ページ「接続先の変更方法」

- Windows でプリンタを共有する場合は、プリントサーバを設定する必要があります。プリントサーバ側の設定は、以下のページを参照してください。
  ☞ 本書 178 ページ「プリントサーバ用のコンピュータを設定する」
- ここでは、サーバを使用した環境での一般的な（Microsoft ワークグループ）接続方法を説明します。ご利用の環境によっては次の手順で接続できない場合もあります。その場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
- ここでは、[プリンタ] / [プリンタと FAX] フォルダからネットワークプリンタに接続してプリンタドライバをインストールする方法を説明します。Windows デスクトップ上の [ネットワークコンピュータ] や [マイネットワーク] からネットワークプリンタへ接続してプリンタドライバをインストールすることもできます。最初の接続方法が異なるだけで、基本的な設定方法はここでの説明と同じです。
- EPSON ステータスモニタを使用する場合は、共有プリンタのプリントサーバ側で必ず共有プリンタをモニタできるように EPSON ステータスモニタを設定してください。
  ☞ 本書 66 ページ「[通知設定] ダイアログ」

Windows 2000/XP クライアントでの設定

Windows 2000/XP が稼働するクライアントを設定する場合は、次の手順に従ってください。

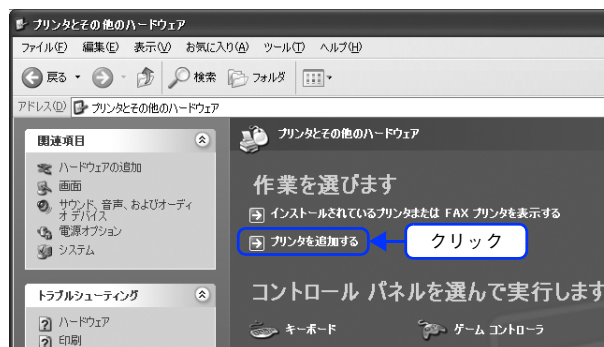
1 ［スタート］-［プリンタと FAX］（または［プリンタ］）を開きます。

Windows XP

① ［スタート］-［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。

② ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

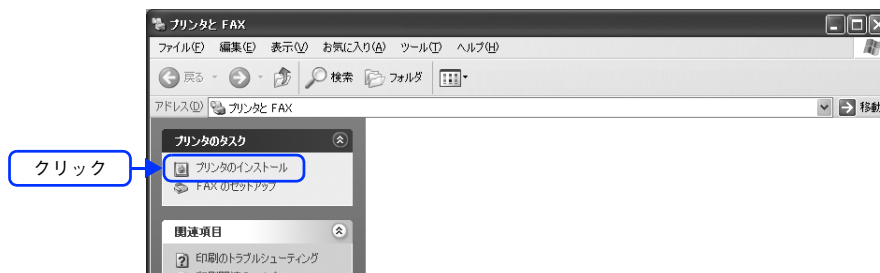
③ ［プリンタと FAX］をクリックします。

Windows XP の場合は［プリンタとその他のハードウェア］画面で［プリンタを追加する］をクリックしてプリンタの追加ウィザードを起動することもできます。起動後最初に表示された［プリンタの追加ウィザードの開始］画面で［次へ］をクリックして、3 へ進んでください。

Windows 2000

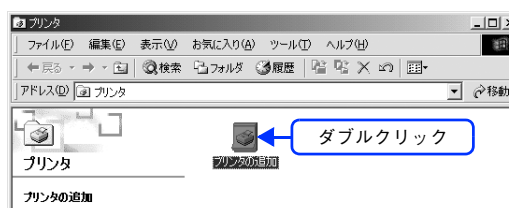
［スタート］-［設定］-［プリンタ］をクリックします。

2 プリンタの追加ウィザードを起動します。

Windows XP

① ［プリンタのタスク］の［プリンタのインストール］をクリックします。

② ［プリンタの追加ウィザードの開始］画面で［次へ］をクリックします。

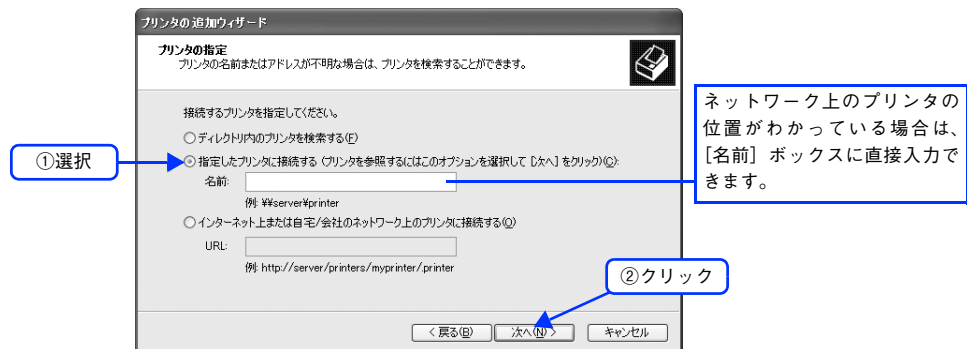
Windows 2000

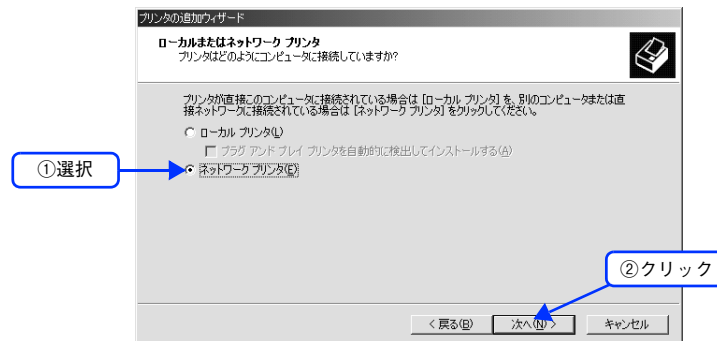
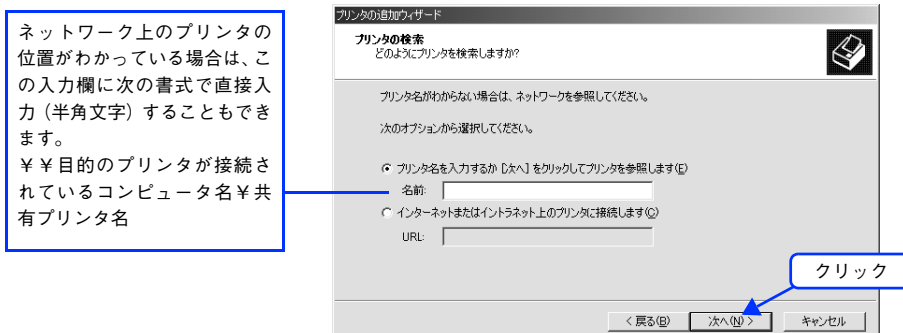
① ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。

② ［プリンタの追加ウィザードの開始］画面で［次へ］をクリックします。

3 使用する共有プリンタを探します。

Windows XP

① [ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ] を選択し、[次へ] をクリックします。

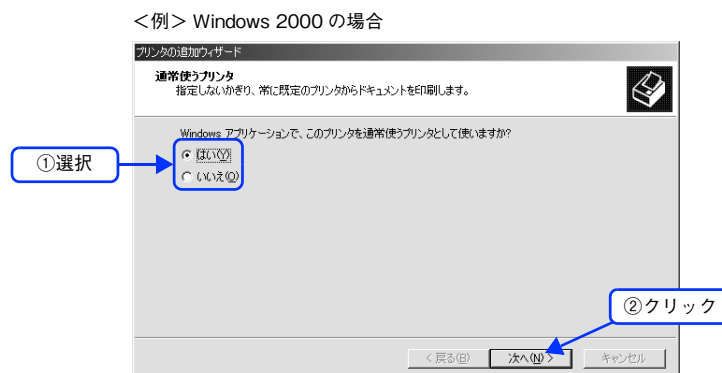
② [指定したプリンタに接続する] または [プリンタを参照する] を選択し、[次へ] をクリックします。

Windows 2000

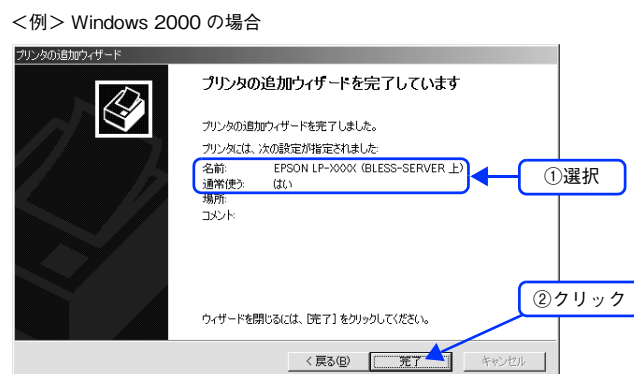
① [ネットワークプリンタ] を選択して [次へ] をクリックします。

② [プリンタ名を入力するか [次へ] をクリックしてプリンタを参照します] が選択されていることを確認して、[次へ] をクリックします。

4 プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）をクリックし、ネットワークプリンタの名前をクリックして［次へ］をクリックします。

<例> Windows2000 の場合

- プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）が、プリンタの名称を変更している場合があります。ご利用のネットワークの管理者にご確認ください。
- すでに該当機種のプリンタドライバがインストールされている場合は、既存のプリンタドライバを使用するか、新しいプリンタドライバを使用するか選択する必要があります。選択を促すダイアログが表示されたら、メッセージに従って選択してください。

5 通常使うプリンタとして利用するかどうかを選択して、［次へ］をクリックします。

<例> Windows 2000 の場合

6 設定内容を確認して［完了］をクリックします。

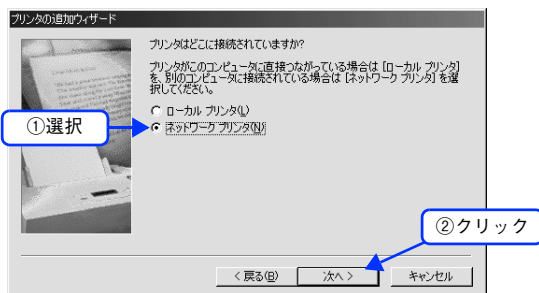
<例> Windows 2000 の場合

以上でクライアントの設定は終了です。

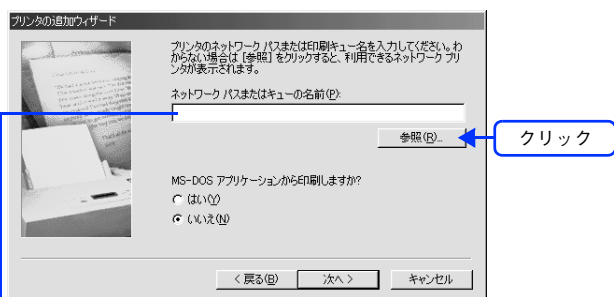
Windows 98/Me クライアントでの設定

Windows 98/Me が稼働するクライアントを設定する場合は、次の手順に従ってください。

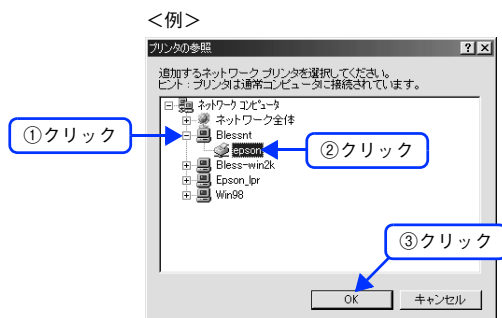
1 ［スタート］-［設定］-［プリンタ］をクリックします。

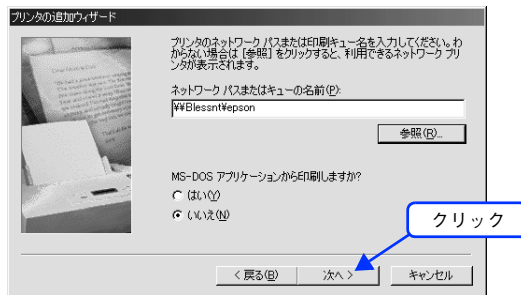
2 ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックし、［次へ］をクリックします。

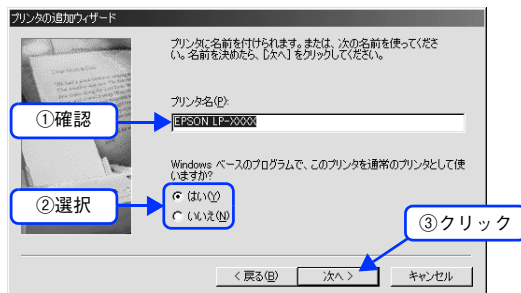
3 ［ネットワークプリンタ］を選択してから、［次へ］をクリックします。

4 ［参照］をクリックします。

ご利用のネットワーク構成図が表示されます。

入力欄に次の書式で直接入力（半角文字）することもできます。
￥￥目的のプリンタが接続されているコンピュータ名￥共有プリンタ名

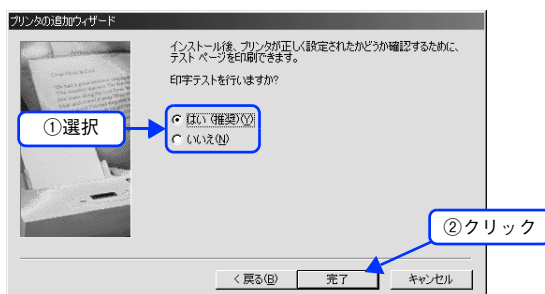
5 プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）の［+］をクリックし、ネットワークプリンタの名前をクリックして［OK］をクリックします。

<例>

> **参考** プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）が、プリンタの名称を変更している場合があります。ご利用のネットワークの管理者にご確認ください。

6 ［次へ］をクリックします。

すでに該当機種のプリンタドライバがインストールされている場合は、既存のプリンタドライバを使用するか、新しいプリンタドライバを使用するか選択する必要があります。選択を促すダイアログが表示されたら、メッセージに従って選択してください。

7 接続するネットワークプリンタ名を確認し、通常使うプリンタとして使用するかどうかを選択して、［次へ］をクリックします。

プリンタ名を変更することができます。変更したプリンタ名は、クライアントコンピュータ上での名前となります。

8 テストページを印刷するかどうかを選択して［完了］をクリックします。

印字テストを行う場合は、プリンタドライバのインストールが終了すると自動的に印字テストを行います。印字テストの終了ダイアログが表示されたら、正しくテストページが印刷されたかどうか確認して、［はい］または［いいえ］をクリックして対処してください。

以上でクライアントの設定は終了です。

接続先の変更方法

プリンタを接続しているコンピュータ側のポートを、必要に応じて追加または変更できます。

Windows 2000/XP/Server 2003 プリントサーバに追加ドライバをインストールしていない場合や、Windows 98/Me プリントサーバと Windows 2000/XP クライアントの組み合わせの場合は、クライアントにプリンタドライバをインストールしてから次の手順を続けてください。

プリンタの接続先を変更すると、プリンタの機能設定が変更されることがあります。プリンタの接続先を変更した場合は、必ず各機能の設定を確認してください。

Windows 2000/XP で接続先を変更する

1 ［スタート］-［プリンタと FAX］（または［プリンタと FAX］）を開きます。

Windows XP

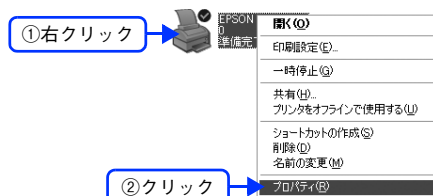
① ［スタート］-［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。

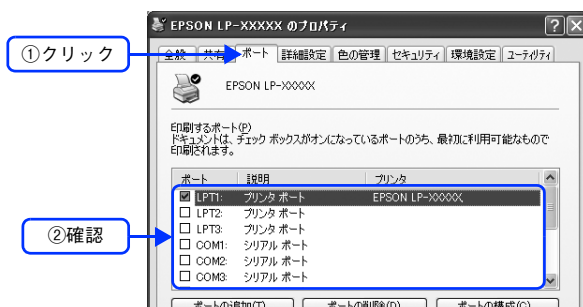
② ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

③ ［プリンタと FAX］をクリックします。

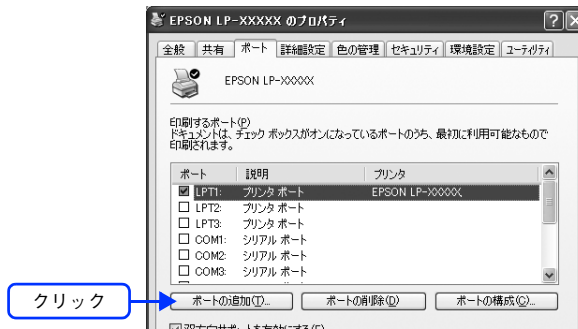
Windows 2000

［スタート］-［設定］-［プリンタ］をクリックします。

2 LP-M5500 のアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。

3 ［ポート］タブをクリックして、一覧に接続先のポートがあるか確認します。

接続先のポートがある場合は、接続先のポートにチェックを付けて［OK］をクリックします。
一覧に接続するポートがない場合は、次の手順に進みます。

表示されるポートの種類はご利用のコンピュータによって異なります。次に代表的なポートを説明します。

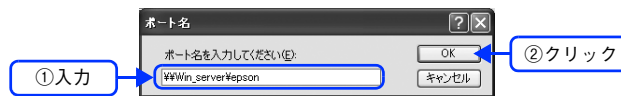
- USBx：USB ポートです。Windows 2000/XP/Server 2003 をご利用で本機を USB ケーブルで接続した場合に選択します（最後の x には数字が表示されます）。
- FILE：印刷データをプリンタではなくファイルに出力します。

4 ［ポートの追加］をクリックします。

5 ［プリンタポート］ダイアログが表示されたら、［Local Port］をクリックして［新しいポート］をクリックします。

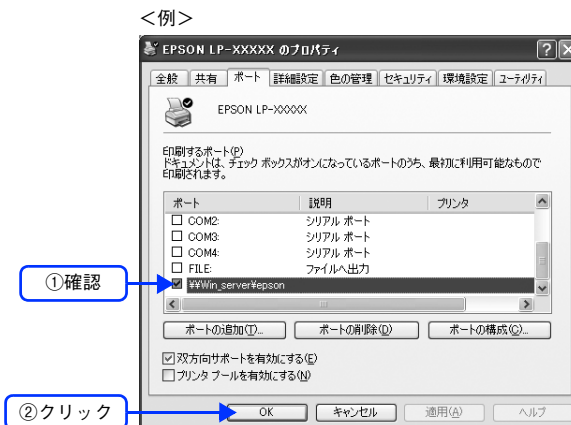
ここでは、サーバに接続された共有プリンタのためのポートを作成します。

6 ポート名を入力して［OK］をクリックします。

ポート名は次のように入力します。
¥¥目的のプリンタが接続されたコンピュータ名¥共有プリンタ名

<例>

7 ［プリンタポート］ダイアログの画面に戻りますので、［閉じる］をクリックします。

8 ポートに設定した名前が追加され、選択されていることを確認してから［OK］をクリックします。

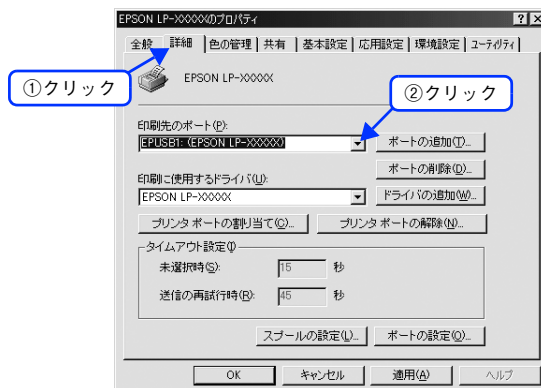
<例>

以上でプリンタ接続先の変更の手順説明は終了です。

Windows 98/Me で接続先を変更する

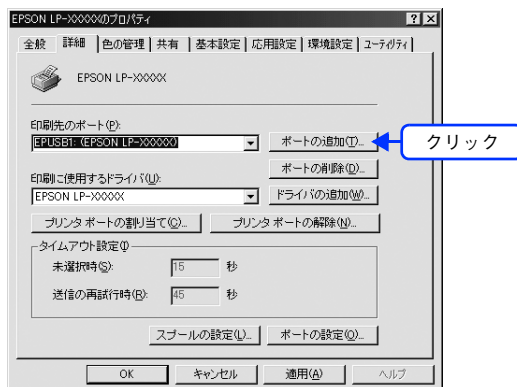
1 ［スタート］-［設定］-［プリンタ］をクリックします。

2 LP-M5500 のアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。

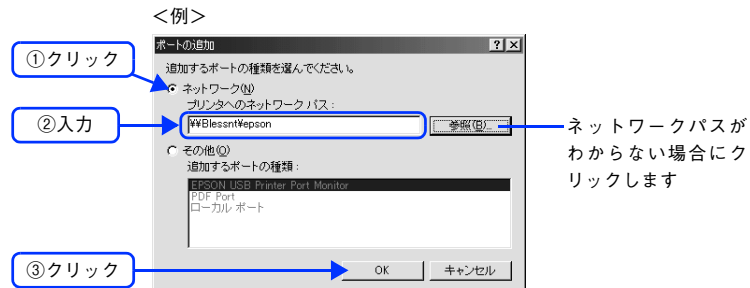
3 ［詳細］タブをクリックして、一覧に接続先のポートがあるか確認します。

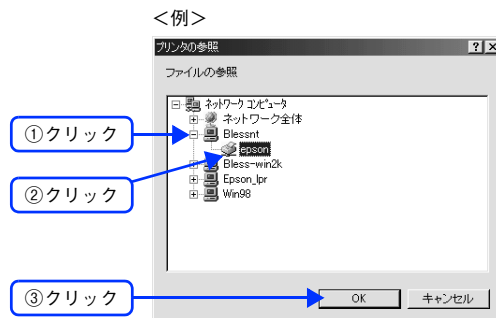
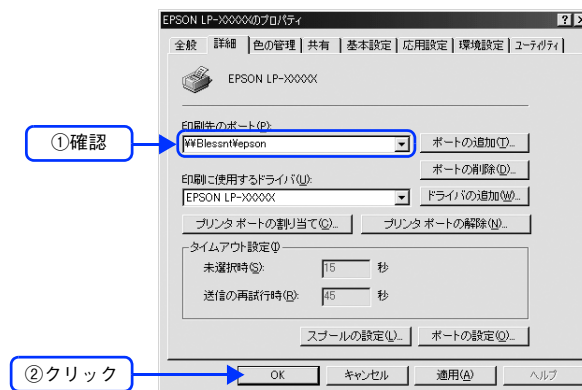
接続先のポートがある場合は、接続先のポートにチェックを付けて［OK］をクリックして、手順を終了します。
一覧に接続するポートがない場合は、次の手順に進みます。

表示されるポートの種類はご利用のコンピュータによって異なります。次に代表的なポートを説明します。

- EPUSBx：USB ポートです。Windows 98/Me をご利用で本機を USB ケーブルで接続した場合に選択します。EPSON プリンタ用の USB デバイスドライバがインストールされているときのみ表示されます（最後の x には数字が表示されます）。
- FILE：印刷データをプリンタではなくファイルに出力します。

4 ［ポートの追加］をクリックします。

5 ［ネットワーク］をクリックし、［プリンタへのネットワーク パス］を入力して［OK］をクリックします。

ここでは、サーバに接続された共有プリンタのためのポートを作成します。
［プリンタへのネットワーク パス］は次のように入力します。
￥￥目的のプリンタが接続されたコンピュータ名￥共有プリンタ名

<例>

ネットワークプリンタへのパスがわからない場合は、［参照］をクリックして、次のダイアログで目的のプリンタをクリックして［OK］をクリックします。

<例>

6 追加したポート名が［印刷先のポート］で選択されていることを確認してから、［OK］をクリックします。

以上でプリンタ接続先の変更は終了です。

カラー印刷のポイント

8 ～ 16 色程度のイラストを印刷する場合は、プリンタドライバやアプリケーションソフトでカラー印刷を行う設定さえしておけば、特別な準備や調整は不要です。しかし、本書の出力サンプルや販売店でご覧になった写真のような印刷を行うには、印刷データの調整やコンピュータ環境の整備が必要です。

印刷解像度

ディスプレイに表示される画像やプリンタで印刷される画像は、小さなドット（点）で構成されています。印刷解像度は、1 インチ（約 2.54cm）あたりにいくつの点があるかを dpi（dots per inch）という単位で表現し、この値が大きい方がきめの細かい印刷結果を得ることができます。

本機の印刷解像度は、300dpi または 600dpi のいずれかを選択することが可能です。［応用設定］ダイアログの［印刷品質］で［標準］（300dpi）または［高品質］（600dpi）を選択します。600dpi を選択すると、きめの細かいきれいな画像が印刷できますが、印刷時間は長くなります。また扱うデータ量が大きくなるため、メモリの増設が必要になる場合があります。印刷の目的に合わせて印刷解像度を選択してください。

イメージ図

● 300dpi

● 600dpi

スクリーン線数（解像度優先 / 階調優先）

印刷される画像の色の濃淡は、用紙上のトナーの点の密度を変化させることで表現します。この点の密度をスクリーン線数と呼び、1 インチ（約 2.54cm）あたりの密度を lpi（lines per inch）という単位で表現し、この値が大きい方が精密な印刷結果を得ることができます。

- プリンタドライバ上で［解像度優先］を選択すると、スクリーン線数を高めに設定して細い線や細かい模様を正確に再現した印刷結果が得られます。
- ［階調優先］を選択すると、スクリーン線数をやや低めに設定して細い線や細かい模様などは正確に再現できない場合がありますが、色調の変化などをよりなめらかに表現した印刷結果が得られます。
- ［自動（解像度優先 / 階調優先）］を選択すると、印刷するデータに対して適したスクリーン線数を自動的に選択して印刷します。

イメージ図

●階調優先

●解像度優先

カラー画像の印刷と必要メモリの関係

カラー画像の印刷には多くのメモリを必要とします。印刷に必要なメモリの量は、画像データのサイズや印刷時の設定によって変わります。必要なメモリの量に関係する印刷時の設定は、次の 2 つがあります。

- 印刷サイズ
- 解像度（[標準] 300dpi/［高品質］600dpi）

実際の印刷で必要となるプリンタのメモリの量は、印刷データやアプリケーションソフトにより異なりますが、通常使用における目安として下表を参考にしてください。また推奨のメモリサイズをプリンタに実装することで、印刷速度の改善など、より効率的な印刷が可能になります。なお DTP 出力などで複雑な印刷にご使用の場合は、576MB（最大時）まで増設することをお勧めします。

	印刷サイズ	解像度	必要メモリ	推奨メモリ
片面	A4	標準	128MB	128MB
		高品質	128MB	128MB
	A3	標準	128MB	128MB
		高品質	128MB	128MB
両面	A4	標準	128MB	128MB
		高品質	128MB	128MB
	A3	標準	128MB	128MB
		高品質	128MB	128MB

また、カラー画像のデータサイズは、モノクロデータに比べ大きいものになるため、ご利用のコンピュータのハードディスクの空き領域を十分に確保する必要があります。主な入力装置でのカラー画像データサイズは、下表のようになります。

入力装置／品質		原稿サイズ	画素数（ピクセル）	画像データ容量
デジタルカメラ	350,000 画素	–	640 × 480	900KB
	870,000 画素	–	1024 × 768	2.3MB
	1,300,000 画素	–	1290 × 960	3.52MB
	2,140,000 画素	–	1600 × 1200	5.5MB
フイルムスキャナ	1200dpi	–	1700 × 1100	5.4MB
フラットベッド スキャナ	300dpi	4' × 6'	1200 × 1800	6.2MB
		A4	2550 × 3600	26.3MB
	600dpi	4' × 6'	2400 × 3600	24.7MB
		A4	5100 × 7200	105.1MB
	1200dpi	4' × 6'	4800 × 7200	100MB
		A4	10200 × 14000	420MB
Photo CD	BASE	–	768 × 512	1.1MB
	4BASE	–	1536 × 1024	4.5MB
	16BASE	–	3072 × 2048	18.0MB

印刷時のポイント（オートフォトファイン !5）

プリンタドライバの設定モードは、通常［推奨設定］にしておけば、標準的な印刷結果が得られるように色調整されています。しかし、ここで行われる色調整は、一般的かつ一律的なレベルですので、さらに細かく調整をしたい場合には［詳細設定］で微調整（設定変更）を行ってください。

オートフォトファイン !5

オートフォトファイン !5 とは、エプソン独自の画像解析 / 処理技術を用いて自動的に画像を高画質化して印刷する機能です。一般的に、市場で「きれい」と感じられるデジタル画像には、ほとんどの場合、元データに対して何らかの「補正」がかけられています。通常、このような「補正」はフォトレタッチソフトなどを使用して行いますが、この作業には「色」に関する知識と、豊富な作業経験が要求されます。また、この作業には時間もかかります。

このような難しい補正作業を、人の手に代わって自動的かつ短時間に行う機能が「オートフォトファイン !5」です。（印刷時に補正するだけで、元データに補正は加えません。）この機能は、1 ページ内に複数の画像イメージが存在する場合にも、それぞれのイメージに対して個別の解析を行い、最適な処理を実行します。

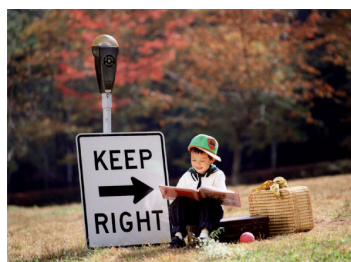
- 画像によって補正の効果は異なります。例えば、すでに適切な補正がかけられている画像などは効果が薄くなります。
- 256 色などの色数の少ない画像データには有効に機能しないことがあります。
- 画像を解析しながら印刷処理を行うので、処理速度の遅い CPU を搭載しているコンピュータなどでは印刷時間が長くなります。
- ディスプレイ上の表示と印刷結果を合わせたいときは「ICM」を使用して印刷してください。
- EPSON 製デジタルカメラの画像転送ソフトにおいてオートフォトファインを使用した画像データには、プリンタドライバのオートフォトファイン !5 は使用しないでください。

オートフォトファイン !5 を指定して印刷を実行すると、プリンタドライバはまず画像全体の中から主要なオブジェクトを認識します。そして、そのオブジェクトを次のように解析して処理を行います。

RGB カラーバランスの補正	色かぶりが補正されます。オブジェクトの RGB ごとのヒストグラムを分析し、RGB ごとにトーンカーブ補正を行います。
解像度の補正	低解像度の粗い画像をきめ細かく表現します。画像データの解像度が低い場合、擬似的に解像度を上げて印刷します。
明るさの補正	暗すぎる（露出不足）画像などが修正されます。オブジェクトの明るさを分析し、輝度に対して最適なトーンカーブ補正を行います。
コントラストの強調	中間調のコントラストが上がり、メリハリのある画像になります。ヒストグラムの最小値と最大値を、それぞれ最適になるようにダイナミックレンジを拡大し、さらにヒストグラムの分布から、トーンカーブを画像に応じて適切に調整します。
彩度の強調	色あせた画像が鮮やかになります。画像の彩度の程度を分析し、その程度に応じた彩度調整をかけます。

オートフォトファイン！５での印刷は、１ページに複数の画像がある場合でも個別に適切な補正を行います。

イメージ図

●オートフォトファイン!5 OFF

●オートフォトファイン!5 ON

明るさの補正

コントラスト・彩度の強調

RGB カラーバランスの補正

7 スキャンの基本操作

コンピュータからスキャナを使用する場合の、基本的な操作を説明しています。

スキャンを始める前に

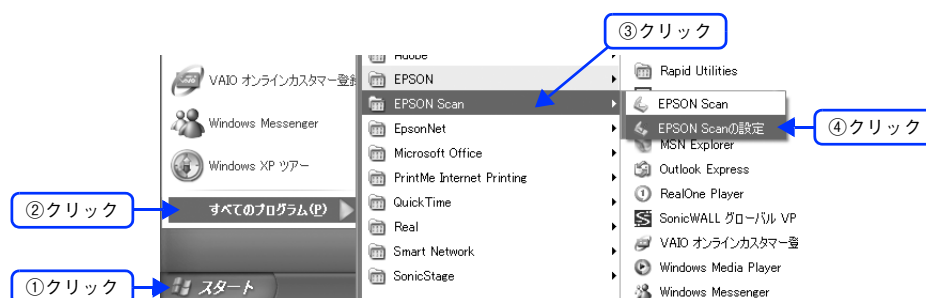
本機には、コンピュータから EPSON Scan を使用してスキャンする方法と操作パネルからスキャンする方法があります。ここでは、コンピュータからスキャンする方法について説明します。
操作パネルからのスキャン方法は、『活用ガイド』を参照してください。

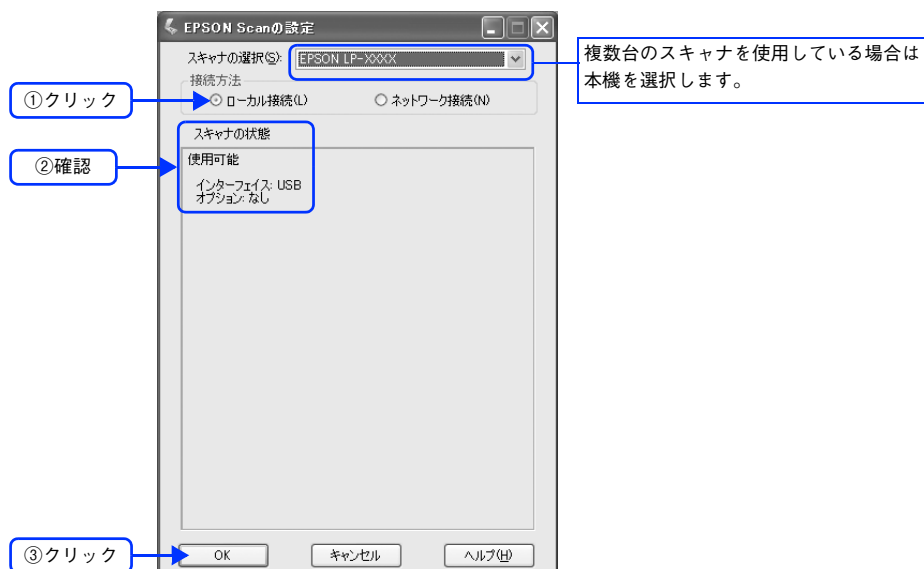
接続先の設定と確認をする（USB 接続）

『EPSON ソフトウェア CD-ROM』からソフトウェアを正しくインストールしていれば問題なくスキャンを始めていただけますが、次の手順でスキャン可能な状態か確認してください。

1 **本機の電源をオン（ | ）にします。**

2 **［EPSON Scan の設定］画面を開きます。**

［スタート］－［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－［EPSON Scan］－［EPSON Scan の設定］の順にクリックします。

3 **［ローカル接続］をクリックし、スキャナの状態が［使用可能］になっていることを確認して、［OK］をクリックします。**

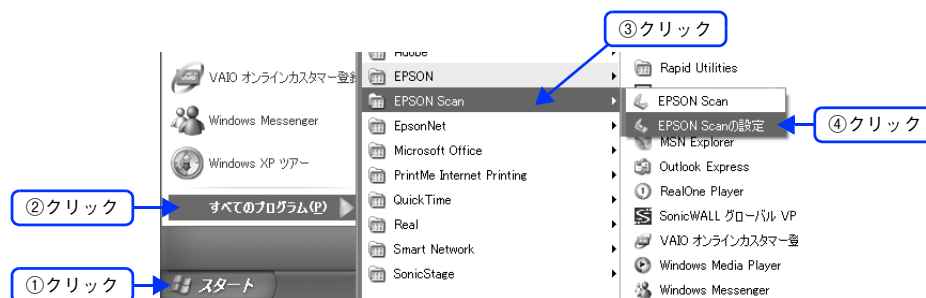
複数台のスキャナを接続している場合は、［スキャナの選択］一覧から本機を選択してください。
スキャナが使用可能な状態にならない場合は、以下のページを参照して対処し、もう一度やり直してください。
☞ 本書 290 ページ「スキャナが動かない／スキャンできない」

以上で接続の確認手順の説明は終了です。この後は、実際にスキャンしてみてください。

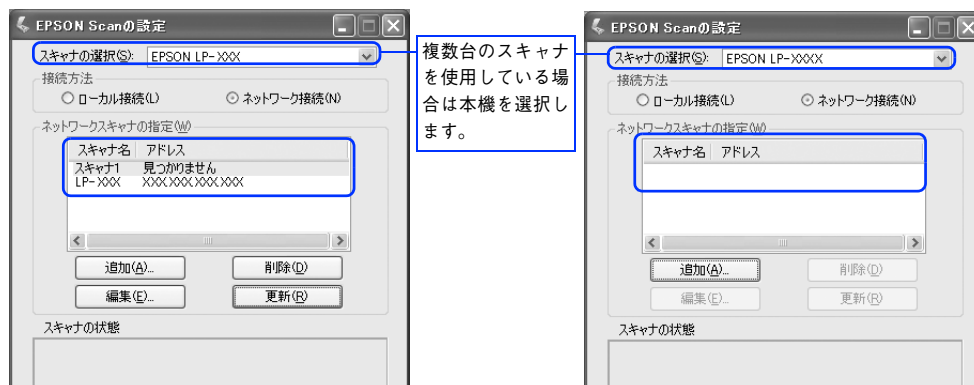
接続先の設定と確認をする（ネットワーク接続）

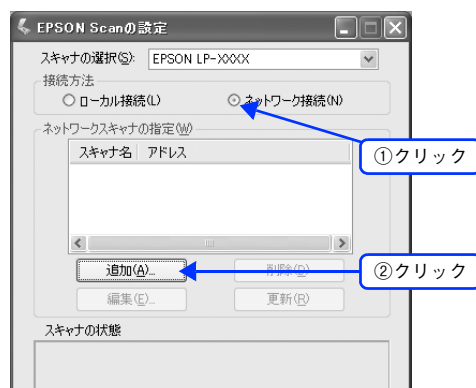
『EPSON ソフトウェア CD-ROM』からソフトウェアを正しくインストールした後、次の手順に従って EPSON Scan を設定します。

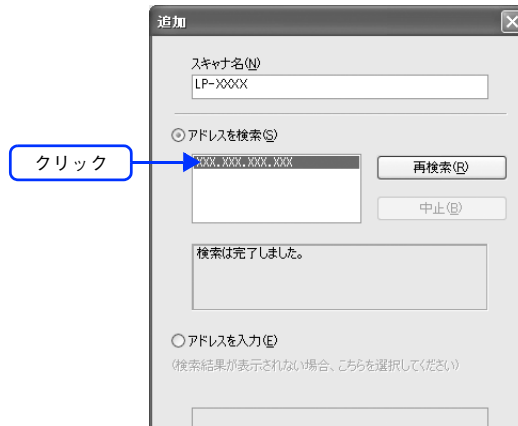
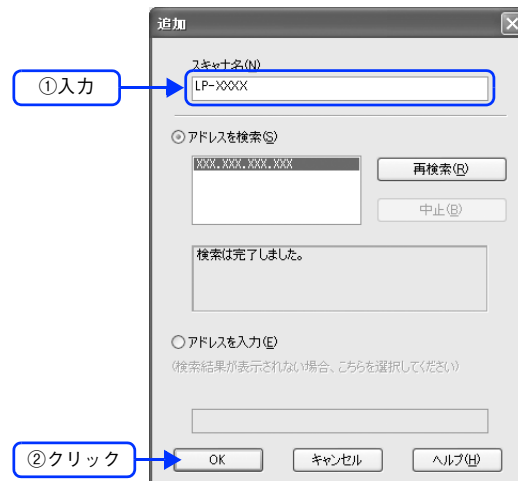
1 本機の電源をオン（ | ）にします。

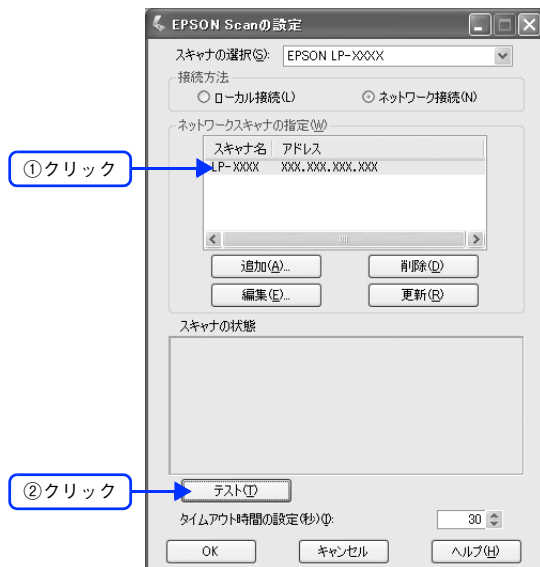
2 ［EPSON Scan の設定］画面を開きます。

［スタート］－［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－［EPSON Scan］－［EPSON Scan の設定］の順にクリックします。

3 設定状態を確認します。

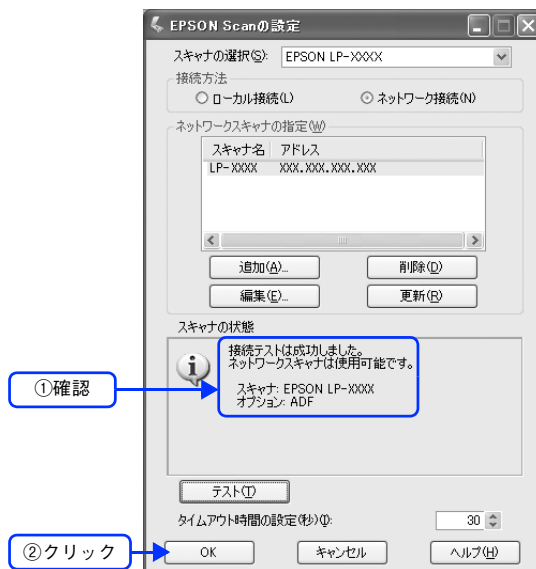
複数台のスキャナを接続している場合は、［スキャナの選択］一覧から本機を選択してください。
『セットアップガイド』の手順に従ってインストールすると、左の画面のように、本機が一覧に表示されています。この場合は、手順 7 へ進みます。
右の画面のように、一覧に本機が表示されていない場合は、次の手順に進みます。

4 ［ネットワーク接続］をクリックして、［追加］をクリックします。

［EPSON Scan の設定］画面を開いた直後は、本機の検索中のため選択できません。検索が終了して選択できるようになるまで少しお待ちください。

5 ネットワークに接続されている本機の IP アドレスが表示されますので、クリックして選択します。

アドレスが表示されない場合は、［再検索］をクリックするか、［アドレスを入力］をクリックして、直接 IP アドレスを指定してください。

6 ［スキャナ名］を入力して、［OK］をクリックします。

7 接続するスキャナをクリックして、［テスト］をクリックします。

［EPSON Scan の設定］画面を開いた直後は、本機の検索中のため選択できません。検索が終了して選択できるようになるまで少しお待ちください。

8 ［接続テストは成功しました］と表示されるのを確認して、［OK］をクリックします。

スキャナが使用可能な状態にならない場合は、以下のページを参照して対処し、1 からやり直してください。

☞ 本書 290 ページ「スキャナが動かない／スキャンできない」

以上で接続の確認は終了です。この後は、実際にスキャンしてみてください。

原稿のセット方法

原稿台へ原稿をセットする

セットできる原稿

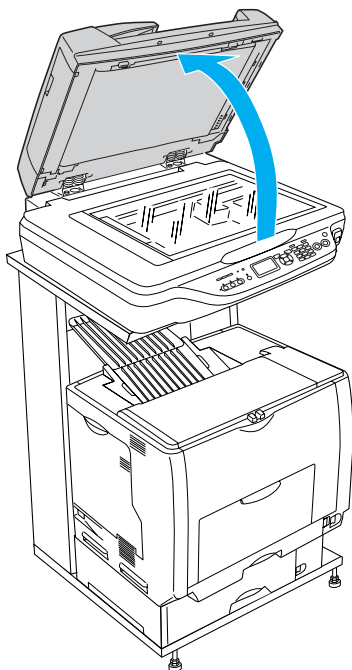
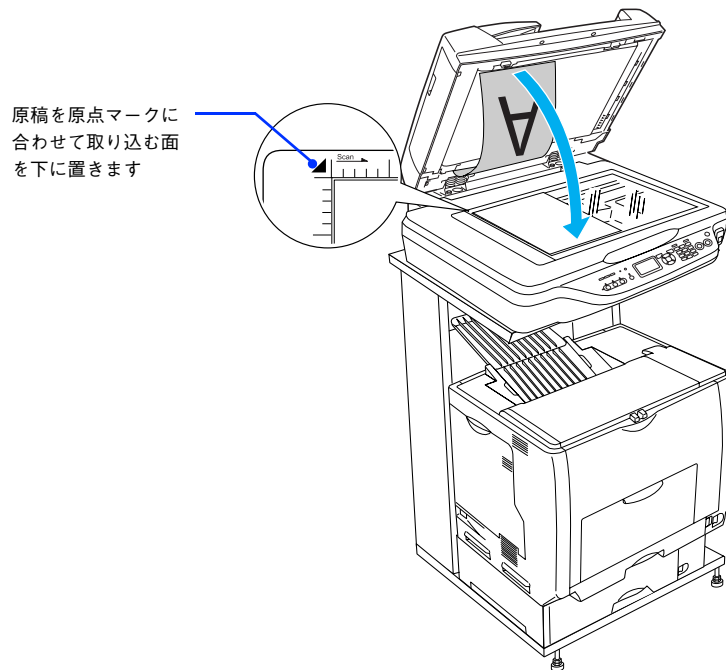
原稿台には、最大 A3 サイズまでの原稿がセットできます。サイズ検知ができる用紙サイズは次の通りです。

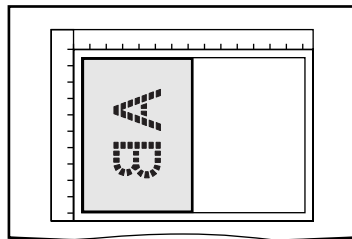
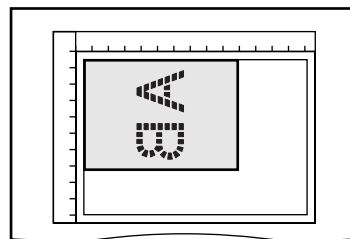
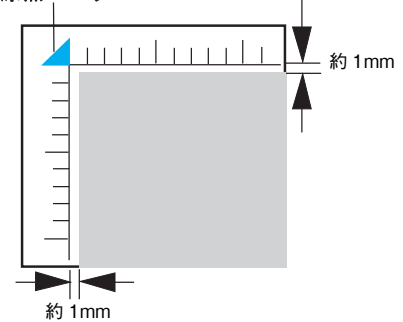
自動検知可能原稿サイズ	B5 縦 / 横、A4 縦 / 横、B4、A3

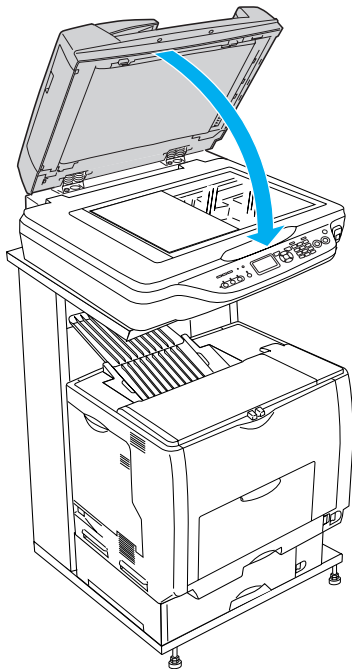
!注意

- 写真などの原稿を原稿台の上にセットしたまま、長時間放置しないでください。原稿台に貼り付くおそれがあります。
- 取り込み面が平らな原稿を使用してください。取り込み面がゆがんでいると、取り込んだイメージもゆがみます。

原稿のセット方法

1 原稿カバーを開けます。

2 原稿の取り込む面を下に向け、原稿台にセットします。

原稿は、次の向きでセットしてください。

A4 以下の原稿

A4 より大きい原稿

原稿台の上端から最大 1mm、右端から 1mm の範囲はスキャンできません。

3 原稿カバーを閉じます。

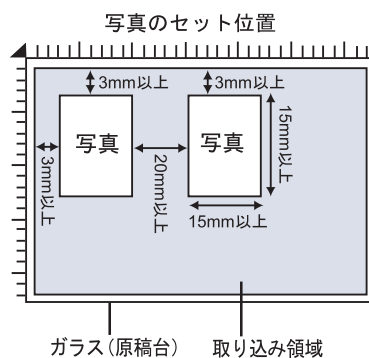
原稿カバーに指を挟まないよう注意しながら、原稿が動かないように、ゆっくり閉じてください。

!注意

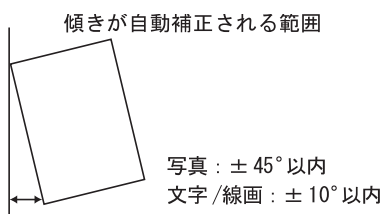
- 原稿カバーは、原稿台から 45° のところで一旦止まるようにできています。ただし、上から勢いよく閉じると 45° のところで止まらないことがあるのでご注意ください。
- 原稿台や原稿カバーに強い力をかけないでください。破損するおそれがあります。
- 原稿を強く押さえ付けないでください。強く押さえ付けると、スキャンした画像にシミやムラ、斑点が出ることがあります。

参考

ホームモードで反射原稿をサムネイル表示する場合（LP-M5500 のみ）

- 取り込み領域の端面から3mm以上離してセットしてください。
- 複数の写真を並べてセットする場合は、写真と写真の間隔を20mm 以上空けてください。

写真のセット位置

- 傾き（写真の場合は± 45° 以内、文字・線画の場合は± 10° 以内）は自動的に補正されますが、原稿によっては補正できない場合があるため、できるだけまっすぐセットしてください。
サムネイル表示の詳細については、EPSON Scan ヘルプの「全自動モード / サムネイル表示のヒント」をご覧ください。

傾きが自動補正される範囲

以上で原稿（写真や雑誌など）のセットは終了です。

オートドキュメントフィーダ(ADF)へ原稿をセットする(LP-M5500F のみ)

セットできる原稿

オートドキュメントフィーダにセットできる用紙は次の通りです。

原稿サイズ	A3、Ledger(約 280 × 432mm)、B4、Legal(216 × 356mm)、A4、Letter(216 × 279mm)、B5、A5、A6*、官製ハガキ * 不定形紙幅:148 〜 297mm 長さ:100 〜 432mm
セット可能枚数	100 枚(A4:80g/ ㎡) (用紙ガイドの目盛りを超えてセットしないこと)
紙質	普通紙、上質紙、リサイクル紙、レーザープリンタ専用紙、インクジェットプリンタ専用紙
紙厚(連量)	50 〜 127g/ ㎡

* 横長にセットしてください。このサイズは自動検知できないので、A5 横サイズで取り込まれます。この場合は、一度プレビューして取り込み枠を原稿に合わせてから取り込んでください。

! 注意　写真原稿など特に貴重な原稿は、カールなどで原稿を傷めるおそれがありますので使用しないでください。

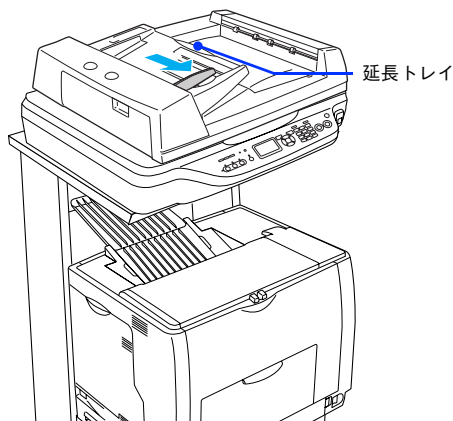
セットできない原稿

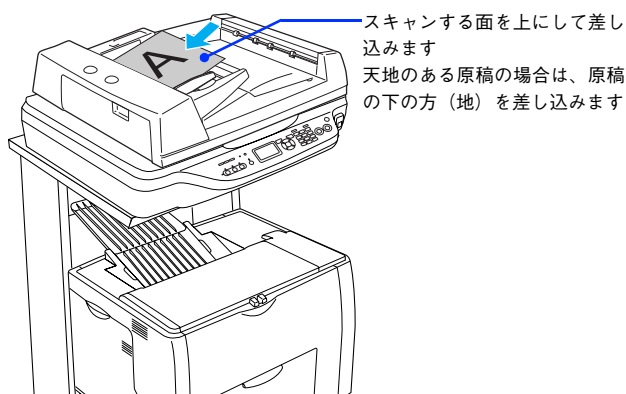
次の用紙は、オートドキュメントフィーダでは使用しないでください。給紙不良またはオートドキュメントフィーダの故障などの原因になります。

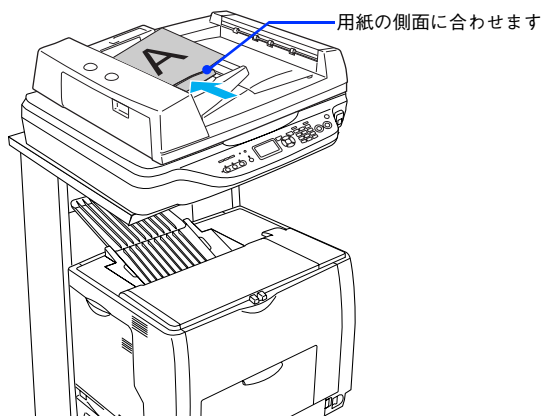
- 折り目、反り(カール)、しわ、破れのある用紙(原稿が反っている場合は、反りを直してセットしてください)
- 糊、ホチキス、クリップなどが付いた用紙
- 形状が不規則な用紙、裁断角度が直角でない用紙
- 貼り合わせ、ラベル紙(裏面糊付)
- ルーズリーフの多穴原稿
- 綴じのある用紙(製本物)
- 裏カーボンのある用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙
- 透明紙(OHP シートなど)、半透明紙、光沢紙
- シールなどが貼ってある原稿
- 劣化した原稿

原稿のセット方法

1 用紙ガイドをセットする原稿サイズの目盛りの位置まで広げます。

B4 以上のサイズをセットするときは、延長トレイを引き出します。

2 原稿をセットします。

原稿のスキャンする面を上にして、奥に突き当たるまで差し込みます。

- 両面原稿の場合は、表面を上に向けてセットしてください。
- 1 番上の原稿から給紙されます。

3 用紙ガイドを原稿の側面に合わせます。

以上でオートドキュメントフィーダへの原稿のセットは終了です。

参考　スキャンされた原稿は、下段の排紙トレーに排出されます。

スキャンの基本手順

簡単な設定をしてスキャンする（ホームモードの手順）

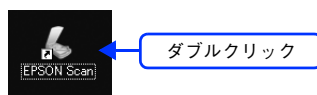
ここでは、簡単な設定をしてスキャンするホームモードでのスキャン方法を説明します。

1 スキャナに原稿をセットします。

原稿台に原稿をセットしてください。オートドキュメントフィーダからは給紙できません。

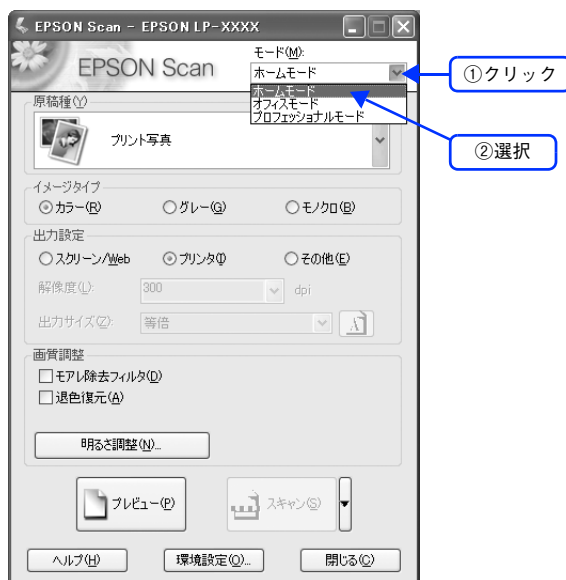
☞ 本書 203 ページ「原稿台へ原稿をセットする」

2 EPSON Scan を起動します。

デスクトップ上の［EPSON Scan］アイコンをダブルクリックしてください。機種選択画面が表示された場合は、スキャンに使用する機種を選択してください。

参考

［EPSON Scan］アイコンがない場合は

［スタート］-［すべてのプログラム］（または［プログラム］）-［EPSON Scan］-［EPSON Scan］の順にクリックしてください。

3 画面右上のモードで［ホームモード］を選択します。

ここでホームモードを選択しておくと、次回起動したときに直接ホームモード画面が表示されます。

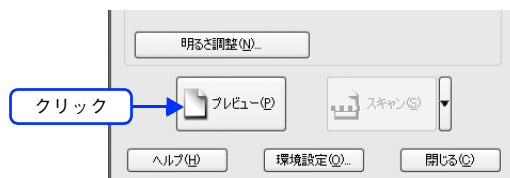
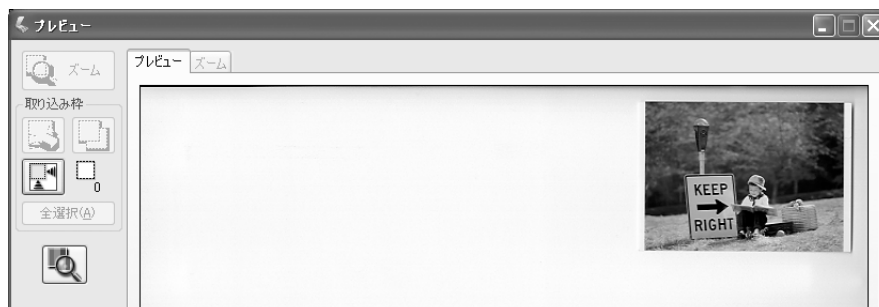
4 ①〜③の各項目を設定します。

<table>
<tr><td rowspan="1">①</td><td>原稿種</td><td colspan="3">プルダウンメニューをクリックして、セットした原稿の種類を選択します。</td></tr>
<tr><td>②</td><td>イメージタイプ</td><td colspan="3">原稿種に合ったイメージタイプが自動的に設定されます。
変更したいときは、チェックを付け替えます。カラー写真をグレー（白黒）でスキャンするときなどに変更します。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">③</td><td rowspan="5">出力設定</td><td colspan="3">スキャンした画像の用途を選択します。用途を選ぶと、適切な解像度が設定されます。</td></tr>
<tr><th>設定</th><th>解像度</th><th>用途</th></tr>
<tr><td>スクリーン / Web</td><td>96dpi</td><td>壁紙などのディスプレイ表示や、ホームページ上で使用する画像をスキャンする場合に選択します。</td></tr>
<tr><td>プリンタ</td><td>300dpi</td><td>プリンタで印刷する場合に選択します。</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>ー</td><td>その他の用途で使用する場合に選択し、［解像度］リストで用途に応じた解像度を設定してください。</td></tr>
</table>

参考

解像度とは？

☞ 本書 298 ページ「解像度」
☞ 本書 300 ページ「解像度を上げるときれいになる？」

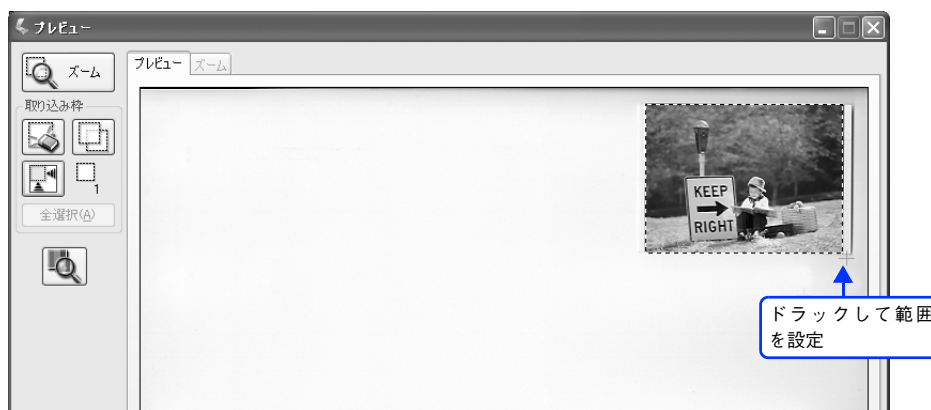
5 ［プレビュー］をクリックします。

プレビュー結果が表示されます（［原稿種］が［プリント写真］の場合）。

- LP-M5500 をお使いで［原稿種］が［プリント写真］の場合、プレビューの方法を選択することができます。詳しくは以下のページをご覧ください。
  ☞ 本書 272 ページ「サムネイル表示と通常表示を切り替える」
- きれいにプレビューできない場合は、輸送用固定レバーが解除されているか確認してください。
  ☞ 本書 283 ページ「スキャン品質が悪い」

6 必要に応じて、［出力サイズ］を選択します。

スキャン後の画像の大きさを選択してください。
通常は［等倍］のままでかまいません。

原稿とスキャン後の画像の大きさを変えたい場合は、［出力サイズ］でサイズを選択してください。
☞ 本書 257 ページ「お好みのサイズでスキャン（［出力サイズ］設定）」

7 通常プレビューの場合は、プレビュー画面上でスキャンする範囲を設定します。

スキャンしたい部分をドラッグして囲んでください。取り込み枠（破線表示）が表示されます。
LP-M5500 でサムネイルプレビューになっている場合は、次の手順へ進みます。
取り込み枠の操作の詳細は、以下のページを参照してください。
☞ 本書 254 ページ「必要な部分だけを切り取ってスキャン」

8 必要に応じて、画質を調整します。

①	モアレ除去フィルタ	印刷物（雑誌、カタログなど）のスキャンで発生するモアレ（網目状の陰影）が目立つ場合にチェックしてください。 ☞本書 227 ページ「モアレ（網目状の陰影）の除去（モアレ除去フィルタ）」

②	退色復元	色あせたり、日に当たって変色した昔の古い写真の色合いを、元の色に戻したい場合にチェックしてください。 本書 233 ページ「色あせた写真の色を復元する（退色復元）」
③	明るさ / コントラスト	スキャンした画像が明るすぎたり暗すぎたりしたときに、調整してください。 本書 242 ページ「明るさとコントラストを調整する 1（簡単設定）」
④	しきい値 （イメージタイプがモノクロの場合のみ）	文字原稿や図面などで、文字や線がかすれる場合に調整してください。 しきい値とは、画像を白と黒の（2 値）データでスキャンするときの、白黒の境を決めるものです。

9 ［スキャン］をクリックします。

10 必要に応じて［保存先］/［ファイル名］/［保存形式］を設定して、［OK］をクリックします。

①	保存先	スキャンした画像を保存するフォルダが表示されます。 保存先を変更する場合は、［参照］をクリックし、表示される画面でフォルダを選択または新規作成してください。
②	ファイル名	画像のファイル名を設定します。 ファイル名は、［文字列］＋［開始番号］で指定した番号になります。
③	保存形式	画像の保存形式を選択します。 JPEG 形式を選択することをお勧めします。JPEG 形式では圧縮率を選択できます。ただし、圧縮率が高いほど画質が劣化し（圧縮前のデータに戻すことはできません）、さらに保存のたびに劣化するので、スキャン後に画像を加工する場合は、TIFF 形式を選択することをお勧めします。
④	同一ファイル名が存在する場合、常に上書きする	同じ名前のファイルが存在していた場合、上書き保存します。 上書き保存したくない場合は、チェックを外してください。
⑤	次回スキャン前に、このダイアログを表示する	［スキャン］をクリックするたびに、［保存ファイルの設定］画面を表示します。
⑥	スキャン後、保存フォルダを開く	スキャン後に、［保存先］で指定したフォルダが開きます。

アプリケーションソフトから EPSON Scan を起動すると、［保存ファイルの設定］画面は表示されません。

11 次の画面が表示され、スキャンが始まり、指定した保存先に保存されます。

［保存ファイルの設定］画面で［スキャン後、保存フォルダを開く］をチェックしていると、スキャン後に保存されたフォルダが開きます。

12 保存されたファイルを確認します。

スキャンした画像は、［保存ファイルの設定］画面で設定した保存先（フォルダ）に保存されています。
初期設定では次のフォルダに保存されます。

- ［マイ ピクチャ］フォルダ
- ［My Pictures］フォルダ（ない場合は［マイ ドキュメント］フォルダ）

以上でホームモードでのスキャン / 保存は終了です。

大量の文書をスキャン（オフィスモードの手順）

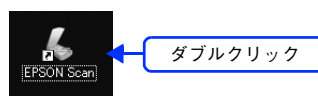
オフィスモードは、原稿を速く大量にスキャンしたいときにお勧めのモードです。

1 **スキャナに原稿をセットします。**

以下のページをご覧になって、原稿をセットしてください。

本書 206 ページ「オートドキュメントフィーダ（ADF）へ原稿をセットする（LP-M5500F のみ）」
本書 203 ページ「原稿台へ原稿をセットする」

2 **EPSON Scan を起動します。**

デスクトップ上の［EPSON Scan］アイコンをダブルクリックしてください。

［EPSON Scan］アイコンがない場合は

［スタート］-［すべてのプログラム］（または［プログラム］）-［EPSON Scan］-［EPSON Scan］の順にクリックしてください。

3 **画面右上のモードで［オフィスモード］を選択します。**

ここでオフィスモードを選択しておくと、次回起動したときに直接オフィスモード画面が表示されます。

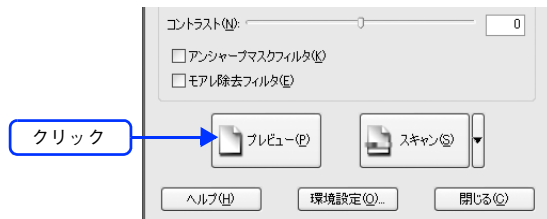
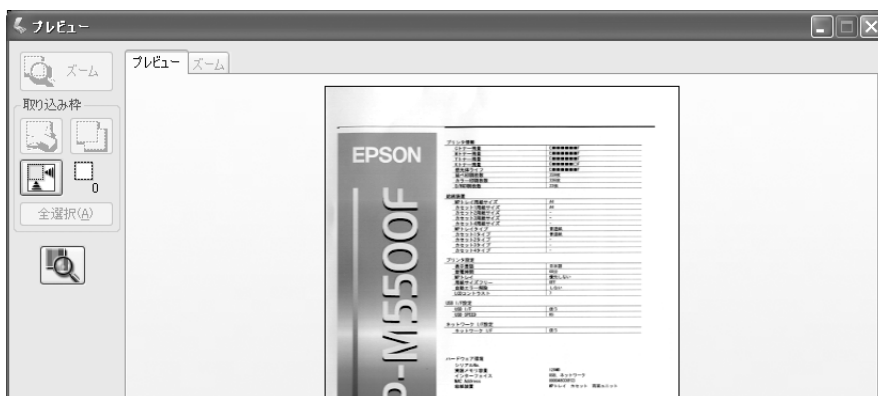
4 ①、②の各項目を設定します。

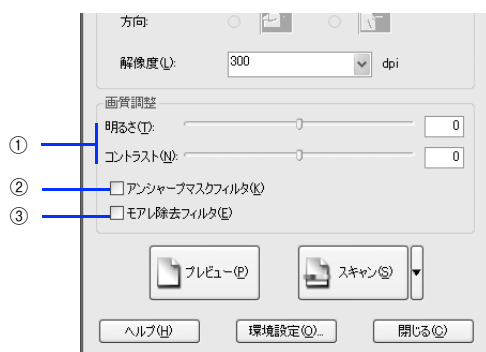
①	イメージタイプ	原稿種に合ったイメージタイプが自動的に設定されます。 変更したいときは、チェックを付け変えます。カラー写真をグレー（白黒）でスキャンするときなどに変更します。	
②	出力設定	取込装置、原稿サイズ、セット方向、取込解像度を指定します。	
		取込装置	LP-M5500F の場合のみ選択可能です。 [ADF- 片面]（オートドキュメントフィーダ）、[ADF- 両面]、[原稿台]、［自動検知］の中から選択します。
		サイズ	セットした原稿のサイズに合わせて選択します。 ［自動検知］は、A4、B5、Letter サイズの用紙がセットされているときに有効です。 希望するサイズがない場合は、ユーザー定義サイズを選択して登録します。
		方向	原稿をセットした方向を選択します。[サイズ] で指定した値によって選択できる場合と選択できない場合があります。
		解像度	スキャン後の画像解像度を設定します。 • E メール送信：96 ～ 150dpi • プリンタ／文書ファイリング：300dpi • FAX 送信：200dpi

解像度とは？

☞ 本書 298 ページ「解像度」
☞ 本書 300 ページ「解像度を上げるときれいになる？」

5 スキャンの画質を調整したい場合は、［プレビュー］をクリックします。

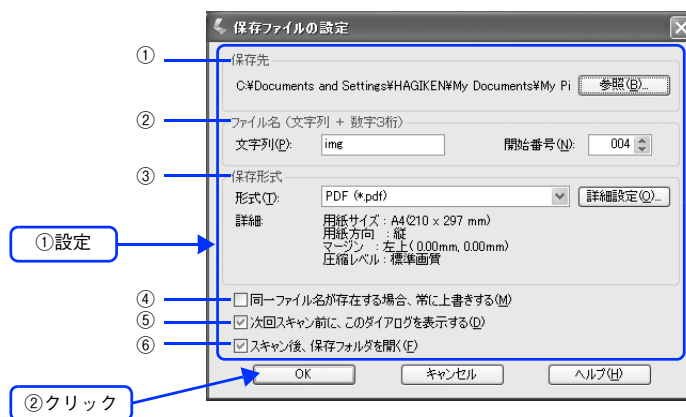
ビジネス文書を大量に取り込む場合など、特に画質にこだわらない場合は手順 8 へ進みます。

プレビュー結果が表示されます。オートドキュメントフィーダをご使用の場合は、1 枚目の原稿のプレビューが表示されます。

- LP-M5500の場合、プレビューの結果は 2 種類あります。詳しくは以下のページをご覧ください。
  本書 272 ページ「サムネイル表示と通常表示を切り替える」
- きれいにプレビューできない場合は、輸送用固定レバーが解除されているか確認してください。
  本書 283 ページ「スキャン品質が悪い」

6 必要に応じて、画質を調整します。

①	明るさ / コントラスト	スキャンした画像が明るすぎたり暗すぎたりしたときに、調整してください。 本書 242 ページ「明るさとコントラストを調整する 1（簡単設定）」
②	アンシャープマスクフィルタ	輪郭部分を強調して画像をシャープにします。 本書 231 ページ「ぼやけた画像をくっきりさせる（アンシャープマスク）」
③	モアレ除去フィルタ	印刷物（雑誌、カタログなど）のスキャンで発生するモアレ（網目状の陰影）が目立つ場合にチェックしてください。 本書 227 ページ「モアレ（網目状の陰影）の除去（モアレ除去フィルタ）」

オートドキュメントフィーダをご使用の場合は、現在プレビューしている原稿に対する画質の調整が、以降の原稿に対しても適用されます。

7 原稿をセットし直します。

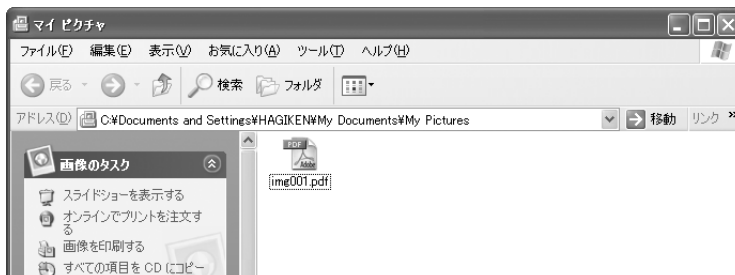
8 ［スキャン］をクリックします。

9 必要に応じて［保存先］/［ファイル名］/［保存形式］を設定して、［OK］をクリックします。

①	保存先	スキャンした画像を保存するフォルダが表示されます。 保存先を変更する場合は、［参照］をクリックし、表示される画面でフォルダを選択または新規作成してください。
②	ファイル名	画像のファイル名を設定します。 ファイル名は、［文字列］＋［開始番号］で指定した番号になります。
③	保存形式	画像の保存形式を選択します。 PDF 形式を選択すると複数の書類をまとめてひとつの PDF ファイルにできます。
④	同一ファイル名が存在する場合、常に上書きする	同じ名前のファイルが存在していた場合、上書き保存します。 上書き保存したくない場合は、チェックを外してください。
⑤	次回スキャン前に、このダイアログを表示する	［スキャン］をクリックするたびに、［保存ファイルの設定］画面を表示します。
⑥	スキャン後、保存フォルダを開く	スキャン後に、［保存先］で指定したフォルダが開きます。

アプリケーションソフトから EPSON Scan を起動すると、［保存ファイルの設定］画面は表示されません。

10 次の画面が表示され、スキャンが始まり、指定した保存先に保存されます。

［保存ファイルの設定］画面で［スキャン後、保存フォルダを開く］をチェックしていると、スキャン後に保存されたフォルダが開きます。

11 保存されたファイルを確認します。

スキャンした画像は、［保存ファイルの設定］画面で設定した保存先（フォルダ）に保存されています。
初期設定では次のフォルダに保存されます。

- ［マイ ピクチャ］フォルダ
- ［My Pictures］フォルダ（ない場合は［マイ ドキュメント］フォルダ）

以上でオフィスモードでのスキャン / 保存は終了です。

画質調整をしてスキャンする（プロフェッショナルモードの手順）

ここでは、詳細な画質調整ができるプロフェッショナルモードでのスキャン方法を説明します。

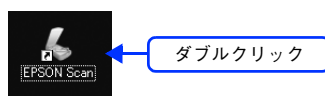
1 スキャナに原稿をセットします。

以下のページをご覧になって、原稿をセットしてください。

☞ 本書 206 ページ「オートドキュメントフィーダ（ADF）へ原稿をセットする（LP-M5500F のみ）」
☞ 本書 203 ページ「原稿台へ原稿をセットする」

2 EPSON Scan を起動します。

デスクトップ上の［EPSON Scan］アイコンをダブルクリックしてください。

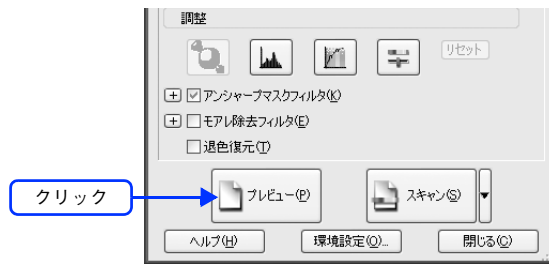
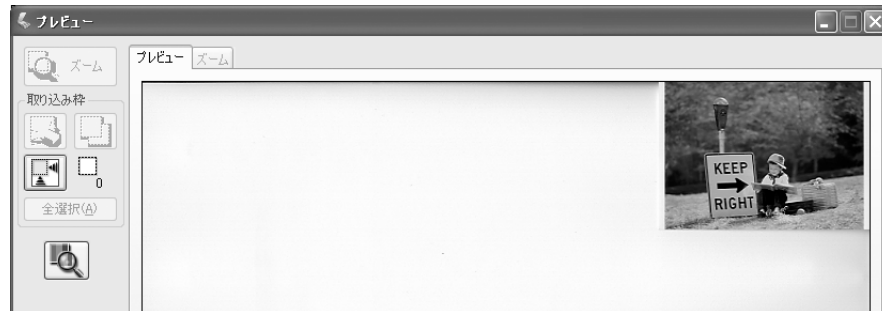
参考

［EPSON Scan］アイコンがない場合は
［スタート］-［すべてのプログラム］（または［プログラム］）-［EPSON Scan］-［EPSON Scan］の順にクリックしてください。

3 画面右上のモードで［プロフェッショナルモード］を選択します。

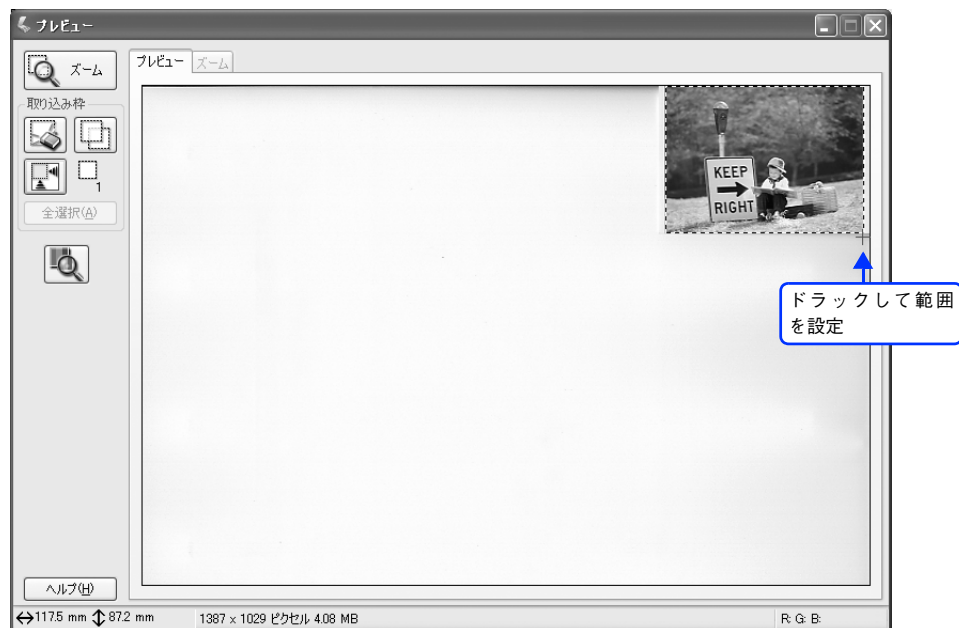
ここでプロフェッショナルモードに設定しておくと、次回起動したときに直接プロフェッショナルモード画面が表示されます。

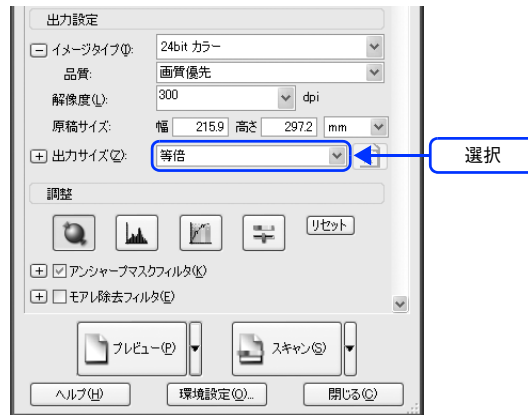
4 ①～⑤までの各項目を設定します。

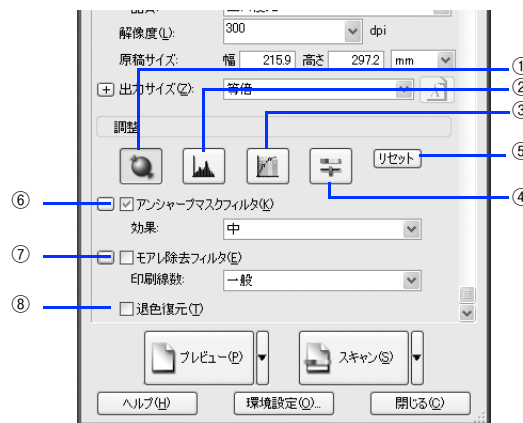
<table>
<tr><td>①</td><td>原稿種</td><td colspan="2">セットした原稿の種類を選択します。</td></tr>
<tr><td>②</td><td>取込装置</td><td colspan="2">LP-M5500F の場合のみ選択可能です。［ADF- 片面 ］、［ADF- 両面］（オートドキュメントフィーダ）、［ 原稿台 ］から選択します。</td></tr>
<tr><td>③</td><td>自動露出</td><td colspan="2">スキャンする原稿の種類に適した露出設定を選択します。</td></tr>
<tr><td>④</td><td>イメージタイプ</td><td colspan="2">スキャンする画像の色数を、24bit カラー、カラースムージング、8 bit グレー、モノクロなどから選択します。</td></tr>
<tr><td rowspan="7">⑤</td><td rowspan="7">解像度</td><td colspan="2">スキャン後の画像解像度を設定します。画像の用途に応じて、次のように設定することをお勧めします。</td></tr>
<tr><td>150dpi（カラー、グレー画像の場合）
360dpi（白黒の線画の場合）</td><td>インクジェットプリンタでのファイン印刷</td></tr>
<tr><td>300dpi（カラー、グレー画像の場合）
720dpi（白黒の線画の場合）</td><td>インクジェットプリンタでのフォト／スーパーファイン印刷</td></tr>
<tr><td>200dpi（カラー、グレー画像の場合）600dpi（白黒の線画の場合）</td><td>レーザープリンタでの印刷</td></tr>
<tr><td>300dpi</td><td>文書ファイリング</td></tr>
<tr><td>96dpi</td><td>ディスプレイ表示／ホームページ用画像</td></tr>
<tr><td>96 ～ 150dpi</td><td>E メール送信</td></tr>
</table>

5 ［プレビュー］をクリックします。

プレビュー結果が表示されます。

- LP-M5500の場合、プレビューの結果は２種類あります。詳しくは以下のページをご覧ください。
  ☞ 本書 272 ページ「サムネイル表示と通常表示を切り替える」
- きれいにプレビューできない場合は、輸送用固定レバーが解除されているか確認してください。
  ☞ 本書 283 ページ「スキャン品質が悪い」

6 通常プレビューの場合は、プレビュー画面上でスキャンする範囲を設定します。

スキャンしたい部分をドラッグして囲んでください。取り込み枠（破線表示）が表示されます。
LP-M5500 でサムネイルプレビューになっている場合は、次の手順へ進みます。
取り込み枠の操作の詳細は、以下のページを参照してください。
☞ 本書 254 ページ「必要な部分だけを切り取ってスキャン」

7 必要に応じて、［出力サイズ］を選択します。

スキャン後の画像の大きさを選択してください。
通常は［等倍］のままでかまいません。

参考 **原稿とスキャン後の画像の大きさを変えたい場合は**
［出力サイズ］でサイズを選択してください。
☞ 本書 257 ページ「お好みのサイズでスキャン（［出力サイズ］設定）」

8 必要に応じて、画質を調整します。

①	［自動露出］	取り込み枠内の露出（明暗）を自動調整します。 これにより、ほとんどの画像で適切な露出が得られます。自動露出を元に戻すには、［リセット］をクリックします。
②	［ヒストグラム調整］	ハイライトとシャドウ部を調整して画像の明暗やグレーバランスを調整したり、色かぶりを取り除きます ☞本書 245 ページ「明るさとコントラストを調整する 2（ヒストグラム調整）」 ☞本書 240 ページ「色かぶりを取り除く（グレーバランス調整）」
③	［濃度補正］	トーン曲線を編集して画像全体の濃度をバランス良く仕上げます。 ☞本書 249 ページ「明るさとコントラストを調整する 3（濃度補正）」
④	［イメージ調整］	画像の明るさ・コントラスト・彩度や、カラーバランスを調整します。 ☞本書 245 ページ「明るさとコントラストを調整する 2（ヒストグラム調整）」 ☞本書 235 ページ「色を鮮やかにする（彩度調整）」 ☞本書 237 ページ「色合いを変える（カラーバランス調整）」
⑤	［リセット］	自動露出·ヒストグラム調整·濃度補正·イメージ調整した画像を調整前の画像に戻します。

⑥	アンシャープマスクフィルタ	輪郭部分を強調して画像をシャープにします。 ☞本書 231 ページ「ぼやけた画像をくっきりさせる（アンシャープマスク）」
	効果	アンシャープマスクフィルタの横にある「+」をクリックすると表示されます。 アンシャープマスクの強度を、弱／中／強から選択できます。
⑦	モアレ除去フィルタ	印刷物（雑誌、カタログなど）のスキャンで発生する、モアレ（網目状の陰影）パターンを目立たなくします。
	印刷線数	モアレ除去フィルタの横にある「+」をクリックすると表示されます。 スキャナにセットした原稿の種類に合った線数を設定することで、モアレがより目立たなくなります。 ☞本書 229 ページ「プロフェッショナルモードで詳細設定」
⑧	退色復元	昔撮影して色あせてしまったり、日に当たって変色した古い写真の色合いを、元の色に戻してスキャンできます。［自動露出］の設定が［写真向き］になっている場合に選択できます。 ☞本書 233 ページ「色あせた写真の色を復元する（退色復元）」

9 **［スキャン］をクリックします。**

10 必要に応じて［保存先］/［ファイル名］/［保存形式］を設定して、［OK］をクリックします。

①	保存先	スキャンした画像を保存するフォルダが表示されます。 保存先を変更する場合は、［参照］をクリックし、表示される画面でフォルダを選択または新規作成してください。
②	ファイル名	画像のファイル名を設定します。 ファイル名は、［文字列］＋［開始番号］で指定した番号になります。
③	保存形式	画像の保存形式を選択します。 JPEG 形式を選択することをお勧めします。JPEG 形式では圧縮率を選択できます。ただし、圧縮率が高いほど画質が劣化し（圧縮前のデータに戻すことはできません）、さらに保存のたびに劣化するので、スキャン後に画像を加工する場合は、TIFF 形式を選択することをお勧めします。
④	同一ファイル名が存在する場合、常に上書きする	同じ名前のファイルが存在していた場合、上書き保存します。 上書き保存したくない場合は、チェックを外してください。
⑤	次回スキャン前に、このダイアログを表示する	［スキャン］をクリックするたびに、［保存ファイルの設定］画面を表示します。
⑥	スキャン後、保存フォルダを開く	スキャン後に、［保存先］で指定したフォルダが開きます。

アプリケーションソフトから EPSON Scan を起動すると、［保存ファイルの設定］画面は表示されません。

11 次の画面が表示され、スキャンが始まり、指定した保存先に保存されます。

［保存ファイルの設定］画面で［スキャン後、保存フォルダを開く］をチェックしていると、スキャン後に保存されたフォルダが開きます。

12 保存されたファイルを確認します。

スキャンした画像は、「ステップ 9 保存ファイルの設定」で設定した保存先（フォルダ）に保存されています。
初期設定では次のフォルダに保存されます。

- ［マイ ピクチャ］フォルダ
- ［My Pictures］フォルダ（ない場合は［マイ ドキュメント］フォルダ）

以上でプロフェッショナルモードでのスキャン / 保存は終了です。

必要な部分だけをスキャンしたい場合は

☞ 本書 254 ページ「必要な部分だけを切り取ってスキャン」

8 便利な機能

EPSON Scan を使用してできる便利な機能とその手順を説明しています。

モアレ(網目状の陰影)の除去(モアレ除去フィルタ)

印刷物(雑誌、カタログなど)のスキャンで発生するモアレパターンの発生を防止できます。
モアレとは、網目状に発生する陰影で、肌色などの中間調部分で特に目立ちます。

モアレ除去機能使用時の画像例

調整前

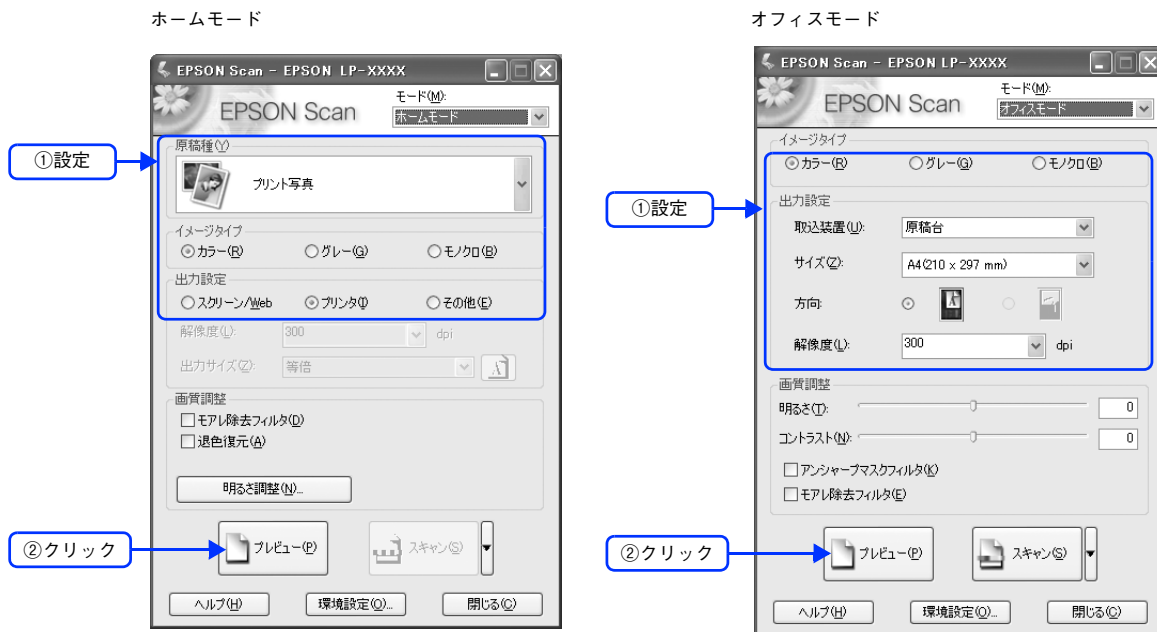
調整後

- [イメージタイプ]で[モノクロ]を選択した場合は、モアレ除去機能を使用できません。
- 画像にモアレパターンが発生しているかどうかは、スキャンした画像をディスプレイ上で100%(1:1)で表示してから確認してください。縮小表示では、画像が荒くモアレが発生しているように見えます。

ホームモード / オフィスモードで簡単にモアレを除去する

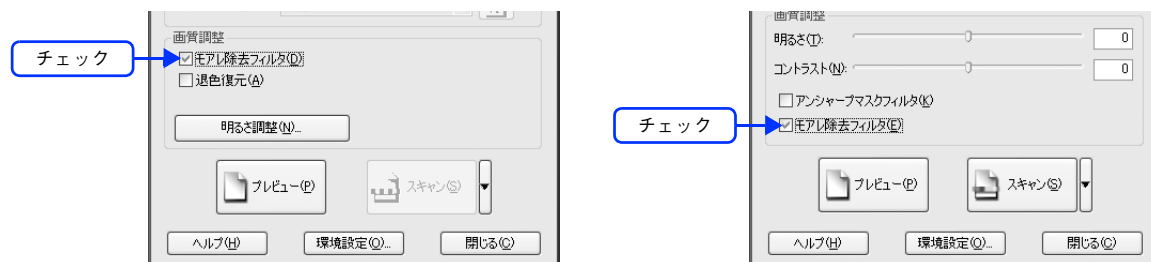
1 **EPSON Scan を起動して、［ホームモード］または［オフィスモード］に切り替えます。**

☞ 本書 267 ページ「起動方法とモードの切替方法」

2 **各項目を設定して、［プレビュー］をクリックします。**

ホームモード

オフィスモード

3 **［モアレ除去フィルタ］をチェックします。**

チェックすると、プレビュー画像上でモアレ除去の効果を確認できます。プレビュー画面に表示されているすべての コマまたは取り込み枠に適用されます。

4 **その他の設定を確認して、スキャンを実行します。**

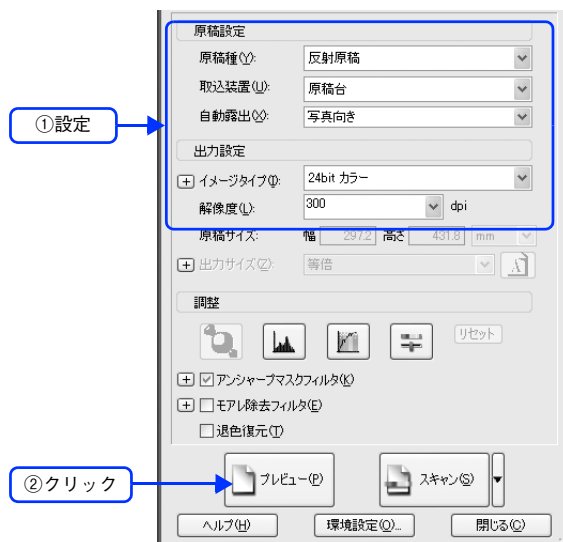
モアレ除去機能を使用するとスキャンに少し時間がかかります。

以上でホームモードまたはオフィスモードでのモアレの除去は終了です。

プロフェッショナルモードで詳細設定

1 **EPSON Scan を起動して、［プロフェッショナルモード］に切り替えます。**

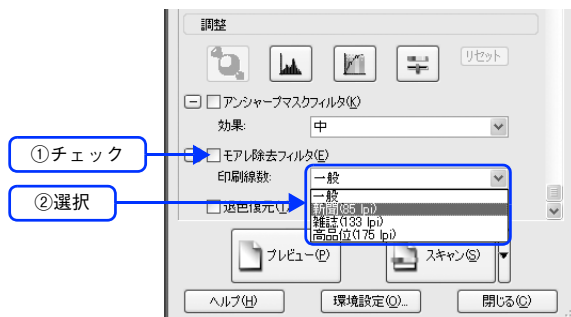
☞ 本書 267 ページ「起動方法とモードの切替方法」

2 **各項目を設定して、［プレビュー］をクリックします。**

3 **通常プレビューの場合は、プレビュー画面上でスキャンする範囲を設定します。**

スキャンしたい部分をドラッグして囲んでください。取り込み枠（破線表示）が表示されます。
LP-M5500 でサムネイルプレビューになっている場合は、次の手順へ進みます。
取り込み枠の操作の詳細は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 254 ページ「必要な部分だけを切り取ってスキャン」

4 ［モアレ除去フィルタ］をチェックして、［印刷線数］を選択します。

複数の画像をスキャンする場合は、プレビュー画面で 1 コマまたは取り込み枠を 1 つずつ選択してからチェックしてください。また、［全選択］をクリックするとまとめて設定できます。
モアレ除去フィルタの横にある「+」をクリックし、原稿に適した印刷線数を選択してください。また、一致する線数の選択肢がない場合には、近い値を試してください。

設定	内容
一般	解像度設定に応じた適切な品質が得られます。 原稿が次の項目以外の線数でスクリーン処理されている場合に選択してください。
新聞（85lpi）	85lpi 前後でスクリーン処理される、新聞などに適した設定です。
雑誌（133lpi）	133lpi 前後の線数でスクリーン処理される、週刊誌やカタログなどの雑誌類に適した設定です。
高品位（175lpi）	175lpi 前後でスクリーン処理される、写真集などの高品質な印刷物に適した設定です。

［モアレ除去フィルタ］の設定項目が見つからない場合は
［モアレ除去フィルタ］の設定項目は EPSON Scan 画面の下の方にありますので、下にスクロールしてみてください。

5 その他の設定を確認して、スキャンを実行します。

参考

- モアレ除去機能を使用すると、スキャンした画像がややぼやける場合があります。この場合はアンシャープマスクフィルタをチェックしてください。
- 線数とモアレの関係：
  画像を印刷する場合、画像にコンタクトスクリーンフィルム（に配列されている微細な網点）を重ね、網点を抜けた光をとらえることによって、画像の濃淡を網点の大小および密度に変換します。網点が約 25.4mm （1 インチ）の幅に何列あるかを線数といい、単位は lpi （line per inch ）で表します。精細に印刷するには、線数が高いスクリーンフィルムを使用する必要がありますので、印刷物の品質が高いほど、線数も多くなります。
  上記の変換によって、印刷物はドット（点）の集まりで構成されます。この印刷物をスキャンしたときに、印刷上のドットとスキャン後にできるドットの位置が重なると、モアレが発生します。
  ［印刷線数］で線数を選択すると、ドットの重複によるモアレの発生を、より緩和することができます。

以上でプロフェッショナルモードでのモアレ除去は終了です。

ぼやけた画像をくっきりさせる（アンシャープマスク）

ぼやけている画像を、アンシャープマスクの度合いを調整し輪郭部分を強調することによって、くっきりシャープにすることができます。
アンシャープマスク調整機能は、EPSON Scan のオフィスモードまたはプロフェッショナルモードでのみ使用できます。

アンシャープマスク機能使用時の画像例

調整前

調整後

- アンシャープマスク調整機能は、ホームモードでは、［イメージタイプ］で［カラー］または［グレー］を選択すると自動的に適用されます。
- ［イメージタイプ］で［カラースムージング］または［モノクロ］を選択した場合は、使用できません。

1 EPSON Scan を起動して、[オフィスモード] または [プロフェッショナルモード] に切り替えます。

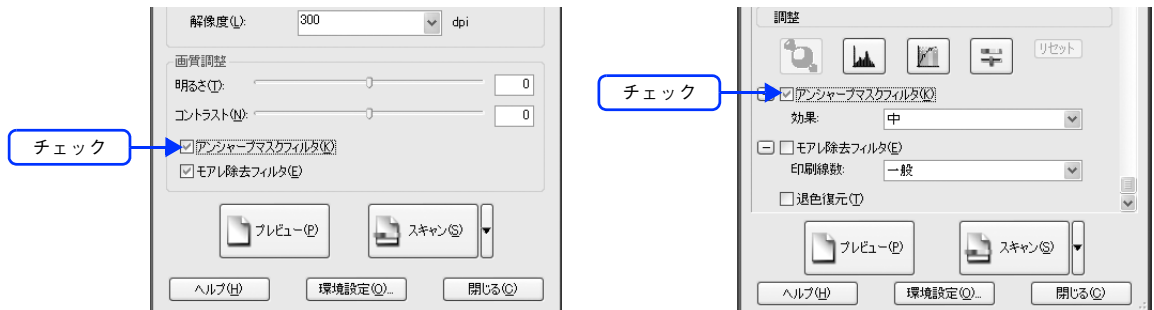
本書 276 ページ「システム条件」

2 各項目を設定して、［プレビュー］をクリックします。

オフィスモード

プロフェッショナルモード

3 ［アンシャープマスクフィルタ］をチェックします。

プロフェッショナルモードを使用して複数の画像をスキャンする場合は、プレビュー画面で 1 コマまたは取り込み枠を 1 つずつ選択してからチェックしてください。また、［全選択］をクリックすると、まとめて設定できます。
［アンシャープマスクフィルタ］の横にある「+」をクリックすると、アンシャープマスクの効果を、弱／中／強から選択できます。

［アンシャープマスクフィルタ］の設定項目が見つからない場合は

［アンシャープマスクフィルタ］の設定項目は EPSON Scan 画面の下の方にありますので、下にスクロールしてみてください。

4 その他の設定を確認して、スキャンを実行します。

以上でアンシャープマスクを使用した画像の取り込みは終了です。

色あせた写真の色を復元する（退色復元）

昔撮影して色あせてしまったり、日に当たって変色した古い写真の色合いを、元の色に戻すことができます。
退色復元機能は写真にのみ対応しています。

退色復元機能使用時の画像例

調整前

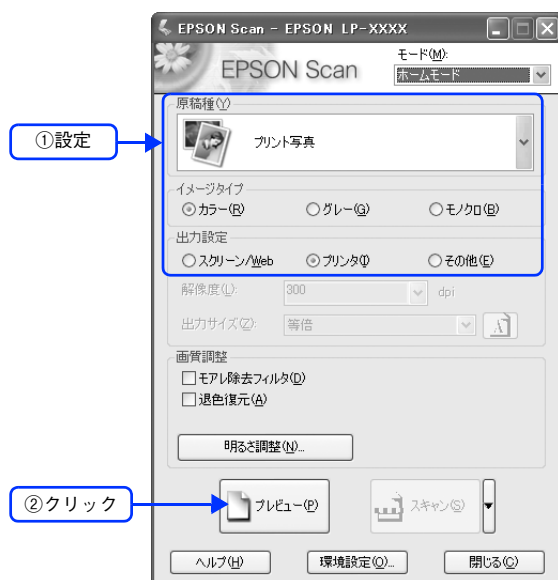
調整後

! 注意	変色していない写真をスキャンするときは、この機能を使用しないでください。

1 EPSON Scan を起動して、［ホームモード］または［プロフェッショナルモード］に切り替えます。

☞ 本書 267 ページ「起動方法とモードの切替方法」

2 各項目を設定して、［プレビュー］をクリックします。

ホームモード

プロフェッショナルモード

3 ［退色復元］をチェックします。

チェックすると、プレビュー画像上で退色復元の効果を確認できます。プレビュー画面に表示されているすべての コマまたは取り込み枠に適用されます。

［退色復元］の設定項目が見つからない場合は

［退色復元］の設定項目は EPSON Scan 画面の下の方にありますので、下にスクロールしてみてください。

4 その他の設定を確認して、スキャンを実行します。

スキャンする画像の絵柄によっては、この機能が適切に機能しない場合があります。

以上で退色復元機能を使用した画像の取り込みは終了です。

色を鮮やかにする（彩度調整）

色味を鮮やかにしたい場合に、彩度を調整することができます。
彩度調整機能は、EPSON Scan のプロフェッショナルモードでのみ使用できます。

彩度を調整した画像例

調整前

調整後

1 **EPSON Scan を起動して、［プロフェッショナルモード］に切り替えます。**

本書 267 ページ「起動方法とモードの切替方法」

2 **各項目を設定して、［プレビュー］をクリックします。**

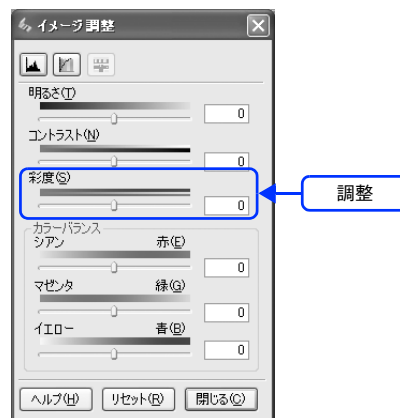
3 **通常プレビューの場合は、プレビュー画面上でスキャンする範囲を設定します。**

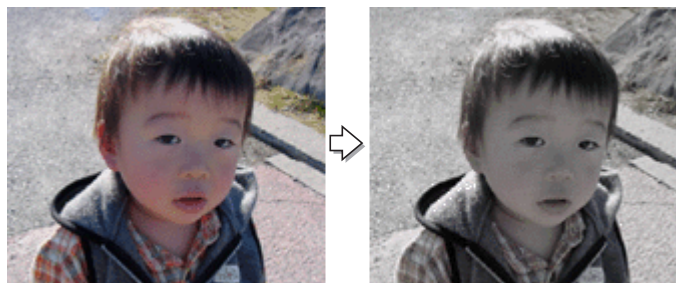
スキャンしたい部分をドラッグして囲んでください。取り込み枠（破線表示）が表示されます。
LP-M5500 でサムネイルプレビューになっている場合は、次の手順へ進みます。
取り込み枠の操作の詳細は、以下のページを参照してください。

本書 254 ページ「必要な部分だけを切り取ってスキャン」

4 ［イメージ調整 ］をクリックします。

［イメージ調整］画面が表示されます。

5 彩度のスライダーを左右に動かして、色の鮮やかさを調整します。

参考　設定を－（マイナス）にすると、色みがなくなり（無彩色化され）グレーに近くなり、白黒写真風のカラー画像にしてスキャンできます。

調整前（0）　調整後（-80）

6 ［イメージ調整］画面の［閉じる］をクリックして画面を閉じ、その他の設定を確認して、スキャンを実行します。

以上で彩度の調整は終了です。

色合いを変える（カラーバランス調整）

天候や撮影場所の照明によって、写真が全体的に赤みや青みを帯びている場合に、カラーバランスを補正して、適切な色合いにすることができます。

カラーバランス調整機能は、プロフェッショナルモードでのみ使用できます。

カラーバランスを調整した画像例

調整前

調整後

1 **EPSON Scan を起動して、［プロフェッショナルモード］に切り替えます。**

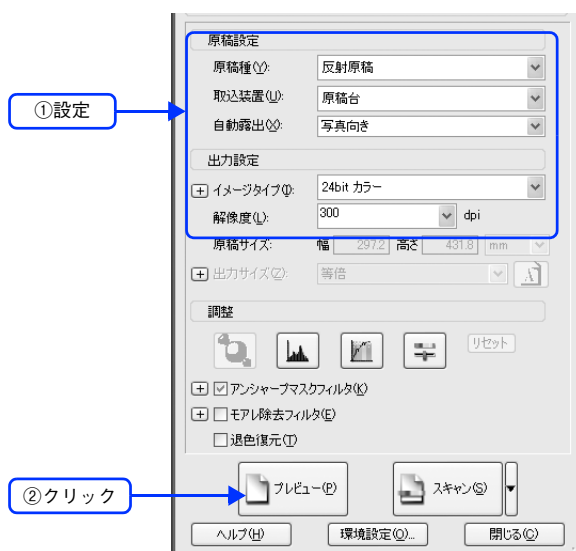
本書 267 ページ「起動方法とモードの切替方法」

2 **各項目を設定して、［プレビュー］をクリックします。**

3 **通常プレビューの場合は、プレビュー画面上でスキャンする範囲を設定します。**

スキャンしたい部分をドラッグして囲んでください。取り込み枠（破線表示）が表示されます。
LP-M5500 でサムネイルプレビューになっている場合は、次の手順へ進みます。
取り込み枠の操作の詳細は、以下のページを参照してください。

本書 254 ページ「必要な部分だけを切り取ってスキャン」

4 ［イメージ調整 ］をクリックします。

［イメージ調整］画面が表示されます。

5 スライダーを左右に動かして、色合いを調整します。

シアン－－－－赤	スライダを左に動かすとシアンが強く（赤が弱く）なり、右に動かすとシアンが弱く（赤が強く）なります。 設定－　設定＋
マゼンタ－－－－緑	スライダを左に動かすとマゼンタが強く（緑が弱く）なり、右に動かすとマゼンタが弱く（緑が強く）なります。 設定－　設定＋

イエロー－－－－－青	スライダを左に動かすとイエローが強く（青が弱く）なり、右に動かすとイエローが弱く（青が強く）なります。 設定－　設定＋

6　**［イメージ調整］画面の［閉じる］をクリックして画面を閉じ、その他の設定を確認して、スキャンを実行します。**

以上でカラーバランスの調整は終了です。

色かぶりを取り除く（グレーバランス調整）

画像に照明などの色がかぶっている場合に、グレーバランスを調整することよって色かぶりを取り除くことができます。グレーバランスは、本来白黒またはグレー（無彩色）となる部分を指定することによって、そこを白黒またはグレーとし、画像全体の色を微調整する機能です。

グレーバランス調整機能は、プロフェッショナルモードでのみ使用できます。

グレーバランス調整機能使用時の画像例

調整前

調整後

1 **EPSON Scan を起動して、［プロフェッショナルモード］に切り替えます。**

☞ 本書 267 ページ「起動方法とモードの切替方法」

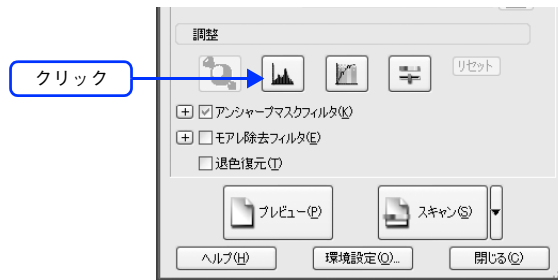
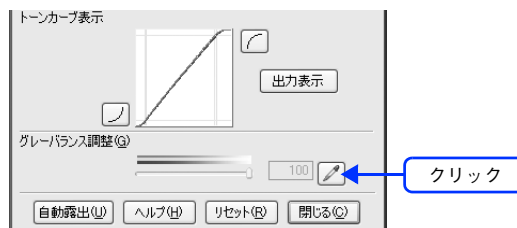
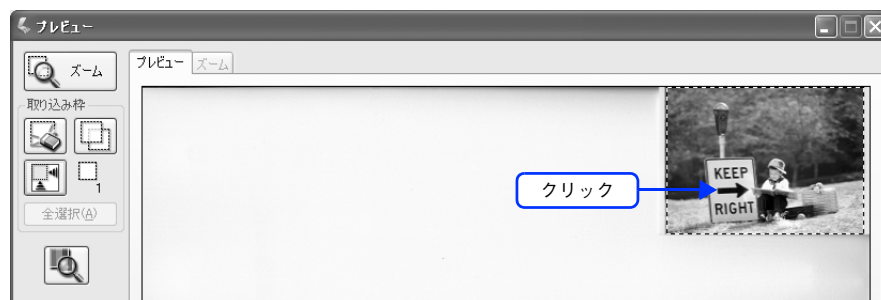
2 **各項目を設定して、［プレビュー］をクリックします。**

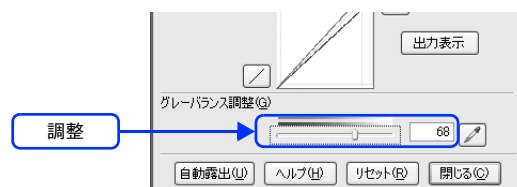
3 **通常プレビューの場合は、プレビュー画面上でスキャンする範囲を設定します。**

スキャンしたい部分をドラッグして囲んでください。取り込み枠（破線表示）が表示されます。
LP-M5500 でサムネイルプレビューになっている場合は、次の手順へ進みます。
取り込み枠の操作の詳細は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 254 ページ「必要な部分だけを切り取ってスキャン」

4 ［ヒストグラム調整］をクリックします。

［ヒストグラム調整］画面が表示されます。

5 グレーバランス調整の［スポイト］をクリックします。

6 プレビューした画像の中で、白黒またはグレー（無彩色）になるべき部分をクリックします。

［スポイト］による操作をやめたい場合は
キーボード上の［Esc］キーを押してください。

7 色が変わりすぎてしまった場合は、スライドバーで微調整します。

参考

グレーバランス調整
グレーバランス調整の範囲は 0 ～ 100 です。
数値を上げるほど、色かぶりを除去する効果が高くなります。100 に設定すると、選択した色が完全な無彩色（白黒、グレー）となり、画像全体の色かぶりが取り除かれます。
0 に設定した場合は、グレーバランス機能は無効になります。ただし、選択した色の情報は保持されているので、もう一度調整することもできます。

8 ［ヒストグラム調整］画面の［閉じる］をクリックして画面を閉じ、その他の設定を確認して、スキャンを実行します。

以上で色かぶりの除去は終了です。

明るさとコントラストを調整する 1（簡単設定）

明るさとコントラスト（明暗の差）を調整することによって、スキャンした写真（画像）が、よりきれいになります。
明るさは、スキャンする画像が明るすぎたり暗すぎたりした場合に調整します。
コントラストは、明暗をはっきりさせたり、逆に明暗の差を少なくする場合に調整します。
ここでは、明るさとコントラストを簡単に調整できる方法を説明します。
ここでは、ホームモードの場合を例に説明します。

明るさを調整した画像例

調整前

調整後

コントラストを調整した画像例

調整前

調整後

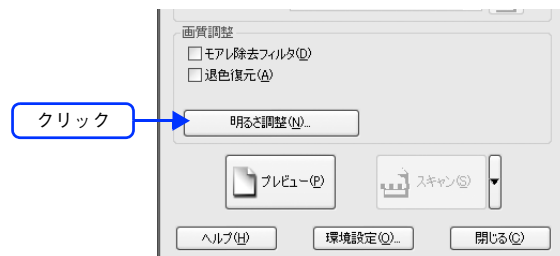
1 **EPSON Scan を起動して、[ホームモード]、[オフィスモード]、[プロフェッショナルモード] いずれかのモードに切り替えます。**

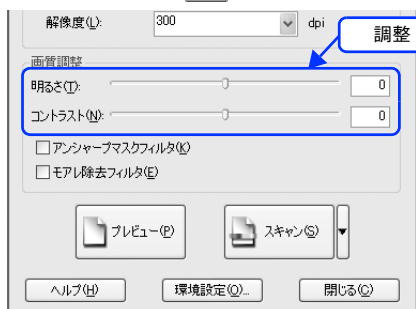
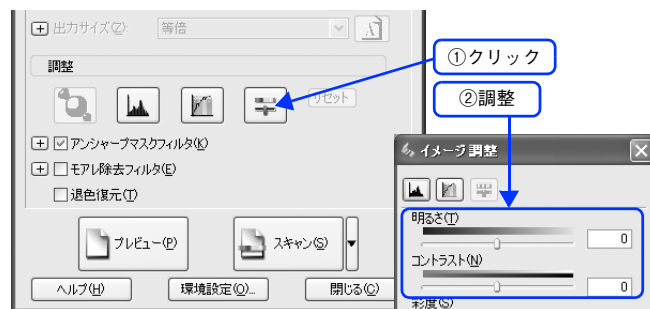
本書 267 ページ「起動方法とモードの切替方法」

2 各項目を設定して、［プレビュー］をクリックします。

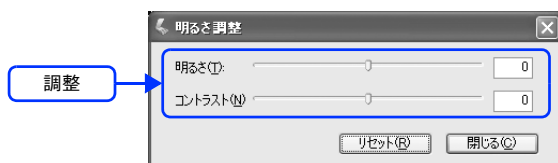
3 通常プレビューの場合は、プレビュー画面上でスキャンする範囲を設定します。

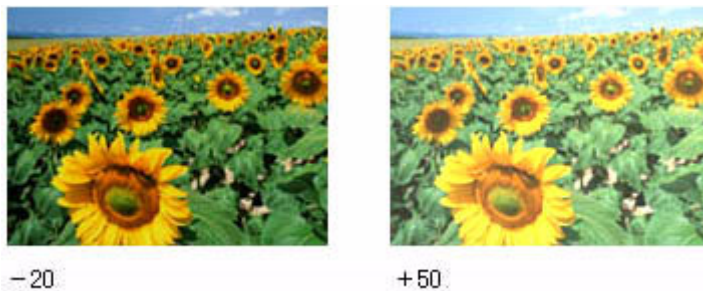
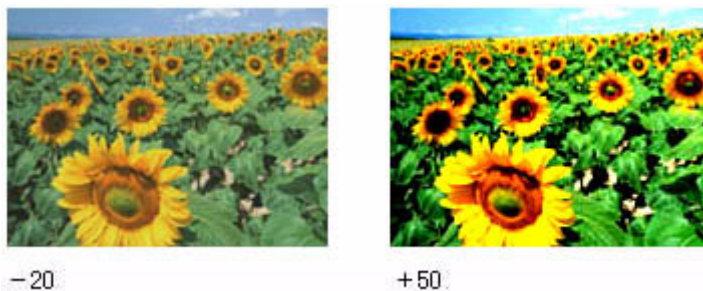
スキャンしたい部分をドラッグして囲んでください。取り込み枠（破線表示）が表示されます。
LP-M5500 でサムネイルプレビューになっている場合は、次の手順へ進みます。
取り込み枠の操作の詳細は、以下のページを参照してください。
☞ 本書 254 ページ「必要な部分だけを切り取ってスキャン」

4 ［明るさ調整］をクリックします。

参考

オフィスモードの場合は
メイン画面で調整できます。
プロフェッショナルモードの場合は
［イメージ調整 ］をクリックして、［イメージ調整］画面で調整してください。

オフィスモード　　プロフェッショナルモード

5 ［明るさ］、［コントラスト］のスライダーを動かします。

複数の画像をスキャンするときは、プレビュー画面で 1 コマまたは取り込み枠を 1 つずつ選択してからチェックしてください。

- テキストボックスに数値を直接入力して微調整することもできます。
- 明るさの調整範囲は -100 ～ 100 です。明暗いずれも極端に設定すると、メリハリのない画像になる場合があります。
- コントラストの調整範囲は -100 ～ 100 です。コントラストを上げる（スライダを右に動かす）と明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなってメリハリのある画像になります。コントラストを下げる（スライダを左に動かす）と逆の効果が得られます。

明るさを調整した例

コントラストを調整した例

6 ［明るさ調整］画面の［閉じる］をクリックして画面を閉じ、その他の設定を確認して、スキャンを実行します。

以上で明るさとコントラストの調整は終了です。

明るさとコントラストを調整する 2（ヒストグラム調整）

明るさとコントラスト（明暗の差）を調整することによって、スキャンした写真（画像）がよりきれいになります。
ここでは、ヒスグラムを使って調整する方法を説明します。
ヒストグラム調整機能は、プロフェッショナルモードでのみ使用できます。

ヒストグラムで明るさとコントラストを調整した画像例

調整前

調整後

ヒストグラムとは

ヒストグラムとは、画像の全体の明るさと色の分布を表示したもので、「画像のもっとも明るい部分」（ハイライト）、「画像のもっとも暗い部分」（シャドウ）、および「その中間の明るさの部分」（ガンマ）の明暗を適切に設定することができます。

それでは、ちょうどよい明るさとはどんな画像でしょうか？
下図の例をご覧ください。ハイライト、シャドウ、ガンマを調整すると、明暗をさまざまに変化させることができます。

適切な画像（ハイライトも、シャドウも適切

ハイライトが弱く、シャドウは適切

ハイライトは適切、シャドウが弱い

ハイライトもシャドウも弱い

ガンマが暗い方向に寄っている

お勧めの調整方法

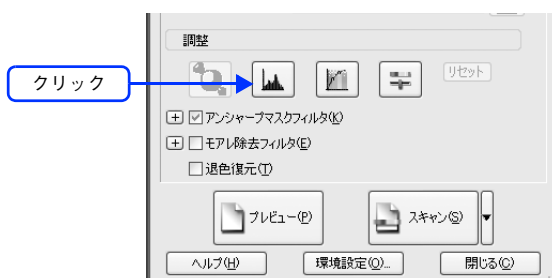
ちょうどよい明るさになるように、ヒストグラムを使って画質を補正してみましょう。

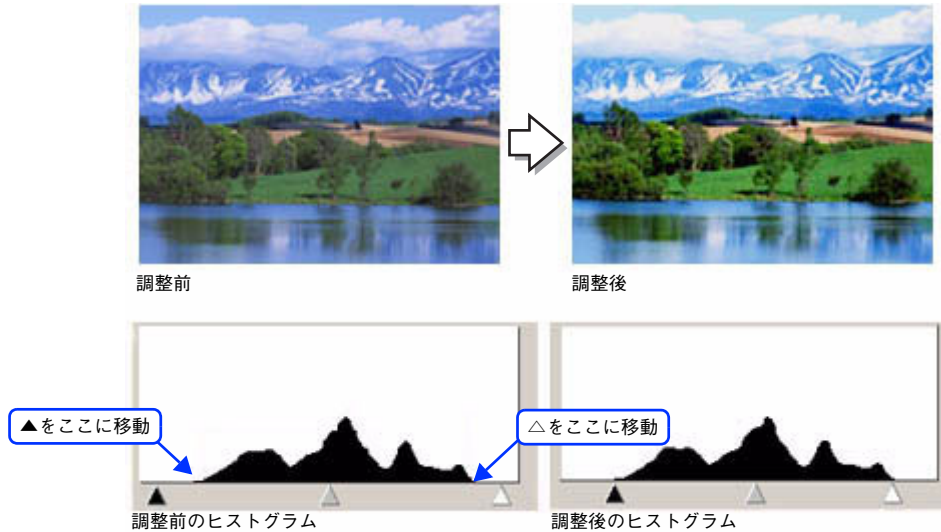
厳密な調整を行いたい場合は、ディスプレイを調整することをお勧めします。ディスプレイが調整されていないと、スキャンした画像が適切な明るさ / 色合いで表示されません。そのため、印刷結果も予測できません。
☞ 本書 262 ページ「ディスプレイの設定」

1 **EPSON Scan を起動して、［プロフェッショナルモード］に切り替えます。**
☞ 本書 267 ページ「起動方法とモードの切替方法」

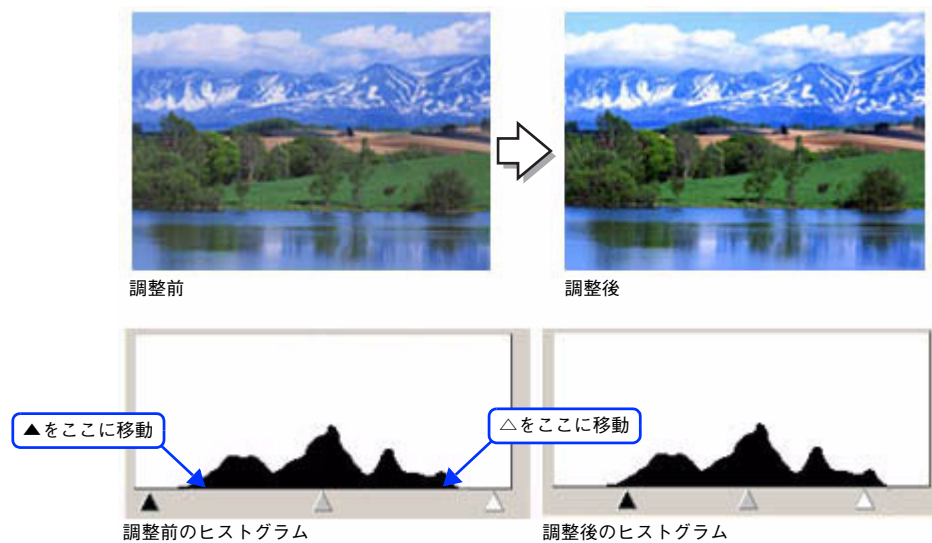
2 **各項目を設定して、［プレビュー］をクリックします。**

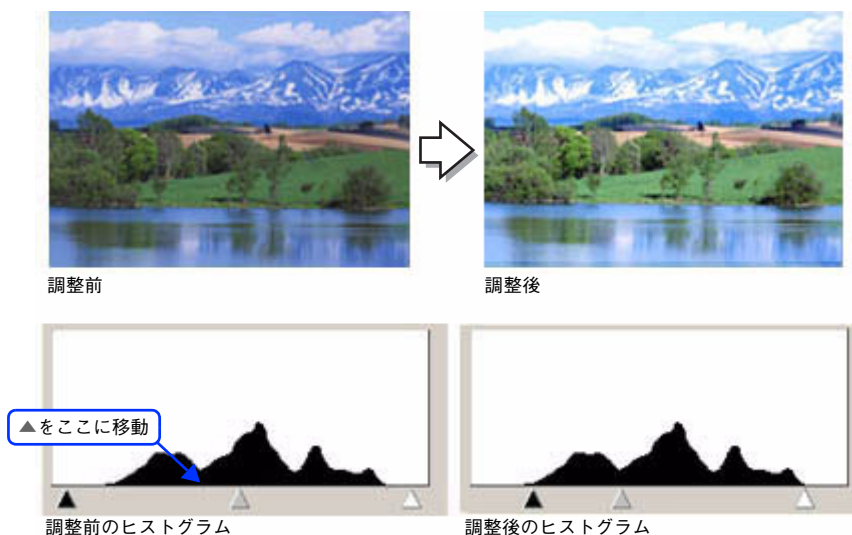
3 **通常プレビューの場合は、プレビュー画面上でスキャンする範囲を設定します。**
スキャンしたい部分をドラッグして囲んでください。取り込み枠（破線表示）が表示されます。
LP-M5500 でサムネイルプレビューになっている場合は、次の手順へ進みます。
取り込み枠の操作の詳細は、以下のページを参照してください。
☞ 本書 254 ページ「必要な部分だけを切り取ってスキャン」

4 **［ヒストグラム調整］をクリックします。**
［ヒストグラム調整］画面が表示されます。

5 ハイライトとシャドウを調整します。

ハイライトポイントを黒い山の右端に、シャドウポイントを黒い山の左端に移動してください。
取り込み枠内の最も明るいピクセルが白に近く、最も暗いピクセルが黒に近くなるように調整され、コントラストが上がりメリハリが出ます。

参考

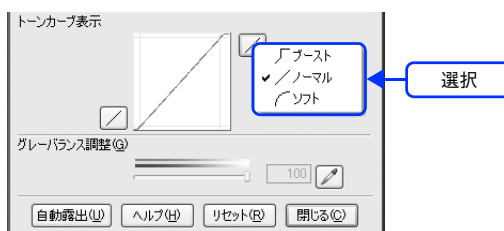
さらにメリハリを付けたい場合は

ハイライトポイントを黒い山の右端よりやや左に、シャドウポイントを黒い山の左端よりやや右に移動すると、メリハリのある画像になります。

6 ガンマを調整します。

ハイライトとシャドウの調整だけでは、全体の明るさが偏っている場合があります。
そこで、ハイライトとシャドウの中間にあるガンマポイントを移動して、中間部分の明暗を調整してください。
例えば、夕方や曇りの日に撮ったため全体的に暗くなってしまった写真などは、ガンマポイントを左側に移動すると、シャドウとガンマまでのデータが少なくなり、ガンマとハイライトまでのデータが増えるので、画面全体が明るくなります。

調整する取り込み枠またはコマを切り替えたい場合は、プレビュー画面上で調整したい枠またはコマをクリックしてください。プレビュー画面を一旦閉じる必要はありません。

7 ［ヒストグラム調整］画面の［閉じる］をクリックして画面を閉じ、その他の設定を確認して、スキャンを実行します。

■ さらに細かく調整したい場合は

ハイライト / シャドウ点より外側の階調をさらに調整することができます。
トーンカーブ表示の［端部カーブ形状変更］をクリックして、補正したいメニューを選択してください。

ブースト	本来、白地である部分を真っ白に飛ばしたり、本来、真っ黒である部分を真っ黒につぶす場合に選択してください。 紙の表面のムラや裏写りを除去したい場合に、ハイライト側ので選択すると、白地部分が真っ白に飛ぶので、ムラや裏映りが消えます。 また、黒い部分のムラを除去したい場合にシャドウ側ので選択すると、黒い部分が真っ黒につぶれるので、ムラが除去されます。
ノーマル	ハイライトやシャドウ部分の階調をそのまま表現する場合に選択してください。
ソフト	本来、白地ではない部分が真っ白に飛んでしまった場合や、本来、真っ黒ではない部分が真っ黒につぶれてしまった場合に選択してください。

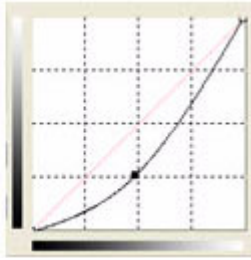
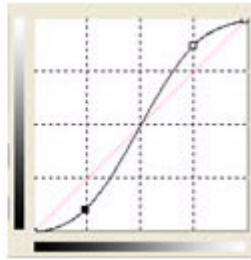
以上でヒストグラムでの調整は終了です。

明るさとコントラストを調整する 3（濃度補正）

明るさとコントラスト（明暗の差）を調整することによって、スキャンした写真（画像）がよりきれいになります。
ここでは、濃度補正（トーンカーブ）を使って調整する方法を説明します。

濃度補正で明るさとコントラストを調整した画像例

調整前

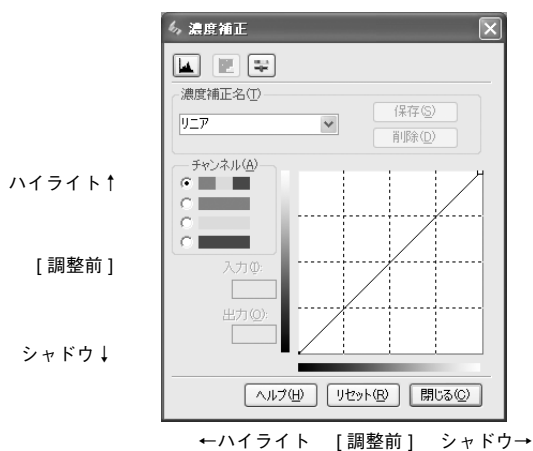
調整後

濃度補正とは

濃度はトーンとも言います。シャドウ（最暗部）、ミッドトーン（中間調）、ハイライト（最明部）へと変化していく濃度の曲線（トーンカーブ）を調整することで、画像全体の明るさとコントラストをバランスよく仕上げることができます。

ハイライト↑

［調整前］

シャドウ↓

←ハイライト　［調整前］　シャドウ→

濃度補正（トーンカーブ補正）をすると、下図のように調整できます。

元画像		
明るくする		
グラフの中間を上方向にドラッグすると画像が明るくなります。		
暗くする		
グラフの中間を下方向にドラッグすると画像が暗くなります。		
コントラストを上げる		
S 字を描くようにポイントを追加して、ハイライト側を上へ、シャドウ側を下へドラッグすると、コントラストが上がります。		
コントラストを下げる		
逆Ｓ字を描くようにポイントを追加して、ハイライト側を下へ、シャドウ側を上へドラッグすると、コントラストが下がります。		

お勧めの調整方法

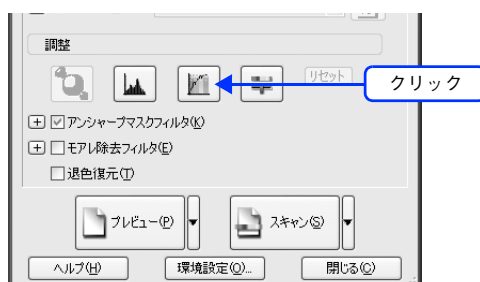
ちょうどよい明るさとコントラストになるように、濃度補正を使って画質を補正してみましょう。

厳密な調整を行いたい場合は、ディスプレイを調整することをお勧めします。ディスプレイが調整されていないと、スキャンした画像が適切な明るさ / 色合いで表示されません。そのため、印刷結果も予測できません。
☞ 本書 262 ページ「ディスプレイの設定」

1 **EPSON Scan を起動して、［プロフェッショナルモード］に切り替えます。**
☞ 本書 267 ページ「起動方法とモードの切替方法」

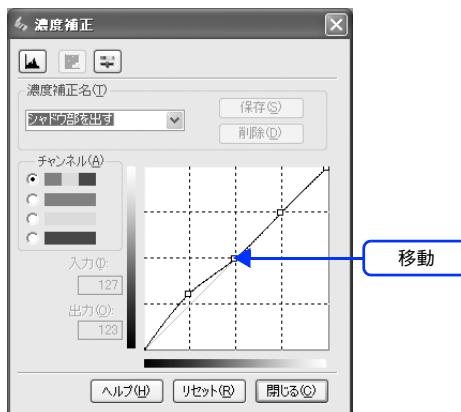
2 **各項目を設定して、［プレビュー］をクリックします。**

3 **通常プレビューの場合は、プレビュー画面上でスキャンする範囲を設定します。**
スキャンしたい部分をドラッグして囲んでください。取り込み枠（破線表示）が表示されます。
LP-M5500 でサムネイルプレビューになっている場合は、次の手順へ進みます。
取り込み枠の操作の詳細は、以下のページを参照してください。
☞ 本書 254 ページ「必要な部分だけを切り取ってスキャン」

4 **［濃度補正］をクリックします。**
［濃度補正］画面が表示されます。

5 ［濃度補正名］リストから最適なメニューを選択します。

露出オーバーな画像の補正など代表的なトーンカーブが用意されていますので、最適なメニューを選択してから、トーンカーブを微調整することをお勧めします。

濃度補正名	説明	サンプル
リニア	濃度補正をしません。プレビュー画像上で問題がなければ、［リニア］を選択してください。	
より浅い感じに	露出アンダーな画像を、より浅い（明るい）感じに補正します（露出アンダーとは、露出不足＝暗いことを言います）。	
より重い感じに	露出オーバーな画像を、より重い（暗い）感じに補正します（露出オーバーとは、露出過多＝明るいことを言います）。	
コントラストを弱く	コントラスト（明暗の差）が高すぎる画像を、自然なコントラストに補正します。	
コントラストを強く	コントラスト（明暗の差）が低すぎる画像に、メリハリを付けます。	
シャドウ部を出す	シャドウ部分を少し明るくして、シャドウ部の階調表現を豊かにします。画像を印刷したときに、シャドウ部が黒ベタになってしまう場合に有効です。	

6 トーンカーブで微調整したい部分を移動します。

補正前の濃度に戻す場合は
［濃度補正名］で［リニア］を選択するか、［リセット］をクリックしてください。

7 ［濃度補正］画面の［閉じる］をクリックして画面を閉じ、その他の設定を確認して、スキャンを実行します。

以上で濃度補正での明るさとコントラストの調整は終了です。

必要な部分だけを切り取ってスキャン

必要な部分だけを切り取ってスキャンすることができます。
ここでは、ホームモードで通常表示プレビューの場合を例に説明します。

LP-M5500 の場合「サムネイル表示」でスキャン範囲を指定することもできます。
本書 272 ページ「サムネイルプレビューと通常プレビュー（LP-M5500 のみ）」

セットした原稿

スキャン後の原稿

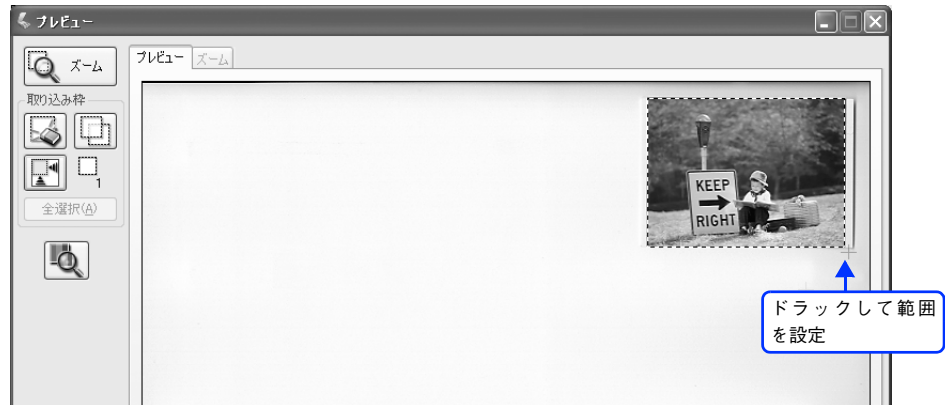
1 EPSON Scan を起動して、［ホームモード］、［オフィスモード］、［プロフェッショナルモード］いずれかのモードに切り替えます。

本書 267 ページ「起動方法とモードの切替方法」

2 各項目を設定して、［プレビュー］をクリックします。

LP-M5500 の場合、［プレビュー］右横に が表示されている場合は、 をクリックして、表示されるメニューで［通常表示］を選択してから、［プレビュー］をクリックしてください。

3 通常プレビューの場合は、プレビュー画面上でスキャンする範囲を設定します。

スキャンしたい部分をドラッグして囲んでください。取り込み枠（破線表示）が表示されます。
LP-M5500 でサムネイルプレビューになっている場合は、次の手順へ進みます。
取り込み枠の操作の詳細は、以下のページを参照してください。
本書 254 ページ「必要な部分だけを切り取ってスキャン」

取り込み枠の調整方法

調整内容	手順
取り込み枠を移動したい	カーソルを取り込み枠の中に移動すると手の形になります。カーソルが手の形のまま取り込み枠をドラッグすると移動できます。
取り込み枠のサイズを変えたい	カーソルを取り込み枠の線上に移動すると矢印の形になります。カーソルが矢印の形のまま取り込み枠をドラッグすると、取り込み枠を拡大 / 縮小できます。

画像を拡大して調整したい	取り込み領域が小さい場合は、［ズーム］をクリックしてください。再プレビューされ、取り込み枠（破線表示）の中の画像が拡大表示されます。必要に応じて、スキャンする範囲を微調整してください。
決まった数値で取り込み枠を作りたい	プロフェッショナルモードでは、［原稿サイズ］に任意の数値を入力して、スキャン範囲を指定することができます。小さい範囲や正確な大きさを指定する場合に便利です。また、取り込み枠の縦横比を固定したままスキャン範囲を調整するには、［Shift］キーを押しながら取り込み枠をドラッグしてください。
［出力サイズ］を指定して取り込み枠を作りたい	［出力サイズ］で画像を使うサイズを設定することでも、取り込み枠を表示できます。この取り込み枠をドラッグすると、縦横比を固定して調整できます。
取り込み枠を複数作りたい	取り込み枠は、複数設定することができます。また、をクリックすると、最初に作成した取り込み枠をコピーすることができます。 なお、作成できる取り込み枠の数は次の通りです。 ・通常表示でのプレビュー時：50 個まで ・サムネイル表示でのプレビュー時：1 コマに対して 1 個のみ
取り込み枠の中に別の枠を作りたい	枠の中に別の枠を作りたい場合は、枠の外に別の枠を作成してから、枠の中にドラッグして移動してください。

- 指定した取り込み枠を削除したい場合は、プレビュー画面にある をクリックしてください。
- アプリケーションソフトから EPSON Scan を起動した場合、通常表示で複数の取り込み枠を指定しても、アプリケーションソフトが複数枚スキャンに対応していないと、最後に選択した領域のみがスキャンされます。（サムネイル表示では、取り込み枠は 1 個しか指定できません。）
- 初期設定では、取り込み枠を作成したり調整すると、取り込み枠内の露出（明暗）が自動調整されます。

4 その他の設定を確認して、スキャンを実行します。

複数の取り込み枠と画質調整

次の項目は、複数の取り込み枠に対して、まとめて同じ設定ができます。

プレビュー画面の［全選択］をクリックして取り込み枠をすべて選択してから、設定してください。

- ［イメージタイプ］
- ［解像度］

次の項目は、まとめて設定することができません。

画像の取り込み枠を 1 つずつクリックして選択（選択中の取り込み枠は、破線で表示されます）しながら設定してください。

- ［出力サイズ］
- ［自動露出］
- ［ヒストグラム調整］
- ［濃度補正］
- ［イメージ調整］

以上で必要な部分だけを切り取ってスキャンする手順は終了です。

お好みのサイズでスキャン（［出力サイズ］設定）

画像の用途に合わせて、お好きなサイズでスキャンできます。

セットした原稿（L 判）

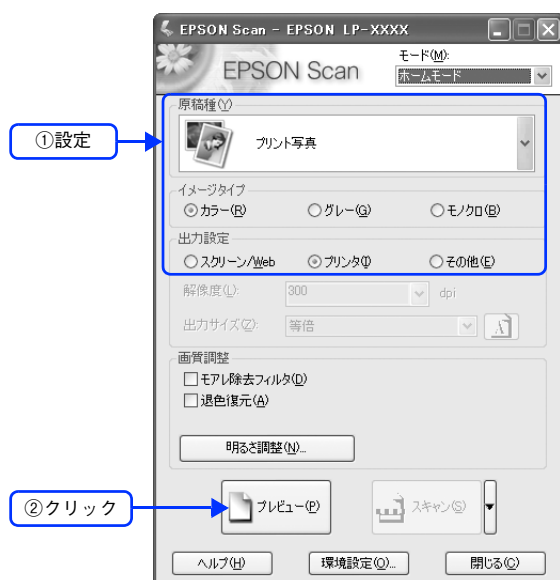
スキャン後の原稿

1 **EPSON Scan を起動して、［ホームモード］または［プロフェッショナルモード］に切り替えます。**

通常はホームモードをお使いください。

本書 267 ページ「起動方法とモードの切替方法」

2 **各項目を設定して、［プレビュー］をクリックします。**

ホームモード

プロフェッショナルモード

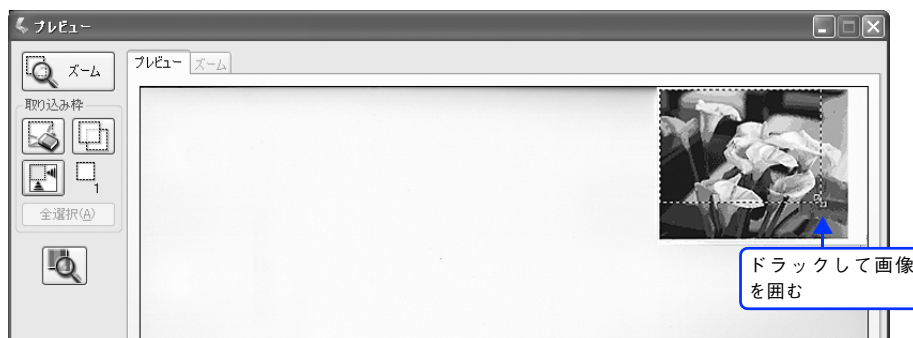
3 出力サイズを選択します。

スキャン後の画像の大きさを選択してください。
ここで選択したサイズに拡大 / 縮小されてスキャンされます。
［等倍］以外を選択すると、プレビュー画面に、選択した出力サイズの縦横比で取り込み枠が作成されます。
また、をクリックすると、取り込み枠の縦／横の向きを変更できます。

ホームモード

プロフェッショナルモード

設定	説明
等倍	スキャンする原稿とスキャン後の画像の大きさを同じにする場合に選択します。
サムネイル	画像をインデックスとして保存する場合などに選択します。
画面	コンピュータ画面の壁紙や、デスクトップピクチャのサイズで保存する場合などに選択します。
L 判～ A3	定型サイズで保存する場合に選択します。
ユーザー定義サイズ	希望するサイズがリストにない場合は、リストから［ユーザー定義サイズ］を選択してください。［出力サイズ］画面が表示されますので、サイズを設定し、［保存］をクリックしてください。

4 プレビュー画面上で取り込み枠をドラッグして拡大 / 縮小し、画像全体を囲みます。

- 取り込み枠を拡大／縮小しても縦横比は変わりません。［出力サイズ］で選択したサイズに収まるように、倍率が自動設定されます。
- プレビュー画面の左下に取り込み枠のサイズ（mm またはインチ）、スキャン後の画像のサイズ（ピクセル）、ファイル容量が連動して表示されます。出力サイズを設定する際の目安としてご覧ください。
なお、［出力サイズ］をあまり大きなサイズに設定すると、データの容量が膨大になってしまうので注意してください。

5 その他の設定を確認して、スキャンを実行します。

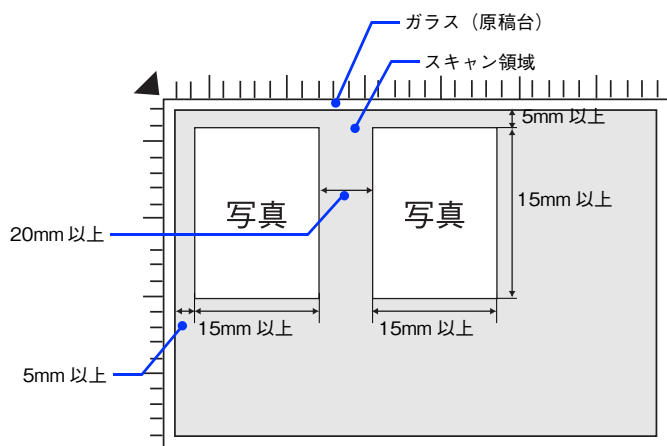
指定したサイズで画像がスキャンされます。
以上でお好みのサイズでスキャンする手順の説明は終了です。

複数の写真をまとめてスキャン（LP-M5500のみ）

LP-M5500 をお使いの場合、写真など複数枚の画像をまとめてスキャンすることができます。
ここでは、1 回のスキャンで自動的に 2 枚以上の原稿をまとめてスキャンする方法を説明します。

通常プレビューでプレビューし、好みの取込範囲を複数設定することでも、複数の写真を一度にまとめてスキャンできます。

原稿のセット

複数の写真を並べてセットする場合は、写真と写真の間隔を 20mm 以上空けてください。

スキャン手順

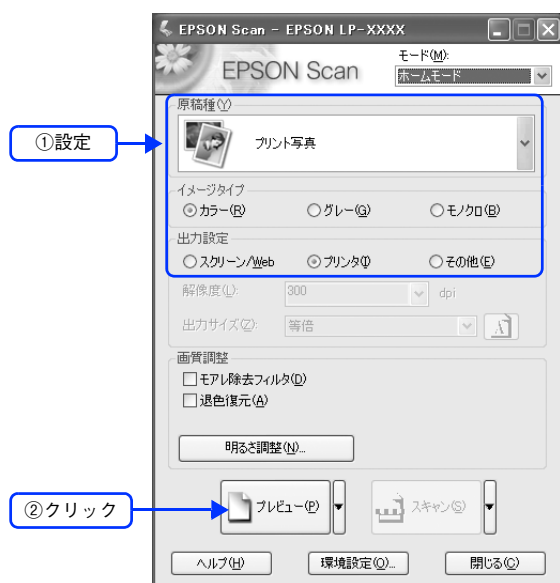
1 **EPSON Scan を起動して、[ホームモード] または [プロフェッショナルモード] に切り替えます。**

☞ 本書 267 ページ「起動方法とモードの切替方法」

2 **各項目を設定して、[プレビュー] をクリックします。**

[ホームモード] の場合は、[原稿種] に [プリント写真] を選択してください。
[プロフェッショナルモード] の場合は、[取り込み装置] に [原稿台] を選択してください。

ホームモード

プロフェッショナルモード

3 **サムネイルでプレビュー結果が表示されます。**

サムネイルでプレビューされない場合は

- 取り込む原稿によっては、自動的に切り出せない場合があります。その場合は、［プレビュー］右横の をクリックして、表示されるメニューで［通常表示］を選択してプレビューし、各写真に取り込み枠を設定して取り込んでください。
- 通常プレビューが起動した場合は、［プレビュー］右横の をクリックして、表示されるメニューで［サムネイル表示］を選択してから、［プレビュー］をクリックしてください。
本書 272 ページ「サムネイルプレビューと通常プレビュー（LP-M5500 のみ）」

4 スキャンしない画像のチェックを外します。

5 その他の設定を確認して、スキャンを実行します。

チェックの付いた写真が、まとめてスキャンされます。

以上で複数の写真をまとめてスキャンする手順は終了です。

原画とディスプレイ表示とプリント結果の色合わせ

デジタルカメラやスキャナでスキャンした画像をプリンタで印刷すると、多くの場合、ディスプレイで見た色と実際の印刷結果には、色合いにズレが生じます。その原因は、「スキャン」、「表示」、「印刷」の 3 者間で色の表現方法が異なっているからです。

☞ 本書 303 ページ「色」

しかし、次の設定を行うことで、色合いをできるだけ近付けること（カラーマッチング）ができます。

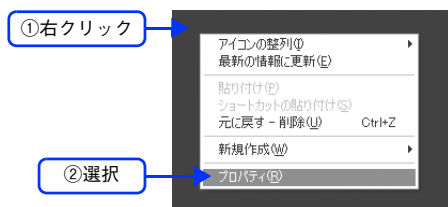
ディスプレイの設定

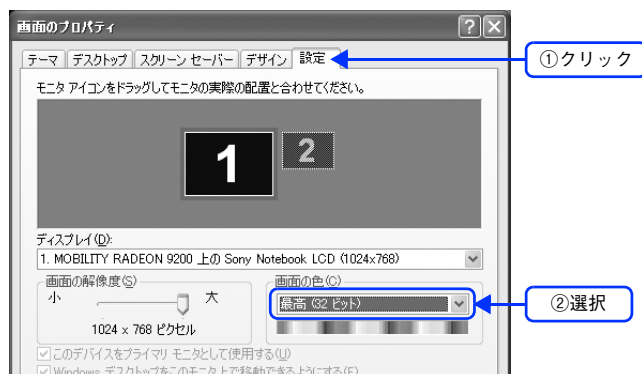
■ ディスプレイの表示色の設定

画像をよりきれいに表示するために、ディスプレイの表示色を［16bit］［24bit］などに設定してください。

- 設定できる値や各項目名は、ディスプレイを使用するためのドライバなどの性能によって異なります。詳しくは、お買い求めいただいたディスプレイのメーカーへお問い合わせください。
- すべてのアプリケーションソフトを終了させてから設定することをお勧めします。

1 表示色の設定をする画面を開きます。

デスクトップ上のアイコンのない場所にカーソルを移動させ、右クリックして、［プロパティ］をクリックします。

2 表示色を設定します。

［設定］（または［ディスプレイの詳細］）のタブをクリックして、［画面の色］または［色］（［カラーパレット］）で［High Color（16bit）］または［True Color（24bit）］などを選択します。
なお、設定値は、ディスプレイを使用するためのドライバなどによって異なります。

3 画面を閉じます。

以上でディスプレイの表示色の設定は終了です。

ディスプレイの調整

ディスプレイはその機器ごとに表示特性が異なり、赤っぽく表示するディスプレイもあれば、青っぽく表示するディスプレイもあります。このように偏った表示をしている状態では、スキャンした画像を適切な明るさや色合いで表示することはできません。また、印刷結果も予測できません。そこで、ディスプレイの調整が必要になります。

ここでは簡単な調整手順を紹介します。
ディスプレイ調整（モニタキャリブレーション）を本格的に行うためには、測定機器なども必要になり、非常に手間がかかります。

1. **室内の照明環境を一定にします。**
   自然光は避けて、一定の照明条件になるようにしてください。フードを装着すると良いでしょう。

2. **ディスプレイの電源をオンにして、30 分以上放置します。**
   30 分以上放置することによって、ディスプレイの表示が安定します。
   これ以降の手順は、お使いのディスプレイの取扱説明書をご覧になりながら、調整してください。

3. **ディスプレイのカラーバランス（色温度）を調整できる場合は、6500K に調整します。**

4. **ディスプレイのブライトネス調整を行います。**

5. **ディスプレイでコントラスト調整ができる場合は、スキャンした画像の色が原稿または印刷結果に近くなるように調整を行います。**

以上でディスプレイの調整は終了です。

上記の調整を行っても、明るさや色合いが合わない部分もあります。最も気になる部分（肌色など）を重点的に調整することをお勧めします。

スキャナでの設定（スキャン時）

色合いを近付けるためのシステムの 1 つに、ICM（Windows）または ColorSync（Mac OS）というカラーマネージメントシステムがあります。お使いのディスプレイやプリンタが、ICM または ColorSync に対応している場合は、次の設定をしてみてください。

- Windows 用 EPSON Scan は ICM2.0（sRGB）に対応しています。
- お使いのディスプレイやプリンタが ICM に対応していない場合、ICM の機能は利用できません。

1 ディスプレイ用のカラープロファイルをシステムに追加します。

① デスクトップ上でマウスを右クリックし、［プロパティ］を選びます。

② ［設定］タブをクリックし、［詳細設定］をクリックします。

③ ［色の管理］タブをクリックし、お使いのディスプレイ用のカラープロファイルを追加します。

- Adobe ガンマユーティリティなどを使って独自のディスプレイプロファイルを作成している場合は、そのプロファイルを選択することをお勧めします。
- ディスプレイ用のカラープロファイルは、ディスプレイのメーカーから提供されるものです。そのため、お使いのディスプレイ用のカラープロファイルが提供されているかどうか（提供されていない場合、ディスプレイ表示の色を原稿や印刷物に近付けることはできません）、またプロファイル名については、ディスプレイのメーカーにお問い合わせください。

2 スキャンに使用するアプリケーションソフトで、ICM をオン にします。

3 EPSON Scan の［環境設定］にある［カラー］画面で［ICM］を選択し、［ソース（スキャナ）］と［ターゲット］を設定します。

4 EPSON Scan の［スキャン］をクリックして、画像をスキャンします。

プリンタでの設定（印刷時）

印刷時に、プリンタドライバで ICM を選択（オン）します。

☞ 本書 46 ページ「⑧ ICM（カラー印刷のみ）」

このとき、お使いのアプリケーションソフトのカラーマネジメント機能はオフにし、プリンタカラー管理をオンにしてください。

9 EPSON Scan 情報

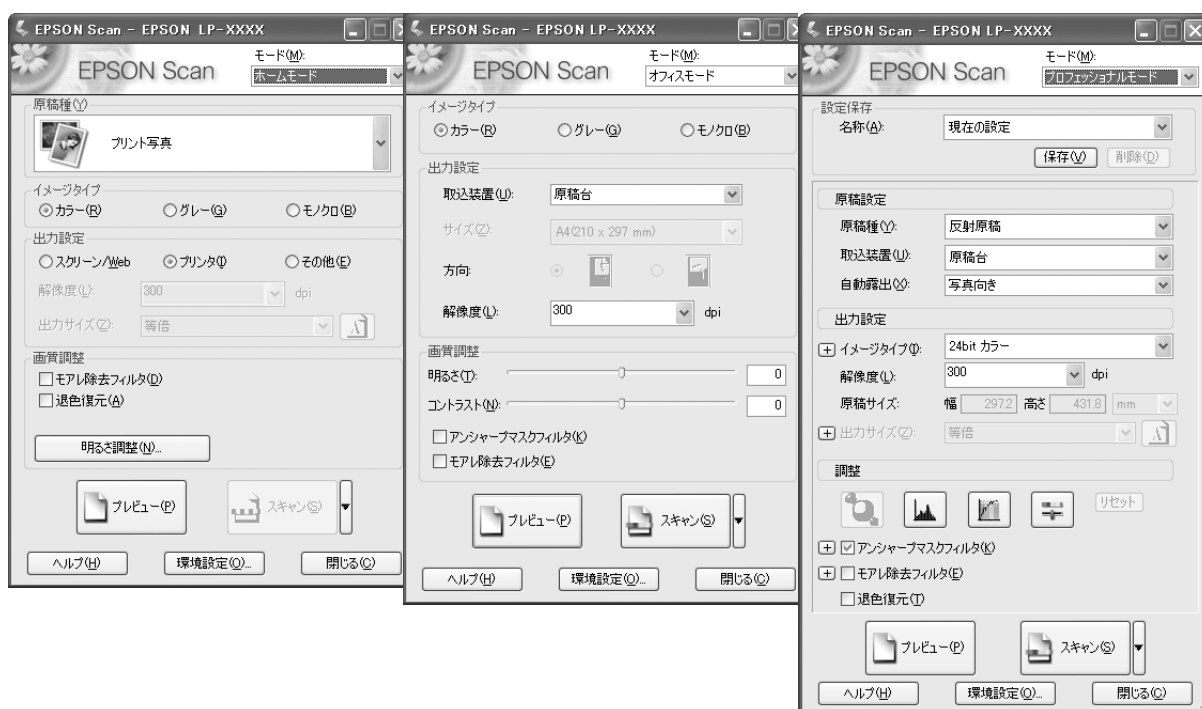
EPSON Scan の機能を説明しています。

EPSON Scan とは？

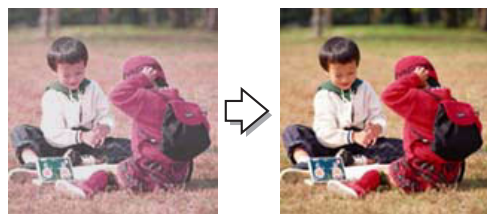
スキャナを使うためには、スキャナドライバ「EPSON Scan」というソフトウェアをコンピュータにインストールする（組み込む）必要があります。

EPSON Scan は、スキャナから受け取った画像データをコンピュータンに送ります。EPSON Scan がインストールされていないとスキャンできません。EPSON Scan は必ずインストールしてください。

EPSON Scan の設定画面では、スキャンサイズやスキャン品質などの詳しいスキャン条件を設定できます。

ホームモード　　オフィスモード　　プロフェッショナルモード

■ 便利な機能がたくさん

EPSON Scan には「色あせた写真の色を復元する機能」、「明るさやコントラストを調整する機能」などの便利な機能がたくさん搭載されています。

退色復元機能

コントラストの調整機能

EPSON Scan のバージョンアップ

いろいろな改良が加えられた最新の EPSON Scan を使用することで、より快適にスキャンできるようになる場合もあります。

☞ 本書 277 ページ「ソフトウェアのバージョンアップ」

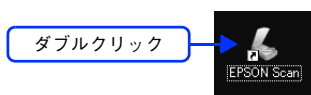
起動方法とモードの切替方法

EPSON Scan だけを起動する

アプリケーションソフトを起動せずに、EPSON Scan だけを起動して画像をスキャンすることができます。

フォトレタッチソフトなどのアプリケーションソフトから EpsonScan を起動して画像を取り込むこともできます。起動方法の説明は、各アプリケーションソフトの取扱説明書などをご覧ください。

起動方法

デスクトップ上の［EPSON Scan］アイコンをダブルクリックしてください。

［EPSON Scan］アイコンがない場合は

［スタート］-［すべてのプログラム］（または［プログラム］）-［EPSON Scan］-［EPSON Scan］の順にクリックしてください。

モードの切り替え方法

画面右上の［モード］を選択してください。

各モードの特長

各モードの特長は次の通りです。

ホームモード

シンプルな操作画面で、原稿の種類や出力サイズなど基本的な設定をしてスキャンするモードです。

オフィスモード

オフィスモードは、原稿を早く大量にスキャンしたい場合にお勧めのモードです。

プロフェッショナルモード

プレビュー画面で確認しながら画質調整を行ってスキャンできるモードです。

プロフェッショナルモードの設定を保存

プロフェッショナルモードでは、取り込み枠・出力設定・画質調整などの設定を保存できます。
例えば、次のような使い方ができます。

取り込み枠の再利用	取り込み枠の位置をすべて保存できるので、写真・名刺などをスキャンするときに、常に同じ位置／同じ向きにセットすれば、取り込み枠を毎回作成する必要がありません。
出力サイズの再利用	壁紙またはデスクトップピクチャ用、A4 印刷用などの設定を保存しておけば、出力サイズを毎回設定する必要がありません（取り込み枠を微調整するだけです）。

設定を保存する

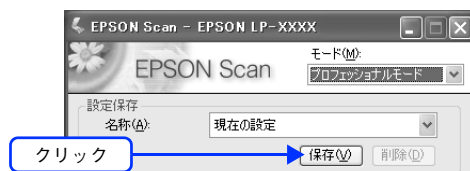
1 **EPSON Scan を起動して、［プロフェッショナルモード］に切り替えます。**

本書 267 ページ「起動方法とモードの切替方法」

2 **［原稿設定］［出力設定］を設定します。**

3 **原稿をプレビューし、取り込み枠の設定や画質調整などを行います。**

4 **［保存］をクリックします。**

自動的に名称が付けられて、設定が保存されます。

設定を削除したいときは

削除したい設定保存名をリストから選択して、［削除］をクリックします。

以上で設定を保存する手順は終了です。

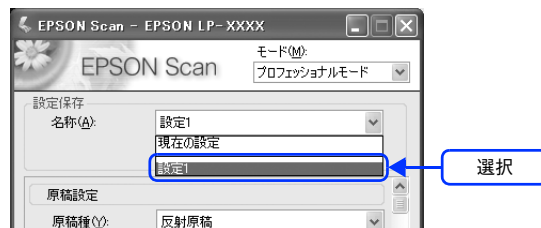
保存した設定を利用してスキャンする

保存したスキャン設定を利用して画像をスキャンします。

1 **EPSON Scan を起動して、［プロフェッショナルモード］に切り替えます。**

本書 267 ページ「起動方法とモードの切替方法」

2 **保存した設定名称を選択します。**

EPSON Scan の各種設定が、保存されている設定に変わります。

3 **［スキャン］をクリックして、スキャンを実行します。**

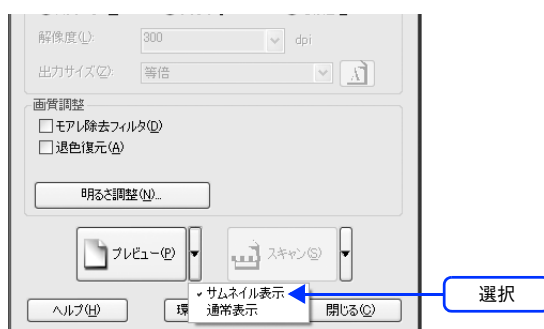
以上で保存した設定を利用してスキャンする手順は終了です。

サムネイルプレビューと通常プレビュー（LP-M5500のみ）

プレビューは、画像を低解像度でスキャンし、取り込み枠の設定や各種の画質調整の結果を表示する機能です。画像がどのようにスキャンされるかを、リアルタイムに確認できます。また、プレビュー後にプレビュー画面でスキャンする範囲を指定すれば、雑誌のページから写真の部分だけスキャンすることができます。
LP-M5500をご使用の場合、［ホームモード］と［プロフェッショナルモード］には、2種類のプレビュー機能があります。

通常プレビュー

サムネイル表示と通常表示を切り替える

EPSON Scan の［プレビュー］の右にある縦長の をクリックし、表示されるメニューで［サムネイル表示］または［通常表示］を選択してください。

プレビュー画面のサイズ調整方法
プレビュー画面のサイズや向きを変更できます。
EPSON Scan 画面の［環境設定］をクリックして、［プレビュー］タブをクリックし、［プレビューウィンドウサイズ］と［プレビューウィンドウの横長表示］の設定を変更してください。

プレビューの自動露出
［環境設定］画面の［カラー］タブで［常に自動露出を実行］がチェックされている場合は、プレビューすると、露出（明暗）が自動調整されます。

サムネイルプレビュー

［ホームモード］または［プロッフェショナルモード］でご利用いただけます。原稿を自動認識してそれぞれをコマとして切り出してプレビューします。複数の写真をセットしたときに便利です。また、画像が傾いている場合は、傾きを自動的に補正します（写真などの原稿のみ）。
なお、サムネイルプレビューは通常プレビューに比べて時間がかかります。

取り込む原稿によっては、自動的に切り出せない場合があります。その場合は、［プレビュー］右横の をクリックして、表示されるメニューで［通常表示］を選択してプレビューし、各写真に取り込み枠を設定して取り込んでください。

サムネイルプレビューできる原稿種

サムネイルプレビューは、次の原稿種を選択したときのみ使用できます。

ホームモード使用時	［原稿種］で［プリント写真］を選択した場合。
プロフェッショナルモード使用時	［取込装置］で［原稿台］を選択した場合。

プレビュー画面のボタン

ボタン	説明
	サムネイルを時計回りに 90 度回転して表示します。縦長の原稿を横向きにセットした場合などに、上下の向きを正しくすることができます。 回転した場合は、スキャンした画像も同様に回転されます。
	サムネイルの左右を反転して表示します。フィルムの膜面を下に向けてセットした場合に、正しい向きに鏡像反転してスキャンすることができます。 鏡像反転した場合は、鏡像反転していることを示すために、サムネイルの下にアイコンが表示されます。
	選択している（破線表示の）取り込み枠を消去します。
［全選択］	すべてのコマを選択します。 すべてのコマに対して同じ画像調整をしたり、回転／反転させるときに便利です。

通常プレビュー

スキャンできる領域全体をプレビューします。プレビュー後、スキャンする範囲を複数指定できます。

■ プレビュー画面のボタン

ボタン	説明
ズーム	原稿を再プレビューし、選択している（破線表示の）取り込み枠をズーム表示します。スキャンする領域が小さい場合にお使いください。 ズーム表示すると、取り込み枠内の露出（画像の明暗）が自動調整されます。
	選択している（破線表示の）取り込み枠を消去します。
	選択している（破線表示の）取り込み枠をコピーします。50 個までコピーできます。
	原稿の全領域を自動選択します。 原稿カバーの裏側が汚れていると、汚れている部分が領域に含まれる場合がありますのでご注意ください。 原稿に複数の画像がある場合は、スキャンしたい画像より少し大きめの範囲をマウスでドラッグして選択してから、をクリックします。そうすることにより目的の領域をより簡単に選択することができます。
1	作成した取り込み枠の総数が表示されます。
［全選択］	作成したすべての取り込み枠を選択します。選択した取り込み枠は破線表示されます。 すべての取り込み枠内の画像に対して同じ調整をするときに便利です。

各画面の説明（ヘルプの表示方法）

EPSON Scan の各画面、各項目の説明は、EPSON Scan のヘルプをご覧ください。
EPSON Scan のヘルプは、画面上の［ヘルプ］をクリックすると表示されます。

システム条件

EPSON Scan を使用するために必要なハードウェアおよびシステム条件は次の通りです。

オペレーティングシステム	Windows 98 SE / Me / 2000 Professional / XP Home Edition / XP Professional
CPU	Pentium または互換プロセッサ 233 MHz 以上（Pentium III または互換プロセッサ 500MHz 以上推奨）
主記憶メモリ	128MB 以上（512MB 推奨）
ハードディスク空き容量	インストール時：20MB 実行時：50MB（1GB 推奨） スキャンを行う画像データによって、さらに多くの空き容量が必要となります。
ディスプレイ	Super VGA （800 × 600）以上のフルカラー高解像度ビデオアダプタおよびディスプレイ（XVGA （1024 × 768）以上推奨）

！注意

- Windows XP でインストールする場合は、「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーでログオンしてください。「制限」アカウントのユーザーではインストールできません。なお、Windows XP をインストールしたときのユーザーは、「コンピュータの管理者」アカウントになっています。
- Windows 2000 でインストールする場合は、管理者権限のあるユーザー（Administrators グループに属するユーザー）でログオンしてください。

ソフトウェアのバージョンアップ

添付のソフトウェアをバージョンアップすることによって、今まで起こっていた現象が解消されることがあります。できるだけ最新のソフトウェアをお使いいただくことをお勧めします。

入手方法

最新のソフトウェアは、エプソンのホームページからダウンロードしてください。
☞ http://www.i-love-epson.co.jp/

CD-ROM での郵送をご希望の場合は
「エプソンディスクサービス」で実費にて承っております。詳しくは FAX インフォメーションでご確認ください。
☞『セットアップガイド』『活用ガイド』（紙マニュアル）巻末

ダウンロード／インストール手順

ホームページに掲載されているソフトウェアは圧縮[*1] ファイルになっていますので、次の手順でファイルをダウンロードし、解凍[*2] してからインストールしてください。

*1 圧縮：1 つ、または複数のデータをまとめて、データ容量を小さくすること。
*2 解凍：圧縮されたデータを展開して、元のファイルに復元すること。

1 **ホームページのダウンロードサービスから本製品名を選択します。**

2 **ソフトウェアをハードディスク内の任意のディレクトリへダウンロードします。**

3 **解凍して、インストールを実行します。**

最新バージョンのソフトをインストールする前に、必ず旧バージョンを削除してください。
☞ 本書 278 ページ「ソフトウェアの削除方法」

ソフトウェアの削除方法

ここでは、EPSON Scan を削除する方法を説明します。

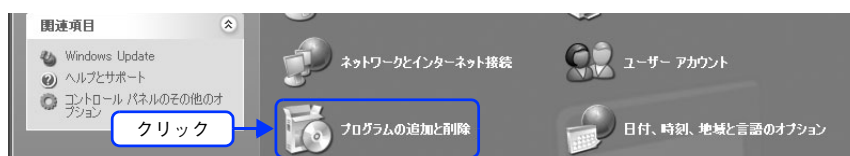
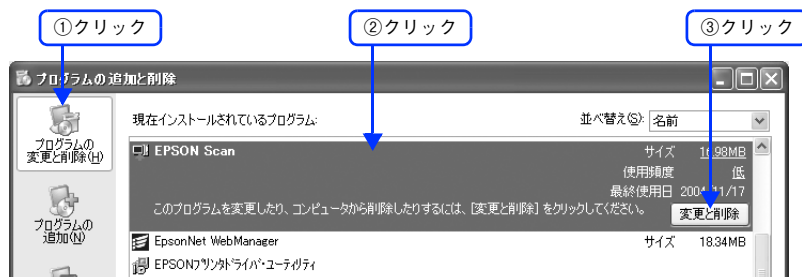
Windows XP でソフトウェアを削除する

Windows XP での標準的な方法でソフトウェアを削除する手順を説明します。

Windows XP で削除する場合は、「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーでログオンしてください。「制限」アカウントのユーザーでは削除できません。

1 **起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。**

2 **［スタート］-［コンピュータパネル］をクリックします。**

3 **［プログラムの追加と削除］アイコンをクリックします。**

4 **［プログラムの変更と削除］をクリックして、［EPSON Scan］を選択し、［変更と削除］をクリックします。**

5 **この後は、画面の指示に従ってください。**

削除を確認するメッセージが表示されたら、［はい］をクリックしてください。
以上でソフトウェアの削除の手順説明は終了です。

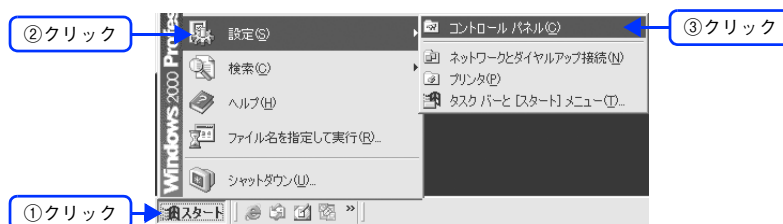
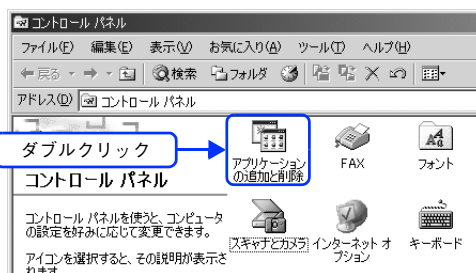
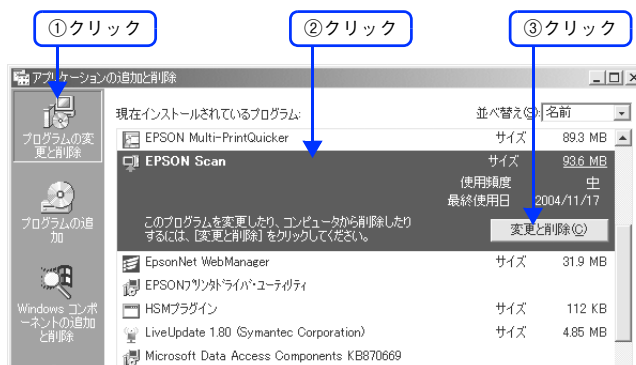
再インストールする場合は、コンピュータを再起動させてください。

Windows 2000/98/Me でソフトウェアを削除する

Windows2000 を使用して標準的な方法でソフトウェアを削除する手順を説明します。

!注意 Windows 2000 で削除する場合は、管理者権限のあるユーザー（Administrators グループに属するユーザー）でログオンしてください。

1 **起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。**

2 **［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］をクリックします。**

3 **［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。**

4 **［プログラムの変更と削除］をクリックして、［EPSON Scan］を選択し、［変更 / 削除］をクリックします。**

5 **この後は、画面の指示に従ってください。**

削除を確認するメッセージが表示されたら、［はい］をクリックしてください。
以上でソフトウェアの削除は終了です。

再インストールする場合は、コンピュータを再起動させてください。

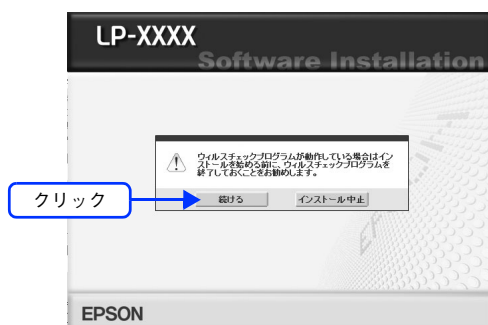
ソフトウェアの再インストール方法

1 本機の電源をオフにします。

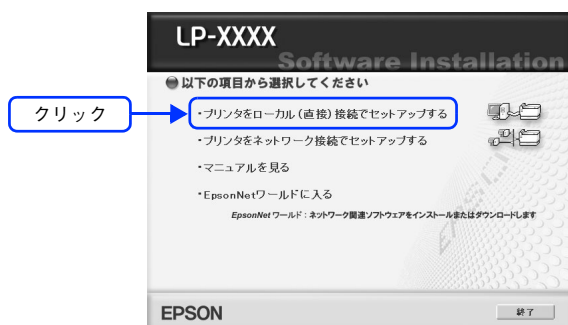
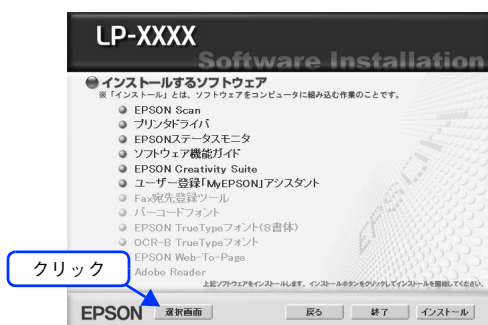
2 ウィルスチェックプログラムが起動している場合は停止させます。

3 コンピュータに『EPSON ソフトウェア CD-ROM』をセットします。

4 画面の内容を確認して、[続ける] をクリックします。

ウィルスチェックプログラムの実行中は、[インストール中止] をクリックして、手順 2 からやり直します。

上の画面が自動的に表示されないときは
［マイコンピュータ］内の CD-ROM のアイコンをダブルクリックします。

5 使用許諾契約書の画面が表示された場合は、内容を確認し、［同意する］をクリックします。

6 ［プリンタをローカル（直接）接続でセットアップする］をクリックします。

7 [選択画面] をクリックします。

8 ［EPSON Scan］を選択して、［インストール］をクリックします。

9 **この後は、画面の指示に従ってインストール作業を進めます。**

以上でインストールは終了です。

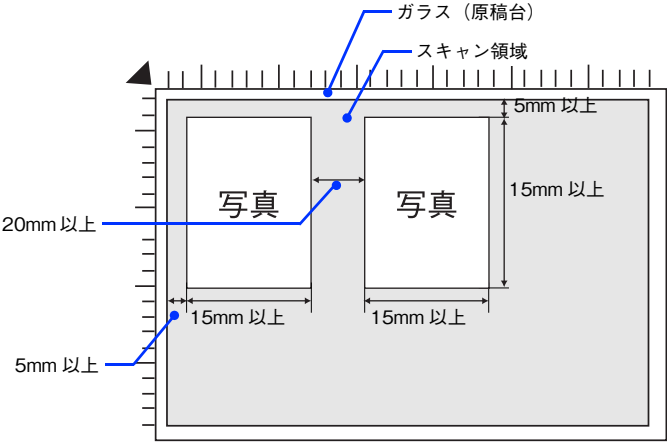
10 困ったときは

スキャナ機能使用時の困ったときの対処方法を説明しています。

スキャン品質が悪い

スキャン品質が悪いときには、次の項目をご確認ください。

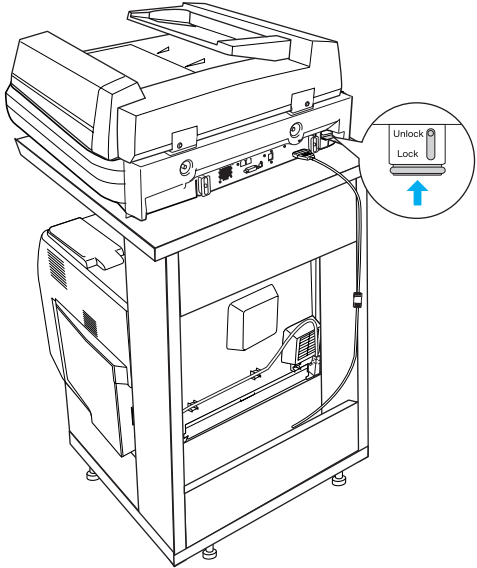
トラブル状態	対処方法
画像が暗い	**EPSON Scan の画質調整機能を使ってみてください。** • EPSON Scan のプロフェッショナルモードで画像をプレビューした後、スキャン範囲を指定してから［自動露出］をクリックしてみてください。 • 明るさとコントラストを調整してみてください。 ☞本書 242 ページ「明るさとコントラストを調整する 1（簡単設定）」 ☞本書 245 ページ「明るさとコントラストを調整する 2（ヒストグラム調整）」 ☞本書 249 ページ「明るさとコントラストを調整する 3（濃度補正）」 **EPSON Scan の［環境設定］にある［カラー］画面の設定を確認してください。** EPSON Scan の各モードの画面下にある［環境設定］をクリックして、［カラー］タブをクリックしてください。 • ［ドライバによる色補正］の［常に自動露出を実行］がチェックされていることを確認してください。 チェックが外れていると、自動露出の効果がかからず、露出（明暗）が不適切な画像になる場合があります。 • ［ドライバによる色補正］の［ディスプレイガンマ］を設定してください。 設定は、ご使用のプリンタドライバの設定と一致させてください。印刷しない場合は、［1.8］に設定してください。なお、ディスプレイガンマの数値を上げると、自動露出調整後の画像は明るくなります。
	ディスプレイの表示設定を確認してください。 ディスプレイ表示には、ディスプレイやディスプレイアダプタによってクセがあるため、正しく調整されていなければ、スキャンした画像が適切な明るさ / 色合いで表示されません。ディスプレイの表示設定を確認してください。 ☞本書 262 ページ「ディスプレイの設定」

トラブル状態	対処方法
画像がぼやける	**解像度が適切に設定されていますか？** EPSON Scan で適切な解像度を設定してスキャンしてください。 ☞本書 298 ページ「解像度」 **EPSON Scan の画質調整機能を使ってみてください。** • EPSON Scan のプロフェッショナルモードで画像をプレビューした後、スキャン範囲を指定してから［自動露出］をクリックしてみてください。 • ［アンシャープマスクフィルタ］機能を使用してみてください。 ☞本書 231 ページ「ぼやけた画像をくっきりさせる（アンシャープマスク）」 なお、［アンシャープマスクフィルタ］機能を使用すると、モアレ（網目状の陰影）が生じる場合があります。モアレが生じる場合は、［モアレ除去フィルタ］機能を使用してみてください。 ☞本書 227 ページ「モアレ（網目状の陰影）の除去（モアレ除去フィルタ）」

トラブル状態	対処方法
画像の色合いがおかしい／画像の色が原稿の色と違う 	**EPSON Scan の［イメージタイプ］を正しく設定していますか？（オフィスモードを除く）** スキャンする原稿の種類や画像の用途に合わせて、［イメージタイプ］を正しく設定してください。 **EPSON Scan の画質調整を使っていませんか？また使っている場合は適切に設定していますか？** 明るさ調整など、EPSON Scan の画像調整機能を使うと、原稿と色合いが異なる場合があります。 **ディスプレイの表示設定を確認してください。** ディスプレイ表示には、ディスプレイやディスプレイアダプタによってクセがあるため、正しく調整されていなければ、スキャンした画像が適切な明るさ / 色合いで表示されません。ディスプレイの表示設定を確認してください。 ☞本書 262 ページ「ディスプレイの設定」 **アプリケーションソフトでのディスプレイ設定をしていますか？** Adobe Photoshop などのフォトレタッチソフトを使用している場合は、フォトレタッチソフト側の［モニタ設定］などで、ディスプレイのキャリブレーションを行ってください。 ディスプレイ設定を行うと、ディスプレイやディスプレイアダプタによるクセをソフトウェア上で取り除き、画像を適切に表示することができます。 詳しい手順は、お使いのフォトレタッチソフトの取扱説明書やヘルプをご覧ください。 **原稿（印刷物）とディスプレイの色は一致しません。** 印刷物の色とディスプレイ表示の色は、発色方法が違うため、色合いに差異が生じます。詳しくは以下のページをご覧ください。 ☞本書 303 ページ「色」 自分が最も気になる部分（肌色など）が合うように、EPSON Scan またはフォトレタッチソフトで調整してみてください。
裏写りする 	**裏が透けて見えるほど薄い原稿をセットしていませんか？** 原稿の紙が薄いときは、裏面や重ねてある紙の画像が裏写りしてスキャンされることがあります。その場合は、黒い紙や下敷きを原稿の裏側に重ねてスキャンすると、改善できる場合があります。 **スキャン時の設定は原稿に合っていますか？** 原稿に合った設定でスキャンしてください。 正しく設定することによって、ハイライト（画像の最も明るい部分）が真っ白になるように調整されるため、裏写りを防止できます。また、背景地の黄色味などの色かぶりを除去できます。

トラブル状態	対処方法
画像にモアレ（網目状の陰影）が出る 印刷物などは、スクリーン処理がされているため、モアレ（網目状の陰影）が発生しやすくなります。モアレを完全になくすことはできませんが、次のいずれかの方法で少なくすることができます。 	**EPSON Scan の画質調整機能を使ってみてください。** •［モアレ除去フィルタ］機能を使用してみてください。 ☞本書 227 ページ「モアレ（網目状の陰影）の除去（モアレ除去フィルタ）」 •［アンシャープマスクフィルタ］機能を使用している場合は、無効にしてみてください。 ☞本書 231 ページ「ぼやけた画像をくっきりさせる（アンシャープマスク）」 **原稿の向きを変えて原稿台にセットし、スキャンしてみてください。** スキャンしたい向きと異なる向きになってしまったら、スキャン後にお使いのアプリケーションソフトで画像を回転させ、正しい向きに直してください。 **EPSON Scan（プロフェッショナルモード）で［ズーム］の設定を少し変更してスキャンしてみてください。** **画像スキャンにおけるモアレ** スクリーン処理された印刷物の画像は、ドット（点）の集まりで構成されています。この画像を本スキャナでスキャンしたときに、印刷上のドットとスキャン後にできるドットの位置が重なると、モアレが発生します **印刷におけるモアレ** 画像を印刷する場合、画像にコンタクトスクリーンフィルム（配列されている微細な網点）を重ね、網点を抜けた光をとらえることによって、画像の濃淡を網点の大小および密度に変換します。網点は中心部ほど高濃度になっていて、明るい光は小さな点、暗い光は大きな点として抽出されます。網点はハーフトーンスクリーンとも言い、網点の配列される角度をスクリーン角度と言います。 2 色以上で印刷する場合は、それぞれの色ごとにこの処理（スクリーン処理）を行い、印刷時に再び重ね合わせられますが、このときにそれぞれのスクリーン角度が一致（＝網点が重複）すると、モアレが発生します。
画像にむら／シミ／斑点が出る 	**原稿台が汚れていませんか？** 原稿台のガラス面は、きれいにしておいてください。 **スキャンするときに、原稿を強く押さえ付けませんでしたか？** スキャンするときに原稿カバーや原稿を強く押さえ付けると、原稿台のガラス面に原稿が貼り付いて、ムラや斑点が出ることがあります。強く押さえ過ぎないようにしてください。 写真の紙質や表面の加工状態によっても、ムラや斑点が出ることがあります。その場合は、原稿のセット位置をずらすなどしてからスキャンしてみてください。

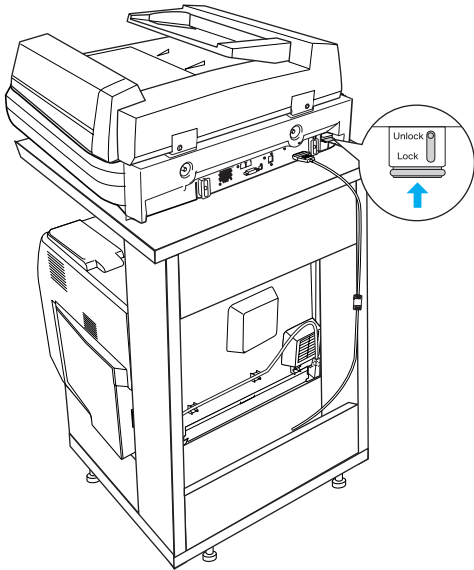
正常にスキャンされない（画像が切れる／隣の画像の一部がスキャンされるなど）

画像が切れたり、隣の画像の一部が一緒にスキャンされたりするなど、正常にスキャンできないときには、次の項目をご確認ください。

トラブル状態	対処方法
正常にスキャンされない	**原稿がセットされていますか？** スキャナに原稿がセットされているか確認してください。 **極端に暗い（または明るい）原稿をセットしていませんか？** 次のような原稿をセットしていると、正常にスキャンできない場合があります。 • 極端に暗い（または明るい）画像 • 露出がアンダー（またはオーバー）気味に撮影された画像 その場合は、EPSON Scan の通常プレビューでスキャンし、プレビュー画面でスキャンする範囲を指定してください。 **原稿台のガラス面にゴミがありませんか？** 原稿台のガラス面にゴミ、汚れなどがあると、正常にスキャンできない場合があります。原稿台のガラス面にゴミ、汚れなどがある場合は取り除いてください。 **スキャナユニットが傾いていませんか？** スキャナユニットが傾いた状態だとスキャナが正常に機能しません。スキャナユニットを通常の位置に戻してください。

<table>
<tr><th>トラブル状態</th><th>対処方法</th></tr>
<tr><td>サムネイルプレビューで正常にスキャンされない（LP-M5500）</td><td>EPSON Scan のサムネイルプレビューでスキャンする場合、サムネイルプレビューに対応した原稿をセットしていますか？
サムネイルプレビューで使用できる原稿は次の通りです。
サムネイルプレビューに対応していない原稿を、サムネイルプレビューでスキャンしても、正常にスキャンできません。
• カラーおよびモノクロの写真
なお、上記の原稿をセットしても、思い通りの結果でスキャンできない場合があります。その場合は、EPSON Scan の通常プレビューし、プレビュー画面でスキャンする範囲を指定してください。
本書272ページ「サムネイルプレビューと通常プレビュー（LP-M5500のみ）」

EPSON Scan のサムネイルプレビューでスキャンする場合、スキャン領域のサイズを調整してみてください。
EPSON Scan の［環境設定］にある［プレビュー］画面で、［サムネイル取込領域］のスライダを調整して、サムネイルプレビューのスキャン領域の大きさを調整してください。</td></tr>
<tr><td>写真を複数枚同時にスキャンする時に正常にスキャンされない（LP-M5500）</td><td>正しい位置に原稿をセットしていますか？
写真などの原稿を並べてセットするときは、次の点に注意して置いてください。
• スキャン領域の端面から 5mm 以上離してセットしてください。
• 写真と写真の間隔を 20mm 以上あけてください。
ガラス（原稿台）
スキャン領域
5mm 以上
写真
写真
15mm 以上
20mm 以上
15mm 以上
15mm 以上
5mm 以上</td></tr>
</table>

テキストデータに変換するときの認識率が悪い

トラブル状態	対処方法
テキストデータに変換するときの認識率が悪い	**原稿が斜めにセットされていませんか？** 原稿が斜めにセットされていると、認識率は低下するため、原稿はまっすぐセットしてください。原稿カバーは、セットした原稿がずれないよう、ゆっくり閉じてください。 **原稿の品質に問題がありませんか？** 文字原稿の認識率は、原稿の状態に左右されます。OCR ソフト側で認識率を向上させることができる場合があります。詳しくは、OCR ソフトの取扱説明書をご覧ください。

スキャナが動かない／スキャンできない

トラブル状態	対処方法
スキャナが動かない スキャンできない	**本機の電源は入っていますか？** 本機の電源が入っているかをご確認ください。 **電源プラグがコンセントから抜けていませんか？** 差し込みが浅かったり、斜めに差し込まれていないかをご確認ください。 **コンセントに電源はきていますか？** ほかの電化製品の電源プラグを差し込んで、電源が入るかをご確認ください。ほかの電化製品の電源が入る場合は、スキャナの故障が考えられます。 **ケーブルは外れていませんか？** ケーブルがしっかり接続されているかをご確認ください。また、ケーブルが断線していないコンピュータか、変に曲がっていないかもご確認ください。 **ネットワークインターフェイスに IP アドレスが正しく設定されていますか？** IP アドレスはステータスシートを印刷すると確認できます。IP アドレスが正しく設定されていない場合は、ネットワークユーティリティを使用して、ネットワークインターフェイスの IP アドレスを設定し直してください。詳細は、以下を参照してください。 ☞『ネットワーク設定ガイド』（PDF）-「ネットワークインターフェイスの設定」 **［EPSON Scan の設定］の設定は正しいですか？** ［EPSON Scan の設定］で本機との接続状態を確認してください。 ☞本書 199 ページ「スキャンを始める前に」 **USB ケーブルの接続口を変えてみてください。** コンピュータに複数の USB 接続口がある場合は、接続口を変えると正しく動作するようになることがあります。 **USB ハブをお使いの場合に、使い方は正しいですか？** USB ハブは仕様上 5 段まで縦列接続できますが、スキャナと接続する場合は、コンピュータに直接接続された 1 段目のハブに接続してください。それでもスキャナが動かない場合は、USB ハブを外して、スキャナとコンピュータを直結してください。 **USB ハブをお使いの場合に、USB ハブはコンピュータに正しく認識されていますか？** コンピュータで USB ハブが正しく認識されているかをご確認ください。

トラブル状態	対処方法
スキャナが動かない スキャンできない（続き）	**輸送用固定レバーが解除されていますか？** スキャンするときは、輸送用固定レバーが解除されている（Unlock）の位置にある）必要があります。 輸送用固定レバーが（Unlock）の位置にない場合は、本機の電源をオフにしてから、ロックを （Unlock） の位置に動かしてください。 Unlock Lock **スキャナドライバ（EPSON Scan）は正常にインストールされていますか？** 以下のページを参照して、EPSON Scan を起動してみてください。 本書 267 ページ「起動方法とモードの切替方法」 起動できない場合は、再度インストールを行ってください。 本書 280 ページ「ソフトウェアの再インストール方法」 **コンピュータにスキャナが認識されていますか？** EPSONScan の設定で、使用可能な状態か確認してください。 本書 199 ページ「接続先の設定と確認をする（USB 接続）」 本書 200 ページ「接続先の設定と確認をする（ネットワーク接続）」 本機のアイコンが表示されていない場合は、再度 EPSON Scan をインストールしてください。 本書 280 ページ「ソフトウェアの再インストール方法」 **高解像度でスキャンしようとしていませんか？** 高解像度でスキャンするとウォームアップに時間が（最長 3 分）かかります。スキャンするまでお待ちください。

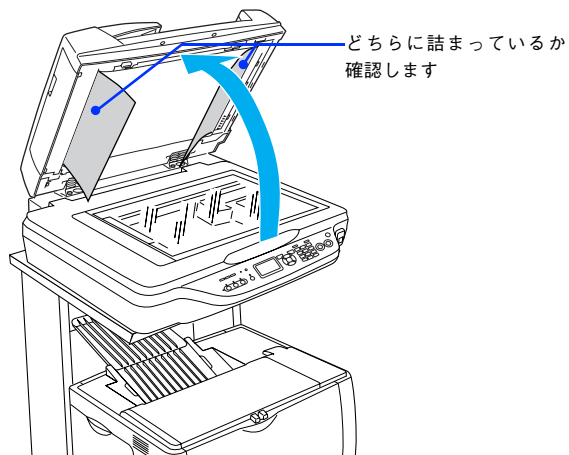
トラブル状態	対処方法
スキャナが動かない スキャンできない（続き）	**EPSON Scan の［環境設定］画面で［作業フォルダ］をネットワークドライブまたは書き込み権限のないフォルダを指定していませんか？** ［作業フォルダ］にネットワークドライブや書き込み権限のないフォルダを指定すると［OK］がグレイアウトしてクリックできなくなります。［作業フォルダ］の指定を確認してください。 作業フォルダは、EPSON Scan 各モードの画面下部にある、［環境設定］をクリックして、［その他］タブをクリックすると確認できます。 **スキャナドライバ「EPSON Scan」を単独で起動している場合は、EPSON Scan を削除（アンインストール）して、もう一度インストールしてみましょう。** EPSON Scan が正常にインストールされていない可能性があります。 一旦、EPSON Scan を削除（アンインストール）して、もう一度インストールしてみてください。 本書 278 ページ「ソフトウェアの削除方法」 本書 280 ページ「ソフトウェアの再インストール方法」 **TWAIN 対応アプリケーションから EPSON Scan を起動している場合は、TWAIN 対応アプリケーションを削除（アンインストール）して、もう一度インストールしてみましょう。** TWAIN 対応アプリケーションが正常にインストールされていない可能性があります。一旦、TWAIN 対応アプリケーションを削除（アンインストール）して、もう一度インストールしてみてください。 本書 278 ページ「ソフトウェアの削除方法」 本書 280 ページ「ソフトウェアの再インストール方法」

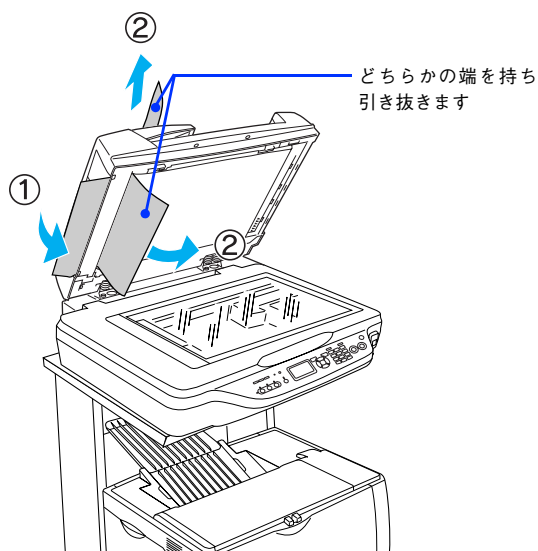
オートドキュメントフィーダでのトラブル

トラブル状態	対処方法
原稿がスキャンされない	**輸送用固定レバーが解除されていますか？** スキャンするときは、輸送用固定レバーが解除されている（Unlock）の位置にある）必要があります。 輸送用固定レバーが（Unlock）の位置にない場合は、本機の電源をオフにしてから、ロックを （Unlock） の位置に動かしてください。 Unlock Lock
EPSON Scan の［原稿種］または[取込装置]でオートドキュメントフィーダを選択できない	**EPSON Scan のホームモードを使用していませんか？** EPSON Scan のホームモードはオートドキュメントフィーダに対応していません。オフィスモードまたはプロフェッショナルモードに切り替えてください。

オートドキュメントフィーダで原稿が詰まった場合は

オートドキュメントフィーダで原稿が詰まったときは、次の手順で詰まった原稿を取り除いてください。

1 **原稿カバーを開け、原稿が詰まっている場所を確認します。**

給紙口(左側)で詰まった場合

2 **①左側のカバーを開け、②原稿のどちらかの端を持ちゆっくりと引き抜きます。**

- カバーは必ず開けてください。原稿を押さえていたローラが解除されるため原稿を引き抜き易くなります。
- 原稿はゆっくり引き抜いてください。原稿が破れるおそれがあります。

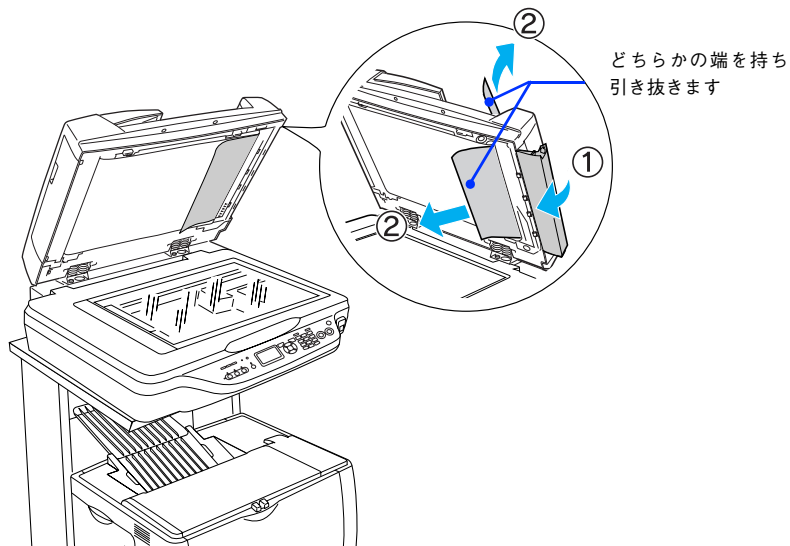
3 **左側のカバーを閉じ、原稿カバーを閉じます。**

4 **［カラー］ボタンまたは［モノクロ］ボタンを押します。**

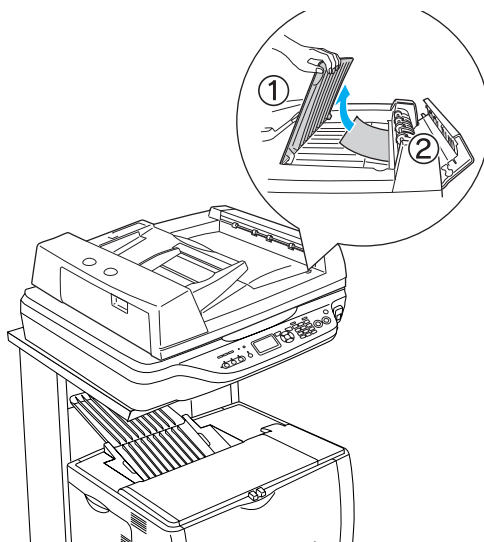
以上で給紙口の用紙詰まりの除去は終了です。

排紙口（右側）で詰まった場合

2 ①左側のカバーを開け、②原稿のどちらかの端を持ちゆっくりと引き抜きます。

原稿が破れて取れなくなった場合は、手順 **3** へ進みます。

- カバーは必ず開けてください。原稿を押さえていたローラが解除されるため原稿を引き抜き易くなります。
- 原稿はゆっくり引き抜いてください。原稿が破れるおそれがあります。

3 右側のカバーを閉じ、原稿カバーを閉じます。

4 ①上面のカバーを開けて②原稿をゆっくり引き抜きます。

5 上面のカバーを閉じます。

6 ［カラー］ボタンまたは［モノクロ］ボタンを押します。

以上で排紙口の用紙詰まりの除去は終了です。

その他のトラブル

トラブル状態	対処方法
スキャンに時間がかかる	**画像を高解像度でスキャンしていませんか？** 画像を高解像度でスキャンする設定にしていると、ウォームアップやスキャンに時間が（最長 3 分）かかります。解像度を下げて、画像をスキャンしてください。 本書 298 ページ「解像度」 **USB1.1 を使用してスキャンしていませんか？** お使いの環境が USB2.0 対応になっているかを確認してください。 本書 306 ページ「USB ケーブル」 USB2.0 に対応している場合、USB2.0 を使用すると、USB1.1 と比べて高速に画像をスキャンできます。 USB2.0 非対応の機器をお使いの場合には、USB1.1 として動作します。（USB2.0 と比較してデータ転送速度が遅くなります。） ただし、USB2.0 を使用しても原稿の種類と解像度によっては、スキャンに時間がかかる場合があります。または USB1.1 と比べてもあまり高速な結果が得られない場合があります。
画像が画面に大きく表示される	**画像を高解像度でスキャンしていませんか？** 通常ディスプレイの解像度は 70 ～ 90dpi くらいしかありません。しかし、アプリケーションソフトによっては、スキャンした画像データの各画素（画像を構成している細かな点の一つ一つ）を画面の解像度に対応させて表示するものがあります。その場合、高解像度の画像データは大きく表示されますので、アプリケーションソフト上で縮小してご確認いただければ、問題ありません。印刷すると原稿と同じ大きさになります。

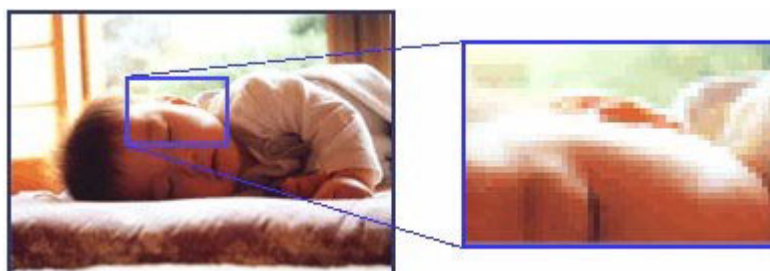
11 付録

スキャナを使用する上での補足的な情報を説明しています。

解像度

よりきれいに画像を印刷するためには、プリンタの性能に適した解像度の画像データを用意する必要があります。ここでは、画像データと印刷解像度を説明します。

解像度とは

スキャンされた画像や印刷画像を拡大して見ると、点の集まりであることがわかります。この点をドットと呼び、ドットの密度を表すのが解像度です。

この点が多ければ多い（解像度が高い）ほど、きめ細かい表現が可能になります。この解像度を示す単位として用いられるのが「dpi」[(1 インチ（25.4mm）あたりのドット数（Dot per Inch)］という単位で、これは 1 インチあたりにどれだけの点が含まれているかを表しています。

100dpiの画像データ

240dpiの画像データ

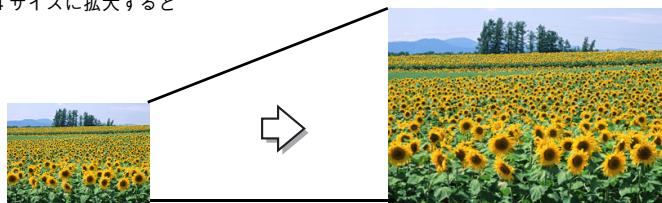
画像データの解像度と印刷解像度の関係

印刷の設定をいくら高記録解像度に設定して印刷しても、スキャンした画像データの解像度が低ければ思うような印刷結果は得られません。印刷解像度（印刷モード）に応じた画像データが必要です。
基本的には、画像データの解像度を上げれば印刷画質も必然的に向上しますが、解像度を上げすぎても、印刷速度が遅くなるだけで大きな画質向上効果は望めません。

☞ 本書 298 ページ「解像度」

印刷サイズと解像度の関係

用意した画像データをそのままのサイズで印刷すれば十分な画質を期待できます。
しかし、拡大印刷すると、画像を構成する点（ドット）が大きくなることで解像度が低下し画質は粗くなります。
また、逆に縮小印刷すると、解像度は上がりますが、必要以上に印刷時間がかかるだけで見た目には画質の向上を認識できません。

A6 サイズを A4 サイズに拡大すると

画素数：1500 × 2100 印刷サイズ：A6
解像度はおよそ 360dpi

画素数：1500 × 2100 印刷サイズ：A4
解像度はおよそ 180dpi

次の表をご確認いただき、印刷サイズに適した画像サイズのデータをご用意ください。

■ 雑誌や写真などの原稿の場合

スキャン解像度（EPSON Scanで出力サイズを等倍に設定した場合）	原稿サイズ	スキャンで生成されるデータの画素数（ピクセル）（24bit カラーの場合）		スキャンで生成されるデータの容量（MB）	印刷サイズごとの画像品質の目安	
		短辺	長辺		ハガキ	A 4
300	L 判	1051	1500	4.5	◎	×
300	ハガキ	1181	1748	5.9	◎	×
300	A4	2480	3508	24.9	※	◎
600	L 判	2102	3000	18.0	※	◎
600	ハガキ	2362	3496	23.6	※	◎
600	A4	4961	7016	99.6	※	※

※オーバースペック：用紙サイズに対して画素数が多すぎます。印刷に時間がかかるだけで、印刷品質の向上は望めません。
◎推奨：用紙サイズに対し理想的な画素数です。高品質な印刷結果を出力できます。
○許容：用紙サイズに対し多少画素数が少なめですが、十分な品質の印刷物を出力できます。
（注：×：出力解像度 150dpi 未満、○：150 ～ 250 dpi、◎：250 ～ 360 dpi、※：360dpi 以上で判定してあります）

[出力サイズ] を [L 判] などの印刷サイズに設定した場合は、[解像度] を [300] dpi に設定してください。EPSON Scan のホームモードで［出力先］を［プリンタ］に設定するか、プロフェッショナルモードで［解像度］を［300］dpi に設定して、印刷サイズに対応する［出力サイズ］を選択すれば、拡大倍率を計算して自動的に最適な解像度でスキャンします。

解像度を上げるときれいになる？

解像度を上げると、画素が増え、画像がよりきめ細かになります。しかし、解像度を上げれば上げるほどきれいになるというものではありません。
下表をご覧になり、用途に合った解像度を設定してください。

用途	目安となる解像度	説明
E メール送信	96 ～ 150dpi	目安となる解像度以上に上げると、E メールの送受信に時間がかかり、メールを受信する相手に負荷がかかります。なるべくデータが小さくなるように解像度を設定してください。
OCR（光学文字認識）	400dpi	目安となる解像度以上に上げても、文字の認識率は向上しません。認識率が良くない場合は、しきい値を調整してください。しきい値を調整した方が、よりよい効果が得られます。
レーザープリンタでの印刷	200dpi（カラー、グレー画像の場合） 600dpi（白黒の線画の場合）	目安となる解像度で十分です。それ以上に上げても印刷品質は向上しません。むしろデータ容量が多くなるため、画像のスキャン／保存／読み込み／印刷などが遅くなります。
ディスプレイ表示	96dpi	通常、コンピュータの画面の解像度は 70 ～ 90dpi くらいです。そのため、壁紙またはデスクトップピクチャ用の画像を 150dpi でスキャンしても、画面から画像がはみ出してしまいます。

また、解像度を上げるほど、多くのハードディスク／メモリ容量を必要とします。
下表は、解像度ごとの画像データ容量です。

原稿の種類	原稿サイズ	解像度		
		150dpi	300dpi	600dpi
カラー写真	L 判＊	約 1.1MB	約 4.3MB	約 17.4MB
	A4	約 6.1MB	約 24.5MB	約 98MB
白黒写真	L 判＊	約 0.4MB	約 1.4MB	約 5.8MB
	A4	約 2MB	約 8.2MB	約 32.6MB
文字原稿／線画	A4	—	約 1MB	約 4MB

＊約 90mm × 130mm

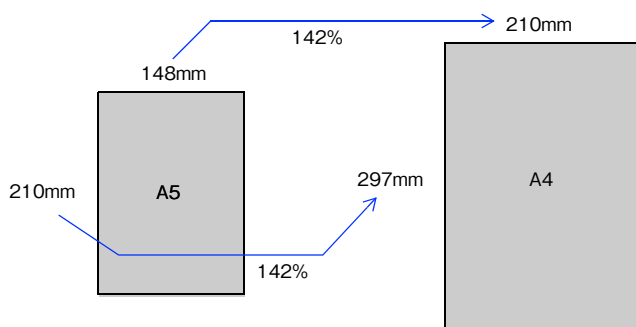
- 解像度が 2 倍になると、データ容量は約 4 倍になります。
- スキャンする画像の容量の目安は、EPSON Scan のプレビュー画面の下側に、画像のサイズ（ピクセル）、ファイル容量として表示されます。
- ハードディスクには、最低でもスキャンする画像データ容量の 2 倍以上の空き容量がないと、スキャンすることはできません。

拡大／縮小と解像度の関係

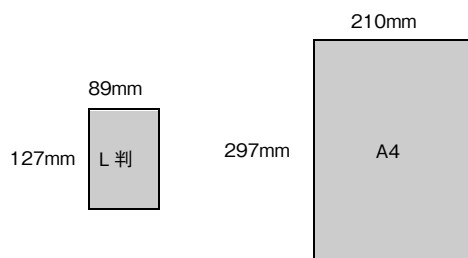
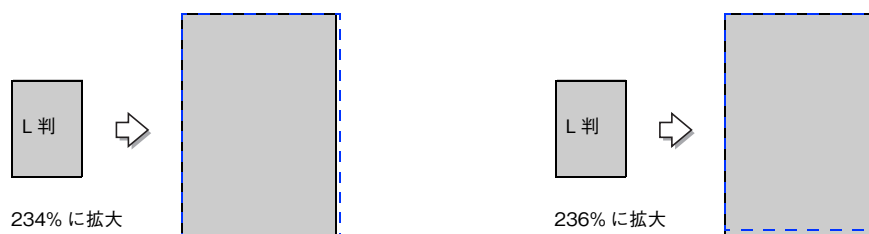
EPSON Scan の［解像度］で設定する解像度は、出力解像度（スキャン後の画像の解像度）を示します。入力解像度（スキャナからスキャンする際の解像度）は、出力解像度の設定、出力サイズの設定、取り込み枠の設定によって自動的に決まります。そのため、拡大／縮小する場合、解像度の数値を拡大／縮小率に合わせて計算・設定する必要はありません。

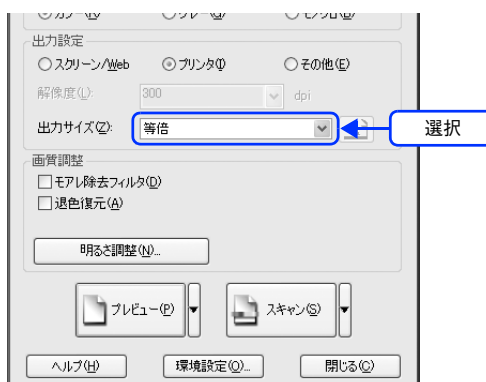
拡大／縮小する場合に、入力解像度がどのように決まるか、参考として説明します。

縦横比が同じ原稿の拡大／縮小率

A5 サイズの原稿を、A4 サイズで拡大してスキャンする場合を例に説明します。
A5 サイズを A4 サイズに拡大するには、縦横それぞれを 140% に拡大します。

従って、入力解像度は、例えば、A5 サイズの原稿を出力サイズ：A4 解像度：300dpi の設定でスキャンした場合 300dpi × 140%＝ 420dpi となります。

縦横比が違う原稿の拡大／縮小率

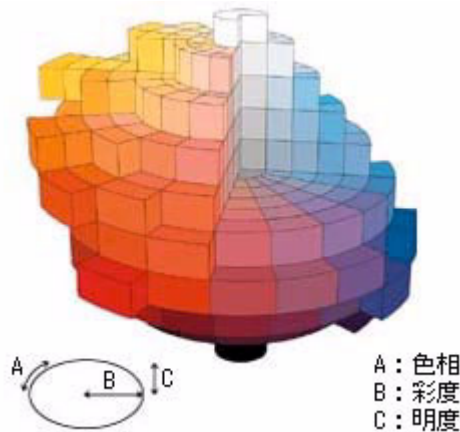
縦横比が同じ原稿は、縦横を同じ比率で拡大／縮小すればよいのですが、L 判サイズの写真を A4 に拡大する場合、縦横比が異なります。このような場合、拡大／縮小率はどのようになるのでしょうか？
L 判と A4 はそれぞれ下図のサイズです。

この場合、L 判の縦の長さがちょうど収まる約 234% に拡大すると、横が少し小さめになります。横の長さがちょうど収まる約 236% に拡大すると、縦が少しはみ出します。

従って、［出力サイズ］で L 判を A4 で出力するには、縦横の両方が収まる、236% に拡大されます。
入力解像度は、例えば、ハガキを出力サイズ：L 版解像度：300dpi の設定でスキャンした場合 300dpi × 236%＝ 708dpi となります。

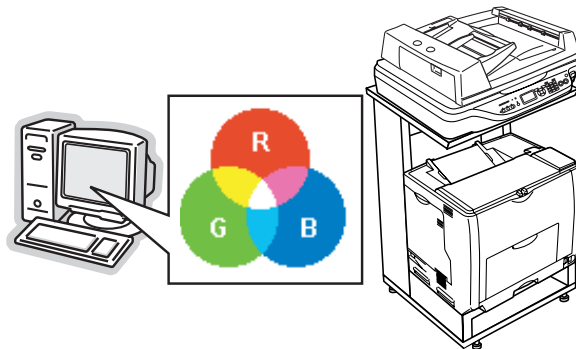
- 入力解像度と出力解像度を一致させたい場合は、出力サイズを等倍に設定してください。

- プロフェッショナルモードを選択している場合、ここの説明は［出力サイズ］のトリミングを［あり］に設定している場合（初期設定）の例です。

色

普段、何気なく見ているディスプレイや紙の上で表現される“色”にも、さまざまな要素が含まれています。ここでは、カラー印刷の知識の基礎となる、「色」を説明しています。

色の要素

一般に「色」というと赤や青などの色相（色合い）を指すことが多いのですが、色を表現する要素には、色相のほかに彩度、明度という要素があります。
彩度は鮮やかさの変化を表す要素で、白みを帯びていない度合をいいます。
例えば赤色の場合、彩度を上げるとより赤くなりますが、彩度を落とすに従って無彩色になっていき、最後はグレーになります。
明度はその字の通り、明るさ、つまり光の強弱を表す要素です。明度を上げればより白っぽく、逆に明度を落とせば暗くなります。
下の図（色立体と呼びます）は円周方向が色相変化を、半径方向が彩度変化を、高さ方向が明度変化を表します。

ディスプレイの発色プロセス＜加法混色＞

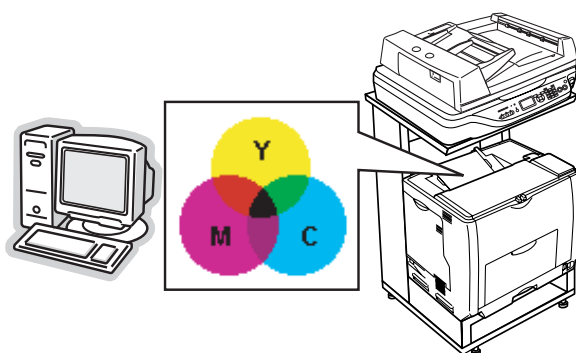
色は光によって表現されますが、ここでは、光がどのように色を表現するかを説明します。
例えば、テレビやディスプレイなどを近くで良く見ると、赤（R）、緑（G）、青（B）の 3 色の光が見えます。
これは「光の三原色」と呼ばれるもので、光はこれら 3 色の組み合わせでさまざまな色を表現します。
この方法は、どの色も光っていない状態（すべてが 0: 黒）を起点に、すべての色が光っている状態（すべてが 100: 白）までを色を加えることで表現するため、CRT ディスプレイで表現される色は、加法混色（加色法）と呼ばれます。

プリンタ出力の発色プロセス<減法混色>

加法混色で色が表現できるのは、そのもの自らが光を発することができる場合です。しかし多くの場合、自ら光を出すことはないため、反射した光で色を表現することになります（正確には、当たった光のうち一部の色を吸収（減色）し、残りの色を反射することで色を表現します）。

例えば「赤いトナー」の場合、次のようになります。
一般的に見られる「光」の中には、さまざまな色の成分が含まれています。

この光が赤いトナーに当たった場合、ほとんどの色の成分がインクに吸収されてしまいますが、赤い色の成分だけは、吸収されずに反射されます。この反射した赤い光が目に入り、その物体（トナー）が赤く見えるのです。

このような方法を減法混色（減色法）と呼び、プリンタのトナーや絵の具などはこの減法混色によって色を表現します。このとき、基本色となる色は加法混色の RGB ではなく、混ぜると黒（光を全く反射しない色）になるシアン（C）、マゼンタ（M）、イエロー（Y）の 3 色です。この 3 色を一般に「色の三原色」と呼び、「光の三原色」と区別します。

理論的には CMY の 3 色を混ぜると黒になります。しかし一般に印刷では、より黒をくっきりと表現するために黒 （BK）インクを使用し、CMYBK の 4 色で印刷します。

出力装置による発色の違い<ディスプレイとプリンタ出力>

コンピュータで作成したグラフィックスデータをプリンタに出力するとき、この加法混色と減法混色を考え合わせる必要があります。なぜなら、CRT ディスプレイで表現される色は加法混色であるのに対して、プリンタで表現される色は減法混色であるからです。

この RGB → CMY 変換はプリンタドライバで行いますが、ディスプレイの調整状態によっても変化するため、完全に一致させることはできません。

このように発色方法の違いにより、ディスプレイ上と実際の印刷出力の色合いにズレが生じます。しかし、以下のページを参照して、色合いをできるだけ近づけることができます。
本書 262 ページ「原画とディスプレイ表示とプリント結果の色合わせ」

スキャナで読み込んだ画像を印刷するときは、原画 （CMY）→ ディスプレイ （RGB）→ 印刷（CMY）の変換が必要になり、さらに一致させることが難しくなります。このような場合の機器間のカラーマッチングの方法をキャリブレーションと呼び、市販のスキャナユーティリティソフトの中にはこの機能があるものがあります。

画像ファイル形式

本スキャナでは、スキャンした画像を次のファイル形式で保存します。
お使いのアプリケーションソフトが各形式に対応しているかご確認の上、保存するファイル形式を決めてください。

形式（拡張子）	説 明
JPEG 形式 （＊.JPG ）	圧縮形式のファイルです。圧縮率を選択できます。ただし、圧縮率が高いほど画質が劣化し（圧縮前のデータに戻すことはできません）、さらに保存のたびに劣化していきます。スキャン後に画像を加工する場合は、TIFF 形式などで保存してください。
TIFF 形式 （＊.TIF ）	グラフィックソフト、DTP ソフトなど、多くのソフトウェアでデータ交換するために作られたファイル形式です。
Multi − TIFF 形式 （＊.TIF ）	TIFF 形式ですが、複数ページのデータを 1 つのファイルにまとめて保存できます。
BMP 形式（Windows のみ） （＊.BMP ）	多くの Windows 用アプリケーションに対応しているファイル形式です。
PICT 形式（Mac OS のみ） （＊.PCT ）	Mac OS 標準の画像ファイル形式です。ほとんどの Mac OS 用アプリケーションに対応しています。
PDF 形式 （＊.PDF ）	Windows と Mac OS で、画面表示・印刷ともに同様の結果が得られる汎用的なドキュメント形式です。
PRINT Image Matching II（JPEG） （＊.JPG ）	PRINT Image Matching II（画像の持つ微妙な色合いの情報を画像データ内に保存して、メリハリのある画像を印刷するための仕組み）による画像補正に対応した、JPEG 形式のファイルです。
PRINT Image Matching II（TIFF） （＊.TIF ）	PRINT Image Matching II（画像の持つ微妙な色合いの情報を画像データ内に保存して、メリハリのある画像を印刷するための仕組み）による画像補正に対応した、TIFF 形式のファイルです。

USB ケーブル

接続条件

Windows 98/Me/2000/XP プレインストールコンピュータ、または Windows 98/Me/2000 プレインストールモデルからアップグレードしたコンピュータ

USB2.0 対応

- USB2.0 としてご使用いただくためには、USB2.0 に対応したケーブルをお使いください。また、パソコン側も USB2.0 に対応している必要があります。USB2.0 非対応のパソコンをお使いの場合は、USB1.1 として動作します。（USB2.0 と比較してデータ転送速度が遅くなります。）
- USB2.0 用インターフェイスボードまたは PC カードによって増設した場合には、マイクロソフト社製 USB2.0 ドライバが必要になります。マイクロソフト社製 USB2.0 ドライバの入手方法はマイクロソフト株式会社のホームページでご確認ください。
- USB2.0 対応 OS は Windows 2000/XP、Mac OS X v10.2.7 以降です。Windows 98/Me、Mac OS 9 、Mac OS X v10.2.6 以前では、USB1.1 として動作します。
- USB2.0 を使用しても原稿と解像度によっては、スキャンに時間がかかる場合があります。また、USB1.1 と比べてもあまり高速な結果が得られない場合があります。
- USB ハブをお使いになる場合は、USB2.0 に対応しているものをお使いください。USB2.0 非対応のハブをお使いの場合は、USB1.1 として動作します。（USB2.0 と比較してデータ転送速度が遅くなります。）

索引

E

M

O

T

U

あ

い

お

か

く

け

こ

さ

し

す

せ

た

つ

と

の

は

ひ

ふ

ほ

め

も

ゆ

よ

ら

り

わ

商標およびご注意

EPSON ESC/Page および ESC/P はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。

その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

複製が禁止されている印刷物について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。

（関連法律）刑法第 148 条、第 149 条、第 162 条

通貨及証券模造取締法第 1 条、第 2 条　など

以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、官製はがきなどを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

著作権について

写真、絵画、音楽、プログラムなどの他人の著作物は、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用することを目的とする以外、著作権者の承認が必要です。

電波障害自主規制について　－注意－

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCI ルールの限界値を超えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。（社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人 日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

電源高調波について

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しております。

レーザ製品の表示について

本プリンタは、レーザの国際規格 IEC60825-1 で定められた、クラス 1 レーザ製品です。識別のため、「クラス 1 レーザ製品」と書かれたラベルを製品に貼付しています。通常使用時には、レーザは内部にありお客様が被爆することはありません。

オゾンについて

レーザープリンタの印刷原理上、印刷処理中には微量のオゾンが発生します（排気風にオゾン臭を感じることがあります）。印刷中に本機が発生するオゾンは微量であり、通常の作業環境における安全許容値（0.1ppm、0.2mg/m^3）を上回ることはありません。ただし、オゾン濃度はプリンタの設置環境によって変わるため、下記のような条件での使用は避けてください。

- 製品の環境使用条件外での使用
- 狭い部屋での複数レーザープリンタの使用
- 換気が悪い場所での使用
- 上記条件下での長時間連続稼働